

令和5年度 欧米豪FIT旅行者誘客・ 受入事業（マーケティング調査）

最終報告書

HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

北海道観光機構

2025年1月31日（金）

目次

1	事業概要	P 3
2	調査の要諦	P 9
3	業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果	
	（1）二次交通など調査事業（インバウンド）	P 19
	（2）人流データの収集分析（インバウンド）	P 74
	（3）その他、国内データの収集 ①日本人の来道経験者	P 154
	（3）その他、国内データの収集 ②道内観光交通関連事業者	P 188
	（4）結果の反映	P 205
	（5）その他の提案	P 210

別添 次年度以降

1 事業概要

1 事業概要 背景と目的

北海道の観光消費額増大に向け、AT関連事業を高い精度で遂行するための調査

アドベンチャーツーリズム（以下、AT）関連するステークホルダー（ターゲットの欧米豪FIT旅行者や受入観光関連事業者など）に多角的な調査を実施した。**調査結果はAT関連事業※に広く還元するもの**とした。

※観光庁事業「特別な体験の提供によるインバウンド消費の拡大・質向上事業」、令和5年度 欧米豪FIT旅行者誘客・受入事業（プロモーション）、令和6年度 ATガイド人材育成事業 野外救急法研修事業 等。本調査は、春夏（積雪時期以外）を対象時期として実施

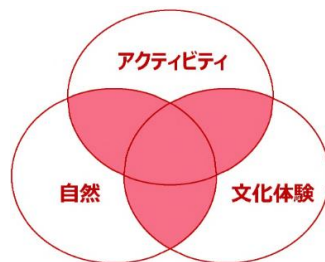
背景 （観光庁より一部抜粋）

- ATは欧米を中心に**約62兆円**のマーケット。
- ATを楽しむ旅行者の消費額は通常旅行者の**約2倍**
- 北海道にはATを構成する**豊かな自然・文化**が揃っているなど、多数分野への効果波及が期待される。
- 2023年には北海道にてATの世界最大の商談会である**アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）**が実地開催された。
- 2024年には観光庁事業「特別な体験の提供によるインバウンド消費の拡大・質向上事業」に「**日本初の地域認定ATガイドがもたらす特別な旅行商品造成・販売事業**」が採択され、更なる商品造成とプロモーション、ガイド人材育成が行われた。

北海道ATの課題 （ATWS2023の調査結果より一部抜粋）

- 【全 般】適応力の高いATガイドの不足や事業者のATの理解不足
- 【受入態勢】AT参加者の受入施設・設備やDMC等による地域間連携の不足
- 【商品造成】AT商品の造成時には通常よりも工数が多くなる、サステナビリティへの取組不足、顧客ニーズを捉えていない商品
- 【安 全 面】無理のないスケジュール管理や天候の代案、参加者の安全確保の不足

ATとは



ATWS2023の様子



本事業の目的 (仕様書より)

観光庁の「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」に採択された関連事業の効果的な執行と施策の相乗効果を高めるために、ATWS関連の高付加価値な商品造成や、プロモーション事業のコンテンツ制作等に相まって、対象となる欧米豪 FIT 旅行者の市場ニーズ調査が必要不可欠になることから、道内空港周辺を拠点とした、観光事業者や個人旅行者へのヒアリングを通じ、欧米豪 FIT の属性や趣向、二次交通利用や移動手段、課題点等の把握とともに、インバウンド人流データによる移動ルートや移動量の分析などを通じ、高付加価値な商品造成や販売促進に繋げるため、この度、マーケティング調査を実施します。

ポイント

本事業をAT関連事業に還元し、AT関連事業同士の相乗効果の創出を目指した。
また、既存の人流データの安心安全な続行も対応した。

1 事業概要 調査概要

北海道の観光消費額増大に向け、AT関連事業を高い精度で遂行するための調査

欧米豪FITの属性や趣向、二次交通利用や移動手段、課題点等の把握とともに、インバウンド人流データによる移動ルートや移動量の分析等を通じ、高付加価値な商品造成や販売促進に繋げることを目的として、アドベンチャーツーリズム（以下、AT）関連するステークホルダー（ターゲットの欧米豪FIT旅行者や交通関連事業者等）に4つの調査を実施した。

※観光庁事業「特別な体験の提供によるインバウンド消費の拡大・質向上事業」、令和5年度 欧米豪FIT旅行者誘客・受入事業（プロモーション）、令和6年度 ATガイド人材育成事業 野外救急法研修事業 等。本調査は、春夏（積雪時期以外）を対象時期として実施

(1) 二次交通等調査事業 (インバウンド)

- ・ 欧米豪FIT
- ・ 道内7空港にて聞き込み
- ・ 2024年4～6月
- ・ サンプル：637件

(3) その他、国内データの収集 ②道内観光交通関連事業者

- ・ 道内交通関連事業者
- ・ 各事業者にヒアリング
- ・ 2024年6～7月、10～11月
- ・ ヒアリング：21社

(2) 人流データの収集分析 (インバウンド)

- ・ 欧米豪および全国籍
- ・ 2023年1月～2024年12月
- ・ NAVITIME社が提供するJapan Travelアプリより取得したGPSデータ

(3) その他、国内データの収集 ①日本人の来道経験者

- ・ 日本在住で来道経験者
- ・ Web調査
- ・ 過去5年以内の春～秋来訪者
- ・ サンプル：1,036件



1 事業概要 分析方針

対象となる欧米豪FIT旅行者の市場ニーズ調査と専門的な分析

多数の実績のノウハウをもとにAT観光に関する効果的な調査・分析を実行した。

前提

2024年には観光庁事業「特別な体験の提供によるインバウンド消費の拡大・質向上事業」に「日本初の地域認定ATガイドがもたらす特別な旅行商品造成・販売事業」が採択され、更なる商品造成とプロモーション、ガイド人材育成が行われた。本事業はAT関連事業の効果的な執行と施策の相乗効果を高めるために実施した。

日本全国の視点

訪日旅行の旅程のうち、どの空港及び港から入国・出国して、途中どこへ移動して、どのような観光資源（スポット・ジャンル）に興味を持って行動しているのかを分析した。

▼仕様該当項目

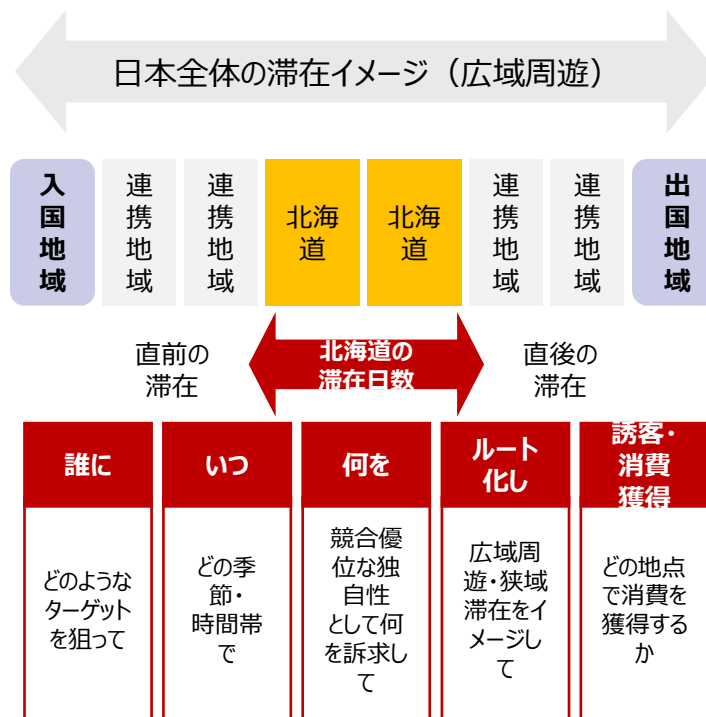
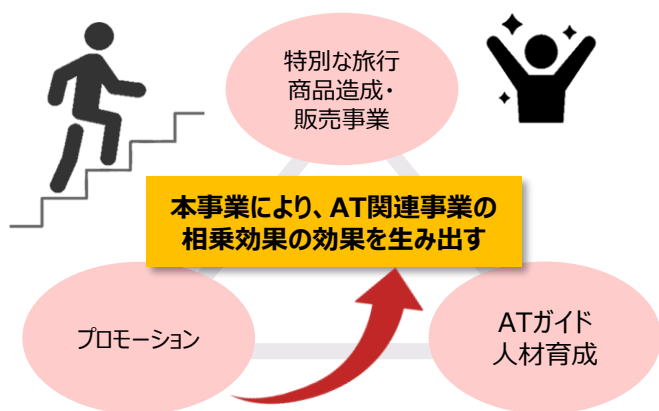
- (1) 二次交通等調査事業（インバウンド）
- (3) その他、国内データの収集 ①日本人の来道経験者

北海道内の視点

北海道への誘客・消費増加を目的に、各市場ターゲットごとにどのような観光資源に興味があるのかを把握し、効果的に認知・利用を促進するための施策提言に活かした。

▼仕様該当項目

- (3) その他、国内データの収集 ②道内観光交通関連事業
- (2) 人流データの収集分析（インバウンド）



ターゲット（市場）

欧（英、仏、独）・米・豪 など

地域資源・コンテンツ

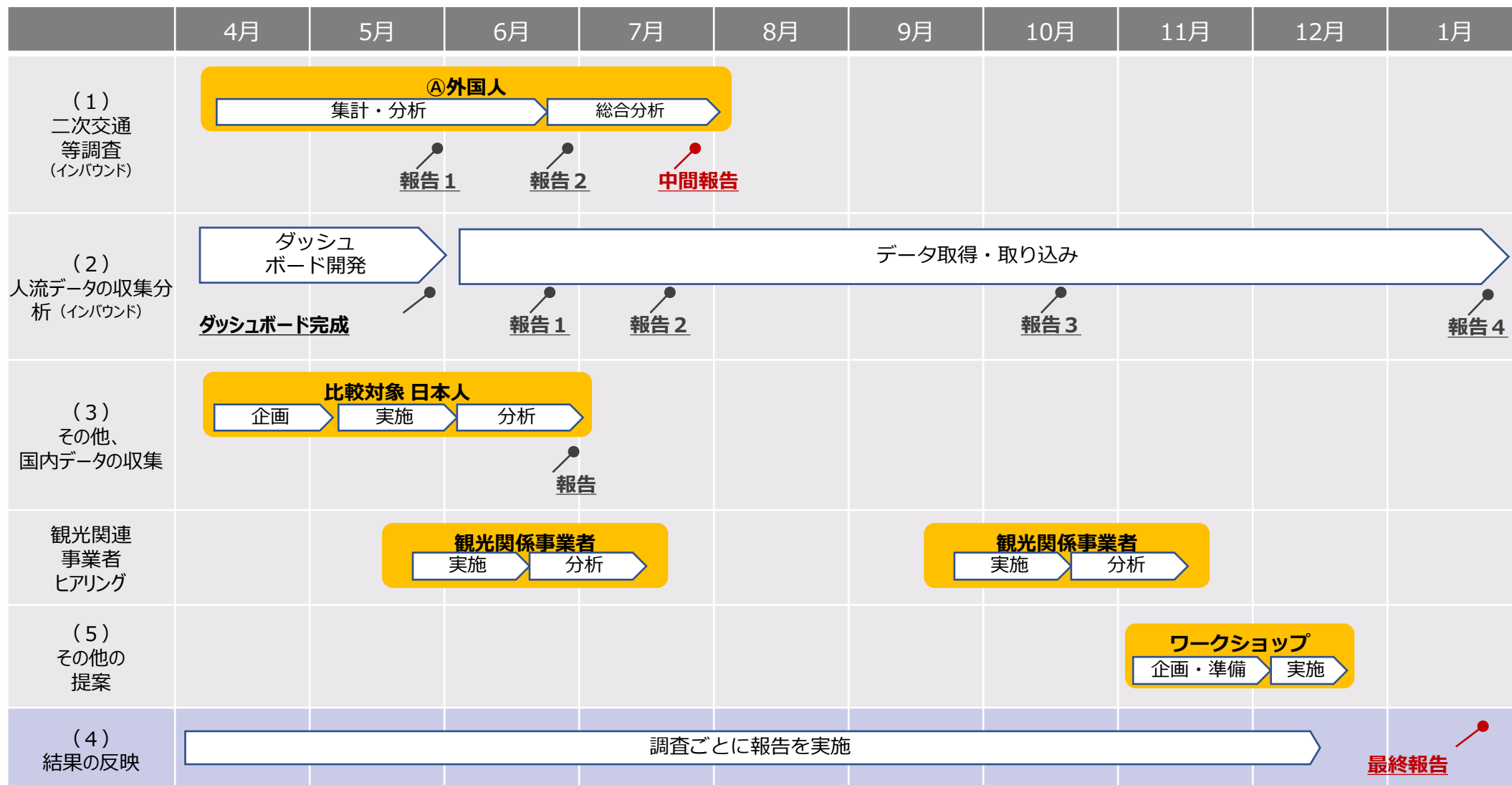
× 北海道のアクティビティ、自然、文化



1 事業概要 実施スケジュール

AT関連事業との相乗効果の創出を実現するスケジュールを設計

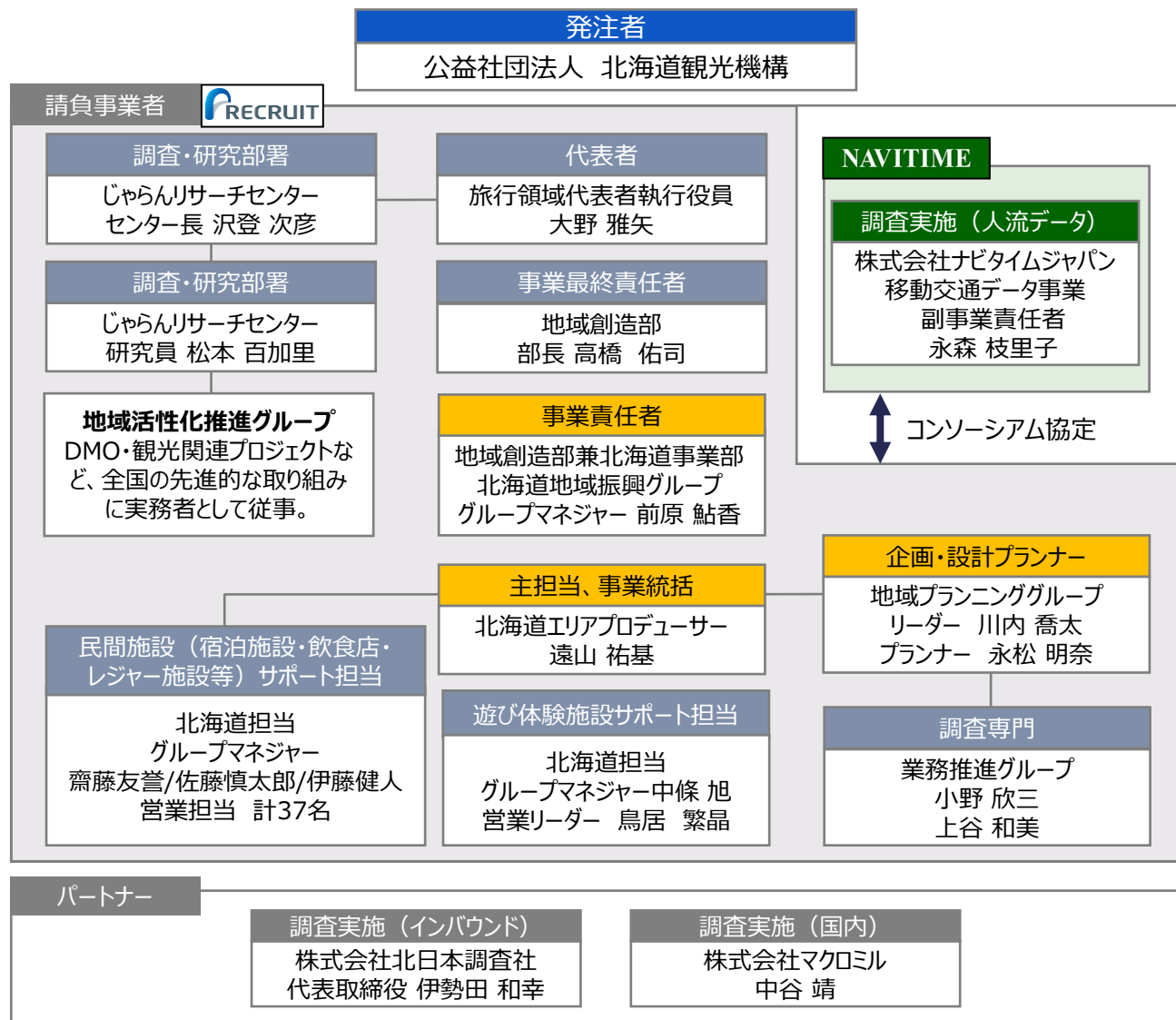
4～6月に（１）アンケート調査、（２）人流データ取得、（３）WEB調査を行い、7月に中間報告を実施した。
5～6月と9～10月に事業者ヒアリングを2回、11～12月にワークショップを1回、1月に最終報告を提出した。



1 事業概要 体制

本事業を確実な成功に導くための実施体制を構築

業務分掌を明らかにし、旅行雑誌『北海道じゃらん』や地元企業とも密に連携をし、本事業に特化した体制で対応した。



名称	役割・責任
発注者	北海道観光機構 事業の最終意思決定権限 事業の全体管理、スケジューラー調整、他の行政機関との調整
請負事業者	弊社事業最終責任者 弊社が提供する納品物全般における品質管理の最終責任者
事業責任者	弊社が執行する事業の進捗・品質に関する責任者
営業統括プロデューサー	弊社が執行する事業の全体設計、各種業務の推進指示、発注者の対面窓口
企画・設計プランナー	事業推進に係る各種調査の設計、課題の抽出及び整理
民間施設サポート担当	宿泊施設、飲食店、レジャー施設等に対する各種働きかけ
遊び体験施設サポート担当	遊び体験施設に対する各種働きかけ
アシスタント	本事業で発生する各種事務対応
株式会社ナビタイムジャパン	位置情報データ収集、整備、レポート作成、データ納品

2 調査の要諦

2 調査の要諦 (1) 二次交通等調査事業（インバウンド） | (3) その他、国内データの収集 ①日本人の来道経験者 ※

仕様書に基づき対応した実施事項

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容を明らかにすべく、設計・実施・分析を一貫して実施した。

実施概要

調査概要

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容の対面調査を実施した。

調査票の設計、作成、翻訳

二次交通とAT体験内容を中心にアンケート調査の設計、調査票の作成・翻訳を行った。

調査の実施

インバウンド：2024年4～6月、道内7つの空港にて個別面接聴取法でアンケート調査を3回実施した。

国内データ：2024年5月、webにてアンケート調査を実施した。

調査結果の分析

調査結果の分析・整理を行い、調査結果を7月に中間報告として提出した。

※ (1) 二次交通など調査事業（インバウンド）、(3) その他、国内データの収集 は実施項目が同一であるため、並列で比較できるよう実施項目と調査結果を再形成した。

2 調査の要諦 (1) 二次交通等調査事業 (インバウンド)

市場ごと（北米、オセアニア、欧州、日本）に整理した調査結果

北米は、パートナーとゆったり周遊旅を行う傾向が高く、またリゾート滞在や本格的なAT実施の意向度が高く見られた。

調査結果

北米（アメリカ、カナダ）

■回答者情報

10,20代・30代が同率21.5%で最多、60代以上が28%

夫婦・パートナー

年収は中間層～高所得層

平均宿泊数は6.6日と相対的に多い

■消費額

道内宿泊費：11.1万円

道内交通費：3.3万円

■交通について

入道起点：新千歳空港（81%）が多く、地方空港は8%程度、北海道新幹線・新函館北斗駅（11%）と続く

目的地：札幌（17%）、小樽（13%）、富良野・美瑛（12%）、函館（10%）と続く

来道初日の交通手段：鉄道（32%）、レンタカー（30%）が多く、バス（11%）は相対的に低い

情報入手：旅マエは動画サイト・クチコミ比較サイト・SNSも多く、旅ナカは無料パンフレットや動画サイト、クチコミ比較サイトが多い

■ATについて

人気コンテンツ：実施率はウォーキング、ハイキング、文化・地域交流、野生動物観察と続く。ウォーキングの割合が比較的高い

独自の傾向：数は少ないが、知床や函館等で本格的なATコンテンツ（トレッキング、サイクリング等）の体験実施の傾向がある

自由回答：「多くの案内や説明があった」、「良い自転車を借りるオプションがほしい」、「美しい田園地帯とよく整備された道路」等

2 調査の要諦 (1) 二次交通等調査事業 (インバウンド)

市場ごと（北米、オセアニア、欧州、日本）に整理した調査結果

オセアニアは、シティライフ・ナイトライフ（グルメ・お酒）が中心であり、道央圏へ滞在が集中する傾向が見られた。

調査結果

オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）

■回答者情報

10,20代が31.1%、50代が20.5%と続く

夫婦・友人が多い

年収が最も高い

平均宿泊数は5.2日と相対的に短い

■消費額

道内宿泊費：8.9万円

道内交通費：2.8万円

■交通について

入道起点：新千歳空港（84%）が多く、函館（3%）・旭川（3%）等地方空港は7%

目的地：札幌（17%）、小樽（14%）、旭川（6%）、登別（5%）と続く

来道初日の交通手段：鉄道（27%）、レンタカー（21%）、バス（16%）と続く

情報入手：旅マエは宿泊施設WEBサイトや予約サイト、動画サイトが多く、旅ナカは知人からのクチコミや宿泊施設WEBサイトが多い

■ATについて

人気コンテンツ：実施率はウォーキング、ハイキング、野生動物観察、文化・地域交流、サイクリングと続く。サイクリングの割合が比較的高い

独自の傾向：札幌周辺で夜間に外食している傾向がある

自由回答：「フレンドリーな従業員」、「Google MAPに閉店時間を記載してほしい」、「北海道は何を食べても美味しい」等

2 調査の要諦 (1) 二次交通等調査事業 (インバウンド)

市場ごと（北米、オセアニア、欧州、日本）に整理した調査結果

欧州は、若者を中心に旅行先・旅程を自力で探す人が多く、ナイトタイムコンテンツやキャンプ・温泉・野生動物観察が人気であった。

調査結果

欧州（ドイツ・フランス・イギリスなど）

■回答者情報

10,20代が34.0%と最多、次いで30代が29.9%

夫婦・パートナーもしくは1人旅

年収は中間層が多い

平均宿泊数は6.9日で相対的に多い

■消費額

道内宿泊費：9.8万円

道内交通費：3.3万円

■交通について

入道起点：新千歳空港（72%）が多く、函館（7%）等 地方空港は15%と他圏域より多い

目的地：札幌（20%）、小樽（10%）、旭川（7%）、富良野・美瑛（7%）、登別（6%）と続く

来道初日の交通手段：鉄道（33%）、レンタカー（29%）、バス（16%）と続く *タクシーの利用率が他圏域と比べ最も低い

情報入手：旅マエは宿泊施設WEBサイトや予約サイト、動画サイトが多く、旅ナカは無料パンフレットや観光協会WEBサイトが多い

■ATについて

人気コンテンツ：実施率はウォーキング、ハイキング、文化・地域交流、野生動物観察と続く。野生動物観察の割合が他圏域と比べ最も高い

独自の傾向：札幌～登別～小樽を周遊し、キャンプや温泉を楽しむ傾向がある

自由回答：「キャンプはロケーションがとても良い」、「温泉はタトゥーが難しい」、「クジラやクマを見られて素晴らしい体験」等

2 調査の要諦 (3) その他、国内データの収集 ①日本人の来道経験者

市場ごと（北米、オセアニア、欧州、日本）に整理した調査結果

日本は、“北海道ならでは”を見つけられることを重要視しており、（欧米豪と比較して）子連れ家族が多い傾向が見られた。

調査結果

日本

■回答者情報

20～70代

子連れ家族旅

年収は中間層が多い

平均宿泊数は2.7日とインバウンド調査と比較して少ない

■消費額

道内宿泊費：1.4万円

道内交通費：1.3万円

■交通関連

入道起点：新千歳空港（70%）が多く、函館空港（7%）、北海道新幹線・新函館北斗駅（4%）、旭川空港（4%）と続く

目的地：札幌（27%）、小樽（10%）、富良野・美瑛（8%）、旭川（5%）、知床（5%）と続く

来道初日の交通手段：レンタカー（45%）、鉄道（27%）、バス（22%）と続く

情報入手：旅マエは旅行会社WEBサイトや宿泊施設WEBサイトが多く、旅ナカはGoogle MAPが多い

■AT関連

人気コンテンツ：実施率はウォーキング、文化・地域交流、野生動物観察と続く。文化・地域交流の割合が比較的高い

独自の傾向：どの体験でも“北海道ならでは”を実感できるものが満足度が高い

自由回答：「冷涼な空気を感じられて気持ちがいい」、「北海道の文化に触れ、知らないことを知ることができた」等

2 調査の要諦 (2) 人流データの収集分析 (インバウンド)

仕様書に基づき対応した実施事項

北海道における欧米豪FIT旅行者の人流データを収集し、動向を分析した。
また、収集したデータをもとに報告レポートの作成を行い、「北海道の観光統計データサイト」に公開した。

実施概要

調査概要

欧米豪を含む全国籍の外国人旅行者のGPSデータを株式会社ナビタイムジャパンのアプリから収集し、データの分析を行った。

収集したデータの分析

収集したデータを、来訪者国籍・月別来訪者数・平均滞在日数・市町村別滞在状況・前後24時間以内の周遊ルートなどの項目ごとに分析を行った。

収集データの活用について

収集したデータをTableau Publicを用いて可視化し、報告書の作成を行った。

収集データの共有について

収集したデータを「北海道の観光統計データサイト」に公開した。

2 調査の要諦 (2) 人流データの収集分析 (インバウンド)

エリアごと・時期ごとに整理した調査結果

エリアを6圏域（道央圏、道南圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏）に分類し、それらを3つの時期ごと（4-6月*、7-9月、10-12月）にデータの収集・分析を行った。

*2024年1-3月データに関しても同タイミングで収集・分析を行った。

調査結果

道央：2月に最も来訪が多く、次いで1月、12月の来訪が多い。札幌の前後は小樽、千歳、登別への滞在が多い。7-9月以外では、余市、倶知安の滞在も多い。札幌市街地、小樽運河、ニセコ、登別など。

道南：10月に最も来訪が多く、次いで12月、4月の来訪が多い。函館市の前後は札幌市での滞在が最も多いが、滞在前は次に北斗市が多い。金森赤レンガ倉庫、函館山、五稜郭、新函館北斗駅など。

道北：1月、2月、6月に来訪が多い。旭川の前後は札幌への滞在が最も多く、旭川滞在前は美瑛、上川へ、旭川滞在後は富良野への滞在が多い。旭川駅、旭山動物園、富良野駅、白金青い池など。

オホーツク：2月、9月の来訪が多い。網走の直前は斜里、直後は札幌市が最も多く、オホーツク圏を観光してから道央に移動する傾向がある。網走駅、博物館 網走監獄、知床斜里駅、道の駅うとろ・シリエトクなど。（2, 5, 8, 9, 10月のみデータ取得）

十勝：1月の来訪が多い。前後は札幌、千歳、占冠、富良野への滞在が見られた。星野リゾートトマム、サホロリゾートスキー場など。（1, 2, 3, 5, 8, 9月のみデータ取得）

釧路・根室：2月に最も来訪が多く、次いで9月、5月の来訪が多い。釧路市の前後の滞在場所では、札幌が最も多く、道央から釧路・根室圏域を訪れる旅行者の最初の着地点となっており、その後圏域内を周遊する傾向がある。釧路駅、阿寒湖など。（2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10月のみデータ取得）

2 調査の要諦 (3) その他、国内データの収集 ②道内観光交通関連事業者

仕様書に基づき対応した実施事項

実施内容 (1) ～ (3) の調査結果の報告とともに、道内の観光交通関連事業者にヒアリングを2回実施した。

実施概要

概要

調査で明らかになった客観的事実をもとに事業者の実態を明らかにすべく、ヒアリングを実施し現状を整理した。

2 調査の要諦 (3) その他、国内データの収集 ②道内観光交通関連事業者

整理した調査結果

第1回は、北海道の観光に伴う二次交通の課題や取組内容について、
第2回は、調査結果を踏まえたご意見や要望のヒアリングを実施した。

調査結果

第1回	交通について公共事業に求めること	<ul style="list-style-type: none">・ 訪日外国人に対する標識・交通ルールの整備、周知徹底・ 一次交通と二次交通の接続のための連携強化、情報交換の場の設定・ 乗務員の採用強化、労働環境の改善
	観光について公共事業に求めること	<ul style="list-style-type: none">・ ディスティネーション情報の発信・ 日本の慣習に合わせた滞在ルールの周知徹底・ 二次交通利用促進につながる観光コンテンツ造成のサポート
第2回	インバウンドの実態についての所感	<ul style="list-style-type: none">・ 需要ひっ迫が起こっているが、人手不足やバス不足で十分に対応できているところは少ない・ 国内向けが優先という認識は全体で共通・ 二次交通、特に空港との連携に関する温度感が高い（チャーター便に合わせたバスの運行など）
	交通事業者ヒアリングの中で最も重要視するもの	<ul style="list-style-type: none">・ 交通ルールの徹底・ 荷物対策・ 受入可能な人材の育成
	(今後)実施を希望する事項	<ul style="list-style-type: none">・ 交通事業者間（エアライン・鉄道・レンタカー・バスなど）で情報交換をする場を希望する声が多数・ 一方で、その場を設ける運営事務局の役割が未定

3 業務内容に関する具体的な実施内容： 調査の結果

(1) 二次交通等調査事業（インバウンド）

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 （1）二次交通等調査事業（インバウンド）

仕様書に基づき対応した実施事項

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容を明らかにすべく、設計・実施・分析を一貫して実施した。

実施概要

調査概要

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容の対面調査を実施した。

調査票の設計、作成、翻訳

二次交通とAT体験内容を中心にアンケート調査の設計、調査票の作成・翻訳を行った。

調査の実施

2024年4～6月、道内7つの空港にて個別面接聴取法でアンケート調査を3回実施した。

- ・対象空港は仕様書にある7空港とし、利用客数の格差も考慮して設計をした。
- ・調査対象は、離道時の欧米豪FIT旅行者とした。
- ・基本手法は、英語の会話が可能な調査員を配置し、個別で面接聴取を実施した。
- ・基本手法の補足として、WEB上での回答を可能にする専用サイトを設置した。
- ・謝礼品は、おにぎりハンカチを採用した。

謝礼品
（おにぎり型ハンドタオル）



調査結果の分析

第1回調査を5月下旬、第2回調査を6月下旬に、第3回調査を7月中旬までに実施し、第1～3回分の分析結果をもとに中間報告を作成した。また、7月下旬に中間報告会を実施した。

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 （1）二次交通等調査事業（インバウンド）

仕様書に基づき対応した実施事項

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容を明らかにすべく、設計・実施・分析を一貫して実施した。

実施概要

調査データの扱い

以下の方針に従い、個人情報保護・個人情報の取り扱いに留意した。

方針1：個人情報の利用の目的をできる限り特定し、当該目的の達成に必要な範囲内で適切に取扱います。また、目的外利用を行なわないための措置を講じます。

方針2：個人情報は、適法かつ適正な方法で取得します。

方針3：個人情報は、本人の同意なく第三者に提供しません。

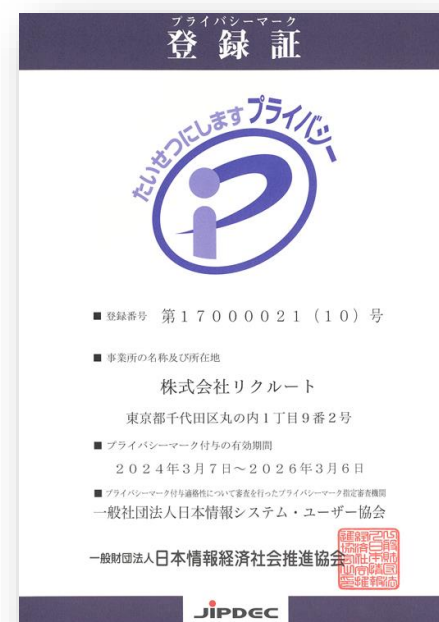
方針4：個人情報の管理にあたっては、漏洩・滅失・毀損の防止及び是正、その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じるよう努めます。

方針5：個人情報の取扱いにあたっては、その情報を提供した本人が適切に関与し得るよう努め、可能な限り正確かつ最新の内容に保つよう努力します。

方針6：個人情報保護に関する法令を遵守し、また個人情報保護に関する社内規程を定め、継続的な見直しを行い遵守します。

方針7：個人情報保護に関する苦情及び相談に対応する窓口を設けて、適切に対応するよう努めます。

弊社プライバシーマーク登録証 ※



3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果（1）二次交通等調査事業（インバウンド）

二次交通等調査事業（インバウンド）の概要

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容を明らかにすべく、設計・実施・分析を一貫して実施した。

調査概要

調査名：欧米豪FIT旅行者調査

時 期：2024年4月27日（土）～6月27日（木） 3ヵ月間に累計28日間の実施

		サ ン プ ル 数	第1期（4月期）			合 計	第2期（5月期）			合 計	第3期（6月期）			合 計
			4 月 2 7 ～ 2 8 日	4 月 2 9 ～ 3 0 日	5 月 1 ～ 2 日		5 月 2 1 ～ 2 4 日	5 月 2 5 ～ 2 8 日	5 月 2 9 ～ 3 1 日		6 月 1 7 ～ 1 9 日	6 月 2 0 ～ 2 3 日	6 月 2 4 ～ 2 7 日	
(実数)														
全体		637	87	25	4	116	73	123	64	260	24	98	139	261
圏 域	北米	244	25	6	2	33	20	49	25	94	7	51	59	117
	オセアニア	149	15	8	0	23	31	27	18	76	1	20	29	50
	欧州	244	47	11	2	60	22	47	21	90	16	27	51	94
箇 所	新千歳空港	550	87	18	0	105	46	117	64	227	0	79	139	218
	地方空港	87	0	7	4	11	27	6	0	33	24	19	0	43

箇 所：新千歳空港、函館空港、旭川空港、稚内空港、帯広空港、釧路空港、女満別空港

手 法：インタビューによる聴取、回答者自記入、WEB回答専用サイト経由の回答

回収数：637件（4月 116件、5月 260件、6月 261件）

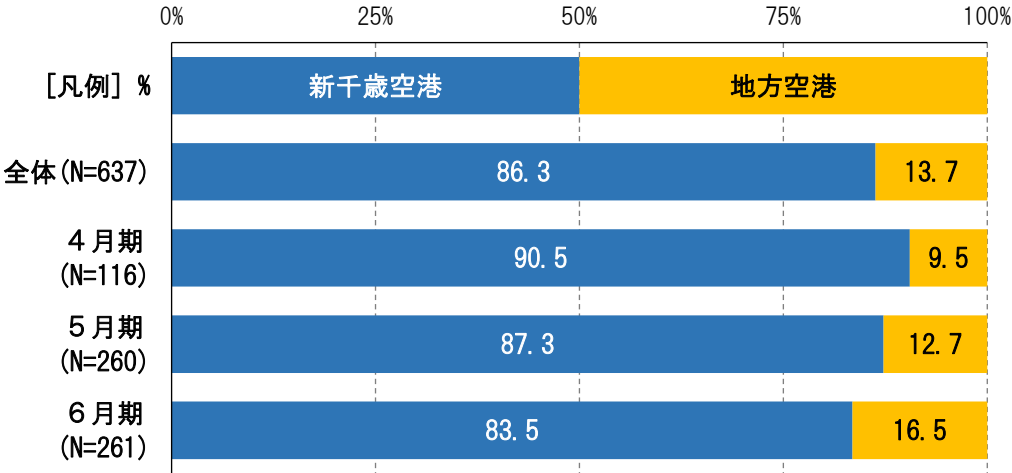
3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果（1）二次交通等調査事業（インバウンド）

二次交通等調査事業（インバウンド）の概要

欧米豪FIT旅行者及び日本人の来道経験者の北海道における交通利用動向とAT体験内容を明らかにすべく、設計・実施・分析を一貫して実施した。

調査概要

実施空港別サンプル構成比（F3）



実施空港別回収サンプル数（F3）

	新千歳空港	地方6空港計	旭川空港	函館空港	帯広空港	釧路空港	女満別空港	稚内空港	合計
(件)									
第1期	105	11	2	4	0	2	3	0	116
第2期	227	33	14	5	3	4	6	1	260
第3期	218	43	12	13	3	3	12	0	261
合計	550	87	28	22	6	9	21	1	637

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 (1) 二次交通等調査事業 (インバウンド)

作成した調査票

二次交通の課題解決、これまでに無い高い付加価値を有したAT旅行商品造成の検討に反映できるような視点に立ち、翻訳版を含む調査票の作成を行った。

Hokkaido Travel Survey April/May/June 2024 Date: _____ Airport: _____
Conducted by: Hokkaido Tourism Organization / Racruit Jala Research Center Kita-Nihon Research TEL 011-232-0227

(1). Please answer the following questions regarding your personal information.

F1 Gender	1 Male	2 Female	3 Other
F2 Age	1 10s 7 70s	2 20s 8 Over 80	3 30s 4 40s 5 50s 6 60s
F3 Citizenship	1 USA 5 Germany 9 New Zealand	2 Canada 6 Italy 10 Other (please specify: _____)	3 UK 7 Spain 8 Australia
F4 Occupation	1 Company/organization employee 4 Self-employed/freelance 7 Unemployed	2 Company manager 5 Agriculture, forestry, fishery worker 8 Other (please specify: _____)	3 Civil servant 6 Student
F5 Family income	1 ~US\$10,000 4 US\$30,001~US\$40,000 7 US\$60,001~US\$70,000 10 US\$90,001~US\$100,000	2 US\$10,001~US\$20,000 5 US\$40,001~US\$50,000 8 US\$70,001~US\$80,000 11 US\$100,001~	3 US\$20,001~US\$30,000 6 US\$50,001~US\$60,000 9 US\$80,001~US\$90,000
F6 Main purpose of this trip (Multiple Answer)	<input type="checkbox"/> Sightseeing <input type="checkbox"/> Enjoying outdoor activities <input type="checkbox"/> Visiting historical sites and cultural facilities <input type="checkbox"/> Cultural and community exchange <input type="checkbox"/> Shopping, dining, and attending events 2 Business and sightseeing (including participation in conferences / meetings) 3 Visiting relatives, friends, and acquaintances 4 Other (please specify: _____)		
F7 Travel companion	1 Traveling alone 2 Couple 3 Family trip, with children 4 Family trip, with parents and/or siblings 5 Family trip, with other relatives 6 Friends/acquaintances 7 Workplace colleagues or friends 8 Other (please specify: _____)		

(2). Please tell us about your use of transportation.

Q1 On this trip to Japan, did you enter Japan at Hokkaido? (Single Answer)

1 I entered Japan in Hokkaido (i.e. I passed the border control in Hokkaido).
 2 I entered Japan in other prefecture.
 Which airport/port did you pass the border control? Please specify: _____ Airport/Port

Q2 How did you arrive at Hokkaido from your home country or other prefecture in Japan? (Single Answer)

1 Full service carrier	2 Low cost carrier	3 Direct charter flight
4 Cruise ships from your country	5 Railway (Shinkansen)	6 Japan's domestic ferry
7 Other (please specify: _____)		

Q3 Where did you arrive at Hokkaido? (Single Answer)

Airport	1 New Chitose	2 Hakodate	3 Asahikawa	4 Oshima	5 Kushiro
Port	6 Memanbetsu	7 Wakkanai	8 Nakashibetsu	9 Sapporo Okadama	
Shinkansen	10 Hakodate	11 Muroran	12 Tomakomai	13 Otaru	
Other	14 Kikonai	15 New Hakodate Hokuto			
16 Other (please specify: _____)					

Q4 Where did you stay on the first night of your trip? _____

Q5 Which method of transportation did you use to get the place you stayed for the first night? (Multiple Answer)

1 Railway	2 Bus	3 Rent-a-car	4 Taxi/Ride-hailing service
5 Your own bicycle	6 Rental bike	7 A friend or acquaintance drove me here.	
8 Inter-Hokkaido flight	9 Other (please specify: _____)		

Q6 How was your experience with transportation to there? SQ Why did you feel that way?

1 Good	2 Average	3 Not good.
--------	-----------	-------------

Q7 What is your next destination? _____

Q8 Which method of transportation do you use to get your next destination? (Multiple Answer)

1 Railway	2 Bus	3 Rent-a-car	4 Taxi/Ride-hailing service
5 Your own bicycle	6 Rental bike	7 A friend or acquaintance drove me here.	
8 Inter-Hokkaido flight	9 Other (please specify: _____)		

Q9 How was your experience with transportation to there? SQ Why did you feel that way?

1 Good	2 Average	3 Not good.
--------	-----------	-------------

(3). Please tell us about the main tourist destinations and places of stay within Hokkaido.

1 Rixiri-Rebun 2 Wakkanai(Wakkanai Airport) 3 Esashi-Okoppe
 4 Mombetsu (Okhotsk Mombetsu Airport)
 5 Lake Saroma 6 Abashiri
 7 Kitami-Memambetsu (Memambetsu Airport)
 8 Takinone 9 Shiratoko 10 Lake Kushiro-Kawayu-Lake Mashu
 11 Lake Akan-Lake Onneto

18 Nayoro 19 Bihuka-Otoineppu 20 Horikawa 21 Horonobe 22 Haboro 23 Teuri-Yagisiri 24 Rumoi-Masike 25 Asahikawa (Asahikawa Airport) 26 Takikawa-Sunagawa 27 Furano-Biei 28 Tomamu 29 Yubari 30 Sapporo 31 Jozankei 32 Otaru 33 Naganuma-Yuni 34 Shakotan 35 Yoichi 36 Niseko-Kutchan 37 Chitose (New Chitose Airport) 38 Tomakomai 39 Noboribetsu-Shiraoi 40 Muroran 41 Lake Toya 42 Rusutsu-Kyogoku 43 Oshima-Yakumo 44 Onuma (ShinHakodate-Hokuto station) 45 Hakodate 46 Kikonai 47 Esashi 48 Okushiri 49 Hidaka-Niikappu 50 Erimo-Samurai

12 Notsuke Peninsula-Betsukai (Nakashibetsu Airport) 13 Nemuro 14 Kushiro 15 Obihiro-Tokachigawa 16 Nakasatsumai (Koufuku Station Obihiro Airport) 17 Taisetsuzan-Sounkyo

Q10 Please provide the names of the main tourist destinations you visited on this trip, or indicate the numbers corresponding to the locations on the map. For example: Niseko or (No. 36)

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

Q11 How many nights did you stay in Hokkaido? _____ night(s)

Q12 Please provide the name of the region/city/tourist destination where you stayed, or indicate the corresponding number on the map.

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 (1) 二次交通等調査事業（インバウンド）

作成した調査票

二次交通の課題解決、これまでに無い高い付加価値を有したAT旅行商品造成の検討に反映できるような視点に立ち、翻訳版を含む調査票の作成を行った。

Please tell us about the transportation you used to get to this airport.

Q13 Where did you stay last night?

Q14 How did you get to the airport from the place where you stayed last night? (Multiple Answer)

1 Railway 2 Bus 3 Rent-a-car 4 Taxi/Ride-hailing service
5 Your own bicycle 6 Rental bike 7 A friend or acquaintance drove me here.
8 Other (please specify:)

Q15 How was your experience with transportation to the airport? SQ. Why did you feel that way?

1 Good 2 Average 3 Not good.

Q16 How did you feel the convenience of transportation while traveling in Hokkaido?

1 Very good 2 Quite good 3 Average 4 Slightly inconvenient 5 Very inconvenient

SQ (If you answered 4 or 5) Please tell us specifically what you found inconvenient. (Feel free to elaborate)

Q17 Did you use taxis/ride-hailing services, rental cars, or buses in Hokkaido? Please provide reasons for not using each of them, if applicable.

	Did you use them?	Reasons for not using them (Multiple Answer)
(a). Taxis/ Ride-hailing services	1 Yes 2 No	1 Because of lack of information or difficulty in understanding. 2 Because it didn't fit the budget. 3 Because it didn't fit into the itinerary. 4 Because I couldn't make a reservation. 5 Because of the difficulty in communicating in a foreign language. 6 Because of safety concerns. 7 Other (please specify:)
(b). Rental cars	1 Yes 2 No	1 Due to lack of information or difficulty in understanding. 2 Because it didn't fit the budget. 3 Because it didn't fit into the itinerary. 4 Because I couldn't make a reservation. 5 Because of concerns about lack of foreign language signs or navigation. 6 Because I don't have a driver permit 7 Other (please specify:)
(c). Buses	1 Yes 2 No	1 Due to lack of information or difficulty in understanding. 2 Because it didn't fit the budget. 3 Because it didn't fit into the itinerary. 4 Because I couldn't make a reservation. 5 Because of the difficulty in communicating in a foreign language. 6 Because of safety concerns. 7 Other (please specify:)

(4). Please tell us about experience-based activities such as "Adventure Travel (AT)."

Q18 Which of the following AT activities your experience for this time? (Multiple Answer)

1 Climbing 2 Hiking 3 Trekking 4 Walking 5 Cycling 6 Mountain biking
7 Rafting 8 Canoeing 9 Kayaking 10 Fishing 11 SUP 12 Wildlife observation
13 Cultural and community exchange 14 Other (please specify:)

Q19 We'd like to inquire a bit more about the activities you experienced during your trip to Hokkaido. Please respond to questions ① through ③ below. (Multiple Answer)

① Please tell us about the activities you experienced. ② Rate your satisfaction with those activities. ③ Please explain the reasons and provide any suggestions for improvement.

▼ (Multiple Answer) ▼

(a) 1 Good 2 Average 3 Not good. Why did you feel that way? Areas for Improvement

(b) 1 Good 2 Average 3 Not good. Why did you feel that way? Areas for Improvement

(c) 1 Good 2 Average 3 Not good. Why did you feel that way? Areas for Improvement

Q20 Did you use an "AT Guide" in Hokkaido?

1 Yes 2 No

SQ 1. Please rate your satisfaction 4 Dissatisfied 5 Very dissatisfied
2 Satisfied 3 Average

SQ 2. Reasons for feeling that way (Please elaborate freely)

SQ 3. Reasons for not using an "AT Guide" (Multiple Answer)

1 I did not know that guides were available.
2 There was no information available.
3 It didn't fit the budget.
4 There were no parts of the trip that required a guide.
5 The activities didn't require a guide.
6 Other (Please specify:)

Q21 If your ideal activity were to be realized, how much would you be willing to spend in Hokkaido Per person?

Yen/1 person

(5). Please tell us about the places where you collected information and your consumption

Q22 What is the reason for this trip? (Multiple Answer)

1 Because Covid-19 has almost come to an end. 2 Because the Japanese Yen has depreciated significantly.
3 Because Hokkaido is a buzz around social media. 4 Because there was an event in Hokkaido that I wanted to participate in.
5 Because I had seen and heard about Hokkaido on TV, radio, magazines or newspapers.
6 Because there was a tourism event related to Japan or Hokkaido at my place.
7 Other (please specify:)

Q23 What information did you refer to for your trip to Japan/Hokkaido this time? (Please answer for both a) and b).

	(a). Information referred to before coming to Japan	(b). Information referred to after arriving in Hokkaido
1 Websites of travel agencies	1	1
2 Websites of hotels	2	2
3 Websites of airlines	3	3
4 Websites of tourism organizations	4	4
5 Booking sites (Viator/Get Your Guide/Expedia/Airbnb/ITB etc.)	5	5
6 Review and comparison websites (such as TripAdvisor)	6	6
7 SNS (such as Facebook/Twitter)	7	7
8 Video sites (such as YouTube/Instagram)	8	8
9 Personal blogs	9	9
10 TV	10	10
11 Magazines	11	11
12 Newspapers	12	12
13 Free brochures	13	13
14 Journey exhibitions	14	14
15 Comments of family members or friends	15	15
16 Other (please specify:)	16	16
17 N/A	17	17

(a). Which one was most useful? (b). Which one was most useful?

No. No.

Q24 How much did you spend in Hokkaido? (Including the payments made in both cash and credit card)

(1) Accommodation (including money spent in the restaurant inside the hotel) (2) Transportation (train, bus, taxi, rent-a-car, etc.)

Yen/1 person Yen/1 person

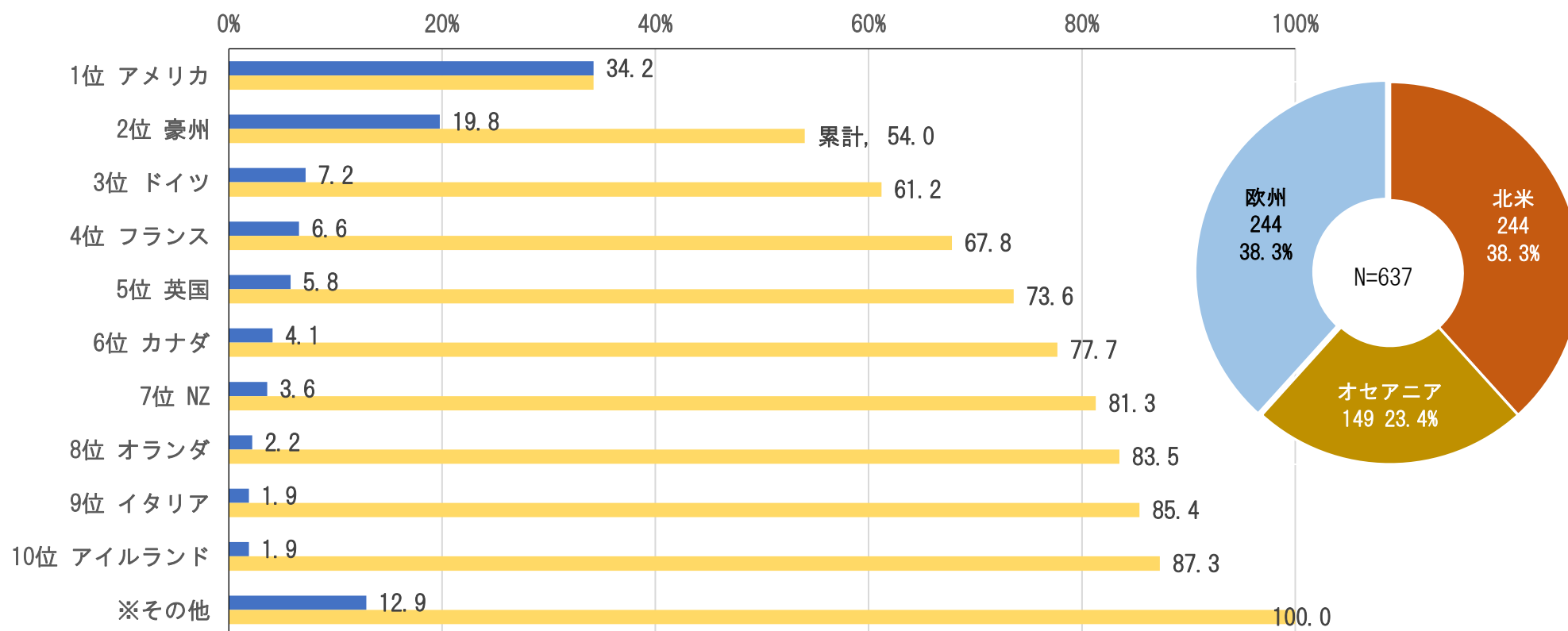
Thank you for your cooperation! We wish you a pleasant journey.

1 回答者属性 ①国別サンプル構成

欧米豪全体

- 1/3がアメリカ（34%）で、オーストラリア（20%）が続く
- アメリカとカナダ（4%）の北米が4割近く
- オーストラリアとニュージーランド（4%）のオセアニアが合計24%
- 欧州も4割を占める。ドイツ、フランスが各7%前後、オランダ、イタリアが各2%前後を占める
- 下図の上位10カ国以外に21カ国からの来道があった

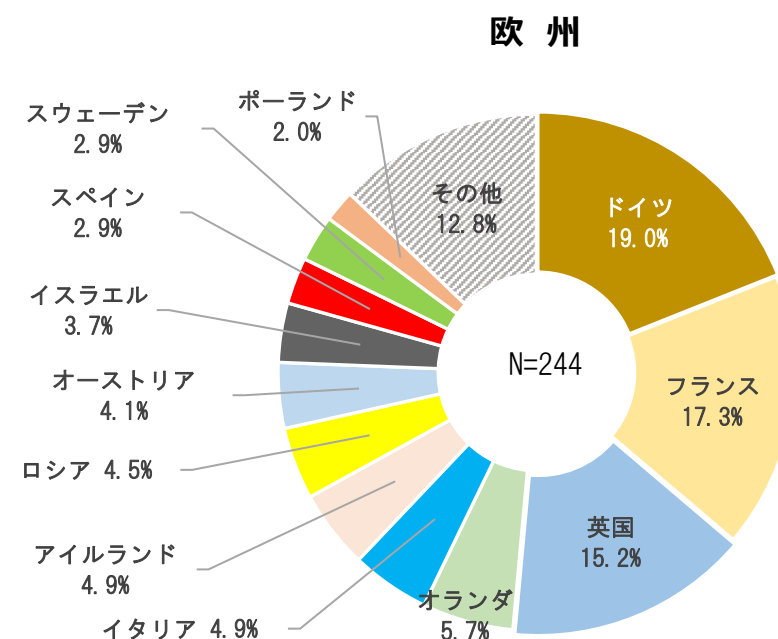
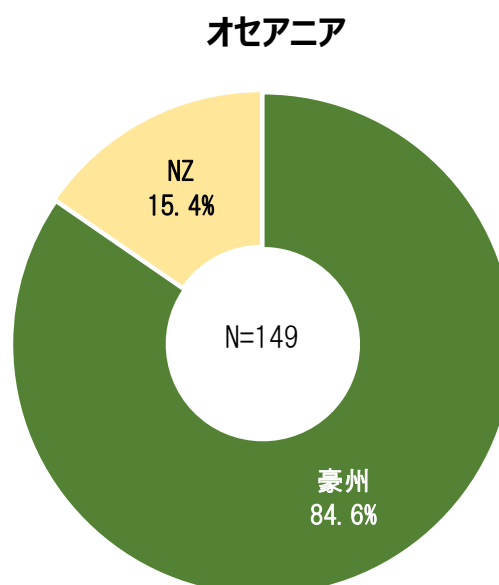
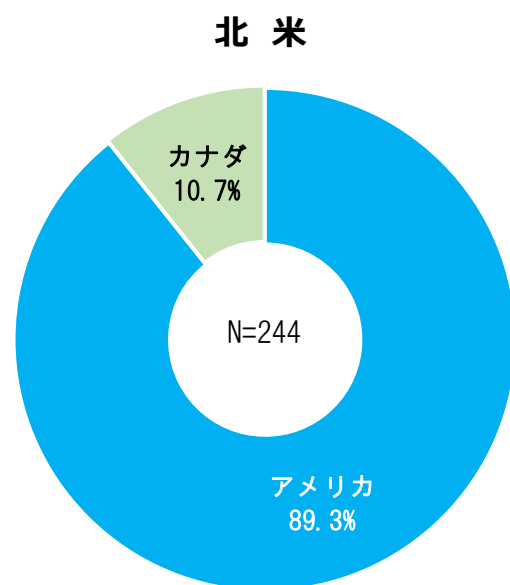
国別サンプル構成（F3）



1 回答者属性 ①国別サンプル構成

北米	● アメリカが9割を占める。カナダが1割
オセアニア	● オーストラリア（85%）が多く、ニュージーランド（15%）が続く
欧州	● ドイツ（19%）、フランス（17%）、英国（15%）が続く ● オランダ（6%）、イタリア（5%）を合わせた5カ国で計6割

各圏域の国別構成（F3）



※実数からの作図なので、左下表と微小な差異あり

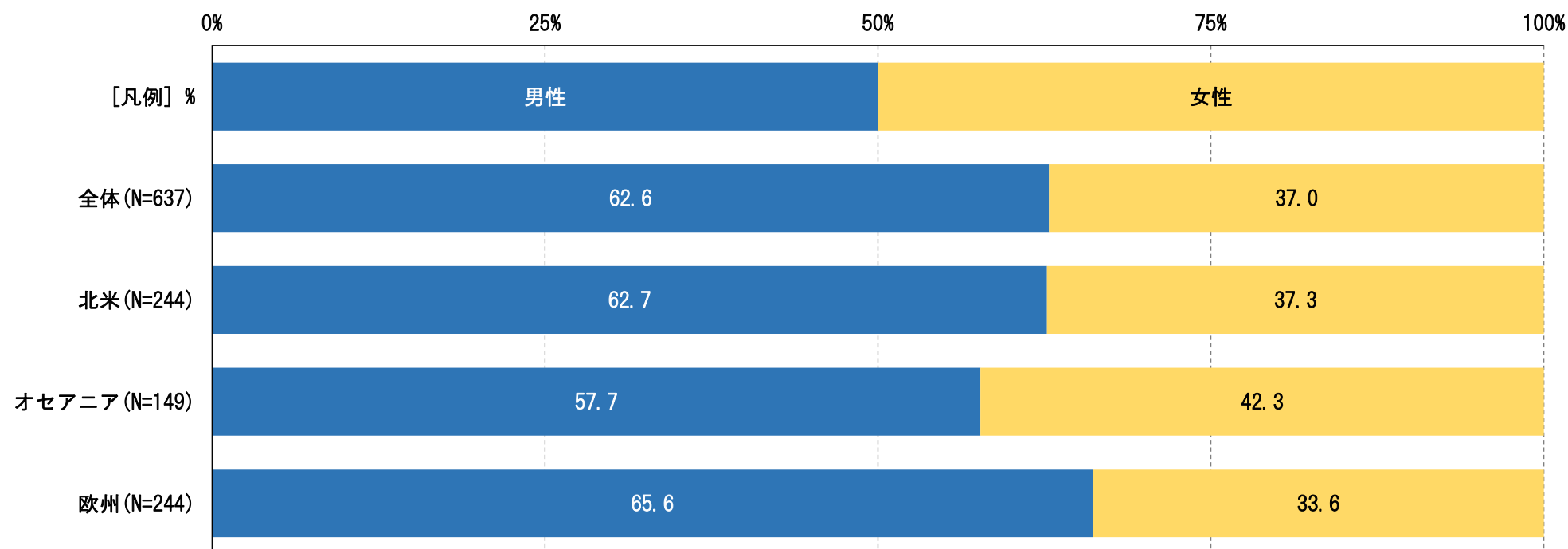
北米 (N=244)	アメリカ	カナダ
	89.3	10.7
オセアニア (N=149)	豪州	NZ
	84.6	15.4

欧州 (N=244)	ドイツ	フランス	英国	オランダ	イタリア	アイルランド	ロシア	オーストリア	イスラエル	スペイン	スウェーデン	ポーランド	その他
	18.9	17.2	15.2	5.7	4.9	4.9	4.5	4.1	3.7	2.9	2.9	2.0	12.8

1 回答者属性 ②性別構成

欧米豪全体	● 男性（63%）と女性（37%）
北米	● 男性（63%）と女性（37%）
オセアニア	● 男性（58%）と女性（42%）で、他圏域より女性比率が多い
欧州	● 北米、オセアニアより男性（66%）比率が多く、女性（34%）が少ない

圏域別の性別構成（F1）



1 回答者属性 ③年代構成

欧米豪全体

- 10,20代（30%）が最多で、30代（24%）を含め、若い層が半数を占める
- 50代（17%）も多く、60代以上（計16%）も同程度存在

北米

- 10,20代（31%）が最多で、50代（21%）が続く
- 他圏域より30代（19%）が少ない

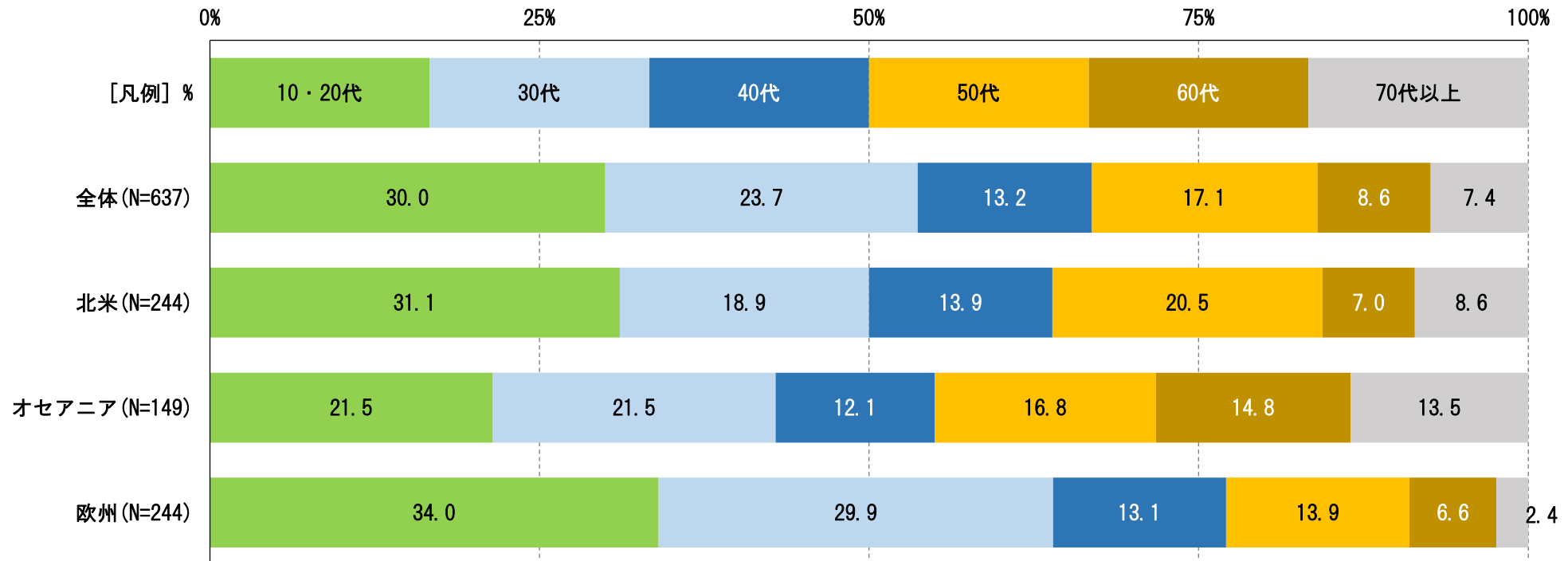
オセアニア

- 他圏域より10,20代（22%）が少なく、60代以上（計28%）が多い

欧州

- 他圏域より10,20代（34%）、30代（30%）の若い層が多い
- 60代以上（計9%）が少ない

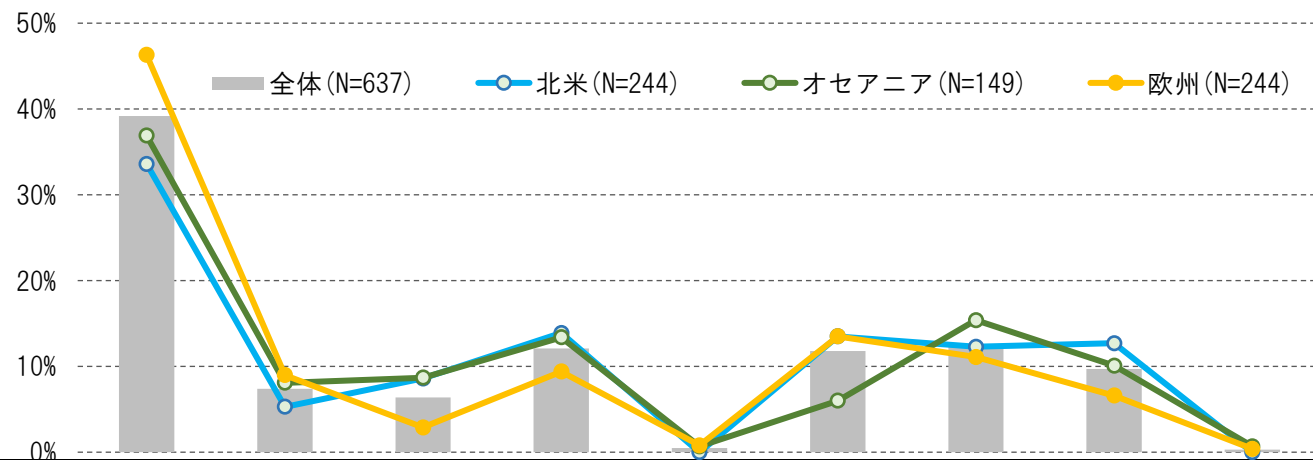
圏域別の年代構成（F2）



1 回答者属性 ④職業構成

欧 米 豪 全 体	<ul style="list-style-type: none"> ● 会社員・団体職員（39%）、公務員（6%）を合わせると半数弱はサラリーマン ● 自営・自由業、リタイア＝無職層、学生がそれぞれ1割程度いる
北 米	<ul style="list-style-type: none"> ● 会社員・団体職員（34%）が最多 ● 学生（14%）、その他＝医者、教授等（13%）が他圏域より多い
オ セ ア ニ ア	<ul style="list-style-type: none"> ● 会社員・団体職員（37%）が最多 ● リタイア＝無職層（15%）が他圏域より多い
欧 州	<ul style="list-style-type: none"> ● 他圏域より会社員・団体職員（46%）が多く、公務員（3%）と合わせ半数 ● 学生（14%）は多い

圏域別の職業構成（F4）



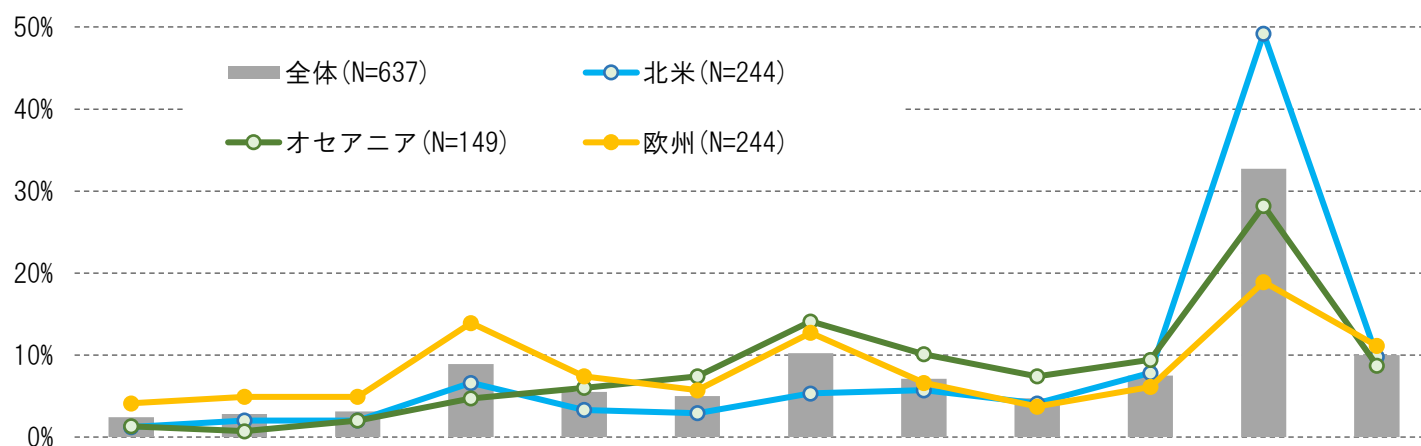
	サンプル数	会社員・団体職員	会社役員	公務員	自営・自由業	農林漁業	学生	無職	その他	無回答
全体 (%)	637	39.2	7.4	6.4	12.1	0.5	11.8	12.6	9.7	0.3
北米	244	33.6	5.3	8.6	13.9	0.0	13.5	12.3	12.7	0.0
オセアニア	149	36.9	8.1	8.7	13.4	0.7	6.0	15.4	10.1	0.7
欧州	244	46.3	9.0	2.9	9.4	0.8	13.5	11.1	6.6	0.4

1 回答者属性 ⑤年収構成

※US 1ドル=150円で換算

欧米豪全体	● 1/3は年収1,501万円超（33%）
北米	● 半数は年収1,501万円超（49%）で、欧米豪市場で最も年収が高い
オセアニア	● 3割は年収1,501万円超（28%）で、2割は901～1,200万円（計24%）
欧州	● 1,501万円超（18%）は他圏域と比べて少なく、451～600万円層が比較的多い

圏域別の年収構成（F5）

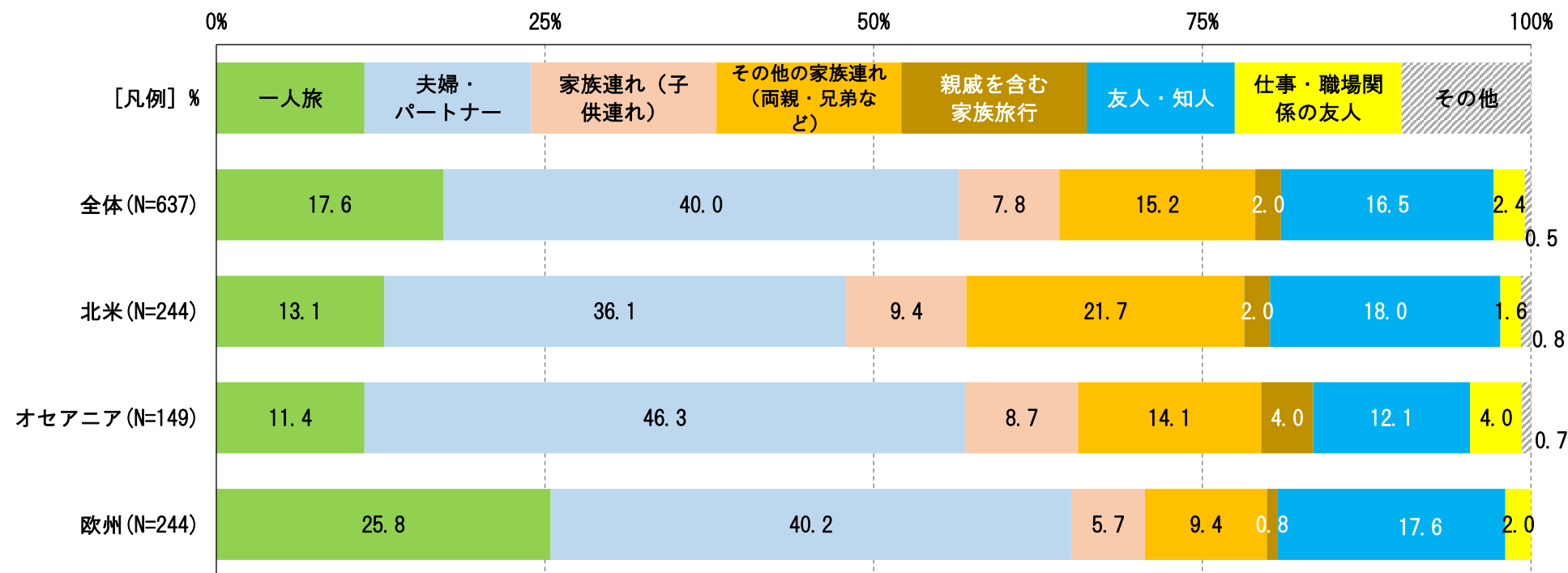


	サンプル数	150万円以下	150-350万円	350-450万円	450-650万円	650-750万円	750-950万円	950-1100万円	1100-1250万円	1250-1350万円	1350-1500万円	1500万円超	N A
(%)													
全体	637	2.4	2.8	3.1	8.9	5.5	5.0	10.2	7.1	4.7	7.5	32.7	10.0
北米	244	1.2	2.0	2.0	6.6	3.3	2.9	5.3	5.7	4.1	7.8	49.2	9.8
オセアニア	149	1.3	0.7	2.0	4.7	6.0	7.4	14.1	10.1	7.4	9.4	28.2	8.7
欧州	244	4.1	4.9	4.9	13.9	7.4	5.7	12.7	6.6	3.7	6.1	18.9	11.1

1 回答者属性 ⑥同伴パターン／同伴者

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（40%）が最多。1人旅（18%）も2割近く存在 家族連れは“両親・兄弟等”を中心に計25%
北米	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（36%）が最多 家族連れも“両親・兄弟等”を中心に計33%と他圏域より多い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 半数近くが夫婦・パートナー（46%）と他圏域より多い 1人旅（11%）は少なく、家族連れ（計27%）も他圏域より少ない
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（40%）が最多だが、1人旅（26%）も多い 家族連れ（計16%）は少ない

圏域別の同伴パターン（F7）

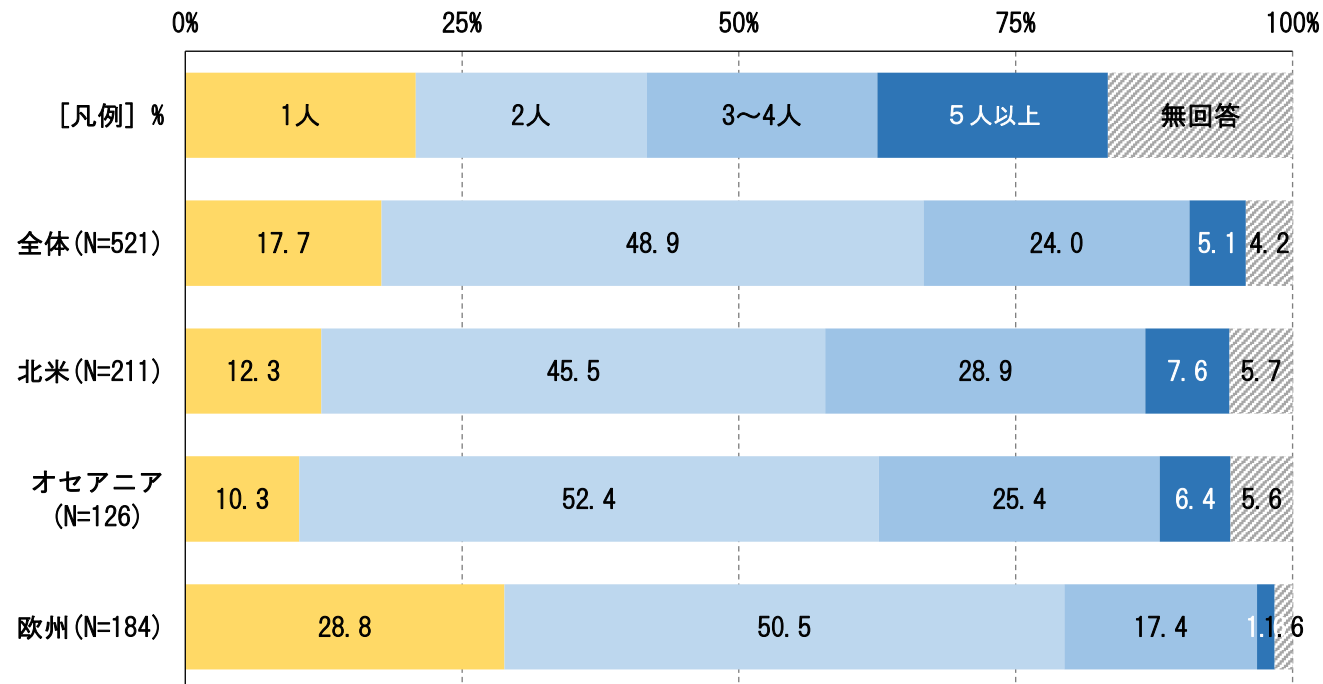


1 回答者属性 ⑥同伴パターン／同伴人数

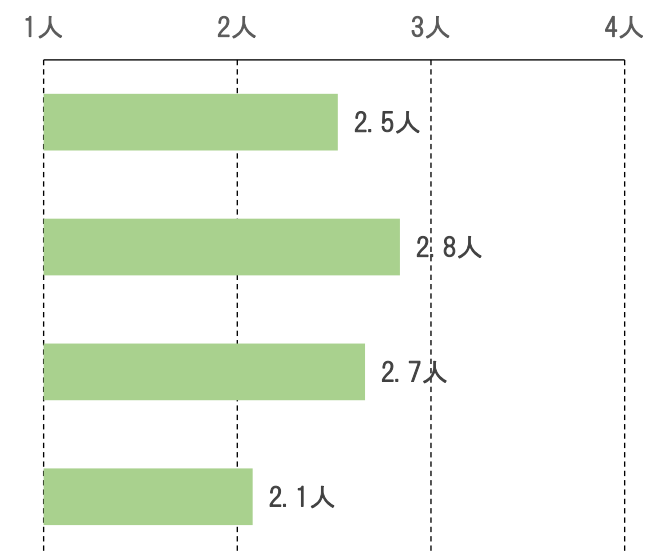
※同伴人数は5～6月のみ調査

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー中心のため、人数も半数は2人（49%）。5人以上（5%）は少ない 平均人数は2.5人
北米	<ul style="list-style-type: none"> 2人（46%）が最多だが、3～4人（29%）は他圏域より多い 平均人数は2.8人
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 半数が2人（52%）で平均人数は2.7人
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 半数は2人（51%）だが、1人旅（29%*）も多い *同伴パターンでの1人旅は26%で、ここでは誤答があったものと推察 平均人数は2.1人で、他圏域より少ない

圏域別の同伴人数（F7）



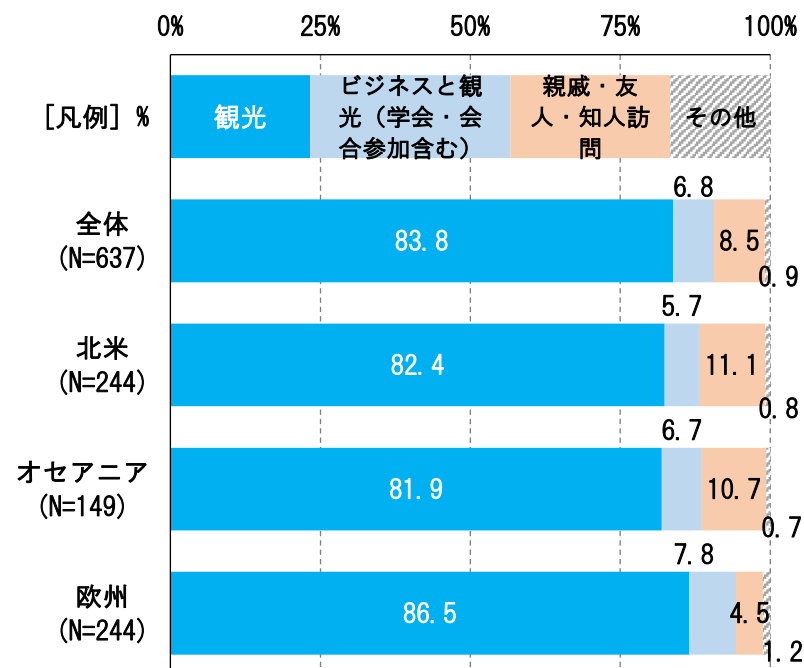
平均（人）



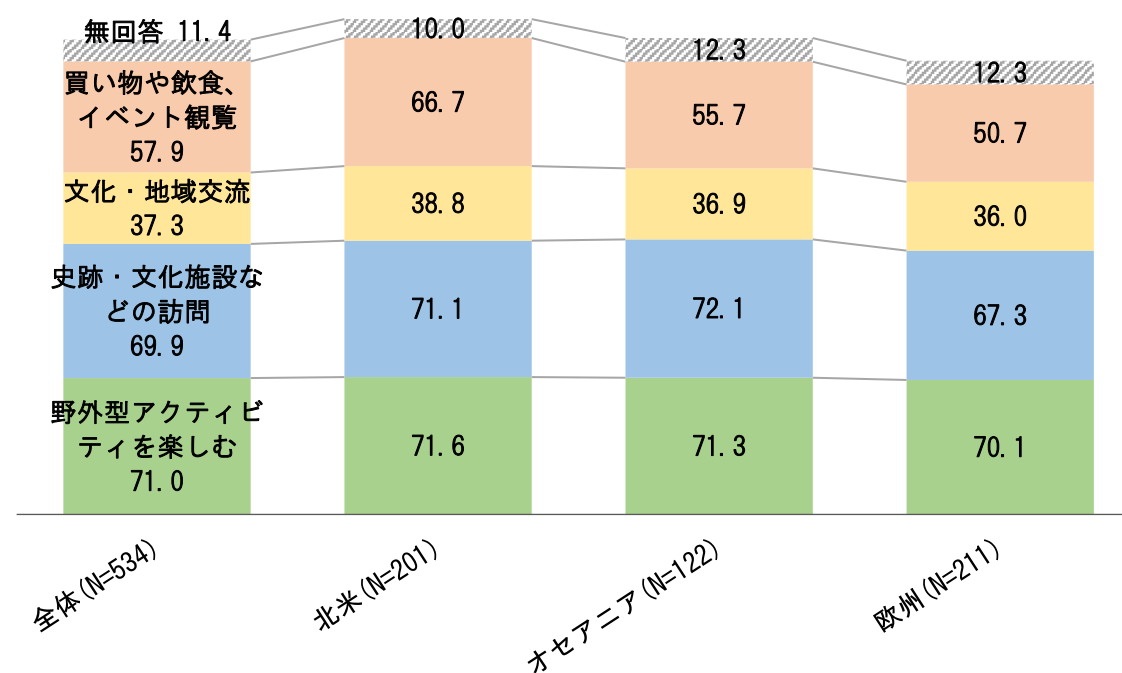
1 回答者属性 ⑦来道目的

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> 観光（84%）とビジネス兼観光（7%）を合わせて91% 観光内容は野外アクティビティ（71%）と史跡・文化施設訪問（70%）が拮抗
北米	<ul style="list-style-type: none"> 観光（82%）とビジネス兼観光（6%）を合わせて88% 観光内容は野外アクティビティ（72%）と史跡・文化施設訪問（71%）が拮抗 買い物・飲食・イベント観覧（67%）が他圏域より多い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 観光（82%）とビジネス兼観光（7%）を合わせて89% 観光内容は史跡・文化施設訪問（72%）と野外アクティビティ（71%）が拮抗
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 観光（87%）が他圏域より多く、ビジネス兼観光（8%）を合わせて95% 観光内容は野外アクティビティ（70%）と史跡・文化施設訪問（67%）が拮抗

圏域別の旅行目的（F7）



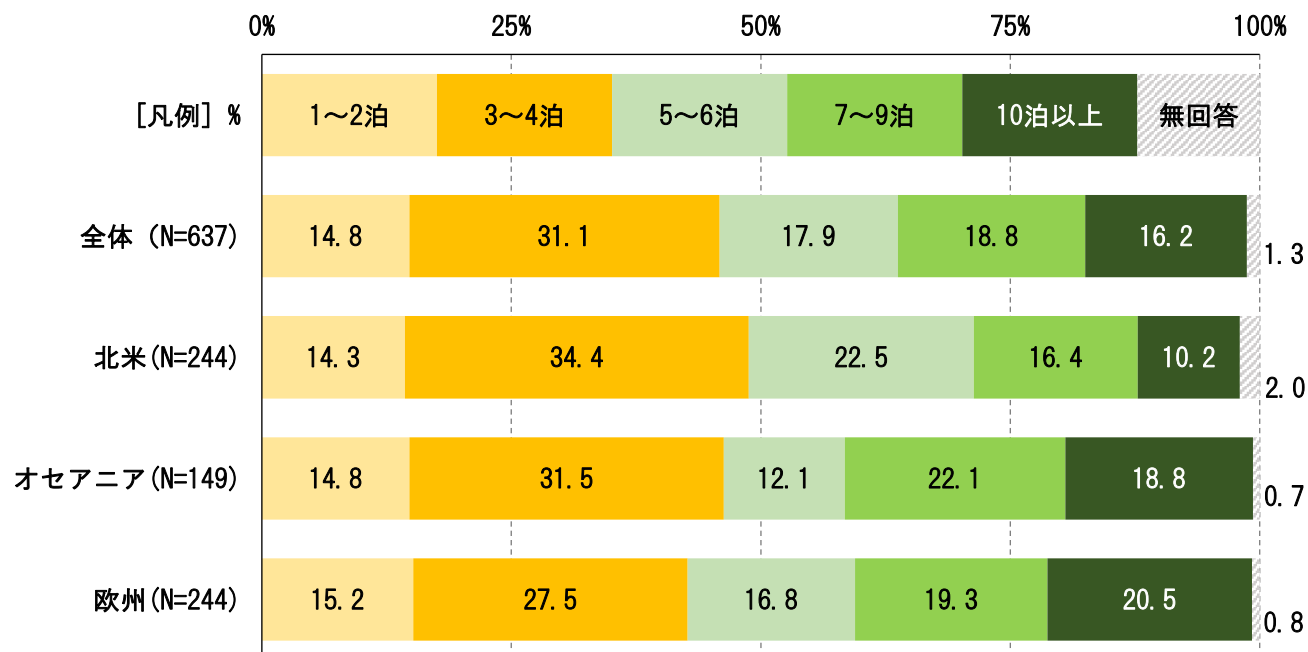
圏域別の主な観光内容（F7観光回答者 = N=534）



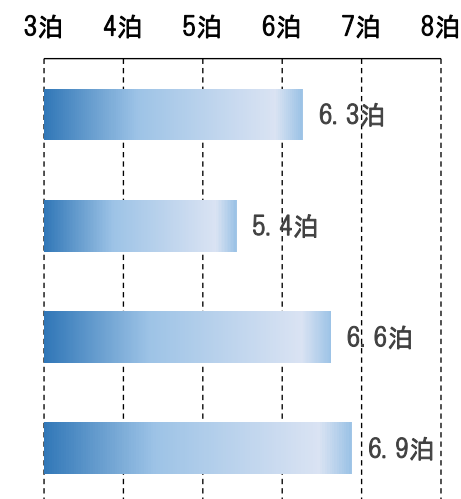
1 回答者属性 ⑧道内宿泊日数

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 3～4泊（31%）が最多。10泊以上（16%）は2割未満 ● 平均6.3泊
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 3～4泊（34%）が最多。他圏域より5～6泊（23%）が多く、10泊以上（10%）は少ない…平均5.4泊は他圏域より少ない
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 3～4泊（32%）が最多。他圏域より7～9泊（22%）が多く、10泊以上（19%）も2割程度と多い…平均6.6泊
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 3～4泊（28%）が最多だが、他圏域に比べると少ない ● 10泊以上（21%）や7～9泊（20%）が多い…平均6.9泊と他圏域より長い

圏域別の道内宿泊日数（Q11）



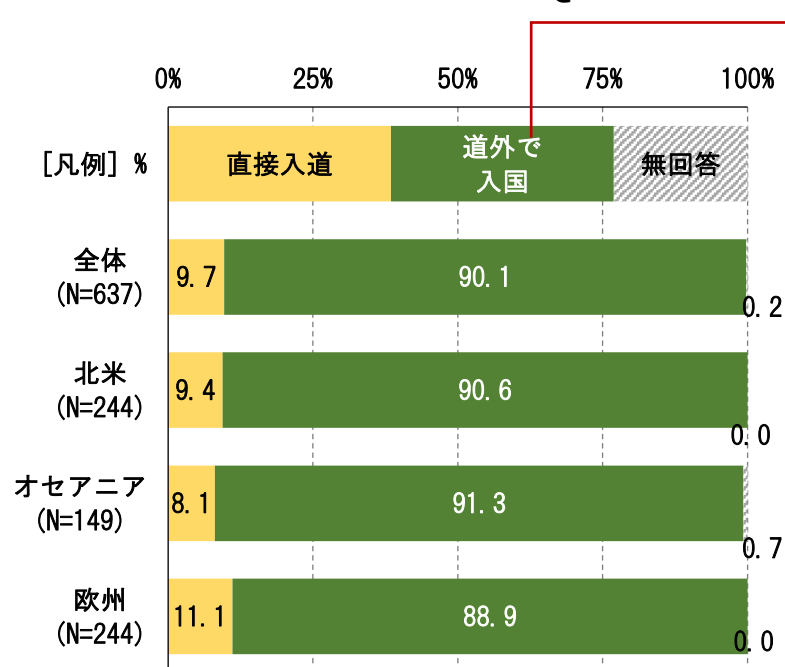
（平均宿泊数）



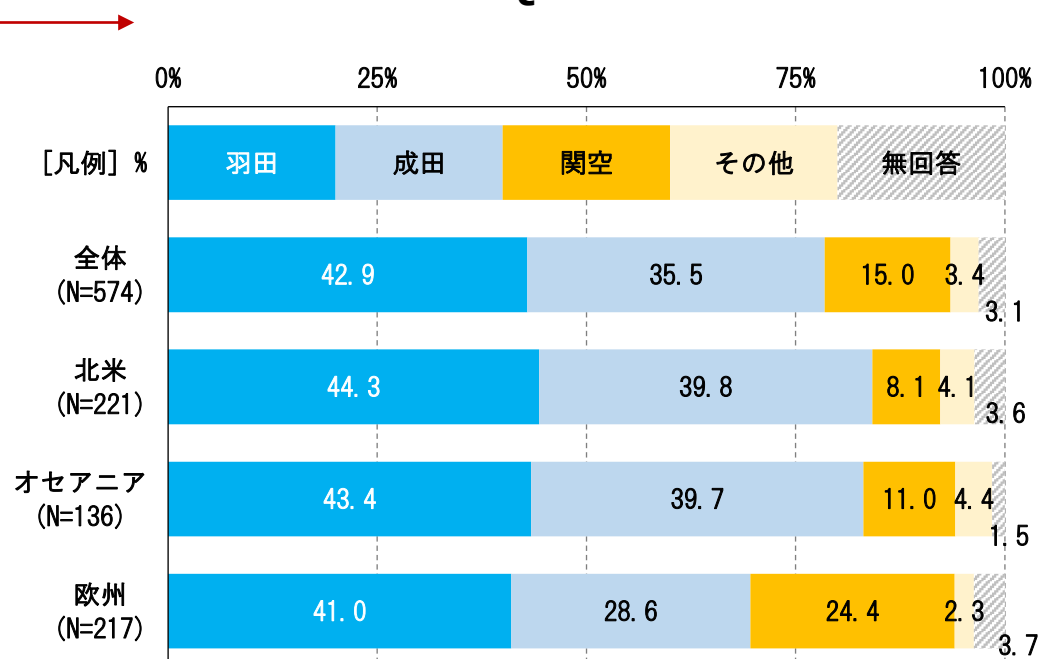
2 来道プロセス ①入国地

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割は道外での入国（90%）…調査時点で道内に欧米豪との直行便は存在せず ● 道外入国は羽田（43%）・成田（36%）が中心で、関空（15%）は少ない ● それでも道内直接入国（10%）は1割存在…アジア路線経由の入国
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割は道外での入国（91%）。入国は羽田（44%）・成田（40%）が中心 ● 道内直接入国（9%）は1割
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割は道外での入国（91%）。入国は羽田（43%）・成田（40%）が中心 ● 道内直接入国（8%）は1割弱
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割は道外での入国（89%）。入国は羽田（41%）・成田（29%）が中心 ● 道内直接入国（11%）は1割…アジア路線経由の直接来道が他圏域より多い

圏域別の入国地（Q1）



圏域別の入国地（Q1道外入国者 = N=574）



2 来道プロセス ②来道交通

欧 米 豪 全 体

- 半数強は航空機／レガシー（55%）で、LCC（28%）より多い
- 鉄道／新幹線（9%）も1割程度ある

北 米

- 6割は航空機／レガシー（59%）で、LCC（26%）が続く…**他圏域よりLCCが少ない**
- 鉄道／新幹線（8%）も1割弱ある

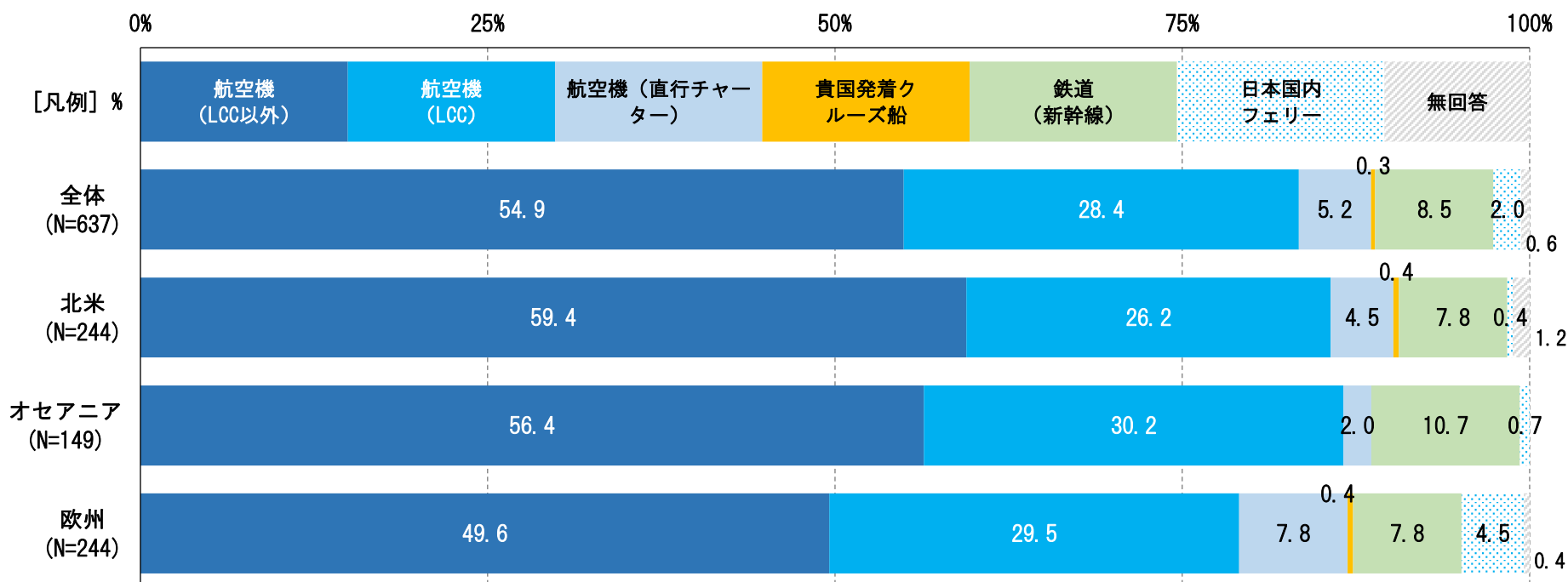
オ セ ア ニ ア

- 半数強は航空機／レガシー（56%）で、LCC（30%）が3割程度
- **鉄道／新幹線（11%）が1割を超え、他圏域より多い**

欧 州

- 半数弱は航空機／レガシー（50%）で、LCC（30%）が続く
- 直行チャーター機（8%）程度ある…4～5月にあった
- 鉄道／新幹線（8%）も1割程度ある

圏域別の入国地（Q1）



2 来道プロセス ③来道起点

欧 米 豪 全 体

- 新千歳空港（79%）が多く、函館（5%）・旭川（2%）等地方空港は1割程度
- 北海道新幹線・新函館北斗駅（9%）も1割ある ※木古内駅はゼロ

北 米

- 新千歳空港（84%）が多く、函館（3%）・旭川（3%）等地方空港は7%
- 北海道新幹線・新函館北斗駅（8%）も1割弱ある

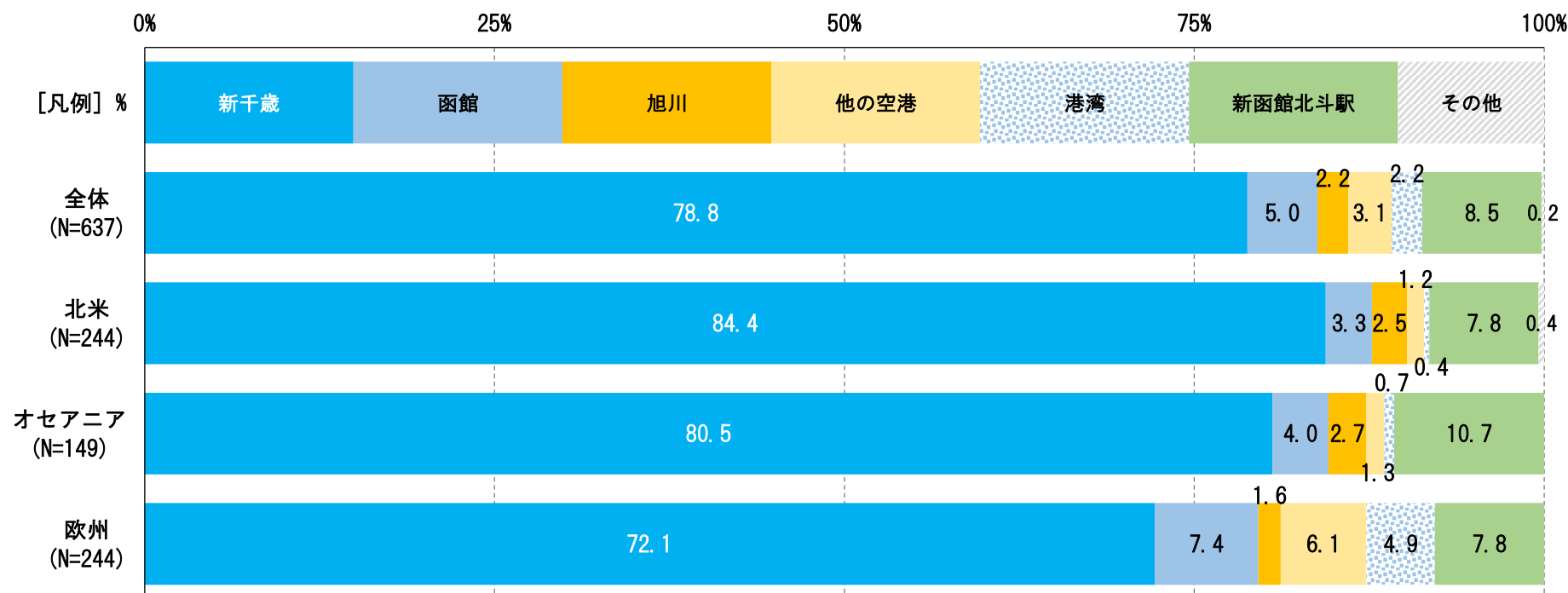
オ セ ア ニ ア

- 新千歳空港（81%）が多く、函館（4%）・旭川（3%）等地方空港は8%程度
- **北海道新幹線・新函館北斗駅（11%）で他圏域より多い**

欧 州

- 新千歳空港（72%）が多く、函館（7%）等地方空港は15%と他圏域より多い
…旭川空港（2%）が少ない
- 北海道新幹線・新函館北斗駅（8%）も1割弱ある

圏域別の来道起点（Q3）



3 道内移動 ①来道初日の宿泊地

欧米豪全体

- 6割近くは初日に札幌（56%）に宿泊…初日動線は新千歳⇒札幌
- その他は函館（12%）、千歳・支笏湖（6%）

北米

- 6割は初日に札幌（62%）に宿泊…初日動線は新千歳⇒札幌
- その他は千歳・支笏湖（9%）・函館（8%）

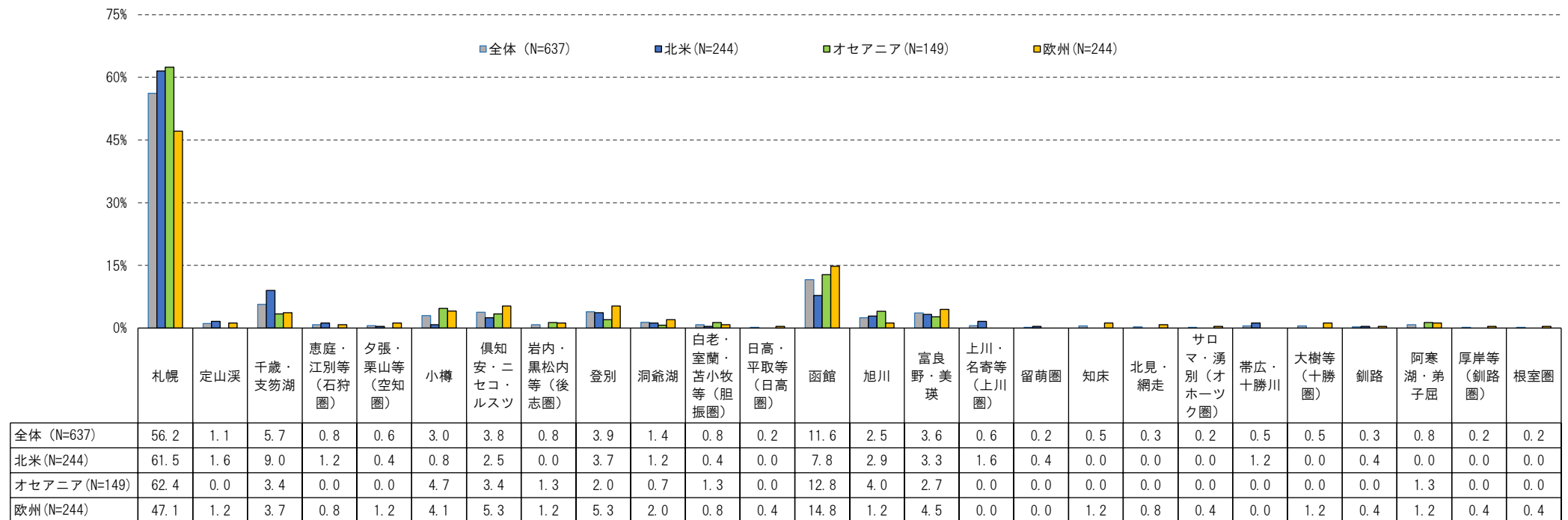
オセアニア

- 6割は初日に札幌（62%）に宿泊…初日動線は新千歳⇒札幌
- その他は函館（13%）、小樽（5%）…**函館は他圏域より多い＝新幹線での入道が多い**

欧州

- 他圏域より初日に札幌（47%）宿泊する層が少ない
- その他は函館（15%）、倶知安・ニセコ（5%）、富良野・美瑛（5%）

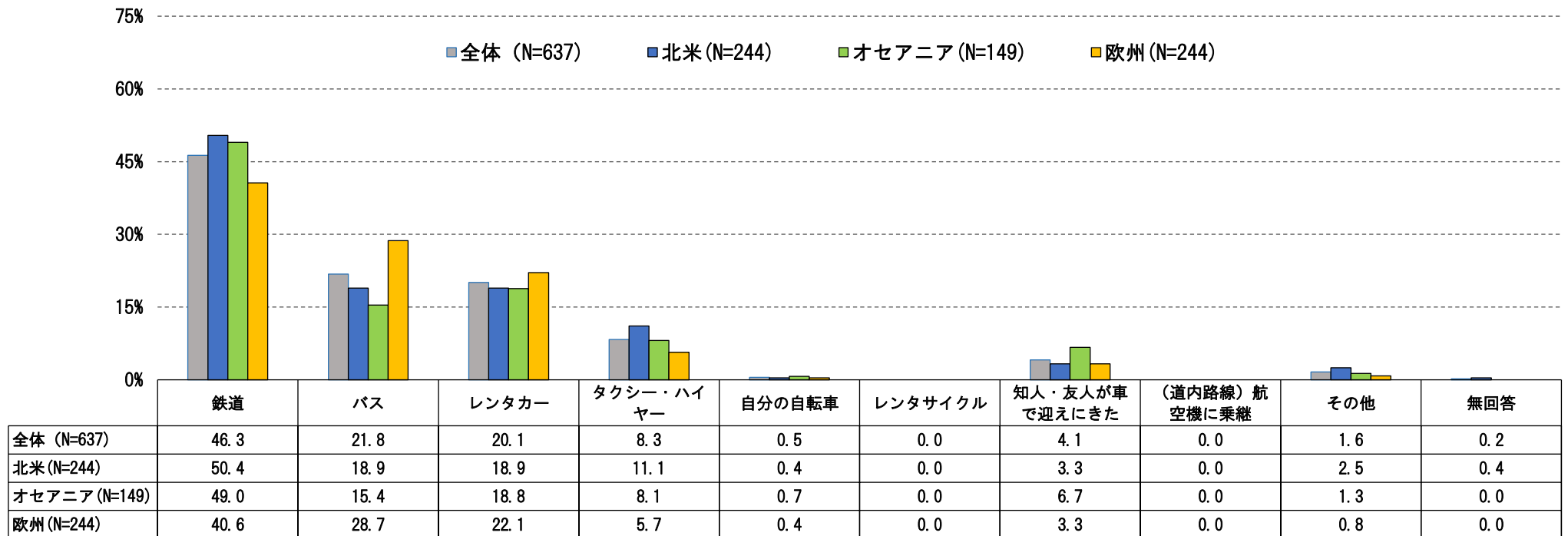
圏域別の来道初日の宿泊地（Q4）



3 道内移動 ②来道初日の宿泊地までの交通

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 半数は鉄道（46%）を利用し、バス（22%）が続く…主な導線は新千歳⇒札幌間 ● 初日から2割はレンタカー（20%）を利用
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 半数が鉄道（50%）を利用し、バス（19%）は2割 ● 初日から2割近くはレンタカー（19%）を利用
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 半数は鉄道（49%）を利用 ● バス（15%）より、初日からレンタカー（19%）を利用
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（41%）が最多だが、他圏域よりも少なく、相対的にバス（29%）利用が多い ● 初日からレンタカー（22%）を利用…他圏域より多い

圏域別の来道初日の宿泊地までの利用交通（Q5）



3 道内移動 ②来道初日の宿泊地までの交通

欧米豪全体

- 初日宿泊地が札幌、小樽、函館の場合は「鉄道」が多い
- **バス利用が多くなるのは登別（新千歳空港から1時間15分）**
- タクシー・ハイヤー利用は初日宿泊地が支笏湖や倶知安・ニセコ・ルスツのような鉄道網の弱い地域
- レンタカー利用は初日宿泊地が富良野・美瑛、旭川、登別、千歳・支笏湖等の札幌以外で高い
…初日から観光地周遊に入る傾向

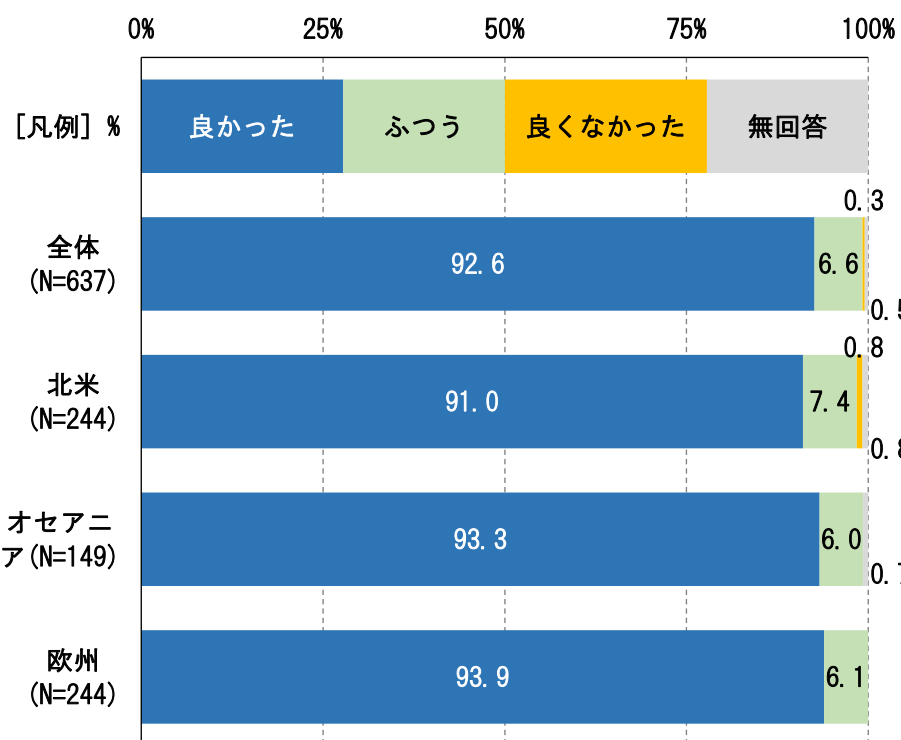
初日宿泊地別の利用交通（Q4×Q5）

		(%)	利用した交通（主なもの）			
			鉄道	バス	TAXI・ハイヤー	レンタカー
初日の宿泊地	全体 (N=637)		46.3	21.8	8.3	20.1
	札幌 (N=358)		60.6	23.5	7.8	9.5
	函館 (N=74)		52.7	18.9	8.1	14.9
	千歳・支笏湖 (N=36)		22.2	19.4	16.7	27.8
	登別 (N=25)		20.0	36.0	4.0	40.0
	倶知安・ニセコ・ルスツ (N=24)		25.0	4.2	16.7	20.8
	富良野・美瑛 (N=23)		4.3	13.0	8.7	73.9
	小樽 (N=19)		52.6	26.3	0.0	21.1
	旭川 (N=16)		12.5	12.5	12.5	50.0

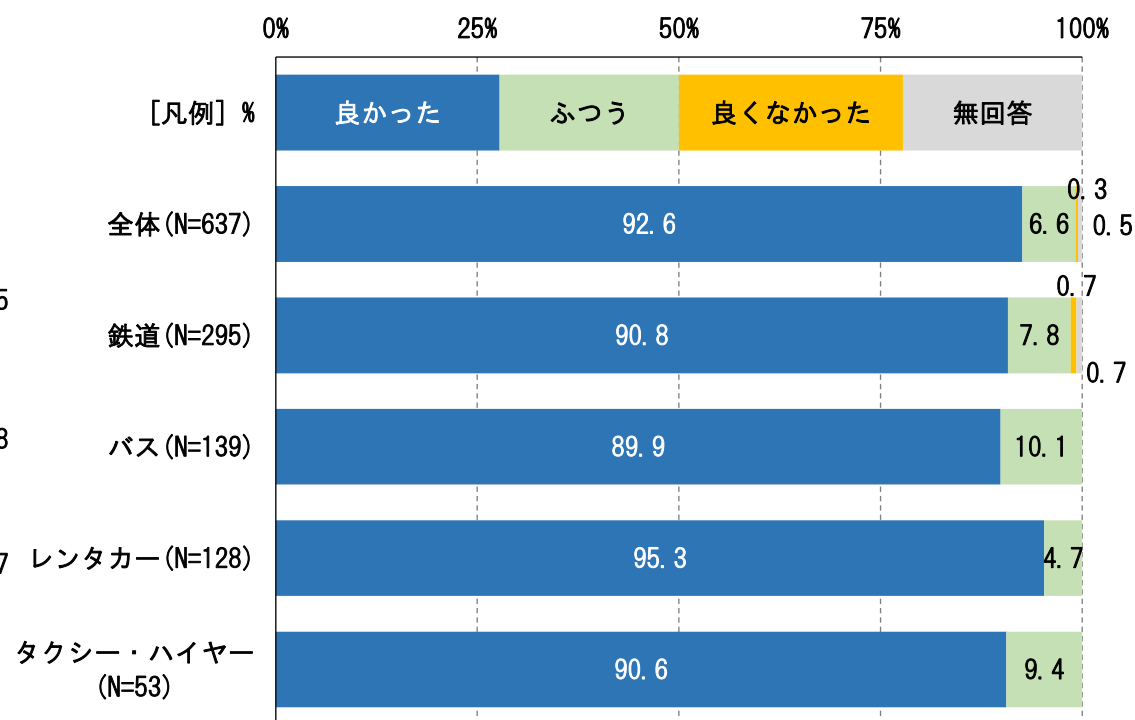
3 道内移動 ③来道初日の宿泊地までの交通満足度

欧 米 豪 全 体	● 9割以上は「良かった」（93%）。「良くなかった」はごくわずか。
北 米	● 9割以上は「良かった」（91%）。「良くなかった」はごくわずか。
オ セ ア ニ ア	● 9割以上は「良かった」（93%）。「良くなかった」はごくわずか。
欧 州	● 9割以上は「良かった」（94%）。「良くなかった」はごくわずか。
※ 利用交通別	<ul style="list-style-type: none"> ● どの交通機関でも、ほぼ9割以上は「良かった」と好意的評価 ● バスは、他の交通機関より「良かった」がわずかに少ない。

圏域別の「初日宿泊地までの利用交通」満足度（Q6）



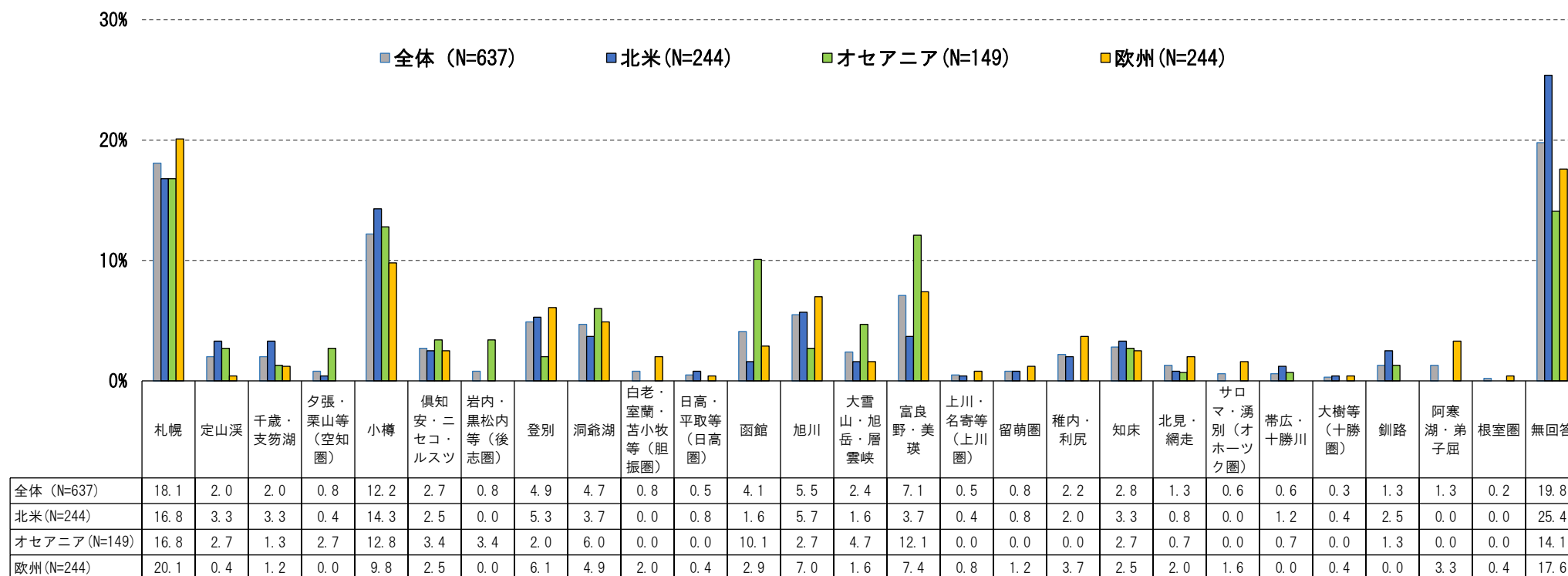
「初日宿泊地までの利用交通」別の満足度（Q6）



3 道内移動 ④翌日の目的地

欧米豪全体	● 翌日は札幌（18%）、小樽（12%）、富良野・美瑛（7%）、旭川（6%）が主目的地
北米	● 翌日は札幌（17%）、小樽（14%）、旭川（6%）、登別（5%）が主目的地
オセアニア	● 翌日は札幌（17%）、小樽（13%）、富良野・美瑛（12%）が主目的地 ● 函館（10%）も多い…元々、初日に函館（13%）が多い
欧州	● 翌日は札幌（20%）、小樽（10%）、旭川（7%）、富良野・美瑛（7%）、登別（6%）が主目的地

圏域別の翌日の目的地（Q7）



3 道内移動 ⑤初日の宿泊地と翌日の目的地の関係

欧米豪全体

- 初日の札幌宿泊者のうち2割は翌日に小樽（18%）へ向かう
- 函館に宿泊した者の半数近くは、翌日は札幌（43%）へ向かう
- 千歳・支笏湖に宿泊した者の1/4は札幌（25%）へ向かうが、その割合は他と比較して低い
- 初日、登別に宿泊した者の半数は札幌（48%）へ向かうが、1割以上は南下して函館（12%）へ向かう
- 初日から富良野・美瑛に宿泊した人は、翌日にも札幌へ向かわず、知床（26%）、大雪山・旭岳・層雲峡（22%）、北見・網走（17%）等に向かう傾向がある
- 初日から旭川に宿泊した人も近似した傾向がある

初日宿泊地別の翌日目的地（Q4×Q7）

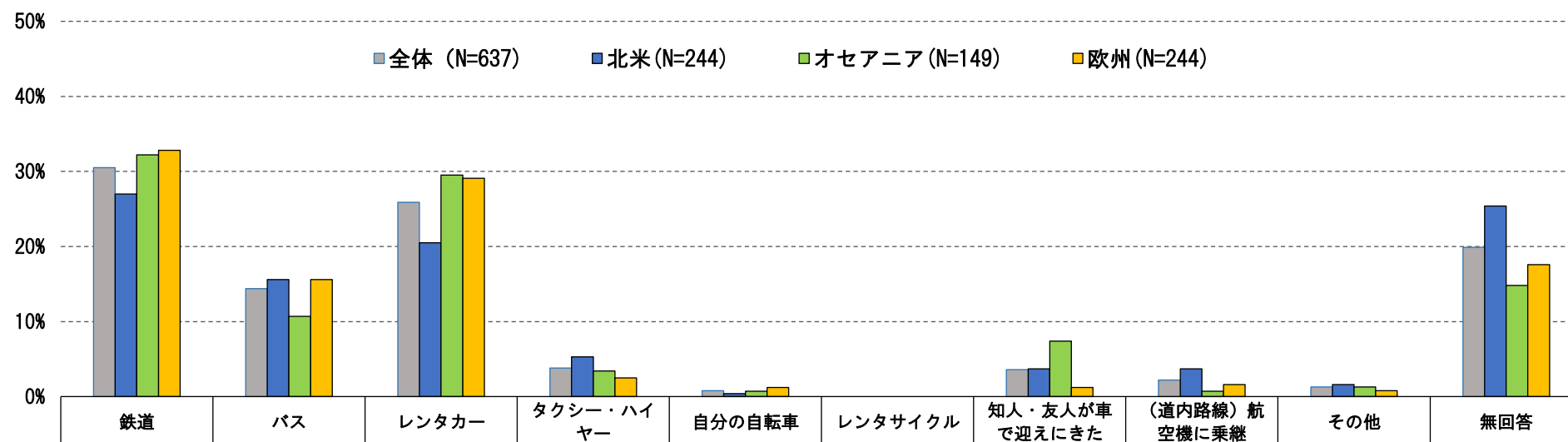
	サンプル数	主な翌日目的地（出現率1%以上）																
		札幌	定山溪	千歳・支笏湖	小樽	倶知安・ニセコ・ルスツ	登別	洞爺湖	函館	旭川	大雪山・旭岳・層雲峡	富良野・美瑛	稚内・利尻	知床	北見・網走	釧路	阿寒湖・弟子屈	無回答
全体	637	18.1	2.0	2.0	12.2	2.7	4.9	4.7	4.1	5.5	2.4	7.1	2.2	2.8	1.3	1.3	1.3	19.8
主な初日宿泊地	札幌	7.8	3.4	3.4	18.2	0.8	5.3	3.9	3.1	6.4	0.8	8.9	2.0	2.0	0.3	2.2	0.6	26.8
	函館	43.2	1.4	0.0	2.7	4.1	8.1	14.9	5.4	5.4	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
	千歳・支笏湖	25.0	0.0	0.0	2.8	5.6	8.3	2.8	8.3	8.3	8.3	11.1	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	11.1
	登別	48.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	12.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	12.0
	倶知安・ニセコ・ルスツ	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2
	富良野・美瑛	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0	26.1	17.4	0.0	0.0	4.3
	小樽	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5
	旭川	18.8	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3

※主な初日宿泊地は上表で90%、主な翌日目的地は75%を網羅している

3 道内移動 ⑥翌日の目的地までの利用交通

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（31%）が最多利用で、バス（14%）よりレンタカー（26%）の方が多い ● タクシー・ハイヤー（4%）は極めて少ない…どの圏域も共通
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（27%）が最多利用だが、レンタカー（21%）も多い ● バス（16%）は2割未満
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（32%）が最多利用だが、レンタカー（30%）も多い…欧州と並びレンタカー利用が多い ● バス（11%）利用は他圏域より少ない
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（33%）が最多利用で、レンタカー（29%）も多い ● バス（16%）利用は2割未満

圏域別の来道初日の宿泊地までの利用交通（Q5）



全体 (N=637)	30.5	14.4	25.9	3.8	0.8	0.0	3.6	2.2	1.3	19.9
北米 (N=244)	27.0	15.6	20.5	5.3	0.4	0.0	3.7	3.7	1.6	25.4
オセアニア (N=149)	32.2	10.7	29.5	3.4	0.7	0.0	7.4	0.7	1.3	14.8
欧州 (N=244)	32.8	15.6	29.1	2.5	1.2	0.0	1.2	1.6	0.8	17.6

3 道内移動 ⑥翌日の目的地までの利用交通

欧米豪全体

- 鉄道利用は札幌、小樽、旭川のような“都市観光地”目的の場合が多い
- バスは定山溪、千歳・支笏湖、登別のような都市から概ね100km程度の中距離圏への移動が多い
- タクシー・ハイヤー利用は定山溪、千歳・支笏湖等札幌近傍の観光地への移動が多い
- レンタカー利用は目的地が札幌、小樽を除くいずれの目的地でも多い。特に知床や大雪山・旭岳・層雲峡等を目指す場合、大半がレンタカーでの移動となる

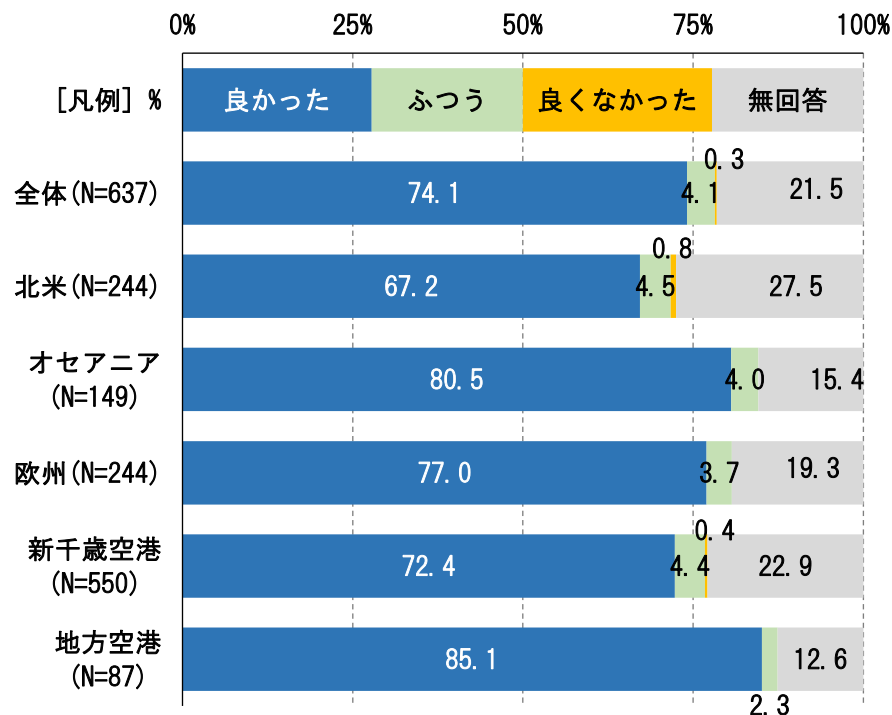
翌日の主な目的地別の利用交通（Q7×Q8）

		利用した交通（主なもの）			
		鉄道	バス	TAXI・ハイヤー	レンタカー
（％）					
全体 (N=637)		30.5	14.4	3.8	25.9
主な翌日の目的地	札幌 (N=115)	47.8	26.1	6.1	13.9
	小樽 (N=78)	61.5	15.4	9.0	12.8
	富良野・美瑛 (N=45)	40.0	8.9	0.0	53.3
	旭川 (N=35)	37.1	22.9	0.0	31.4
	登別 (N=31)	32.3	19.4	0.0	48.4
	洞爺湖 (N=30)	40.0	16.7	3.3	23.3
	函館 (N=26)	42.3	7.7	7.7	38.5
	知床 (N=18)	0.0	0.0	0.0	88.9
	倶知安・ニセコ・ルスツ (N=17)	17.6	11.8	5.9	35.3
	大雪山・旭岳・層雲峡 (N=15)	0.0	13.3	0.0	73.3
	稚内・利尻 (N=14)	35.7	0.0	0.0	50.0
	定山溪 (N=13)	15.4	46.2	15.4	0.0
	千歳・支笏湖 (N=13)	30.8	38.5	15.4	7.7

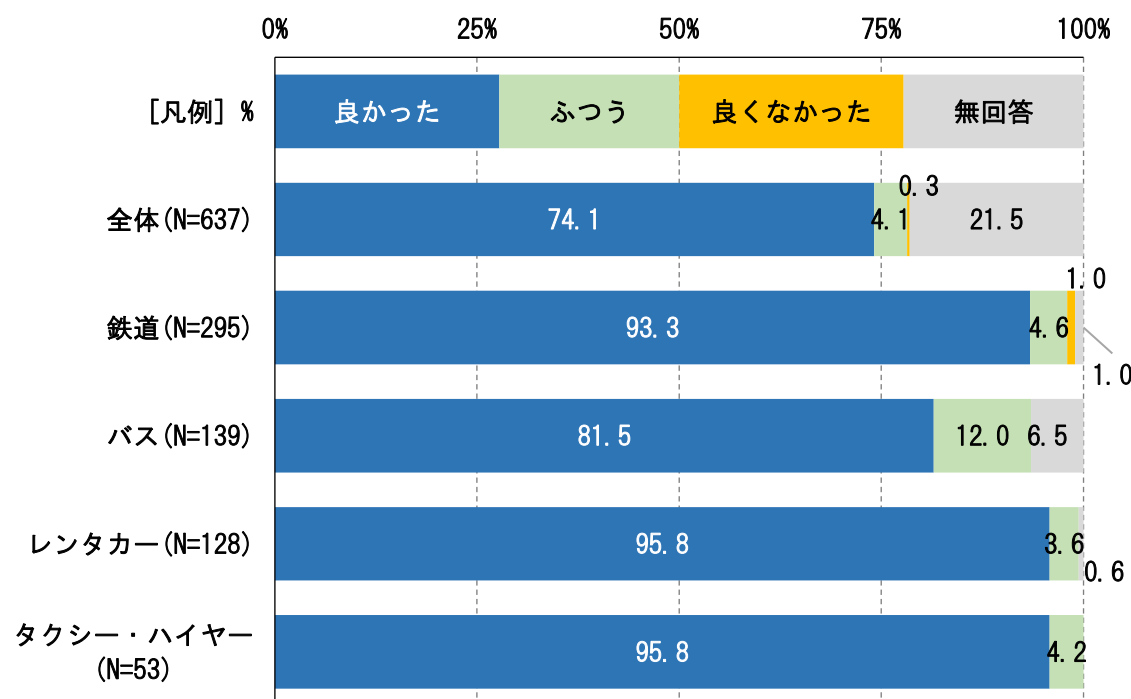
3 道内移動 ⑦翌日の目的地までの利用交通満足度

欧米豪全体	● 3/4は良かった（74%）…無回答が多いため少なく見える・「良くなかった」はごくわずか
北米	● 2/3は良かった（67%）。「良くなかった」はごくわずか
オセアニア	● 8割以上は良かった（81%）。「良くなかった」はごくわずか
欧州	● 8割近くは良かった（77%）。「良くなかった」はごくわずか
※利用交通別	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道、レンタカー、タクシー・ハイヤーは、いずれも9割以上が「良かった」と好意的評価 ● バスも8割は良かった（82%）と高評価だが、その割合は他交通機関より少ない

圏域別「翌日の目的地までの利用交通」満足度（Q9）



「翌日の目的地までの利用交通」別満足度（Q9）
※主要交通



3 道内移動 ⑧立寄り地・宿泊地

欧米豪全体

【立寄り地】

●札幌（96%）への立寄りが多く、立寄り率10%以上は下記の9つ

- ①札幌（96%）②小樽（29%）③富良野・美瑛（23%）④登別・白老（19%）
⑤函館（19%）⑥洞爺湖（15%）⑦旭川（14%）⑧千歳（13%）⑨知床（10%）

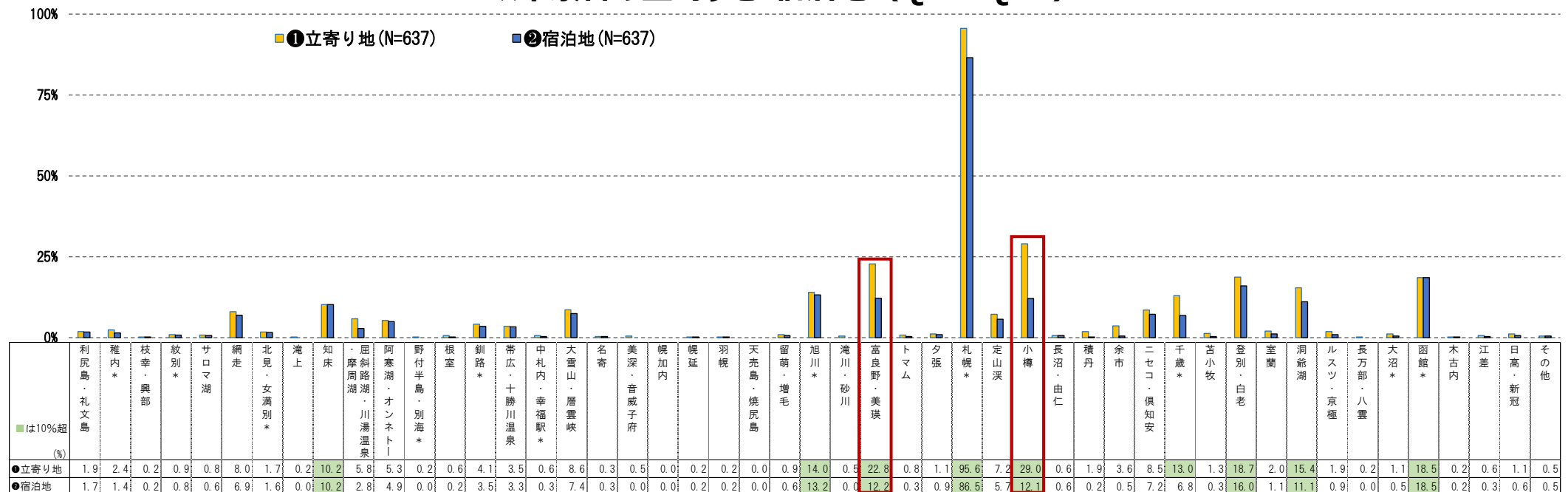
【宿泊地】

●札幌（87%）の宿泊が多く、宿泊地率10%以上は下記の8つ

- ①札幌（87%）②函館（19%）③登別・白老（16%）④旭川（13%）⑤富良野・美瑛（12%）⑥小樽（12%）⑦洞爺湖（11%）⑧知床（10%）

通過型観光地（立寄り地とはなるが、宿泊地とはならない）は、小樽・富良野が代表的。

欧米豪客の立寄り地・宿泊地（Q10・Q12）



3 道内移動 ⑨立寄り地（ATに関連する可能性の高い地域を中心に）

北	米	● 知床（9%）が9位、利尻島・礼文島（3%）が17位等、大自然を重視した観光傾向がある
オセアニア		● ニセコ・倶知安（11%）が8位、大雪山・層雲峡（10%）が9位等、山岳型の観光傾向がある
欧	州	● 知床（14%）、登別・白老（24%）への立寄りとは他の圏域より高い。また小樽、富良野・美瑛、函館等の立寄りが約20%と高く、有名観光地への志向もある

欧米豪客の立寄り地／上位20地域（Q10）

*の付いた地名には当該地の空港、新幹線駅を含む

	欧米豪全体（N=637）		北米（N=244）		オセアニア（N=149）		欧州（N=244）	
1位	札幌*	95.6	札幌*	103.3	札幌*	102.0	札幌*	84.0
2位	小樽	29.0	小樽	24.6	小樽	40.9	小樽	26.2
3位	富良野・美瑛	22.8	千歳*	18.0	富良野・美瑛	32.2	富良野・美瑛	25.8
4位	登別・白老	18.7	登別・白老	16.4	函館*	28.2	登別・白老	23.8
5位	函館*	18.5	富良野・美瑛	13.9	洞爺湖	15.4	函館*	20.1
6位	洞爺湖	15.4	旭川*	12.7	登別・白老	14.1	洞爺湖	19.3
7位	旭川*	14.0	洞爺湖	11.5	旭川*	12.1	旭川*	16.4
8位	千歳*	13.0	函館*	11.1	ニセコ・倶知安	11.4	知床	14.3
9位	知床	10.2	知床	8.6	大雪山・層雲峡	10.1	千歳*	12.3
10位	大雪山・層雲峡	8.6	定山溪	8.6	網走	7.4	大雪山・層雲峡	10.7
11位	ニセコ・倶知安	8.5	網走	7.4	知床	6.0	ニセコ・倶知安	9.4
12位	網走	8.0	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	6.6	定山溪	6.0	網走	9.0
13位	定山溪	7.2	大雪山・層雲峡	5.7	余市	6.0	阿寒湖・オンネトー	8.6
14位	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	5.8	ニセコ・倶知安	5.7	千歳*	6.0	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	7.0
15位	阿寒湖・オンネトー	5.3	釧路*	5.3	阿寒湖・オンネトー	5.4	定山溪	6.6
16位	釧路*	4.1	帯広・十勝川温泉	3.3	釧路*	4.0	ルスツ・京極	4.1
17位	余市	3.6	利尻島・礼文島	2.9	帯広・十勝川温泉	3.4	帯広・十勝川温泉	3.7
18位	帯広・十勝川温泉	3.5	余市	2.9	積丹	3.4	稚内*	3.3
19位	稚内*	2.4	稚内*	2.5	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	2.7	室蘭	3.3
20位	室蘭	2.0	阿寒湖・オンネトー	2.0	夕張	2.0	北見・女満別*	2.9

周遊過程で同一観光地を複数回立寄る場合もあり、立寄り率が100%を超えることもある

3 道内移動 ⑩宿泊地

北	米	<ul style="list-style-type: none"> 札幌（89%）が最大で、登別・白老（13%）が続く 地方部への宿泊は他圏域より少ない
オセアニア		<ul style="list-style-type: none"> 札幌（93%）が最大で、函館（28%）が続く 他の圏域に比べて小樽（16%）での宿泊が多く、登別（13%）が少ない
欧	州	<ul style="list-style-type: none"> 札幌（80%）が最大で、登別・白老（21%）が続く 知床（14%）での宿泊は他圏域より多い

欧米豪客の宿泊地／上位20地域（Q12） *の付いた地名には当該地の空港、新幹線駅を含む

	欧米豪全体（N=637）		北米（N=244）		オセアニア（N=149）		欧州（N=244）	
1位	札幌*	86.5	札幌*	88.9	札幌*	92.6	札幌*	80.3
2位	函館*	18.5	登別・白老	13.1	函館*	28.2	登別・白老	20.9
3位	登別・白老	16.0	旭川*	11.1	富良野・美瑛	16.1	函館*	20.5
4位	旭川*	13.2	函館*	10.7	小樽	16.1	旭川*	15.6
5位	富良野・美瑛	12.2	千歳*	9.4	旭川*	12.8	洞爺湖	14.3
6位	小樽	12.1	洞爺湖	9.4	登別・白老	12.8	知床	13.9
7位	洞爺湖	11.1	知床	9.0	ニセコ・倶知安	8.7	富良野・美瑛	13.9
8位	知床	10.2	富良野・美瑛	8.2	洞爺湖	8.7	小樽	13.9
9位	大雪山・層雲峡	7.4	小樽	7.8	大雪山・層雲峡	8.1	大雪山・層雲峡	9.4
10位	ニセコ・倶知安	7.2	定山溪	7.4	網走	7.4	ニセコ・倶知安	9.0
11位	網走	6.9	網走	5.7	知床	6.0	網走	7.8
12位	千歳*	6.8	大雪山・層雲峡	4.9	阿寒湖・オンネトー	4.7	阿寒湖・オンネトー	7.4
13位	定山溪	5.7	ニセコ・倶知安	4.5	定山溪	4.7	千歳*	6.1
14位	阿寒湖・オンネトー	4.9	釧路*	3.7	釧路*	4.0	定山溪	4.5
15位	釧路*	3.5	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	3.3	帯広・十勝川温泉	3.4	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	3.3
16位	帯広・十勝川温泉	3.3	帯広・十勝川温泉	3.3	千歳*	3.4	帯広・十勝川温泉	3.3
17位	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	2.8	利尻島・礼文島	2.5	夕張	2.0	釧路*	2.9
18位	利尻島・礼文島	1.7	阿寒湖・オンネトー	2.5	屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖	1.3	北見・女満別*	2.5
19位	北見・女満別*	1.6	稚内*	1.2	利尻島・礼文島	0.7	室蘭	2.5
20位	稚内*	1.4	北見・女満別*	1.2	稚内*	0.7	稚内*	2.0

周遊過程で同一地域に（初日と最終日のように）複数回宿泊する場合もあり、宿泊率が100%を超えることもある

3 道内移動 ① 離道前日の宿泊地

欧米豪全体

- 離道前夜は6割が札幌（59%）に宿泊…**離道も札幌→新千歳が主動線**
- その他は、千歳・支笏湖（5%）、函館、旭川（共に4%）、小樽（3%）

北米

- 離道前夜は6割が札幌（63%）に宿泊
- その他は定山溪、千歳・支笏湖、登別（いずれも5%）等

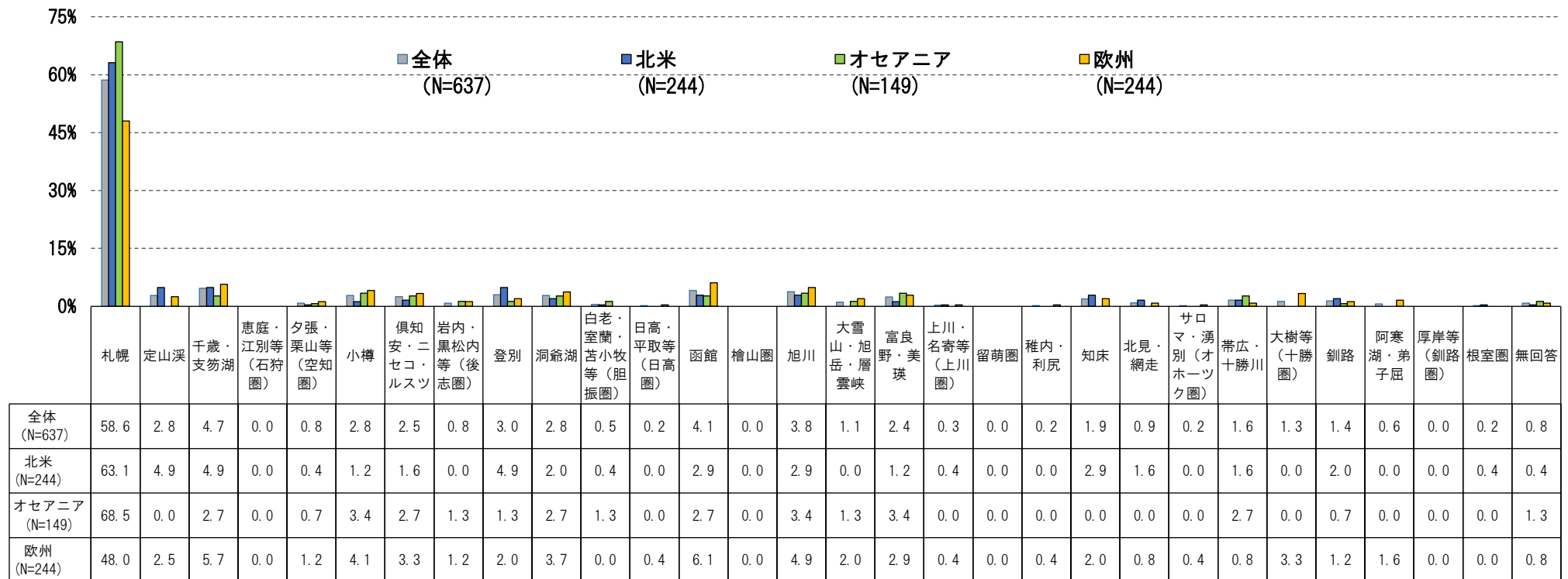
オセアニア

- 離道前夜に札幌（69%）に宿泊する傾向が他圏域より強い
- その他は小樽、富良野・美瑛、旭川（いずれも3%）等

欧州

- 離道前夜は半数が札幌（48%）に宿泊するが、他地域にも分散する傾向
- その他は函館、千歳・支笏湖（各6%）、旭川（5%）、小樽（4%）等

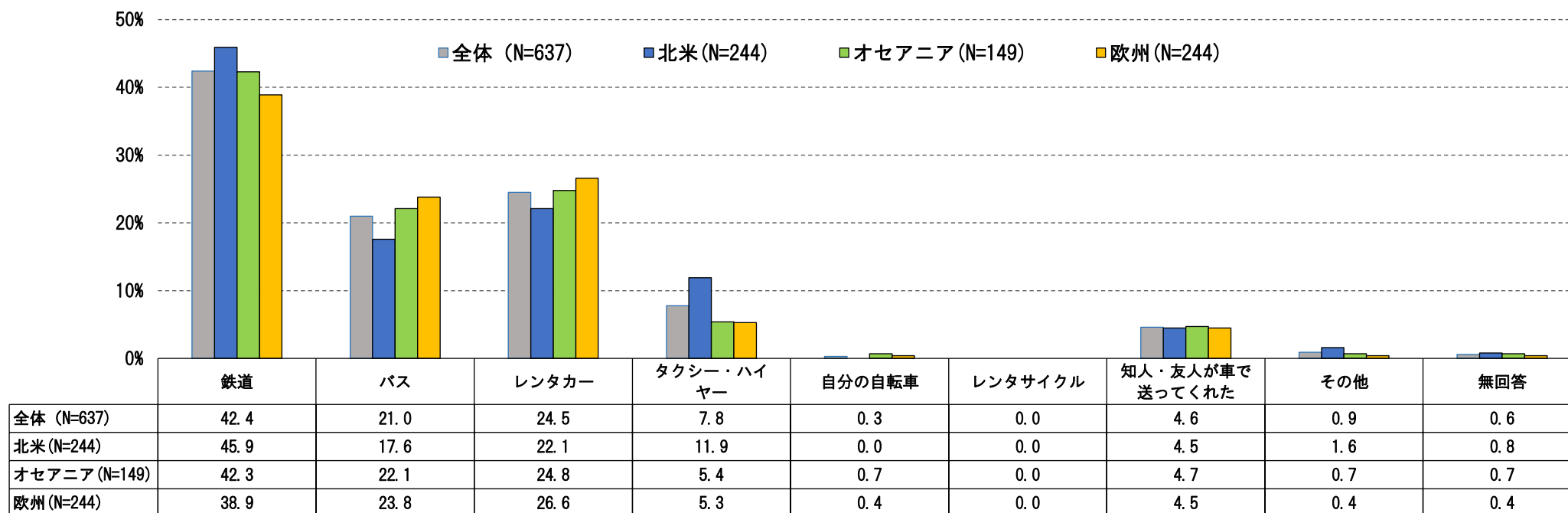
圏域別の離道前日の宿泊地（Q13）



3 道内移動 ⑫離道前日宿泊地から空港までの利用交通

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（42%）が最多利用で、バス（21%）よりレンタカー（25%）の方が多い ● タクシー・ハイヤー（8%）は1割未満
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（46%）が最多利用で、レンタカー（22%）、バス（18%）が続く ● タクシー・ハイヤー（12%）は他圏域客より多いが、それでも1割強
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（42%）が最多利用で、レンタカー（25%）、バス（22%）が続く ● タクシー・ハイヤー（5%）は北米客の半分程度
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（39%）が最多利用で、レンタカー（27%）、バス（24%）が続く ● タクシー・ハイヤー（5%）は北米客の半分程度

離道前日宿泊地から空港までの利用交通（Q14）



3 道内移動 ⑫離道前日宿泊地から空港までの利用交通

欧米豪全体

- 鉄道利用は前夜に札幌、小樽に宿泊した者で利用が多い…札幌圏宿泊者はJR利用比率が高い
- 前夜に札幌に宿泊した者がバスで空港に行った割合は19%
- バス利用は函館や旭川等に宿泊して空港に向かう場合に多くなる
- タクシー・ハイヤー利用は前夜に登別、洞爺湖宿泊者で多い
- レンタカー利用は前夜に定山溪、千歳・支笏湖に宿泊した者に多い

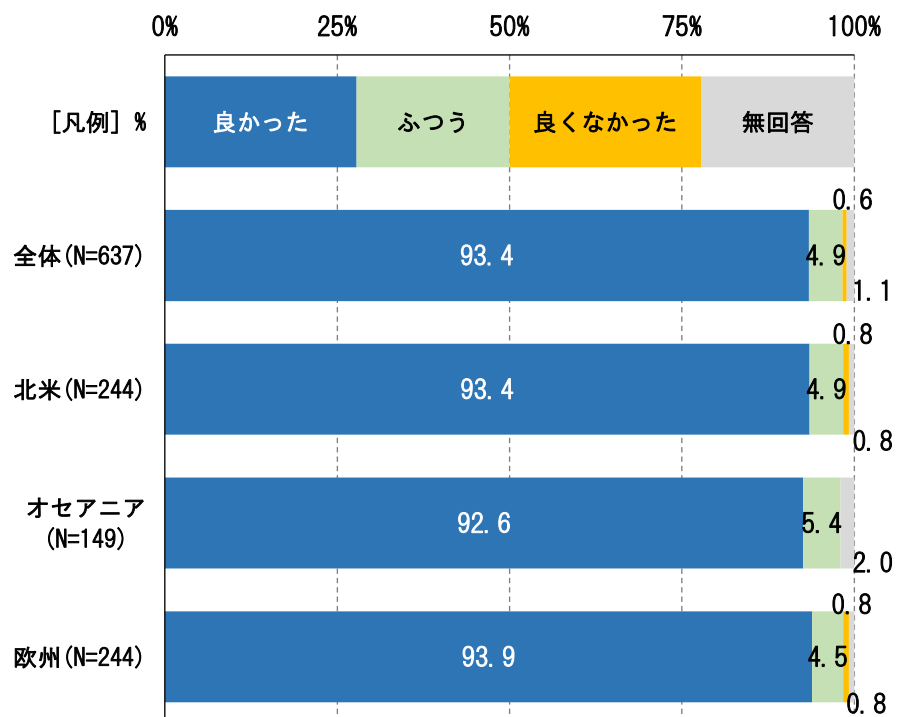
離道前日宿泊地から空港までの利用交通（Q13×Q14）

		空港まで利用した交通（主なもの）			
		鉄道	バス	TAXI・ハイヤー	レンタカー
(%)					
全体(N=637)		42.4	21.0	24.5	7.8
主な離道前日の宿泊地	札幌(N=373)	60.3	19.3	13.9	4.8
	千歳・支笏湖(N=30)	13.3	20.0	30.0	30.0
	函館(N=26)	23.1	34.6	19.2	19.2
	旭川(N=24)	12.5	29.2	37.5	0.0
	登別(N=19)	5.3	21.1	63.2	0.0
	定山溪(N=18)	16.7	33.3	11.1	38.9
	小樽(N=18)	72.2	16.7	16.7	0.0
	洞爺湖(N=18)	16.7	16.7	55.6	5.6
	倶知安・ニセコ・ルスツ(N=16)	18.8	0.0	25.0	18.8
	富良野・美瑛(N=15)	13.3	33.3	46.7	0.0
	知床(N=12)	0.0	25.0	66.7	8.3
	帯広・十勝川(N=10)	10.0	50.0	40.0	0.0

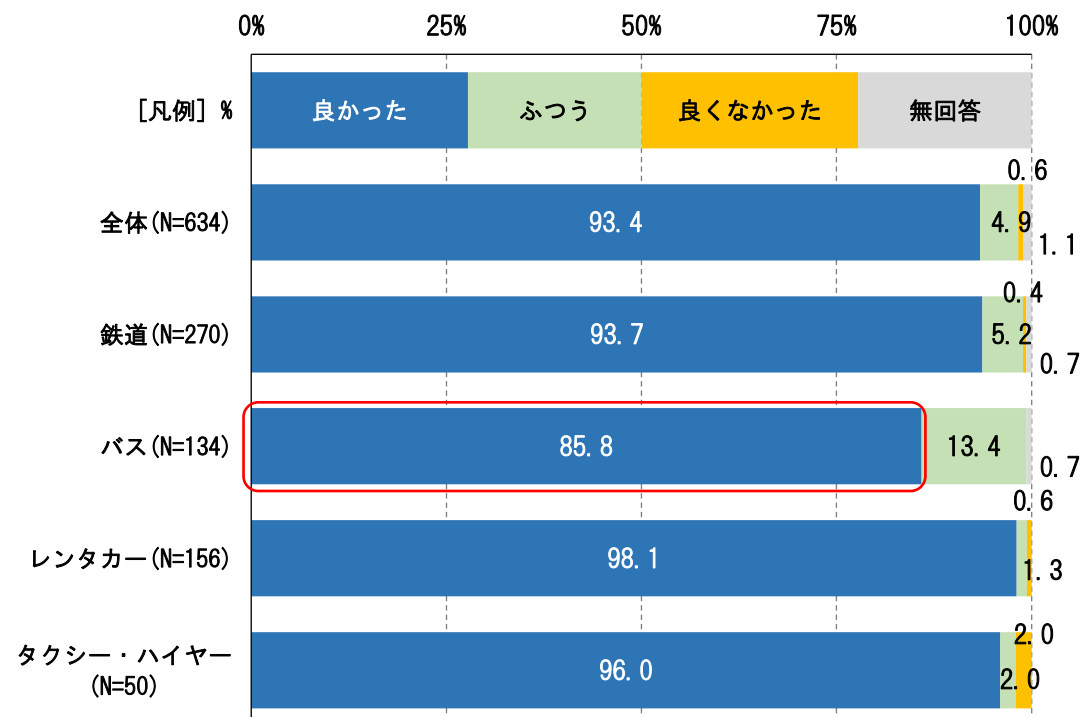
3 道内移動 ⑬離道前日宿泊地から空港までの利用交通満足度

欧米豪全体	● 空港への利用交通に不満はなく、9割は良かった（93%）と評価…良くなかったは1%
北米	● 9割は良かった（93%）…「良くなかった」はごくわずか
オセアニア	● 9割は良かった（93%）…「良くなかった」はごくわずか
欧州	● 9割近くは良かった（93%）…「良くなかった」はごくわずか
※利用交通別	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道、レンタカー、タクシー・ハイヤーは、いずれも9割以上が「良かった」と好意的評価 ● バスも9割近くは良かった（86%）が、その割合は他交通機関より少ない

離道前日宿泊地から空港までの利用交通満足度
(Q15)



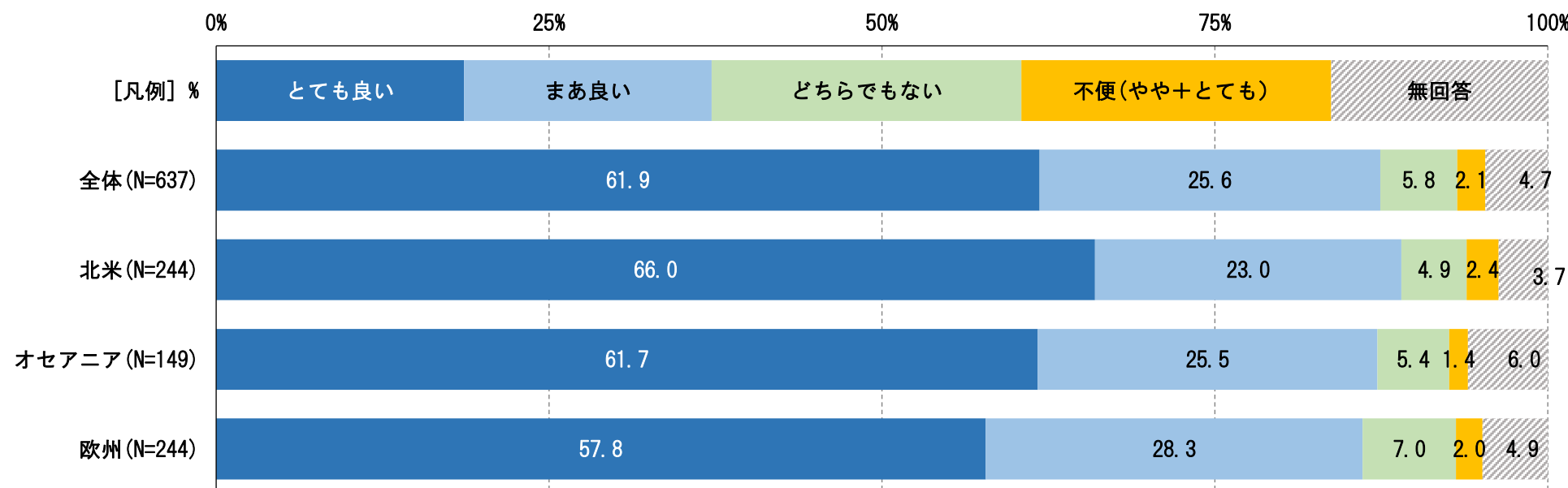
「離道前日宿泊地から空港までの利用交通別」満足度
(Q13×Q15)
※主要交通



4 道内交通評価 ① 利便性満足度

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 好意的評価は88%（とても良い62%+まあ良い26%） ● 不便（計2%）はごくわずか
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 好意的評価は89%（とても良い66%+まあ良い23%）
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 好意的評価は87%*（とても良い62%+まあ良い26%） *四捨五入で一致しない
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 好意的評価は86%（とても良い58%+まあ良い28%）だが、「とても良い」の割合が他圏域より少ない

道内交通利便性の満足度（Q16）



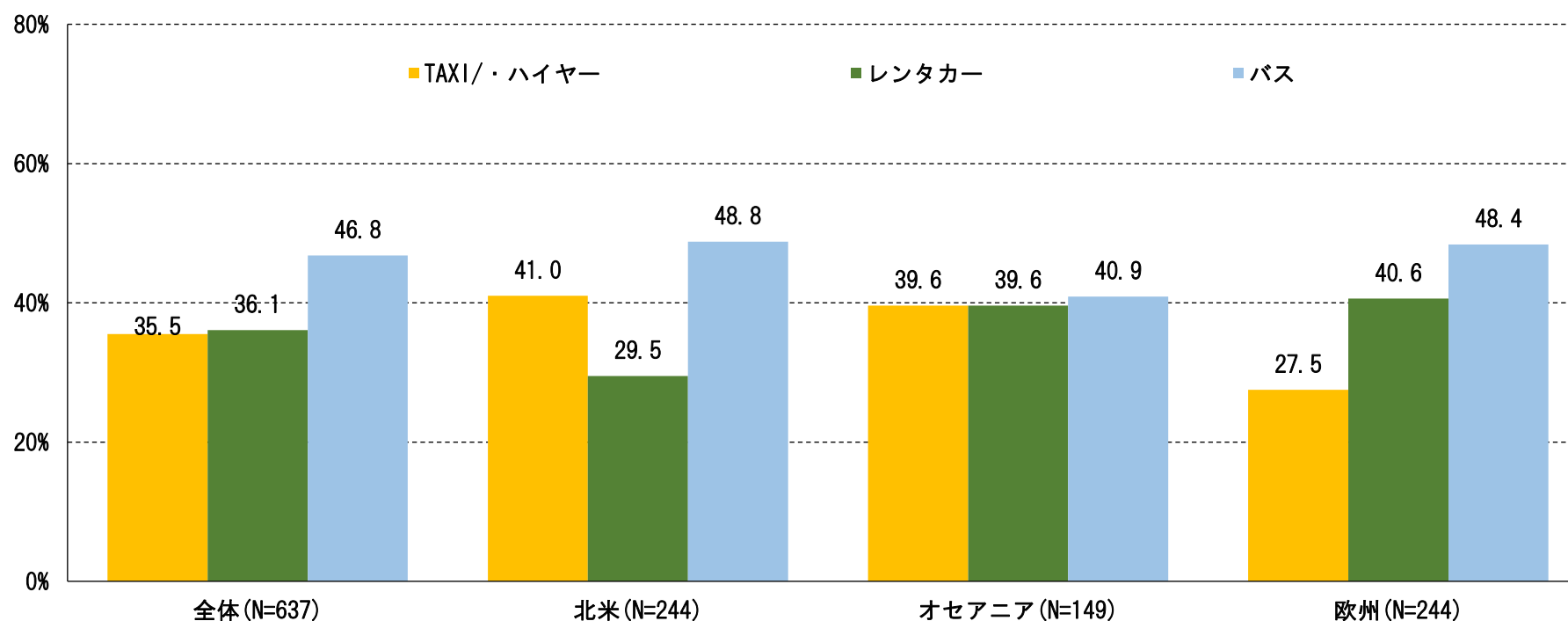
道内交通利便性の不満ポイント／自由回答より（Q16 SQ）

- 鉄道が不足。車両が必要
- 乗換の度にチケットを買うのは面倒
- 自然体験をするにも電車で3時間以上かかる
- 選択肢が少なく、運行頻度が低い
- 田舎やニセコでは公共交通が少なく車を運転しない人は不便
- 夏期の公共交通サービスが少ない
- 接続が悪く非常に高くつく。JRパスは4日間使う価値がない。電車本数が少なくアクティビティが利用しにくい
- 全体的に交通機関にはがっかり。北海道は美しく見るべきものが多いのに行くのが難しい
- バスや電車はあまり頻繁に走っていない
- 交通利便性は悪かった（レンタカー利用だったので問題はなかったが）
- 待ち時間が長い

4 道内交通評価 ②交通機関別利用率

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● バス（47%）は約半数が利用している ● タクシー・ハイヤー（36%）とレンタカー（36%）は、ほぼ同率
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● バス（49%）は半数が利用。タクシー・ハイヤー（41%）は他圏域より多い ● レンタカー（30%）利用率は他圏域より低い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● バス（41%）、タクシー・ハイヤー（40%）、レンタカー（40%）がほぼ同率 ● 欧州と並びレンタカー利用率が高い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● バス（48%）は半数近くが利用。タクシー・ハイヤー（28%）は他圏域より少ない ● レンタカー（41%）はオセアニアと並び多い

交通機関別利用率（Q17a）



4 道内交通評価 ③交通機関別“非利用”の理由

欧米豪全体

【タクシー・ハイヤー】

旅程と合わなかった（30%）が最多で、予算が合わなかった（21%）も多い

【レンタカー】

旅程と合わなかった（29%）が最多で、予算が合わなかった（15%）が続く。免許がない（13%）も1割以上ある

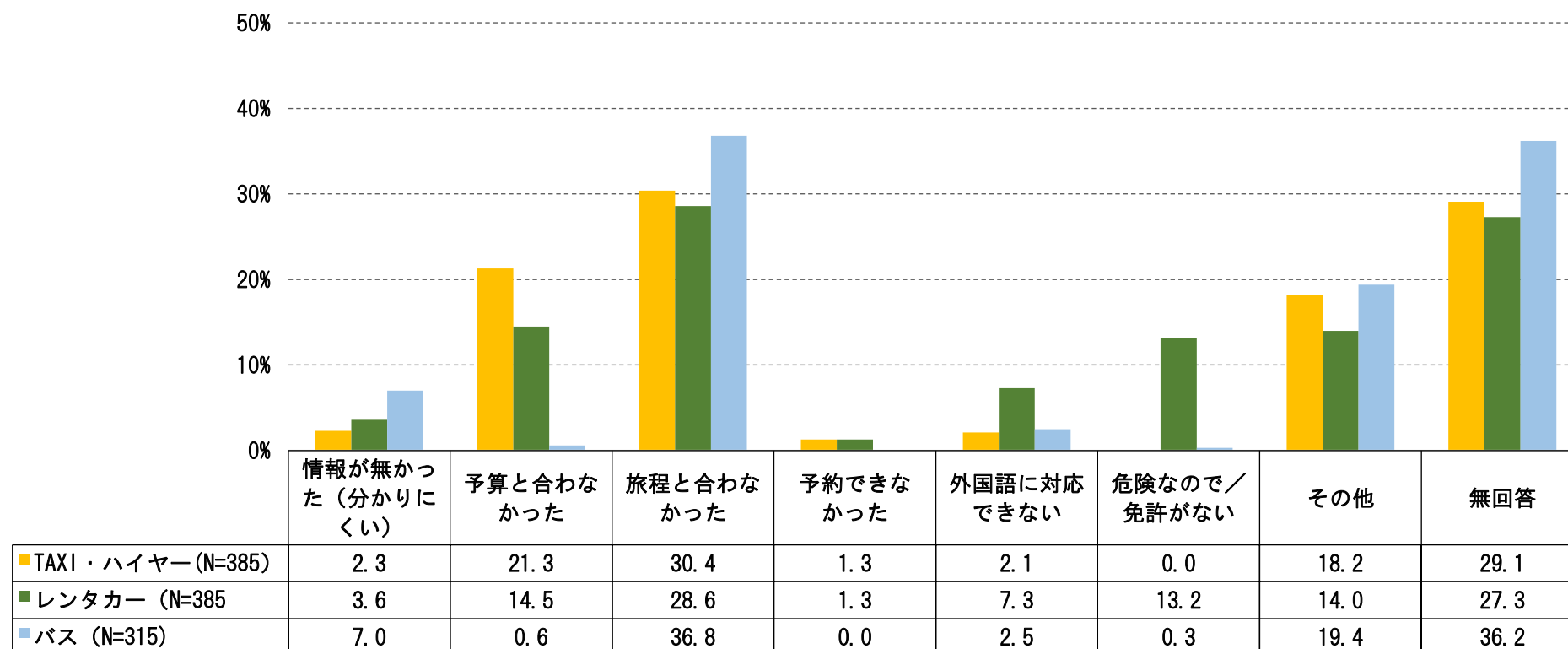
【バス】

旅程と合わなかった（37%）が最多

【全般に】

情報が無かった、外国語に対応していない等の要因はなかった

交通機関別“非利用”の理由（Q17b）



4 道内交通評価 ③交通機関別“非利用”の理由

タクシ－・ハイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ● どの圏域も「旅程と合わなかった」が最多となるのは共通 ● オセアニアでは「予算と合わなかった」が他圏域より高い
レンタカー	<ul style="list-style-type: none"> ● どの圏域も「旅程と合わなかった」が最多となるのは共通 ● オセアニアでは「旅程と合わない」が他圏域より高い ● 「免許がない」は北米が15%と他圏域より高い
バス	<ul style="list-style-type: none"> ● どの圏域も「旅程と合わなかった」が最多となるのは共通 ● 欧州では「情報が無かった（分かりにくかった）」が1割以上と他圏域より高い

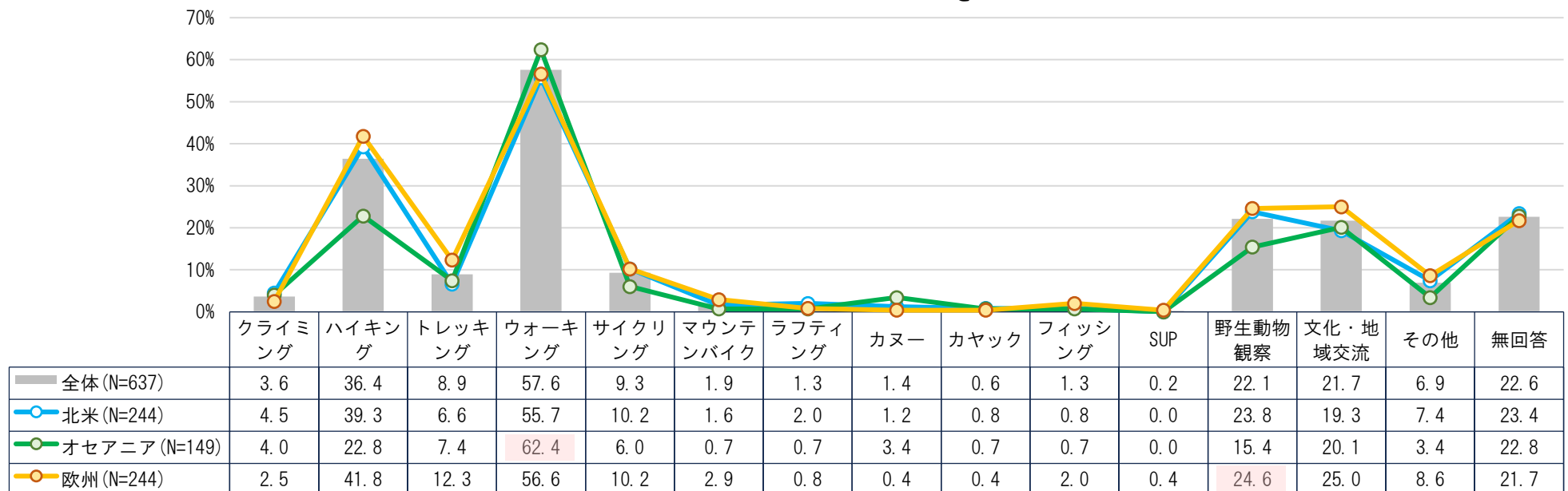
交通機関別“非利用”の理由（Q17b）

	(%)	情報が無かった（分かりにくい）	予算と合わなかった	旅程と合わなかった	予約できなかった	外国語に対応できない	危険なので（レンタ→免許がない）	その他	無回答
TAXI・ハイヤー	全体（N=385）	2.3	21.3	30.4	1.3	2.1	0.0	18.2	29.1
	北米（N=141）	4.3	17.7	27.7	1.4	3.5	0.0	20.6	31.2
	オセアニア（N=81）	0.0	18.5	35.8	1.2	1.2	0.0	22.2	22.2
	欧州（N=163）	1.8	25.8	30.1	1.2	1.2	0.0	14.1	30.7
レンタカー	全体（N=385）	3.6	14.5	28.6	1.3	7.3	13.2	14.0	27.3
	北米（N=170）	5.9	15.3	24.1	1.8	10.0	14.7	16.5	27.6
	オセアニア（N=85）	0.0	9.4	41.2	0.0	7.1	11.8	11.8	24.7
	欧州（N=130）	3.1	16.9	26.2	1.5	3.8	12.3	12.3	28.5
バス	全体（N=315）	7.0	0.6	36.8	0.0	2.5	0.3	19.4	36.2
	北米（N=123）	5.7	0.8	39.0	0.0	2.4	0.8	20.3	36.6
	オセアニア（N=80）	2.5	0.0	37.5	0.0	5.0	0.0	20.0	36.3
	欧州（N=112）	11.6	0.9	33.9	0.0	0.9	0.0	17.9	35.7

5 AT関連 ①道内でのアクティビティ体験率

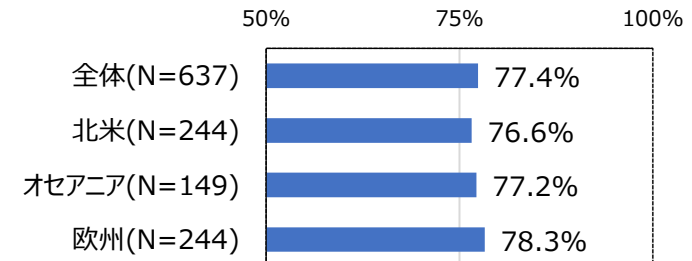
欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（58%）が最多で、ハイキング（36%）、野生動物観察（22%）、文化・地域交流（22%）と続く その他ではサイクリング、トレッキング（各9%）が1割程度だが、調査時期の関係で水上型アクティビティは体験率がごくわずかとなっている
北米	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（56%）が最多で、ハイキング（39%）、野生動物観察（24%）が続く 文化・地域交流（19%）は他圏域と比べ体験率が最も低い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（62%）が最多で、他圏域と比べ最も高い ハイキング（23%）、文化・地域交流（20%）、野生動物観察（15%）が続くが、ハイキングと野生動物観察は他圏域より低い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（57%）が最多で、これに続くハイキング（42%）は他圏域より高い その他、野生動物観察（25%）、文化・地域交流（25%）も他圏域より高い

道内で体験したアクティビティ（Q18）



5 AT関連 ①道内でのアクティビティ体験率

何らかのアクティビティに参加した割合は、すべての圏域で77%前後で共通している



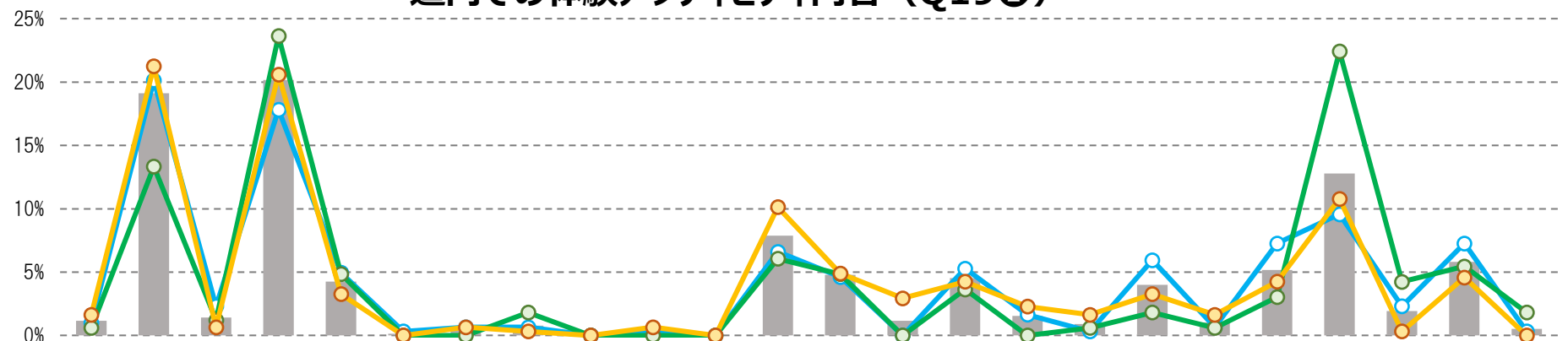
道内で体験したアクティビティ／順位 (Q18)

(%)	全体 (N=637)		北米 (N=244)		オセアニア (N=149)		欧州 (N=244)	
1位	ウォーキング	57.6	ウォーキング	55.7	ウォーキング	62.4	ウォーキング	56.6
2位	ハイキング	36.4	ハイキング	39.3	ハイキング	22.8	ハイキング	41.8
3位	野生動物観察	22.1	野生動物観察	23.8	文化・地域交流	20.1	文化・地域交流	25.0
4位	文化・地域交流	21.7	文化・地域交流	19.3	野生動物観察	15.4	野生動物観察	24.6
5位	サイクリング	9.3	サイクリング	10.2	トレッキング	7.4	トレッキング	12.3
6位	トレッキング	8.9	トレッキング	6.6	サイクリング	6.0	サイクリング	10.2
7位	クライミング	3.6	クライミング	4.5	クライミング	4.0	マウンテンバイク	2.9
8位	マウンテンバイク	1.9	ラフティング	2.0	カヌー	3.4	クライミング	2.5
9位	カヌー	1.4	マウンテンバイク	1.6	マウンテンバイク	0.7	フィッシング	2.0
10位	ラフティング	1.3	カヌー	1.2	ラフティング	0.7	ラフティング	0.8
11位	フィッシング	1.3	カヤック	0.8	カヤック	0.7	カヌー	0.4
12位	カヤック	0.6	フィッシング	0.8	フィッシング	0.7	カヤック	0.4
13位	SUP	0.2	SUP	0.0	SUP	0.0	SUP	0.4
	その他	6.9	その他	7.4	その他	3.4	その他	8.6
	無回答	22.6	無回答	23.4	無回答	22.8	無回答	21.7

5 AT関連 ②道内での体験アクティビティ内容 ※累計回答数を母数にしている

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（20%）が最多で、ハイキング（19%）、野生動物観察（8%）、文化・地域交流（5%）、温泉（5%）が続く 調査時期の関係で水上型アクティビティの体験率は少ない
北米	<ul style="list-style-type: none"> ハイキング（20%）が最多で、ウォーキング（18%）、野生動物観察（7%）、温泉、サイクリング（各5%）が続く
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング（24%）が最多で、ハイキング（13%）、野生動物観察（6%）、サイクリング（5%）が続く ハイキングは他圏域より低い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングとウォーキング（共に21%）が拮抗して最多 野生動物観察（10%）は他圏域と比べて高い

道内での体験アクティビティ内容（Q19①）



	クライミング	ハイキング	トレッキング	ウォーキング	サイクリング	マウンテンバイ	ラフティング	カヌー	カヤック	フィッシング	SUP	野生動物観察	文化・地域交流	ボードスキー・スノー	温泉	花見（桜・花畑）	キャンプ	水族館・博物館・動物園	クルーズ・ホエールウォッチング	その他	小樽、函館等（観光地）	ショッピング	食事	無回答
全体 (N=774)	1.2	19.1	1.4	20.2	4.3	0.1	0.5	0.8	0.0	0.4	0.0	7.9	4.8	1.2	4.5	1.6	0.9	4.0	1.0	5.2	12.8	1.9	5.8	0.5
北米 (N=303)	1.0	20.1	2.3	17.8	5.0	0.3	0.7	0.7	0.0	0.3	0.0	6.6	4.6	0.0	5.3	1.7	0.3	5.9	0.7	7.3	9.6	2.3	7.3	0.3
オセアニア (N=165)	0.6	13.3	1.2	23.6	4.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	6.1	4.8	0.0	3.6	0.0	0.6	1.8	0.6	3.0	22.4	4.2	5.5	1.8
欧州 (N=306)	1.6	21.2	0.7	20.6	3.3	0.0	0.7	0.3	0.0	0.7	0.0	10.1	4.9	2.9	4.2	2.3	1.6	3.3	1.6	4.2	10.8	0.3	4.6	0.0

5 AT関連 ②道内での体験アクティビティ内容 ※累計回答数を母数にしている

道内での体験アクティビティ内容／順位（Q19①）

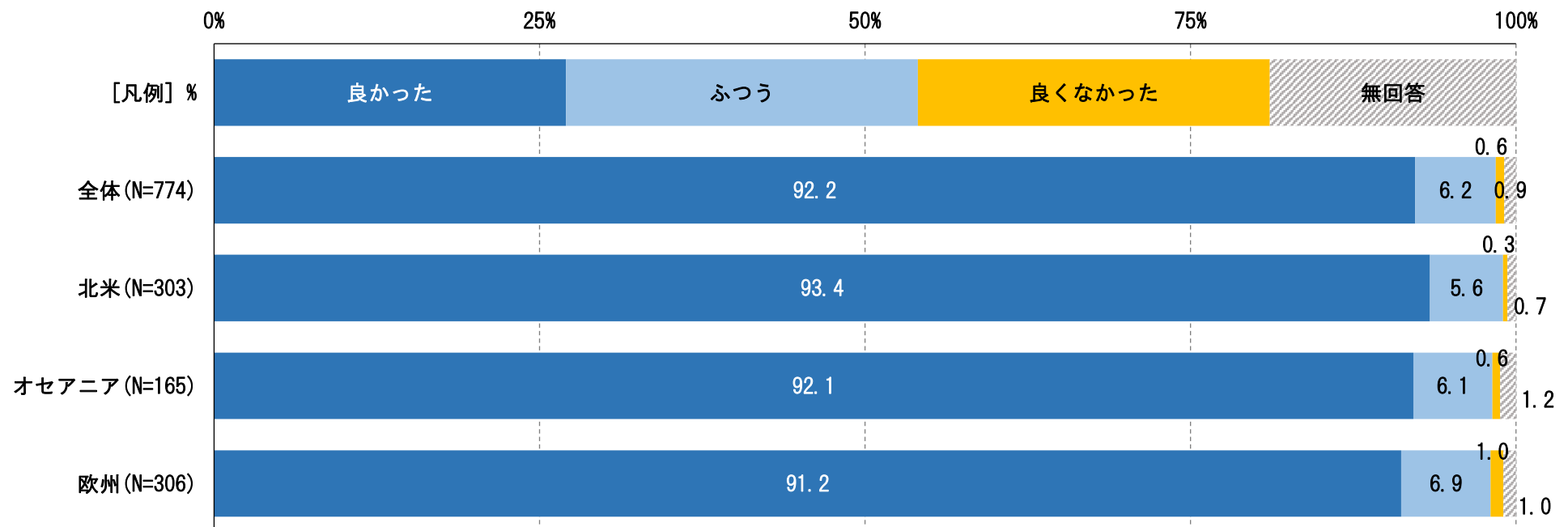
他圏域より高い

(%)	全体 (N=774)		北米 (N=303)		オセアニア (N=165)		欧州 (N=306)	
1位	ウォーキング	20.2	ハイキング	20.1	ウォーキング	23.6	ハイキング	21.2
2位	ハイキング	19.1	ウォーキング	17.8	ハイキング	13.3	ウォーキング	20.6
3位	野生動物観察	7.9	野生動物観察	6.6	野生動物観察	6.1	野生動物観察	10.1
4位	文化・地域交流	4.8	水族館・博物館・動物園	5.9	サイクリング	4.8	文化・地域交流	4.9
5位	温泉	4.5	温泉	5.3	文化・地域交流	4.8	温泉	4.2
6位	サイクリング	4.3	サイクリング	5.0	温泉	3.6	サイクリング	3.3
7位	水族館・博物館・動物園	4.0	文化・地域交流	4.6	カヌー	1.8	水族館・博物館・動物園	3.3
8位	花見（桜・花畑）	1.6	トレッキング	2.3	水族館・博物館・動物園	1.8	スキー・スノーボード	2.9
9位	トレッキング	1.4	花見（桜・花畑）	1.7	トレッキング	1.2	花見（桜・花畑）	2.3
10位	クライミング	1.2	クライミング	1.0	クライミング	0.6	クライミング	1.6
11位	スキー・スノーボード	1.2	ラフティング	0.7	キャンプ	0.6	キャンプ	1.6
12位	クルーズ・ホエールウォッチング	1.0	カヌー	0.7	クルーズ・ホエールウォッチング	0.6	クルーズ・ホエールウォッチング	1.6
13位	キャンプ	0.9	クルーズ・ホエールウォッチング	0.7	マウンテンバイク	0.0	トレッキング	0.7
14位	カヌー	0.8	マウンテンバイク	0.3	ラフティング	0.0	ラフティング	0.7
15位	ラフティング	0.5	フィッシング	0.3	カヤック	0.0	フィッシング	0.7
16位	フィッシング	0.4	キャンプ	0.3	フィッシング	0.0	カヌー	0.3
17位	マウンテンバイク	0.1	カヤック	0.0	SUP	0.0	マウンテンバイク	0.0
18位	カヤック	0.0	SUP	0.0	スキー・スノーボード	0.0	カヤック	0.0
19位	SUP	0.0	スキー・スノーボード	0.0	花見（桜・花畑）	0.0	SUP	0.0
	その他	5.2	その他	7.3	その他	3.0	その他	4.2
	観光地（札幌、小樽、函館等）	12.8	観光地（札幌、小樽、函館等）	9.6	観光地（札幌、小樽、函館等）	22.4	観光地（札幌、小樽、函館等）	10.8
	ショッピング	1.9	ショッピング	2.3	ショッピング	4.2	ショッピング	0.3
	食事	5.8	食事	7.3	食事	5.5	食事	4.6
	無回答	0.5	無回答	0.3	無回答	1.8	無回答	0.0

5 AT関連 ③道内で体験したアクティビティの満足度 ※累計回答数を母数にしている

欧 米 豪 全 体	<ul style="list-style-type: none"> ● 何らかのアクティビティ体験者の9割以上は「良かった」（92%）と好意的に評価 ● 「良くなかった」（1%）はごくわずか
北 米	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割以上は「良かった」（93%）と好意的に評価 ● 「良くなかった」（1%）はごくわずか
オ セ ア ニ ア	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割以上は「良かった」（92%）と好意的に評価 ● 「良くなかった」（1%）はごくわずか
欧 州	<ul style="list-style-type: none"> ● 9割以上は「良かった」（91%）と好意的に評価 ● 「良くなかった」（1%）はごくわずか

道内で何らかのアクティビティ体験者の満足度（Q19②）

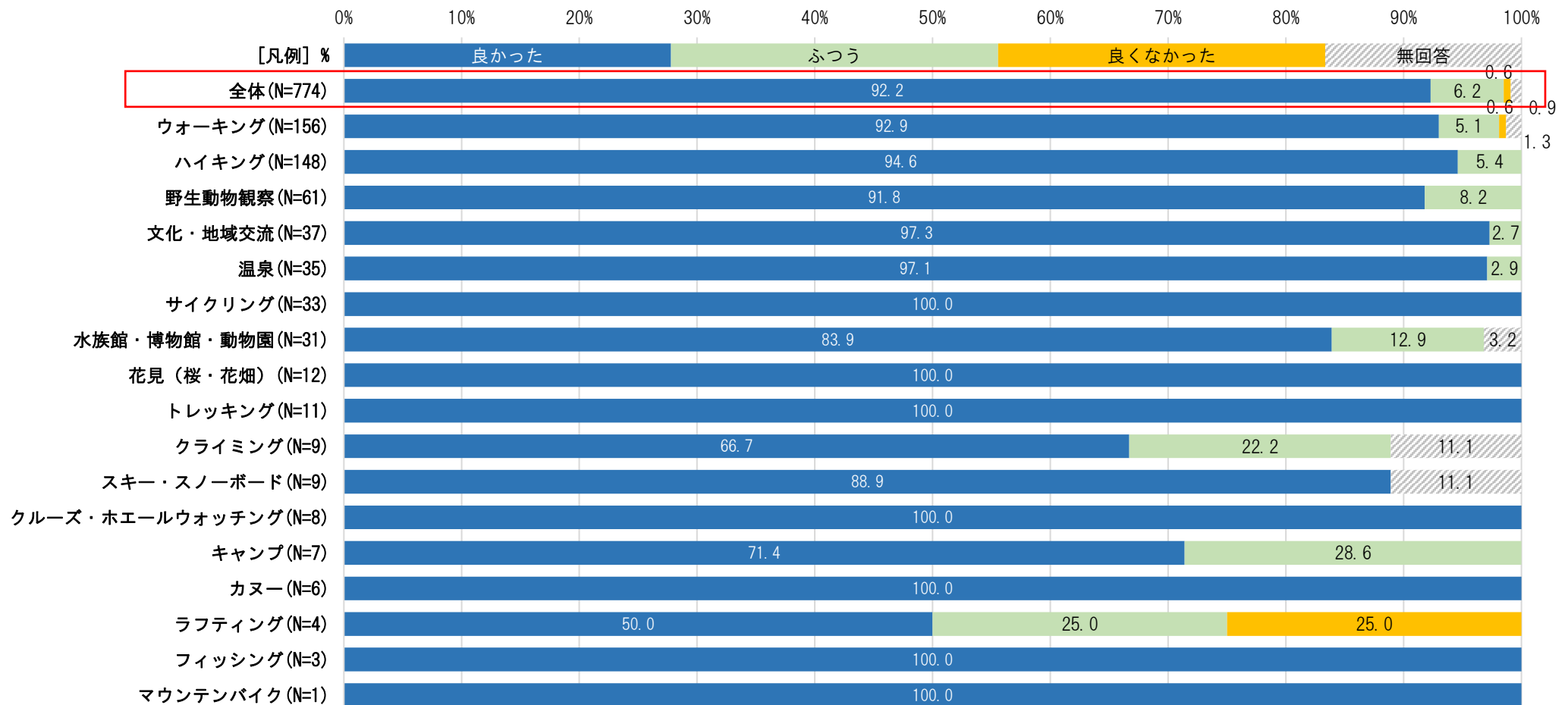


5 AT関連 ③道内で体験したアクティビティの満足度 ※累計回答数を母数にしている

欧米豪全体

- 全てのATを通した満足割合＝良かった（92%）は9割以上
- 「良かった」の割合は、最も参加が多いウォーキングで93%、ハイキングも95%
- 野生動物観察は「良かった」が92%と、ウォーキング・ハイキングと比べ低下
- 「良かった」が100%になったのは、サイクリング、花見、トレッキング、クルーズ・ホエールウォッチング、カヌーが占める

道内での体験アクティビティ内容（Q19）

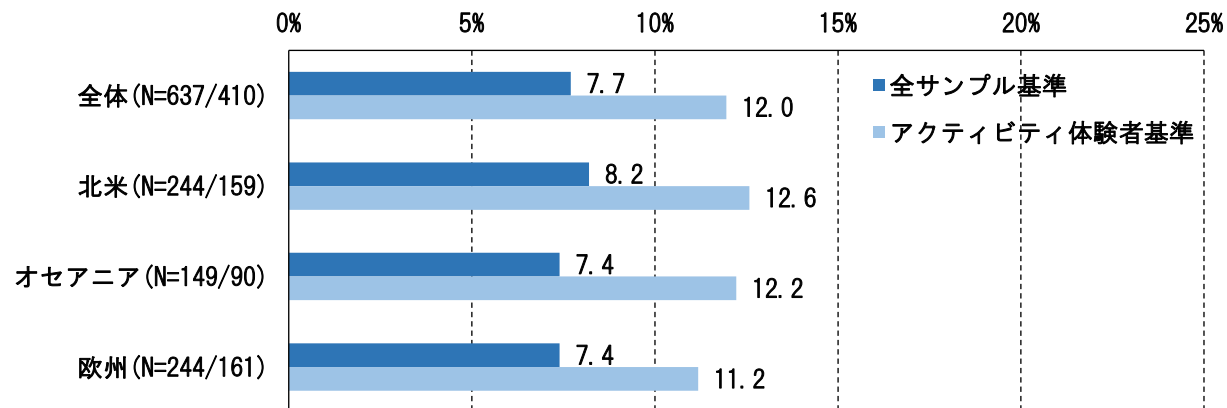


本来のATとは異なる「観光地（札幌、小樽、函館等）（N=99）」、「食事（N=45）」、「ショッピング（N=15）」及び「その他（N=40）」、「無回答（N=4）」での満足度表記は省略

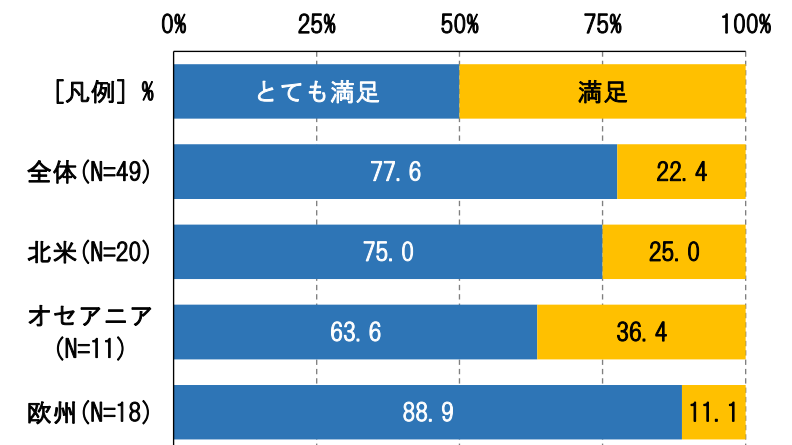
5 AT関連 ④ATガイド利用

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● ATガイド利用率は8%（アクティビティ利用者基準で12%） ● 利用者の全員が“満足”している
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● ATガイド利用率は8%（アクティビティ利用者基準で13%） ● 利用者の全員が“満足”している
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● ATガイド利用率は7%（アクティビティ利用者基準で12%） ● 利用者の全員が“満足”しているが、「とても満足」の割合は他圏域より低い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● ATガイド利用率は7%（アクティビティ利用者基準で11%） ● 利用者の全員が“満足”しており、「とても満足」の割合は他圏域より高い

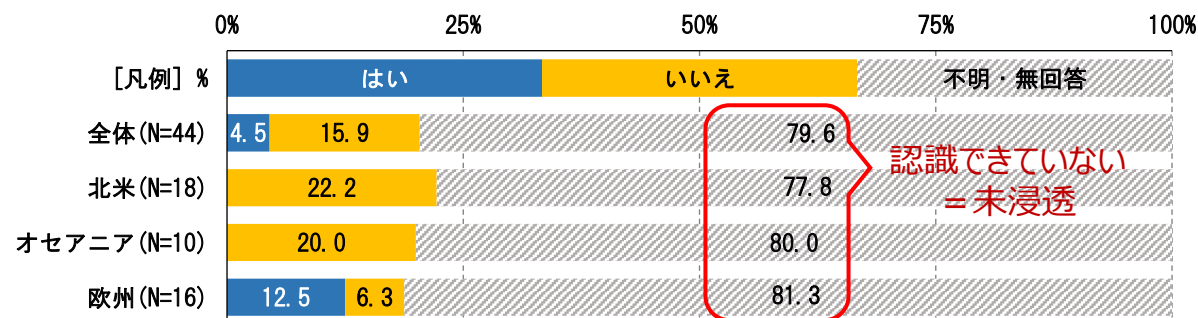
ATガイド利用率（Q20）



ATガイド利用満足度（Q20①）



【参考】ATガイド利用者の内、北海道登録ガイドの割合（注：設問記載の5月期・6月期のみ）

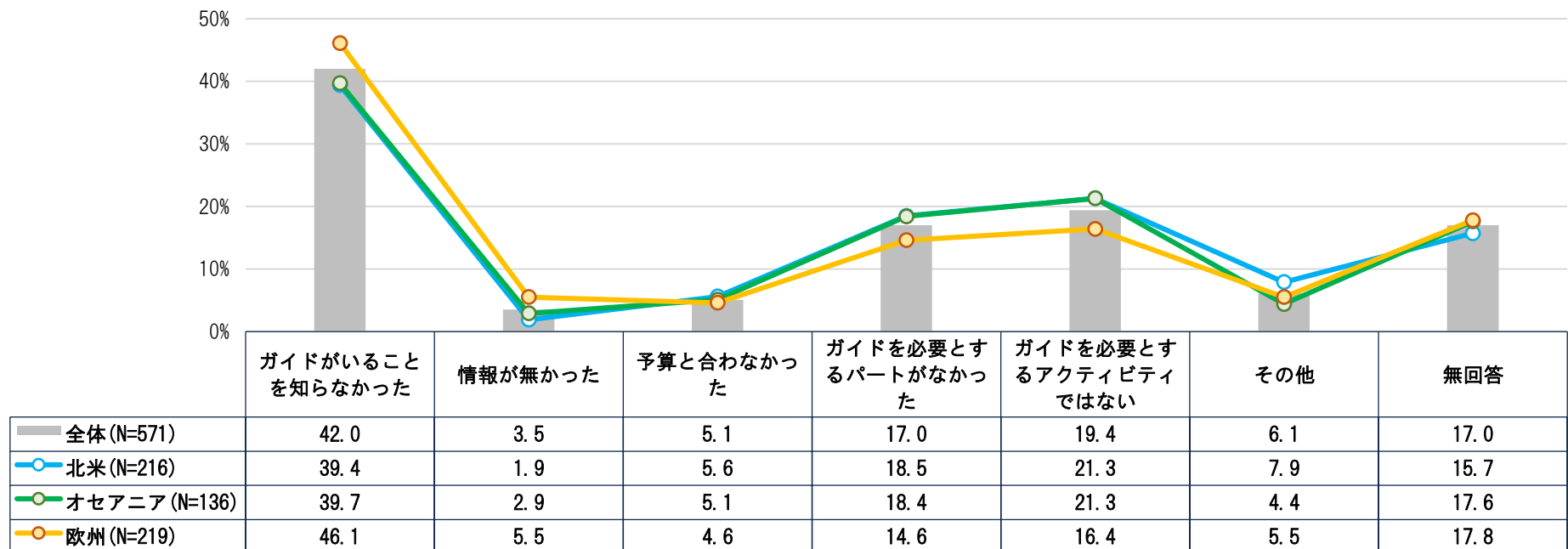


注：「不満・とても不満」や「どちらでもない」の回答は皆無だった

5 AT関連 ⑤ATガイド“非利用”理由

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドがいることを知らなかった（42%）が最多で、ガイドを必要とするアクティビティではない（19%）、ガイドを必要とするパートではなかった（17%）が続く ● 情報が無かった（4%）はごくわずか
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドがいることを知らなかった（40%）が最多で、ガイドを必要とするアクティビティではない（21%）、ガイドを必要とするパートではなかった（19%）が続く
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドがいることを知らなかった（39%）が最多で、ガイドを必要とするアクティビティではない（21%）、ガイドを必要とするパートではなかった（18%）が続く
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドがいることを知らなかった（46%）が最多で、他圏域より多い ● その他は、ガイドを必要とするアクティビティではない（16%）、ガイドを必要とするパートではなかった（15%）が続く

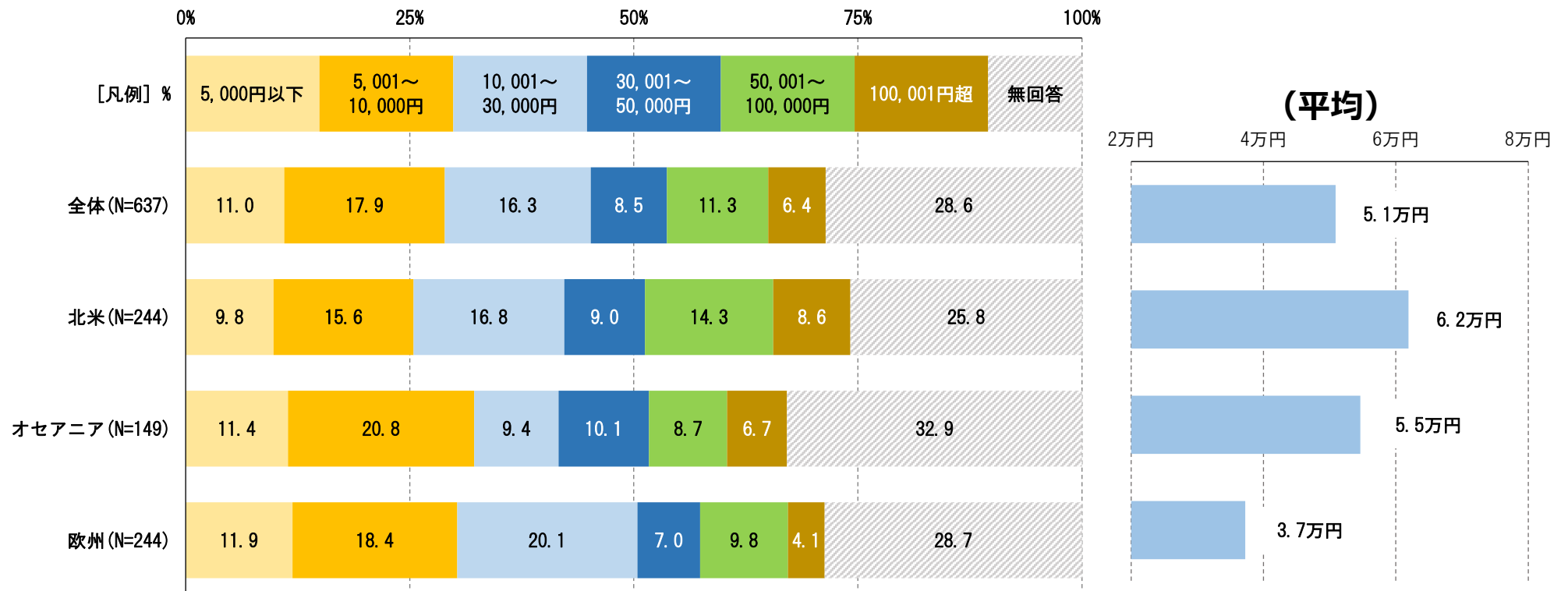
道内ATガイドを使わなかった理由（Q20③）



5 AT関連 ⑥理想的にATを楽しむ際の支出限度額

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 5,001～10,000円（18%）が最多だが、10,001～30,000円（16%）も拮抗 ● 平均額は51,000円
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 10,001～30,000円（17%）が最多で、5,001～10,000円（16%）が続く ● 50,001～100,000円（14%）が多いのが特徴…平均62,000円は欧豪より多い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 5,001～10,000円（21%）が最多で、30,001～50,000円（10%）が続く ● 平均55,000円…欧州より多い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 10,001～30,000円（20%）が最多で、5,001～10,000円（18%）が続く ● 平均37,000円…他圏域より少ない（欧州客は若い年代が多いことに留意）

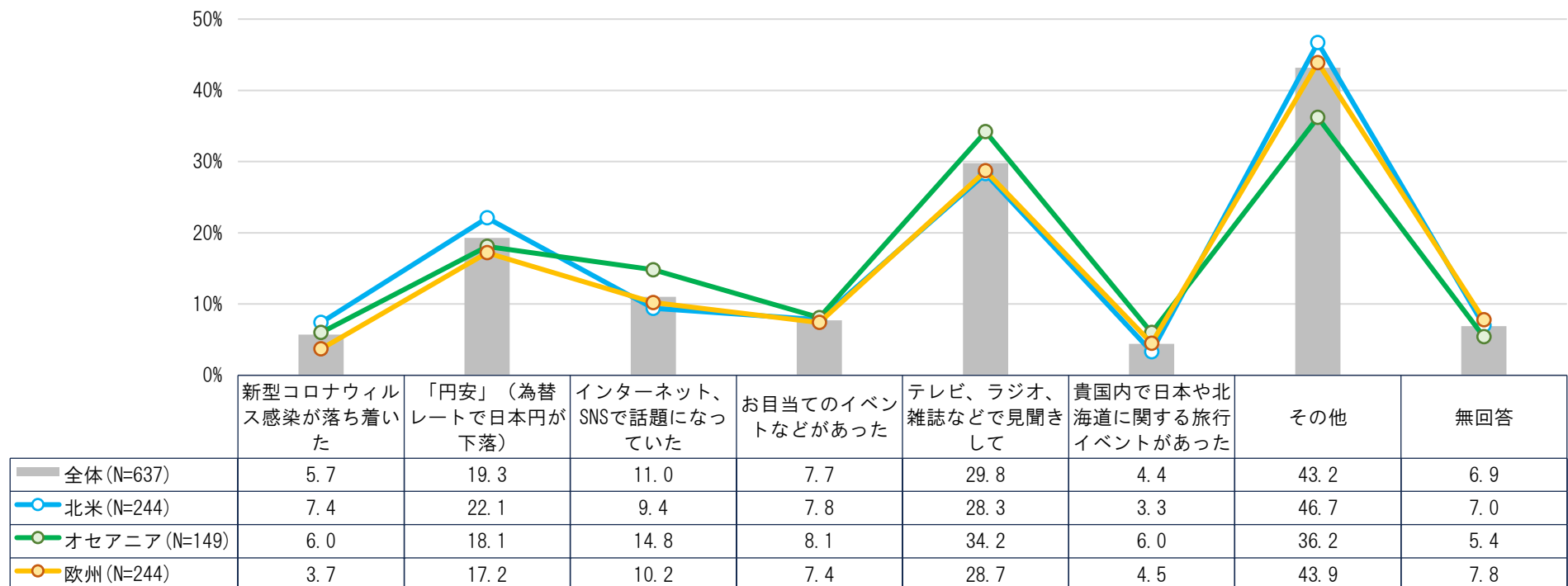
理想的にATを楽しむ際の支出限度額（Q20 SQ）



6 情報活用 ①訪日旅行のきっかけ

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオ・雑誌等で見聞きして（30%）が最多 ● 2割は「円安」（19%）を契機とする <p>※その他は、「桜（4月期）」「在道の家族と会う」「友人・知人訪問」がある</p>
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオ・雑誌等で見聞きして（28%）が最多 ● 「円安」（22%）を契機とした者は他圏域より高い
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオ・雑誌等で見聞きして（34%）が最多で、他圏域より高い ● 「円安」（18%）を契機とした者も2割程度
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオ・雑誌等で見聞きして（29%）が最多 ● 「円安」（17%）を契機とした者も2割弱

訪日旅行のきっかけ（Q22）



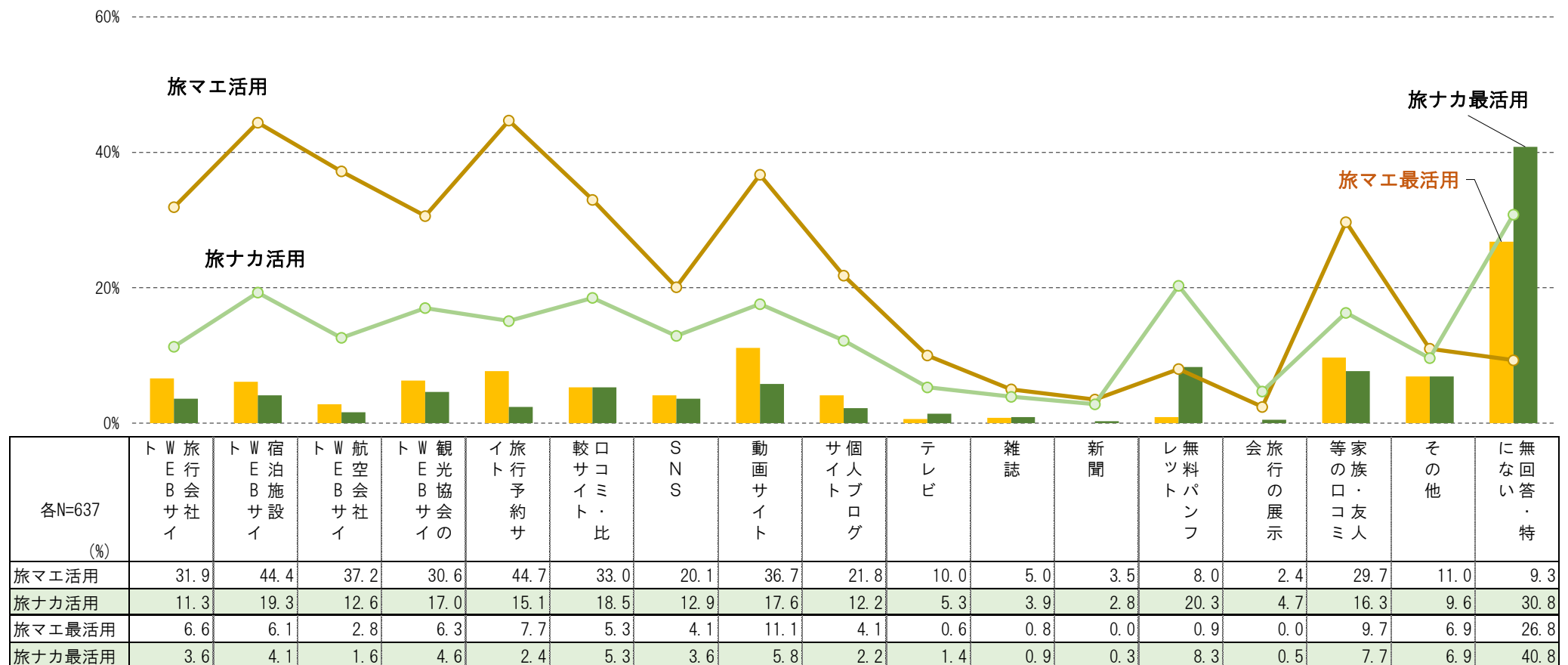
6 情報活用 ②参考にした情報

欧米豪全体

【旅マエ】旅行予約サイト（45%）が最多で、宿泊施設WEBサイト（44%）が拮抗
動画サイト（37%）の大きさにも注目・・・**旅マエの最活用は動画サイト（11%）**

【旅ナカ】来道後は宿泊施設WEBサイト（19%）と並んでクチコミ・比較サイト（19%）、動画サイト（18%）を利用・・・**旅ナカの最活用は無料パンフレット（8%）**

参考にした情報／旅マエ・旅ナカ（Q23）



6 情報活用 ②参考にした情報/旅マエ

北 米	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊施設WEBサイト（45%）が最多で、旅行予約サイト（42%）が続く ● 動画サイト（36%）の利用も見られる
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊予約サイトと旅行施設WEBサイト（共48%）が最多 ● 動画サイト（40%）、クチコミ・比較サイト（39%）、SNS（24%）利用は他圏域より高い
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅行予約サイト（46%）が最多で、宿泊施設WEBサイト（41%）が続く ● 動画サイト（36%）、クチコミ・比較サイト（31%）は多いが、SNS（15%）は他圏域より低い

参考にした情報／旅マエ（Q23 a）

(%)	全体 (N=637)		北米 (N=244)		オセアニア (N=149)		欧州 (N=244)	
1位	旅行予約サイト	44.7	宿泊施設WEBサイト	45.1	宿泊施設WEBサイト	48.3	旅行予約サイト	45.5
2位	宿泊施設WEBサイト	44.4	旅行予約サイト	42.2	旅行予約サイト	47.7	宿泊施設WEBサイト	41.4
3位	航空会社WEBサイト	37.2	航空会社WEBサイト	36.9	航空会社WEBサイト	42.3	動画サイト	35.7
4位	動画サイト	36.7	動画サイト	35.7	動画サイト	40.3	航空会社WEBサイト	34.4
5位	口コミ・比較サイト	33.0	家族・友人等の口コミ	32.8	旅行会社WEBサイト	39.6	口コミ・比較サイト	30.7
6位	旅行会社WEBサイト	31.9	旅行会社WEBサイト	32.4	観光協会のWEBサイト	38.9	観光協会のWEBサイト	30.3
7位	観光協会のWEBサイト	30.6	口コミ・比較サイト	31.6	口コミ・比較サイト	38.9	旅行会社WEBサイト	26.6
8位	家族・友人等の口コミ	29.7	観光協会のWEBサイト	25.8	家族・友人等の口コミ	31.5	家族・友人等の口コミ	25.4
9位	個人ブログサイト	21.8	S N S	23.4	個人ブログサイト	25.5	個人ブログサイト	23.0
10位	S N S	20.1	個人ブログサイト	18.4	S N S	23.5	S N S	14.8
11位	テレビ	10.0	テレビ	8.6	テレビ	13.4	テレビ	9.4
12位	無料パンフレット	8.0	無料パンフレット	4.5	無料パンフレット	11.4	無料パンフレット	9.4
13位	雑誌	5.0	雑誌	4.1	雑誌	6.7	雑誌	4.9
14位	新聞	3.5	新聞	2.9	新聞	4.7	新聞	3.3
15位	旅行の展示会	2.4	旅行の展示会	2.5	旅行の展示会	3.4	旅行の展示会	1.6
	その他	11.0	その他	10.2	その他	10.1	その他	12.3
	特にない	3.8	特にない	4.9	特にない	2.7	特にない	3.3
	無回答	5.5	無回答	4.9	無回答	5.4	無回答	6.1

6 情報活用 ②参考にした情報/旅ナカ

北 米	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族・友人等のクチコミ（22%）が最多で、宿泊施設WEBサイト（20%）が続く ● クチコミ・比較サイト（14%）、SNS（14%）利用も見られる
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 無料パンフレット（26%）が最多 ● 動画サイト（25%）、クチコミ・比較サイト（24%）を多用
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 無料パンフレット（22%）と観光協会WEBサイト（20%）が拮抗 ● クチコミ・比較サイト（20%）、動画サイト（18%）利用も見られる

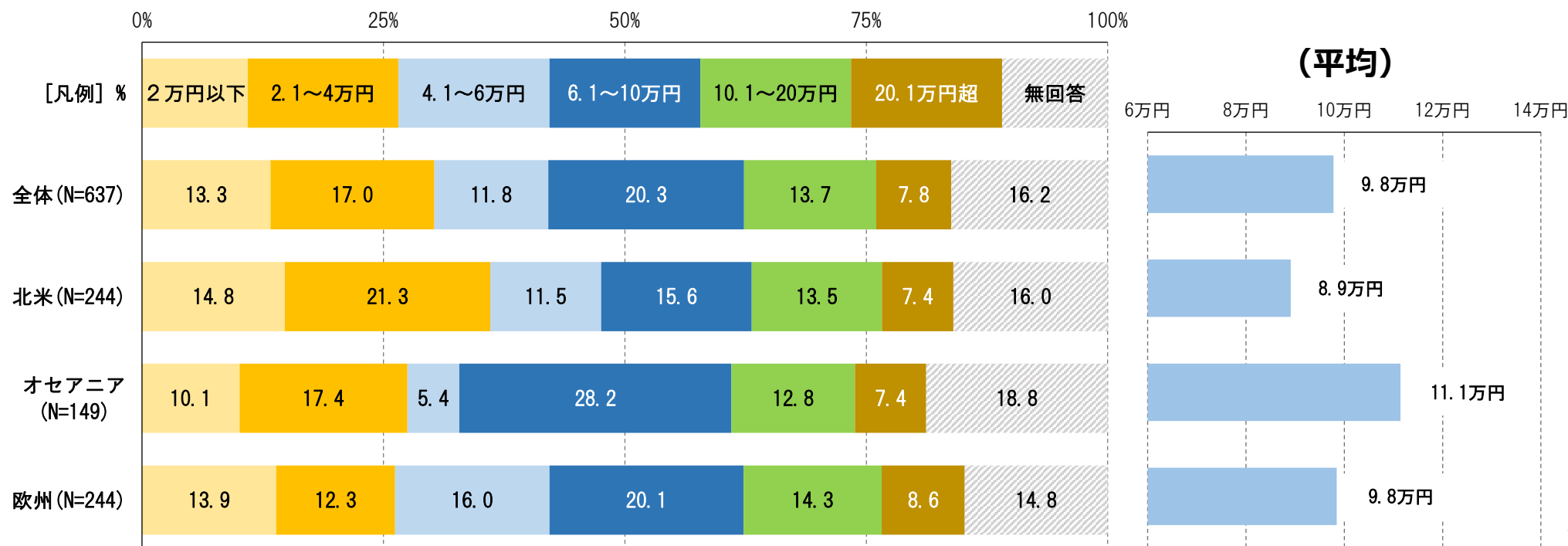
参考にした情報／旅ナカ（Q23 b）

(%)	全体 (N=637)		北米 (N=244)		オセアニア (N=149)		欧州 (N=244)	
1位	無料パンフレット	20.3	家族・友人等の口コミ	22.1	無料パンフレット	26.2	無料パンフレット	21.7
2位	宿泊施設WEBサイト	19.3	宿泊施設WEBサイト	19.7	動画サイト	25.5	観光協会のWEBサイト	20.1
3位	口コミ・比較サイト	18.5	無料パンフレット	15.2	口コミ・比較サイト	23.5	口コミ・比較サイト	19.7
4位	動画サイト	17.6	口コミ・比較サイト	14.3	宿泊施設WEBサイト	20.1	宿泊施設WEBサイト	18.4
5位	観光協会のWEBサイト	17.0	S N S	13.5	観光協会のWEBサイト	19.5	動画サイト	17.6
6位	家族・友人等の口コミ	16.3	動画サイト	12.7	旅行予約サイト	18.1	旅行予約サイト	16.8
7位	旅行予約サイト	15.1	観光協会のWEBサイト	12.3	S N S	17.4	旅行会社WEBサイト	13.5
8位	S N S	12.9	旅行予約サイト	11.5	個人ブログサイト	14.1	航空会社WEBサイト	13.5
9位	航空会社WEBサイト	12.6	航空会社WEBサイト	11.1	航空会社WEBサイト	13.4	個人ブログサイト	13.1
10位	個人ブログサイト	12.2	個人ブログサイト	10.2	家族・友人等の口コミ	13.4	家族・友人等の口コミ	12.3
11位	旅行会社WEBサイト	11.3	旅行会社WEBサイト	9.4	旅行会社WEBサイト	10.7	S N S	9.4
12位	テレビ	5.3	テレビ	5.7	テレビ	6.0	テレビ	4.5
13位	旅行の展示会	4.7	旅行の展示会	4.9	雑誌	6.0	旅行の展示会	3.7
14位	雑誌	3.9	新聞	3.7	旅行の展示会	6.0	雑誌	3.3
15位	新聞	2.8	雑誌	3.3	新聞	4.7	新聞	0.8
	その他	9.6	その他	9.4	その他	9.4	その他	9.8
	特にない	6.0	特にない	8.6	特にない	2.7	特にない	5.3
	無回答	24.8	無回答	25.0	無回答	26.8	無回答	23.4

7 道内支出額 ①宿泊費

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 6.1～10万円（20%）が最多で、2.1～4万円（17%）が続く ● 10.1万円以上は計22% ● 平均額は9.8万円…平均宿泊数は6.3泊⇒1泊1.6万円
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.1～4万円（21%）が最多で6.1～10万円（14%）が続く ● 平均額は8.9万円…欧米豪の中では最も少ない／平均宿泊数5.4泊⇒1泊1.7万円
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 6.1～10万円（28%）が最多で、2.1～4万円（17%）が続く ● 平均額は11.1万円…欧米豪の中では最も多い／平均宿泊数6.6泊⇒1泊1.7万円
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 6.1～10万円（20%）が最多で、4.1～6万円（16%）が続く ● 平均額は9.8万円…平均宿泊数6.9泊⇒1泊1.4万円 = 1泊を安く長期に

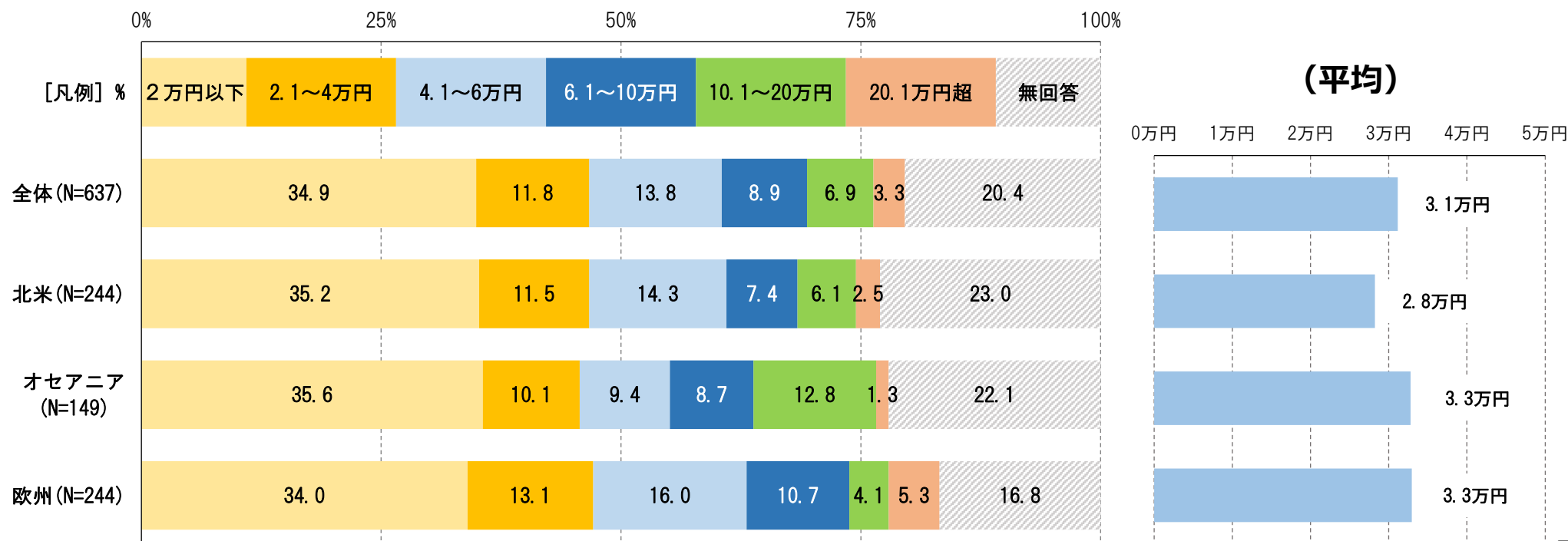
①宿泊費（Q24①）



7 道内支出額 ②交通費

欧米豪全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/3は2万円以下（35%）だが、“6.1万円以上”も計19%存在 ● 平均額は3.1万円…平均宿泊数は6.3泊⇒1泊あたり4,900円
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/3は2万円以下（35%）だが、“6.1万円以上”（計16%）は他圏域と比べ最も少ない ● 平均額は2.8万円…欧米豪では最も少ない／平均宿泊数は5.4泊⇒1日あたり5,200円
オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/3は2万円以下（35%）だが、“6.1万円以上”（計23%）は他圏域と比べ最も多い ● 平均額は3.3万円…平均宿泊数は6.6泊⇒1日あたり5,000円
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/3は2万円以下（34%）だが、“6.1万円以上”（計20%）が2割を占める ● 平均額は3.3万円…平均宿泊数は6.9泊⇒1日あたり4,800円

②交通費（Q24②）



3 業務内容に関する具体的な実施内容： 調査の結果

(2) 人流データの収集分析（インバウンド）

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 （2）人流データの収集分析（インバウンド）

仕様書に基づき対応した実施事項

外国人旅行者のGPSデータを株式会社ナビタイムジャパンのアプリから収集し、データの分析を行った。また、収集・分析したデータの活用・共有を行った。

実施概要

調査概要

欧米豪を含む全国籍の外国人旅行者のGPSデータを株式会社ナビタイムジャパンのアプリから収集し、データの分析を行った。

- ・ 道内市町村を訪れる外国人旅行者の周遊や滞在に関するデータとして、GPSデータの収集を行った。収集するデータはナビタイムジャパン社が運営する訪日外国人向け観光・ナビゲーションアプリ「Japan Travel by NAVITIME」で取得したGPSデータを対象とした。
- ・ 収集対象は全道市町村とし、業務完了までに連携可能な2024年12月までのデータについて、翌月末更新でデータ連携を行った。

収集したデータの分析

収集したデータを、来訪者国籍・月別来訪者数・平均滞在日数・市町村別滞在状況・前後24時間以内の周遊ルートなどの項目ごとに分析を行った。

- ・ GPSデータは全道、圏域別、振興局別、市町村別、メッシュ別に集計を行い、国籍別、訪日経験別、滞在時間帯別に分析ができるようデータの加工を行った。全道のマクロな粒度からメッシュ単位のミクロな粒度まで、集計パターンを揃えることで、地域でのデータ収集状況に応じて、分析粒度を選択できるようにした。
- ・ また、スポット情報と併せて可視化を行うことで、スポット別の滞在状況についても把握可能なものとした。連携するスポットは、現状連携されている6,854スポットを継続して連携した。

収集データの活用について

収集したデータをTableau Publicを用いて可視化し、報告書の作成を行った。

収集データの共有について

収集したデータを「北海道の観光統計データサイト」に公開した。

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 （2）人流データの収集分析（インバウンド）

人流データの収集分析（インバウンド）の概要

エリアを6圏域（道央圏、道南圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏）に分類を行い、それらを3つの時期ごと（4～6月*、7～9月、10～12月）にデータの収集・分析を行った。 *2024年1-3月データに関しても同タイミングで収集・分析を行った。

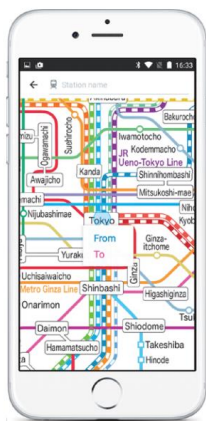
調査概要

調査対象 : 北海道（全道）に滞在した外国人旅行者
道央圏、道南圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏の6つの圏域ごとに集計

調査方法 : 株式会社ナビタイムジャパンが運営する訪日外国人向け観光・ナビゲーションアプリ
「Japan Travel by NAVITIME」で取得したGPSデータ

調査時期 : 2024年4～12月

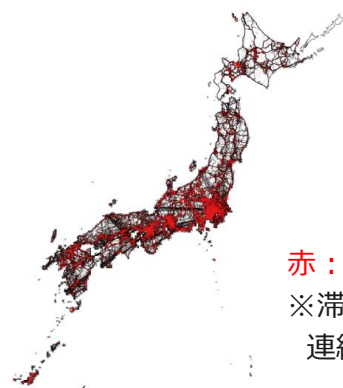
※一部の時期・エリアでは、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏では欧米豪ではなく、全国籍の傾向でデータを集計



Japan Travel
by NAVITIME

主な機能

- ・ ルート案内（Japan Rail Pass対応）
- ・ スポット検索
（Free Wi-Fi／ATM／観光スポット／他）
- ・ 旅行記事の紹介
- ・ 旅行プランの作成



赤：滞在 黒：移動中

※滞在：同一1kmメッシュ内にて30分以上
連続してデータを取得

3 業務内容に関する具体的な実施内容：調査の結果 (2) 人流データの収集分析 (インバウンド)

資料の構成

圏域×ターゲットごとに1ページずつデータの整理を行った。また、圏域内での滞在場所を地図上に示した。



人流データの収集分析（インバウンド）の通期総括

人流データの収集分析の通期総括

通期、4-6月、7-9月、10-12月のそれぞれの特徴は以下の通りとなった。

エリア	比較対象	全国 籍	欧 米 豪	欧米豪の注視すべきポイント
道央	通期（昨年対比）	↑	↓	時期：2月に最も来訪が多く、次いで1月、12月の来訪が多い。 周遊：札幌の前後は小樽、千歳、登別への滞在が多い。7-9月以外では、余市、倶知安の滞在も多い。 スポット：札幌市街地、小樽運河、ニセコ、登別
	4-6月（1-3月対比）	↓	↓	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↓	
	10-12月（7-9月対比）	↑	↑	
道南	通期（昨年対比）	↑	↓	時期：1月に最も来訪が多く、次いで2月、12月の来訪が多い。 周遊：函館市の前後は札幌市での滞在が最も多いが、滞在前は次に北斗市が多い。 スポット：金森赤レンガ倉庫、函館山、五稜郭、新函館北斗駅
	4-6月（1-3月対比）	↑	↑	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↓	
	10-12月（7-9月対比）	↑	↓	
道北	通期（昨年対比）	↑	↑	時期：1月、2月、6月に来訪が多く、冬の観光が人気であることがわかるが、12月は1月と比べるとあまり伸びていない。 周遊：旭川の前後は札幌への滞在が最も多く、旭川滞在前は美瑛、上川へ、旭川滞在後は富良野への滞在が多い。 スポット：旭川駅、旭山動物園、富良野駅、白金青い池
	4-6月（1-3月対比）	↓	↓	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↑	
	10-12月（7-9月対比）	↓	↓	
オホーツク	通期（昨年対比）	↑	—	※欧米豪は2024年2, 5, 8, 9, 10月のみデータが取得できた 時期：2月、9月の来訪が多い。 周遊：網走の直前は斜里、直後は札幌市が最も多く、オホーツク圏を観光してから道央に移動する傾向がある。 スポット：網走駅、博物館 網走監獄、知床斜里駅、道の駅うとろ・シリエトク
	4-6月（1-3月対比）	↓	—	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↑	
	10-12月（7-9月対比）	↓	—	
十勝	通期（昨年対比）	↑	—	※欧米豪は2024年1, 2, 3, 5, 8, 9月のみデータが取得できた 時期：1月の来訪が多い。 周遊：新得町の滞在が最も多く、前後は札幌、千歳、占冠、富良野、登別への滞在が見られた。 スポット：星野リゾートトマム、サホロリゾートスキー場
	4-6月（1-3月対比）	↓	—	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↑	
	10-12月（7-9月対比）	↓	—	
釧路・根室	通期（昨年対比）	↑	—	※欧米豪は2024年2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10月のみデータが取得できた 時期：2月に最も来訪が多く、次いで9月、5月の来訪が多い。 周遊：釧路市の前後の滞在所では、札幌が最も多く、道央から釧路・根室圏域を訪れる旅行者の最初の着地点となっており、その後圏域内を周遊する傾向がある。 スポット：釧路駅、阿寒湖、川湯温泉
	4-6月（1-3月対比）	↓	—	
	7-9月（4-6月対比）	↑	↑	
	10-12月（7-9月対比）	↓	—	

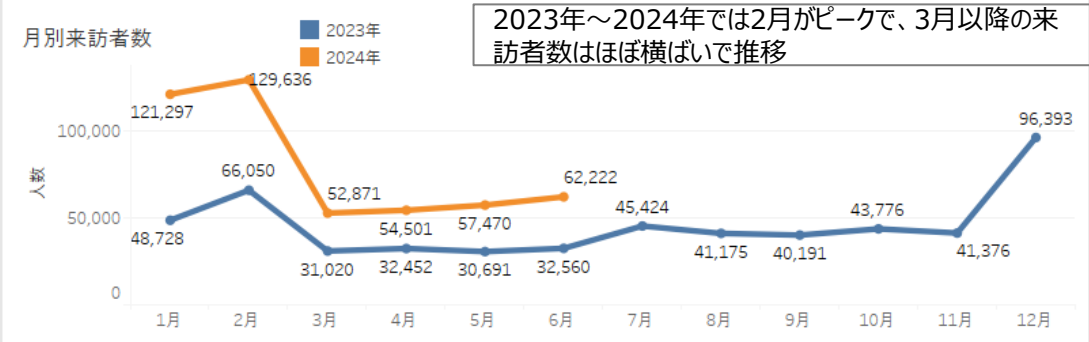
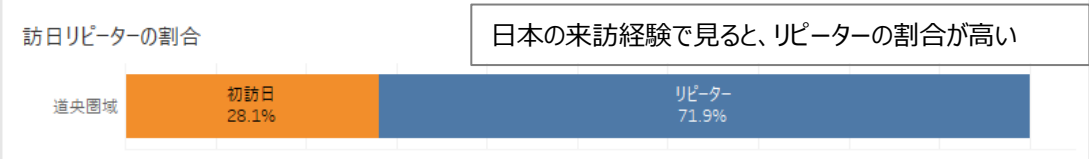
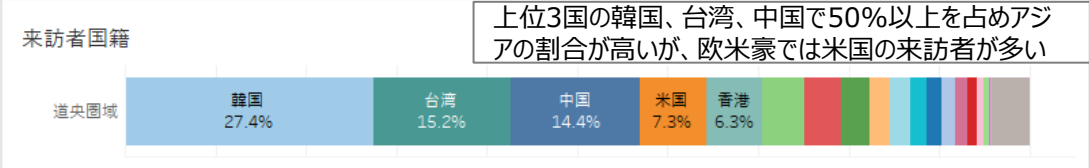
人流データの収集分析（インバウンド）の4-6月総括

人流データの収集分析の4-6月総括

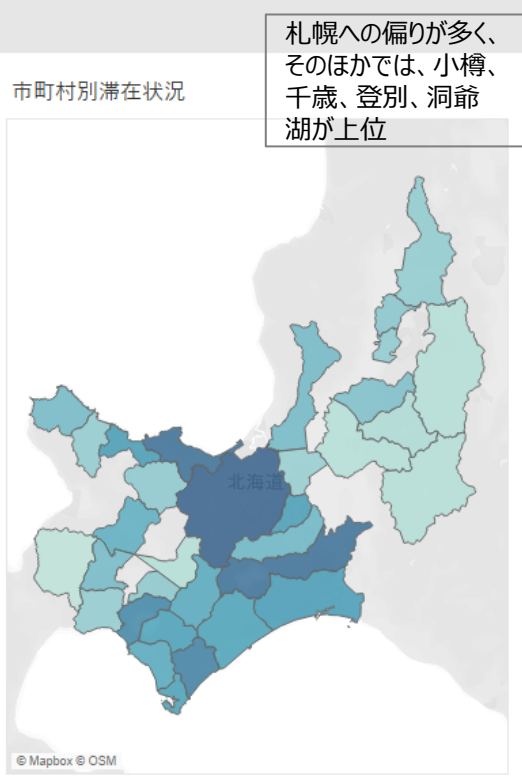
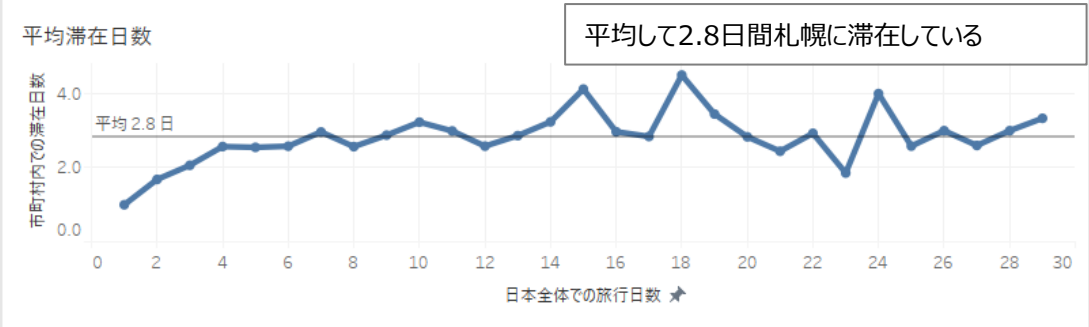
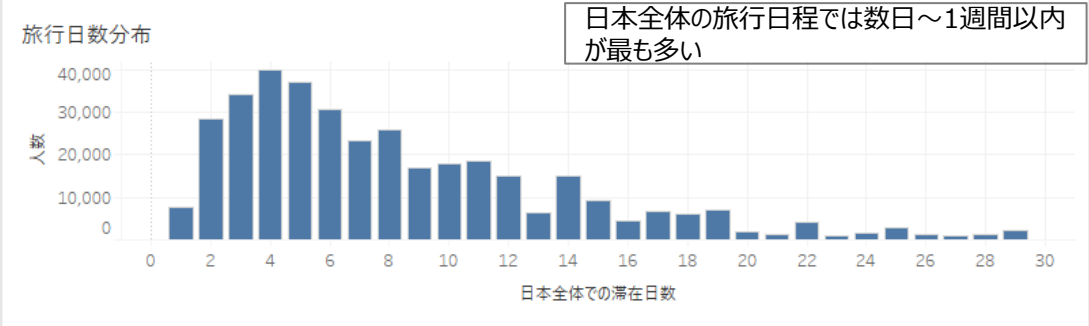
4-6月の特徴は以下の通りとなった。詳細は次頁以降にて整理した。

エリア	比較対象	全国 籍	欧 米 豪	注視すべきポイント
道央	昨年同時期比	—	↑	2023～2024年では2月が来訪者のピークで、2024年4月以降は緩やかに増加傾向。札幌への偏りが多く、その他では、小樽、千歳、登別、洞爺湖が上位。平均して2.7日間札幌に滞在。
道南	昨年同時期比	—	↑	2023年と比較して3月、4月は減少傾向であったが、5月、6月は同程度である。函館への滞在が多く、函館市の前後は札幌市での滞在が最も多いが、北斗市での滞在も多い。
道北	昨年同時期比	—	↑	2024年4～6月は来訪者が増加傾向で、2023年よりも3ヵ月間での伸びが大きい。旭川、美瑛、富良野、中富良野への滞在が多い。
オホーツク	昨年同時期比	↑	—	2024年は2月に来訪者数が大きく伸びていたが、2024年4～6月では5月の来訪者数が最も多い。網走への来訪が多く、湧別、北見と続く。
十勝	昨年同時期比	↑	—	2023年～2024年では2024年1月が最も多く、その後2024年5月までは減少傾向であったが、6月は増加傾向でその伸びは2023年よりも大きい。ほとんどが帯広への滞在である。
釧路・根室	昨年同時期比	↑	—	2023年～2024年では2024年2月が最も多いが、直近の3ヵ月では2024年5月が最も多く、2023年のトレンドとは異なる。ほとんどが根室への滞在である。

道央圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）



札幌市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	札幌市	47.6%
2	小樽市	17.4%
3	千歳市	17.0%
4	登別市	6.3%
5	洞爺湖町	4.3%
6	余市町	1.2%
7	苫小牧市	1.1%
8	北広島市	1.0%
9	壮瞥町	0.8%
10	室蘭市	0.8%



直前の訪問先

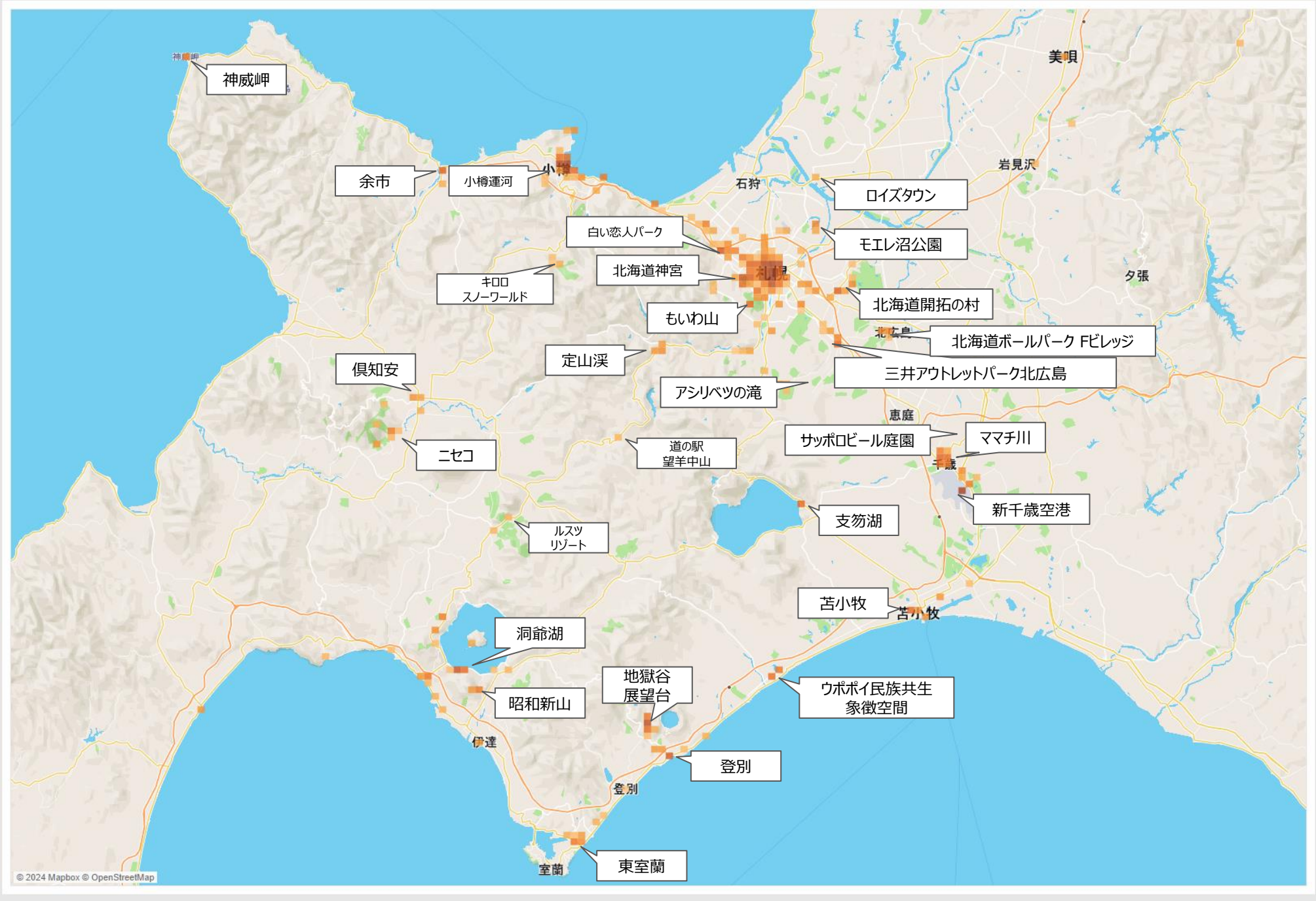
札幌の前後は道央圏内の小樽、千歳が特に多いが道南の函館、道北の旭川への周遊も上位に見られる

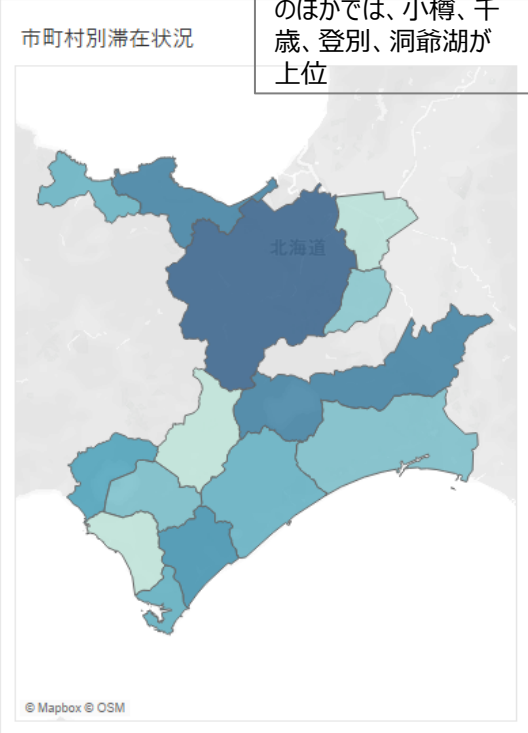
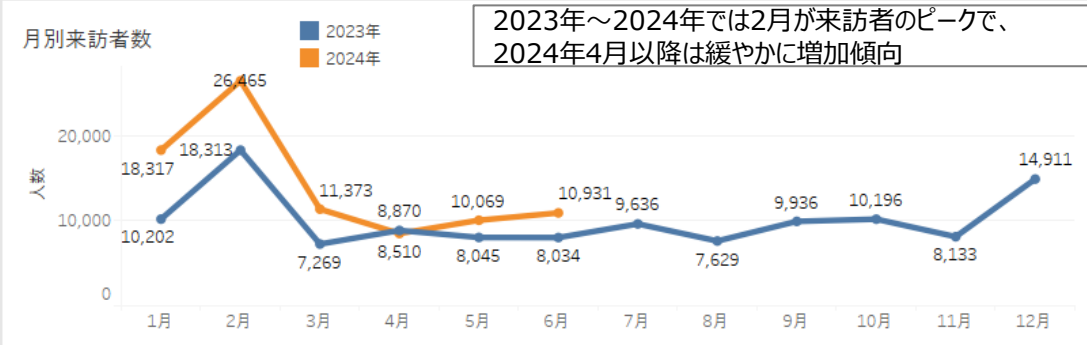
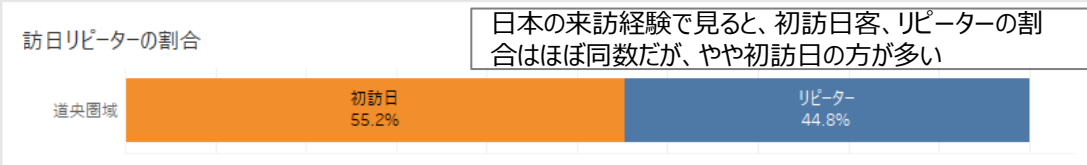
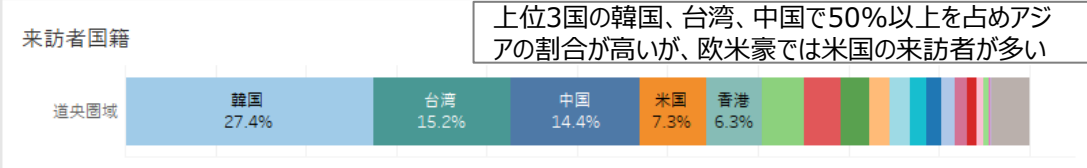
順位	訪問先	割合
1	千歳市	29.7%
2	小樽市	26.6%
3	函館市	7.1%
4	旭川市	6.0%
5	登別市	5.4%
6	美瑛町	4.0%
7	北広島市	3.0%
8	中富良野町	2.9%
9	洞爺湖町	2.5%
10	富良野市	2.0%

直後の訪問先

順位	訪問先	割合
1	小樽市	38.7%
2	千歳市	12.1%
3	函館市	8.9%
4	旭川市	7.3%
5	登別市	5.5%
6	美瑛町	3.8%
7	中富良野町	3.5%
8	洞爺湖町	3.0%
9	当別町	2.4%
10	北広島市	2.0%

道央圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）

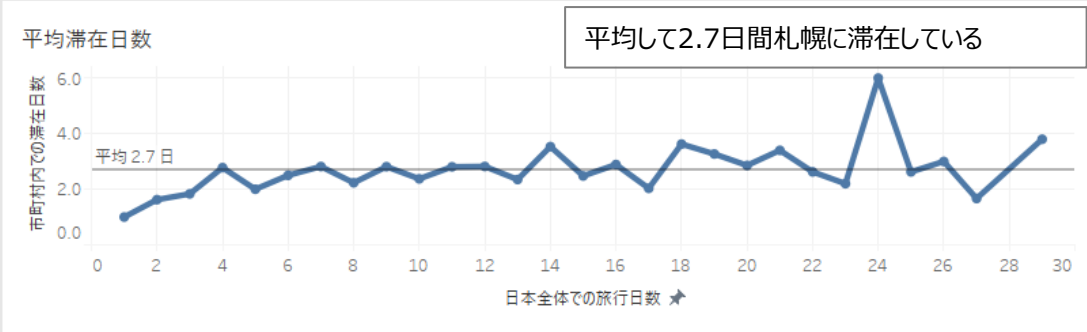
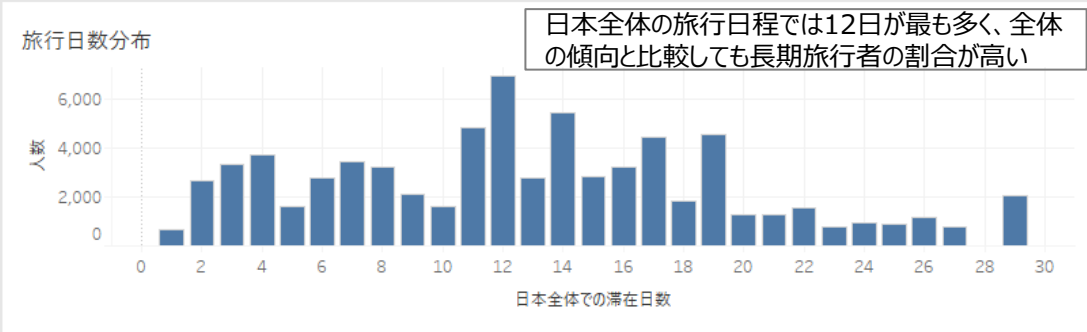




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	札幌市	57.3%
2	千歳市	14.0%
3	小樽市	13.3%
4	登別市	5.9%
5	洞爺湖町	3.1%
6	室蘭市	1.6%
7	白老町	1.4%
8	余市町	1.3%
9	壮瞥町	0.8%
10	苫小牧市	0.7%

札幌市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・欧米豪）



札幌の前後は小樽への滞在が多く、小樽、千歳を除くと函館が最も多い

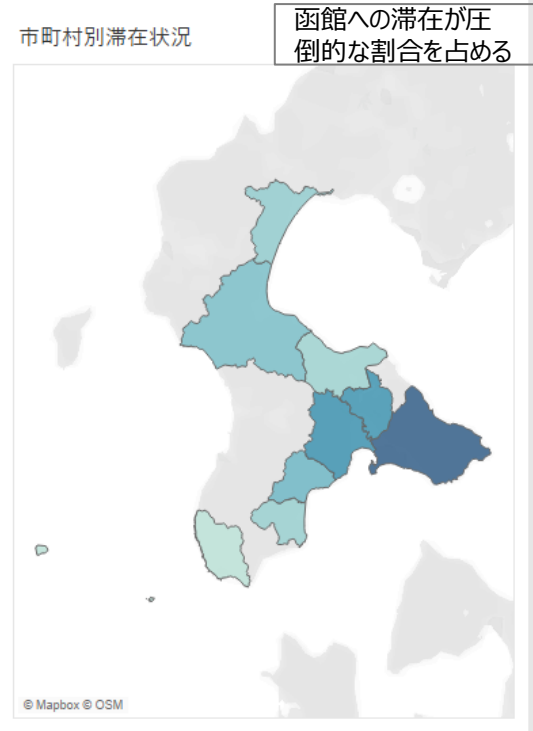
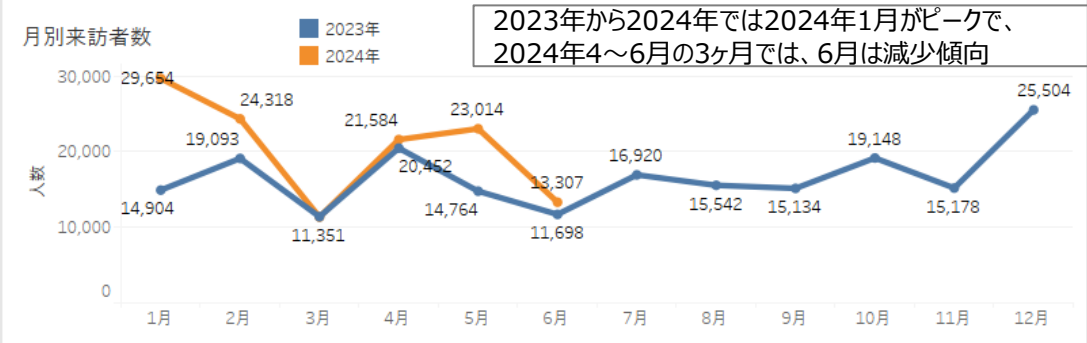
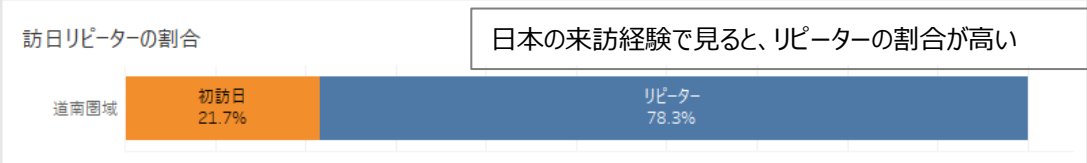
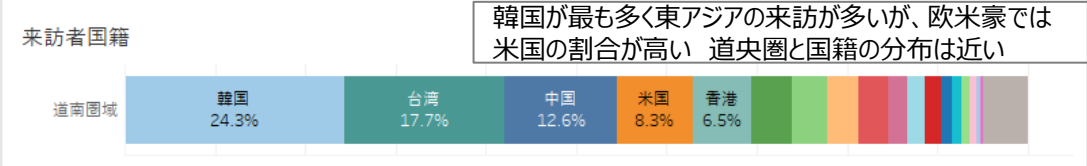
直前の訪問先

順位	訪問先	割合
1	小樽市	30.7%
2	千歳市	18.3%
3	函館市	10.1%
4	登別市	7.0%
5	余市町	4.7%
6	旭川市	4.3%
7	当別町	4.2%
8	富良野市	4.1%
9	美瑛町	3.5%
10	積丹町	2.5%

直後の訪問先

順位	訪問先	割合
1	小樽市	37.8%
2	千歳市	13.4%
3	函館市	9.9%
4	稚内市	4.8%
5	当別町	4.6%
6	登別市	4.2%
7	北斗市	3.1%
8	美瑛町	2.9%
9	余市町	2.9%
10	旭川市	2.6%

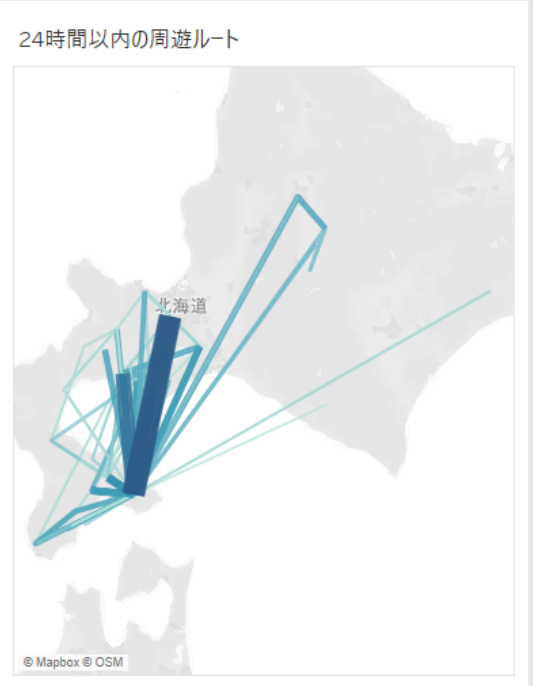
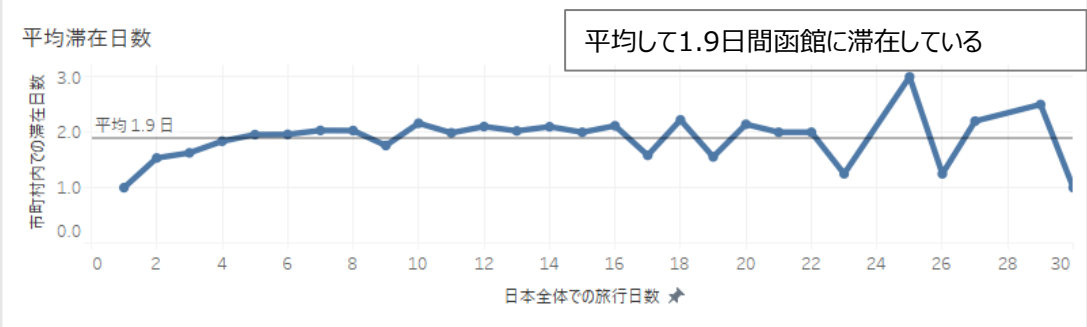
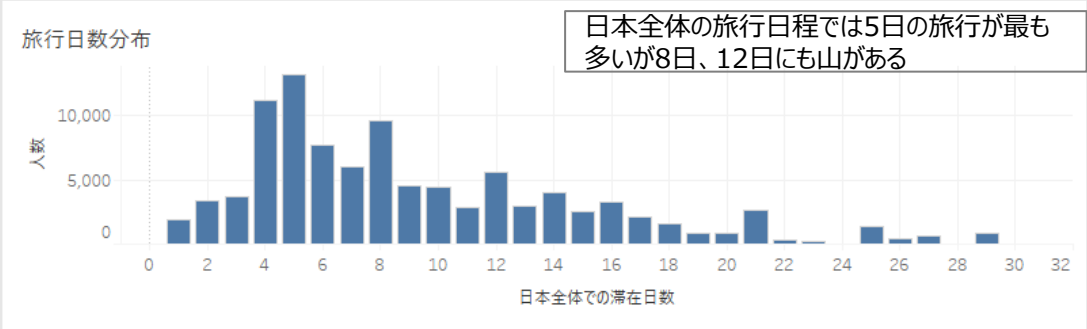
[illegible]



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	函館市	86.9%
2	北斗市	5.9%
3	七飯町	5.1%
4	木古内町	0.8%
5	八雲町	0.5%
6	長万部町	0.2%
7	知内町	0.2%
8	森町	0.2%
9	松前町	0.1%

函館市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）



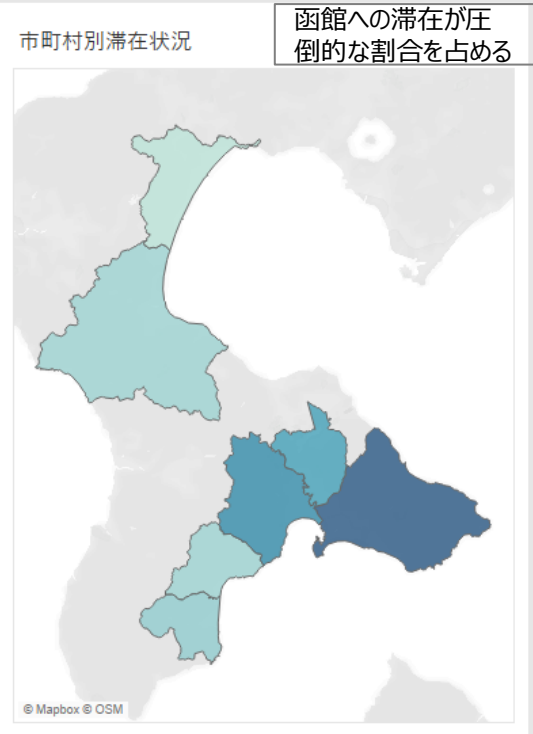
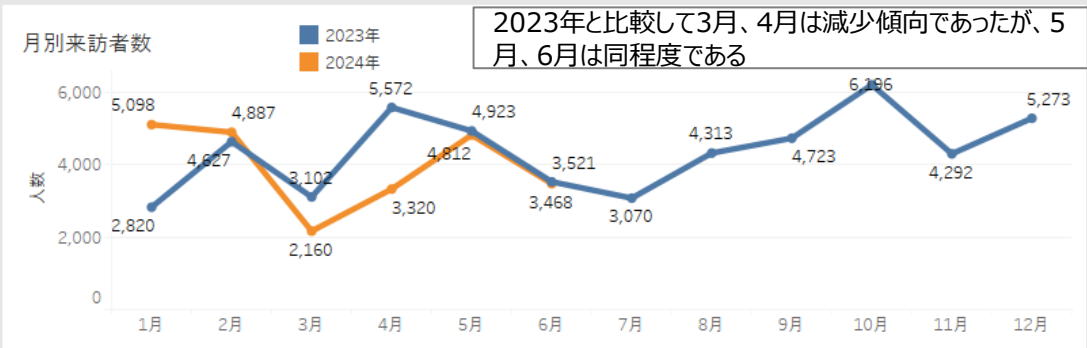
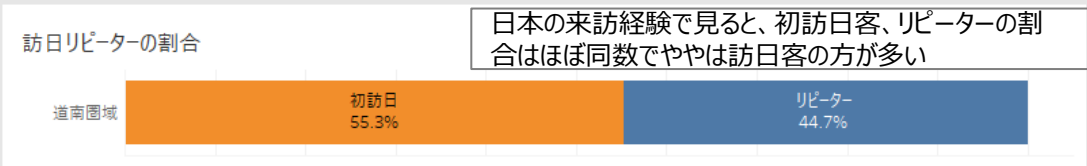
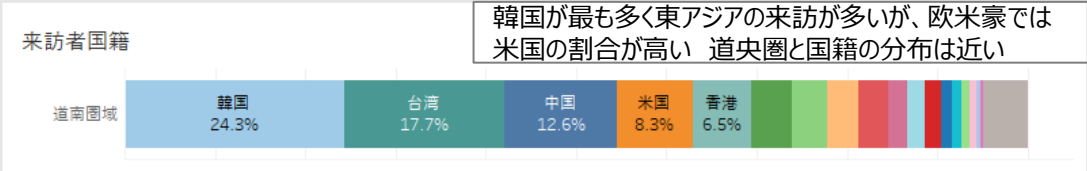
函館の前後は札幌市への滞在が最も多く、道南圏域内の周遊も見られる

直前の訪問先

1	札幌市	41.2%
2	洞爺湖町	18.7%
3	北斗市	10.8%
4	七飯町	7.7%
5	登別市	3.4%
6	千歳市	2.9%
7	壮瞥町	2.5%
8	松前町	2.3%
9	二セツ町	2.1%
10	倶知安町	2.0%

直後の訪問先

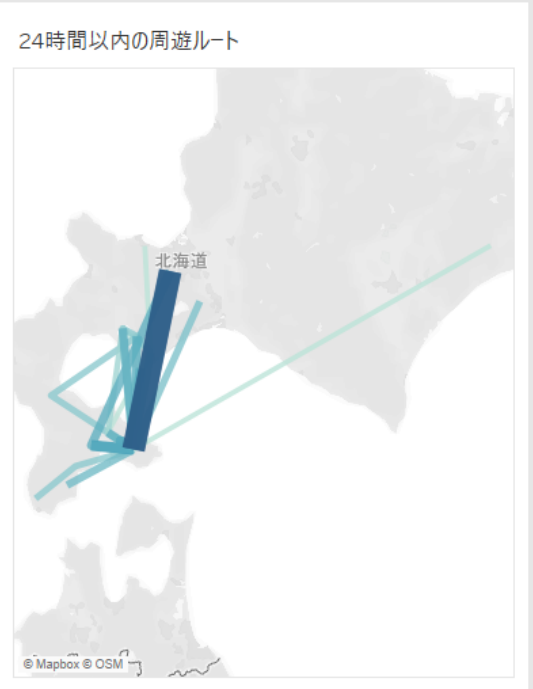
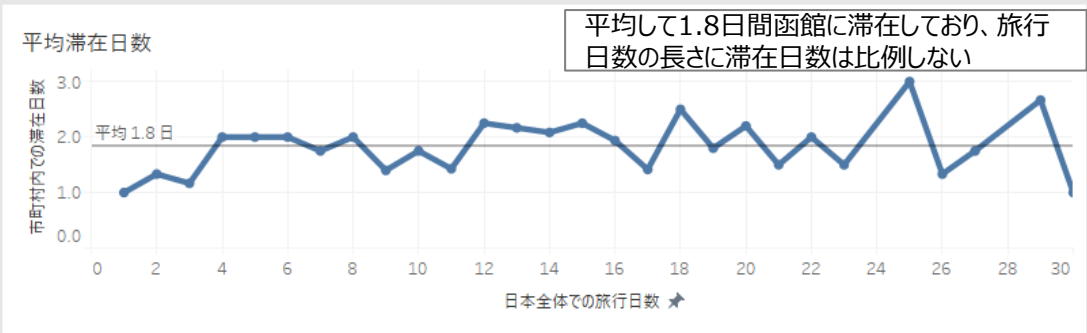
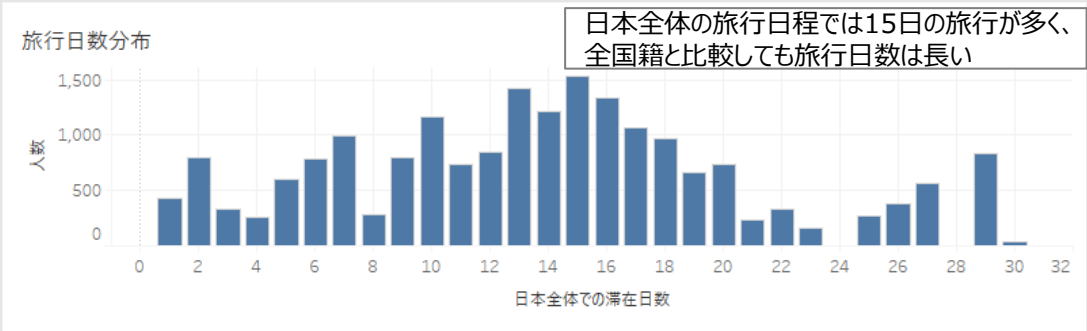
1	札幌市	42.1%
2	七飯町	12.2%
3	北斗市	11.7%
4	洞爺湖町	7.9%
5	登別市	6.9%
6	千歳市	3.3%
7	木古内町	3.2%
8	旭川市	2.8%
9	室蘭市	2.4%
10	壮瞥町	1.4%



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合 (%)
1	函館市	80.9%
2	北斗市	11.5%
3	七飯町	5.3%
4	知内町	0.8%
5	八雲町	0.6%
	木古内町	0.6%
7	長万部町	0.3%

函館市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・欧米豪）



函館市の前後は札幌市での滞在が最も多いが、北斗市での滞在も多く、新幹線で本州から来訪している人も多いと考えられる

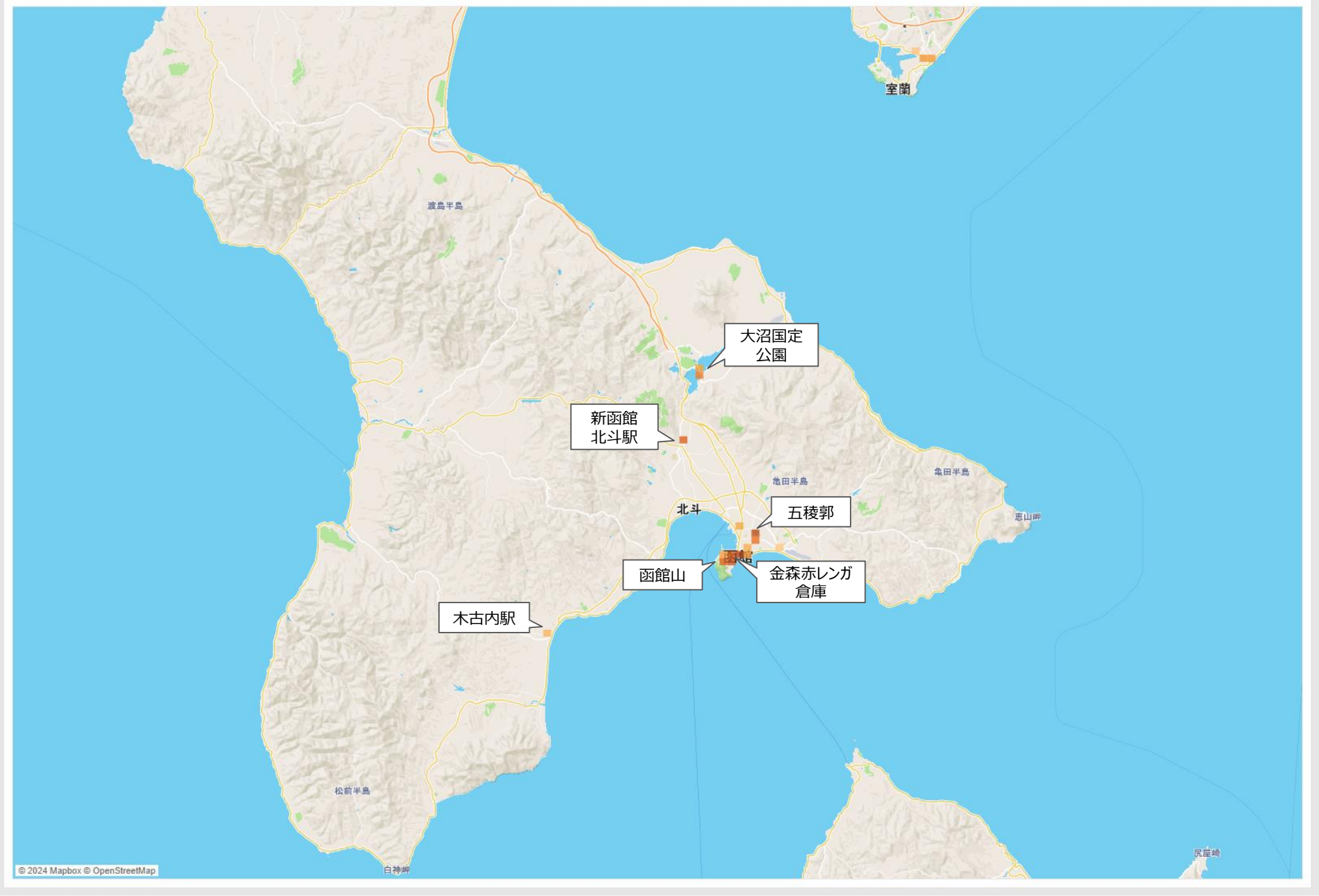
直前の訪問先

順位	訪問先	割合 (%)
1	札幌市	45.0%
2	北斗市	23.8%
3	洞爺湖町	8.9%
4	七飯町	7.1%
5	壮瞥町	6.3%
6	登別市	3.7%
	千歳市	3.7%
8	釧路市	1.5%

直後の訪問先

順位	訪問先	割合 (%)
1	札幌市	45.6%
2	北斗市	15.5%
3	七飯町	15.2%
4	室蘭市	7.4%
5	洞爺湖町	6.8%
6	知内町	4.1%
7	八雲町	2.7%
	木古内町	2.7%

道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・欧米豪）



道北圈 全国籍

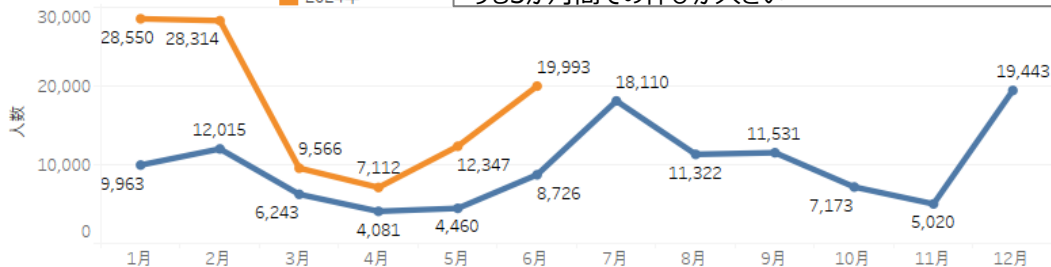
韓国が約35.2%とアジアの中でも特に多く、欧米豪では米国からの来訪が多い



日本の来訪経験で見ると、リピーターの割合が高い

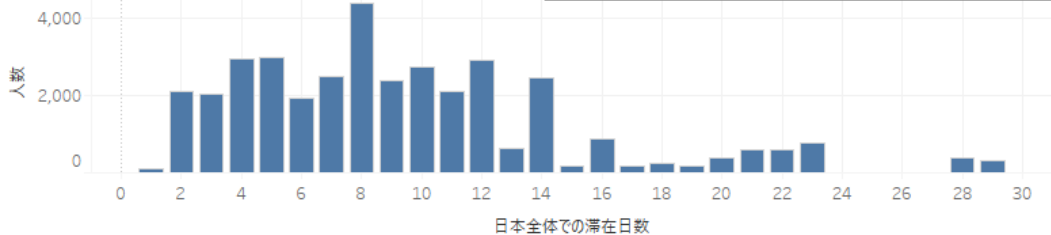


2024年4～6月は来訪者が増加傾向で、2023年よりも3か月間での伸びが大きい

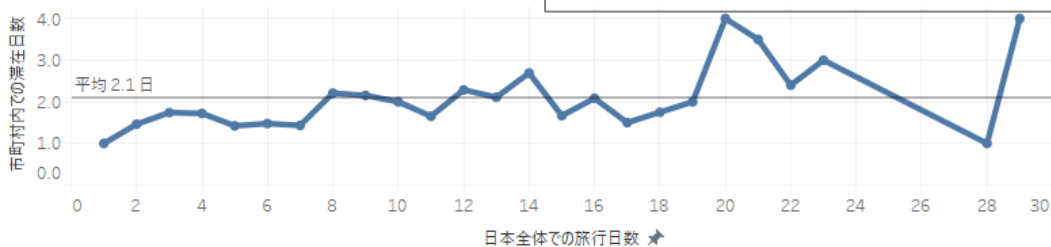


旭川市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）

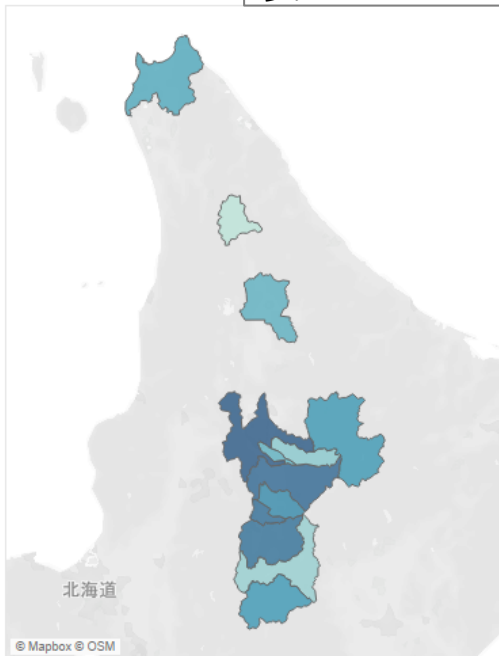
日本全体の旅行日程で8日程度の旅行が多い



平均して2.1日間旭川に滞在している



旭川、美瑛、中富良野、富良野への滞在が多い



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村		
1	旭川市	40.2%	
2	美瑛町	20.0%	
3	中富良野町	16.0%	
4	富良野市	13.1%	
5	上富良野町	4.0%	
6	上川町	2.0%	
7	占冠村	2.0%	
8	稚内市	1.0%	
9	東神楽町	0.7%	
	名寄市	0.7%	

旭川の前後は札幌への滞在が最も多いが、富良野、美瑛も上位であり、道北圏内での周遊が見られる

24時間以内の周遊ルート



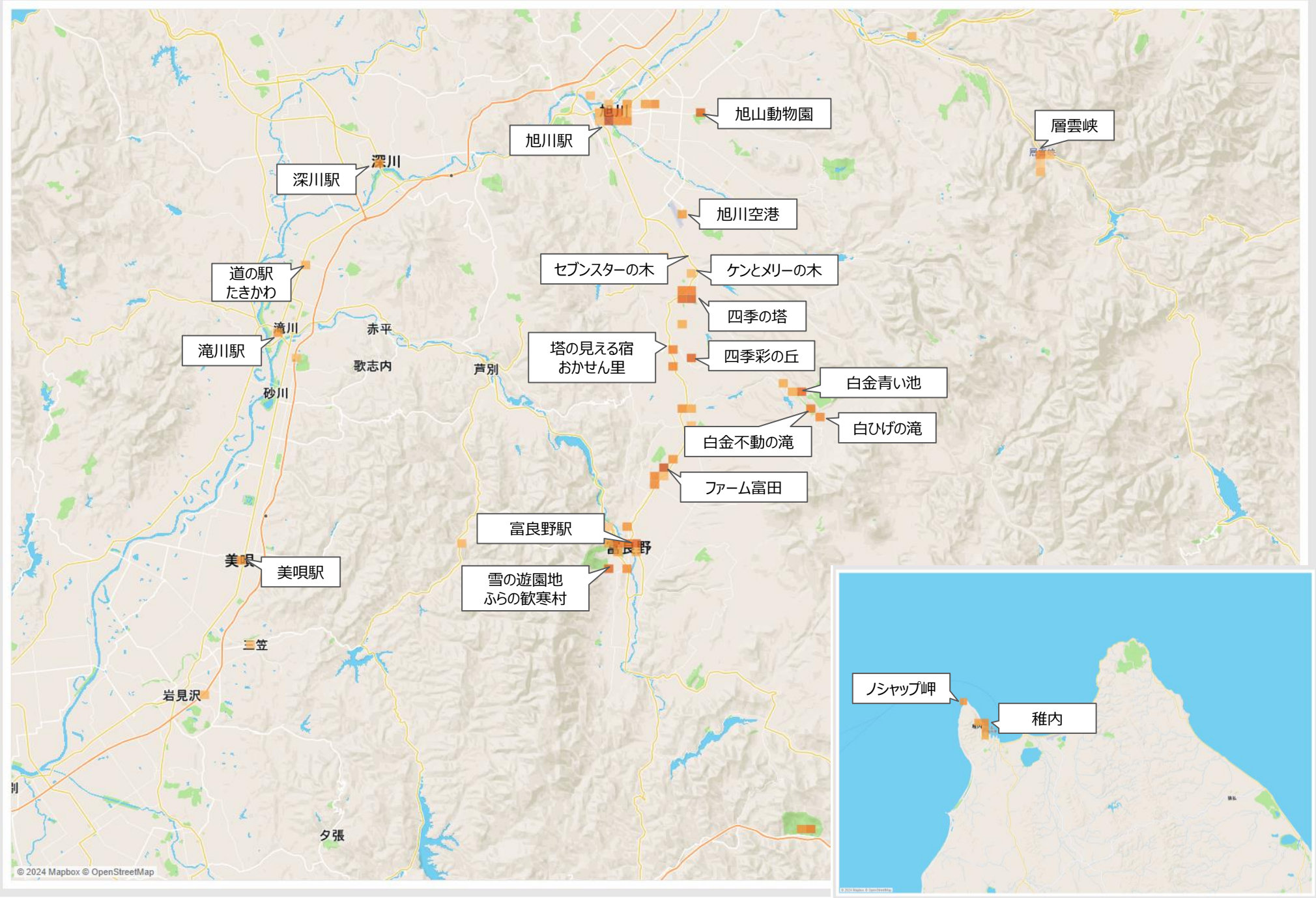
直前の訪問先

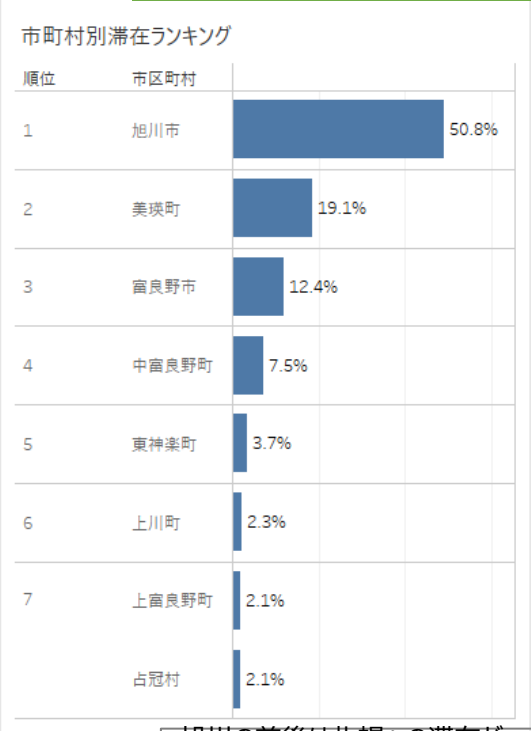
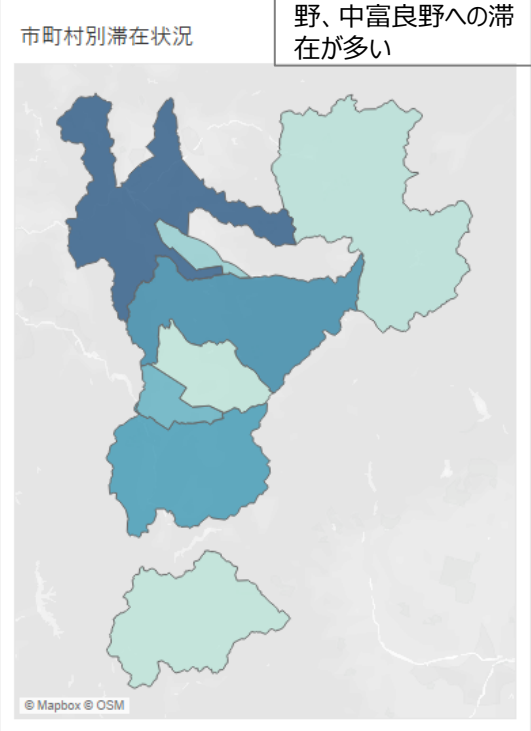
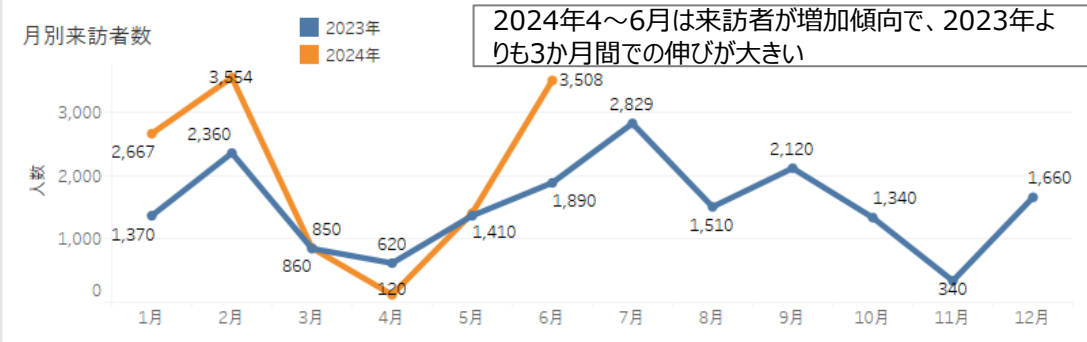
1	札幌市	42.5%
2	富良野市	14.1%
3	美瑛町	12.9%
4	当別町	4.3%
5	中富良野町	4.1%
6	上川町	3.5%
7	小樽市	2.6%
8	函館市	2.5%
9	網走市	2.2%
10	上富良野町	1.5%

直後の訪問先

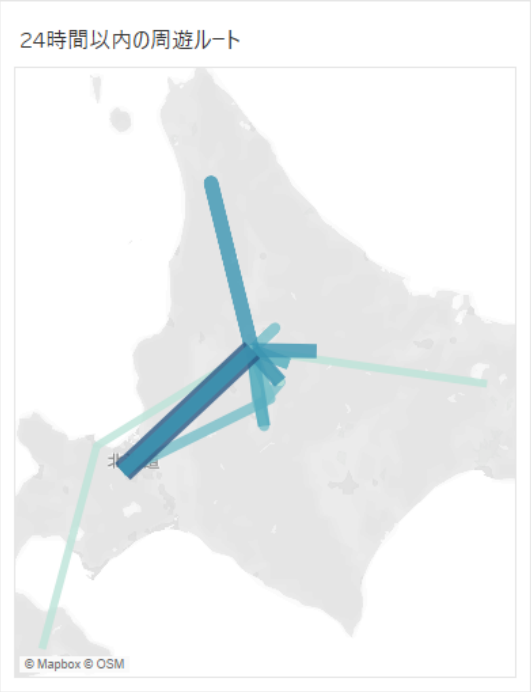
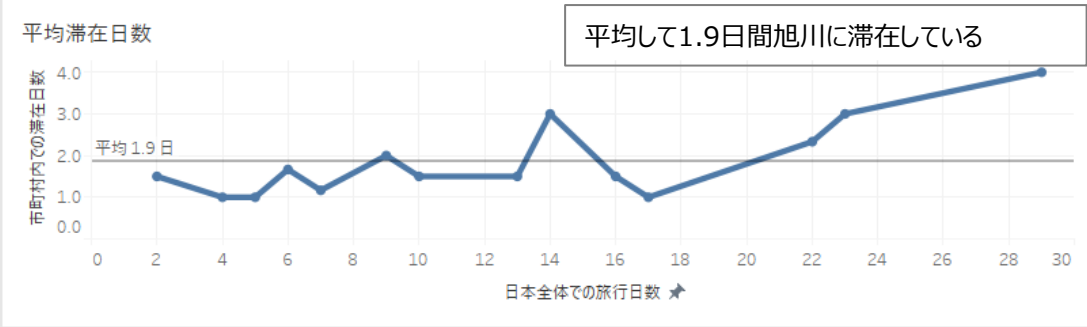
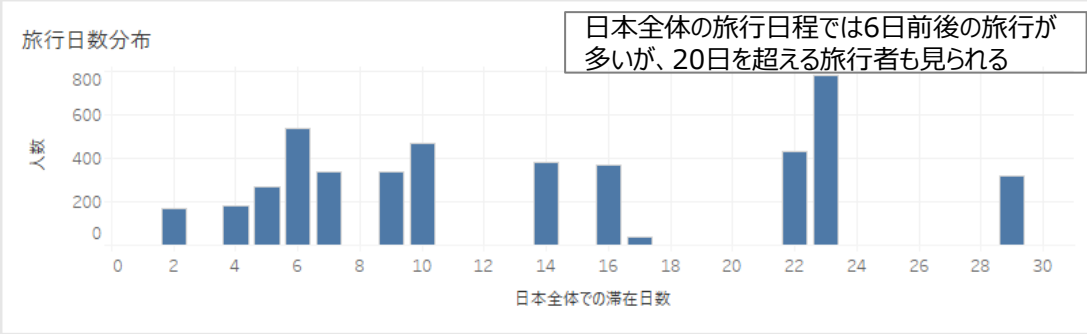
1	札幌市	29.8%
2	美瑛町	17.9%
3	富良野市	17.2%
4	中富良野町	6.7%
5	小樽市	4.1%
6	上川町	3.8%
7	上富良野町	2.4%
	枝幸町	2.4%
9	糠田町	2.3%
10	名寄市	2.0%

道北圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）

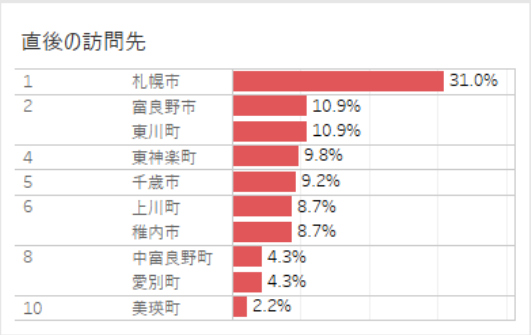
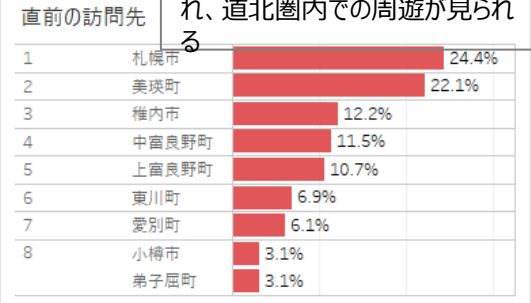




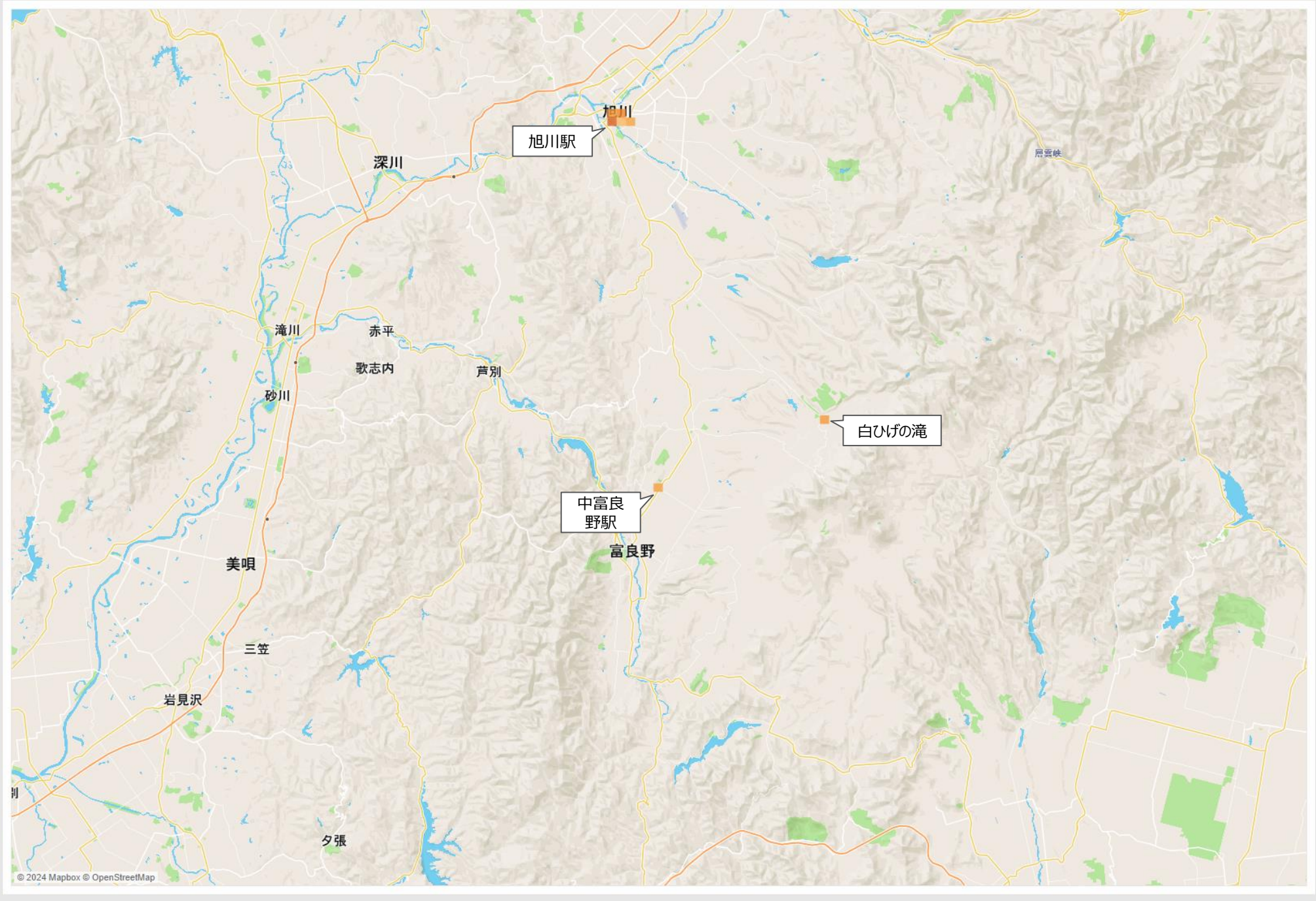
旭川市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・欧米豪）

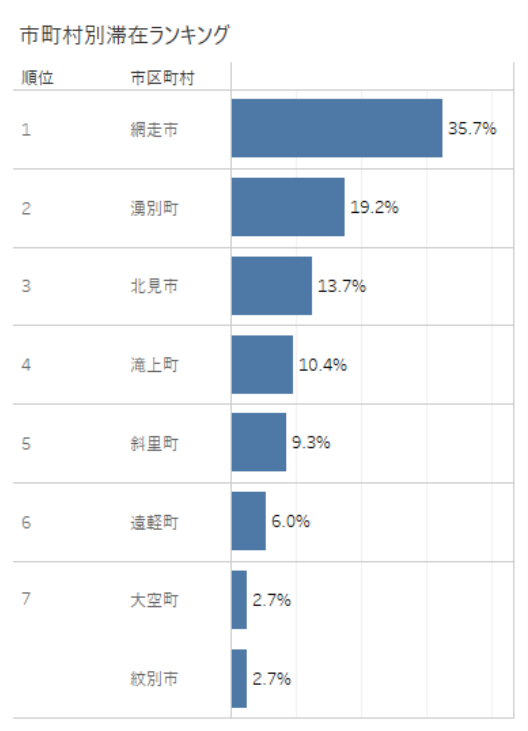
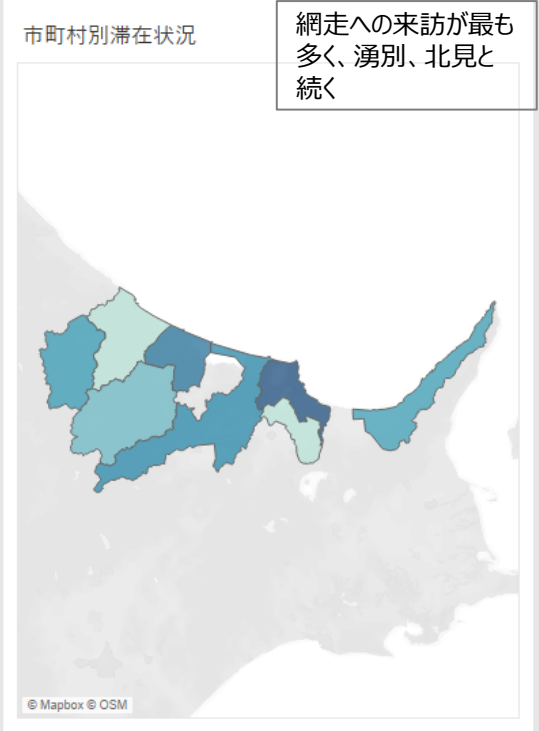
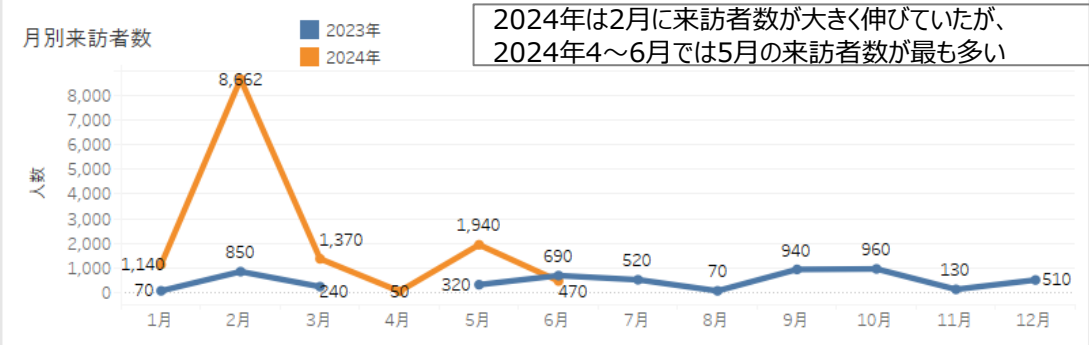
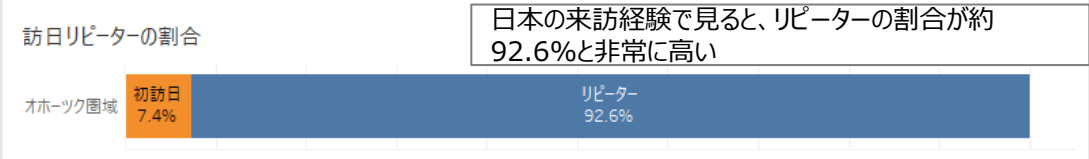
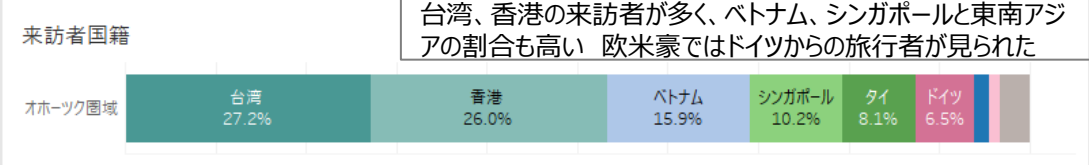


旭川の前後は札幌への滞在が最も多いが、富良野、美瑛も上位であり、稚内への滞在も見られ、道北圏内での周遊が見られる

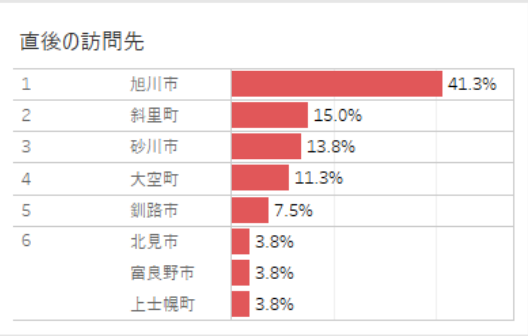
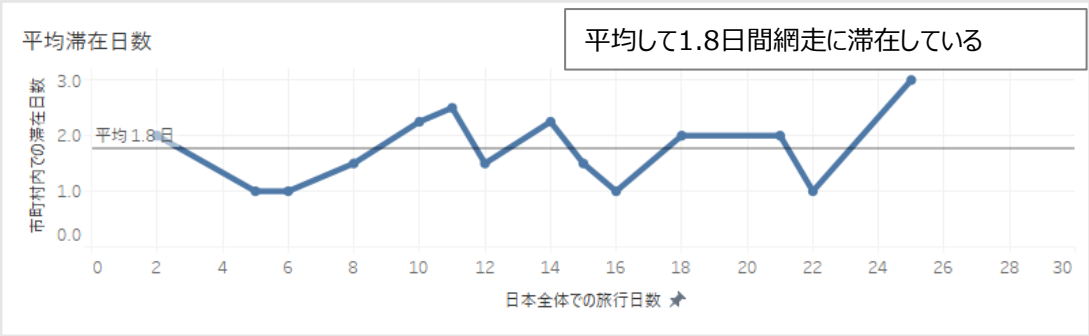
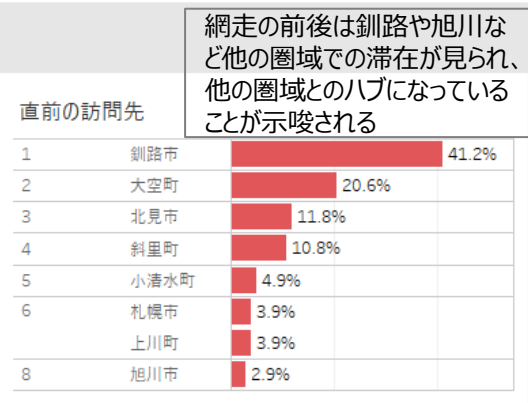
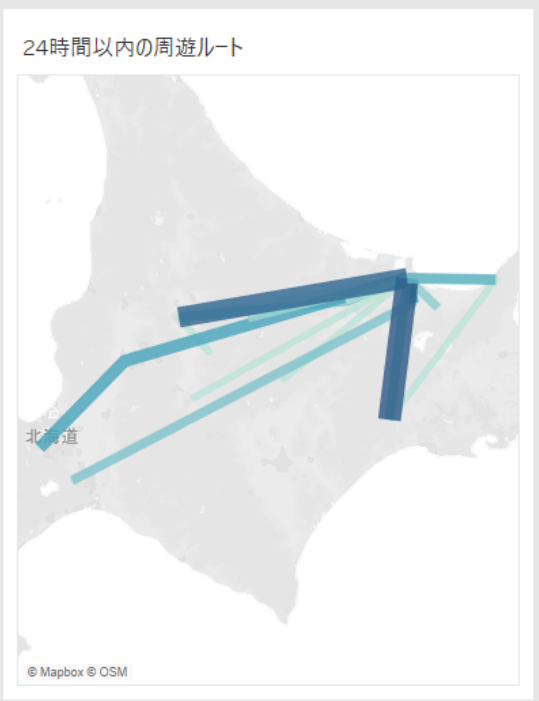
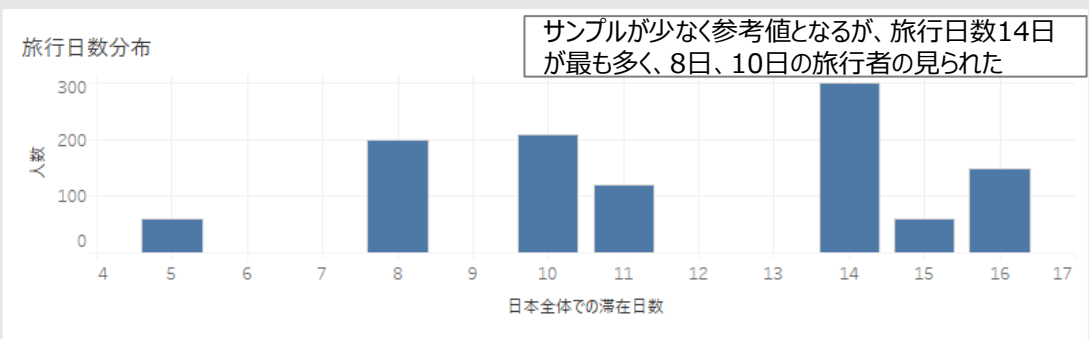


道北圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・欧米豪）

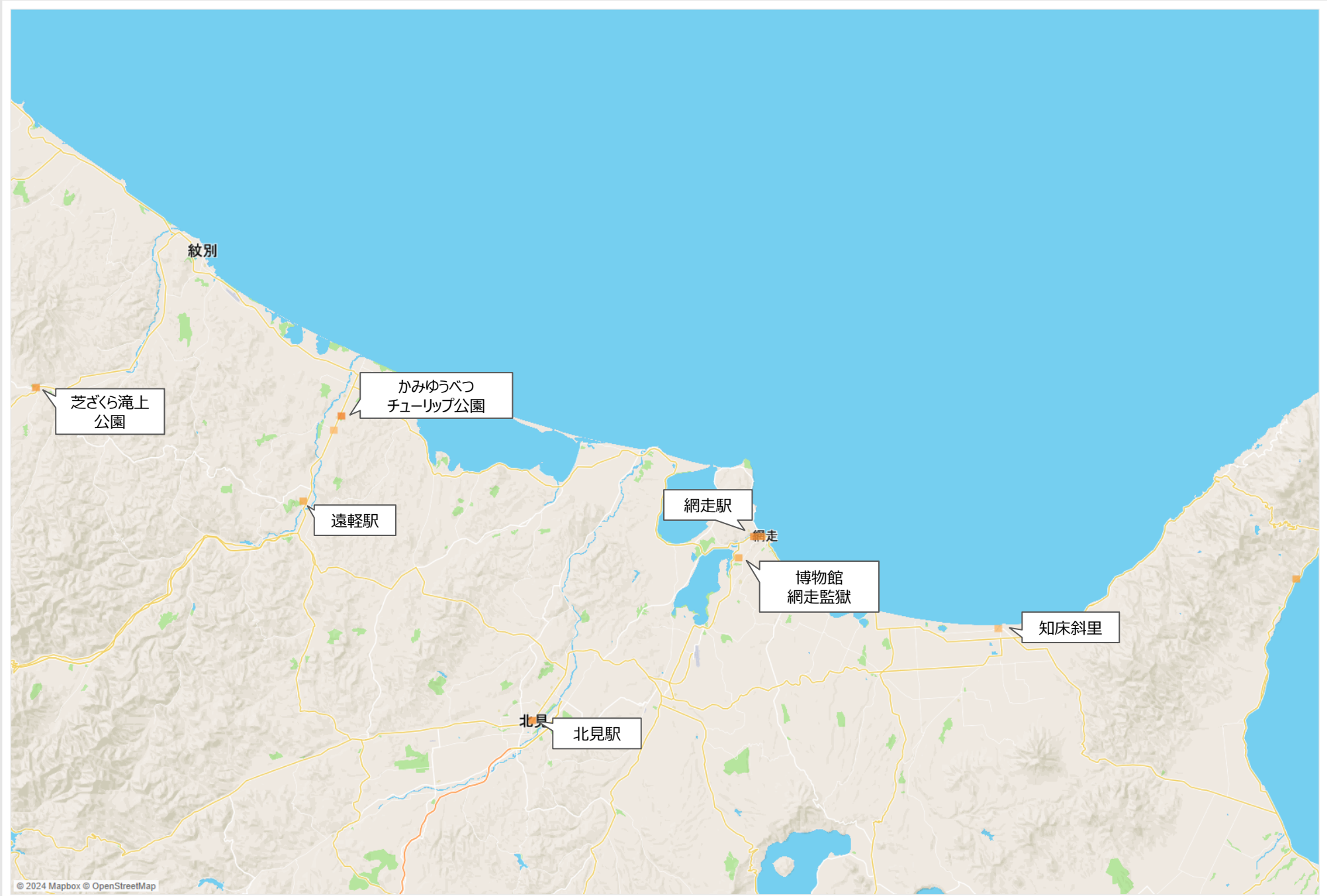


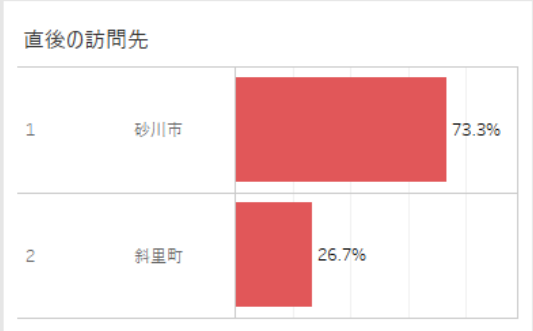
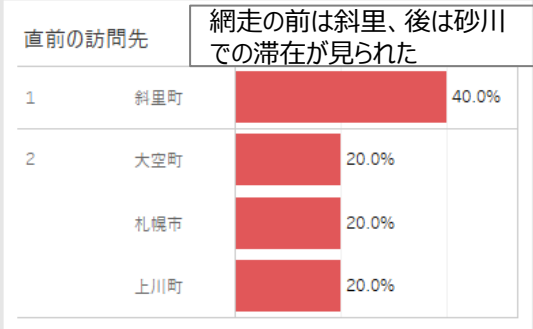
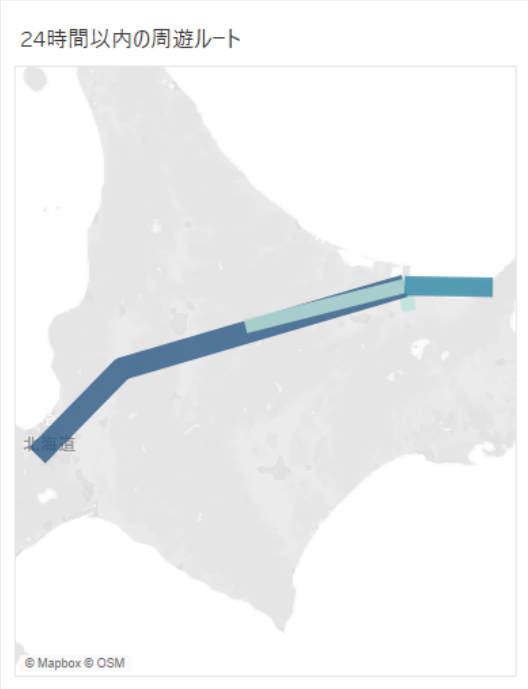
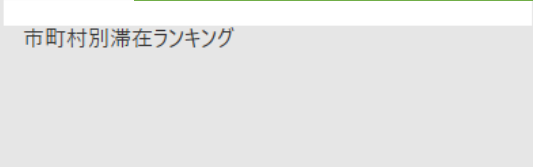
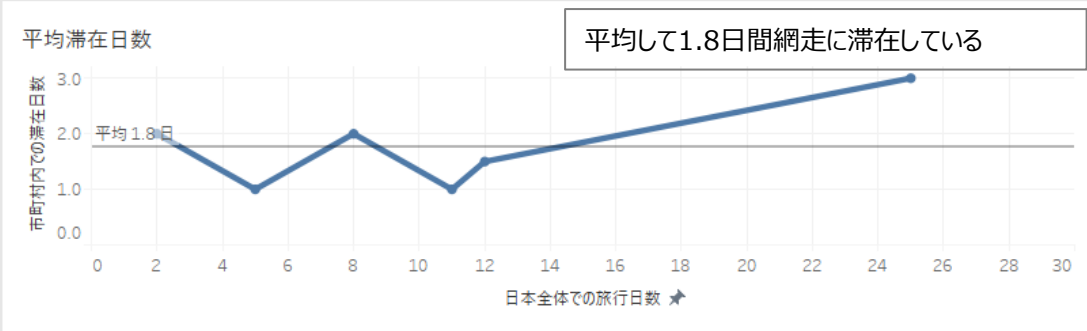
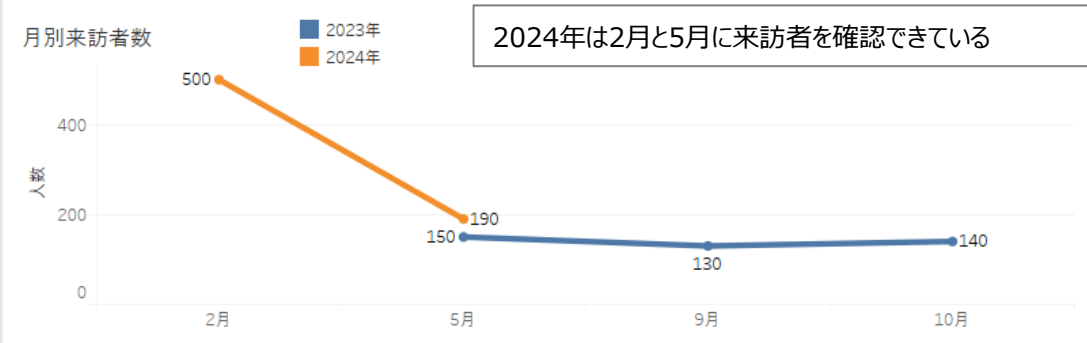
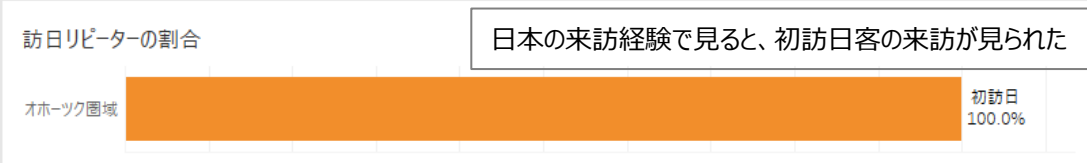
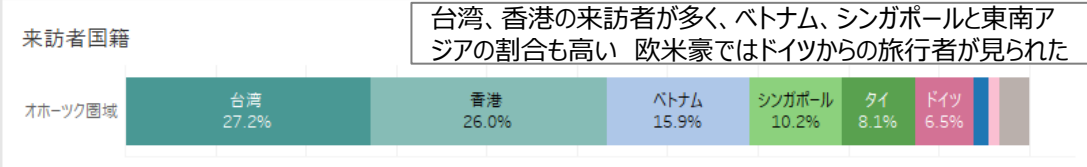


網走市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）

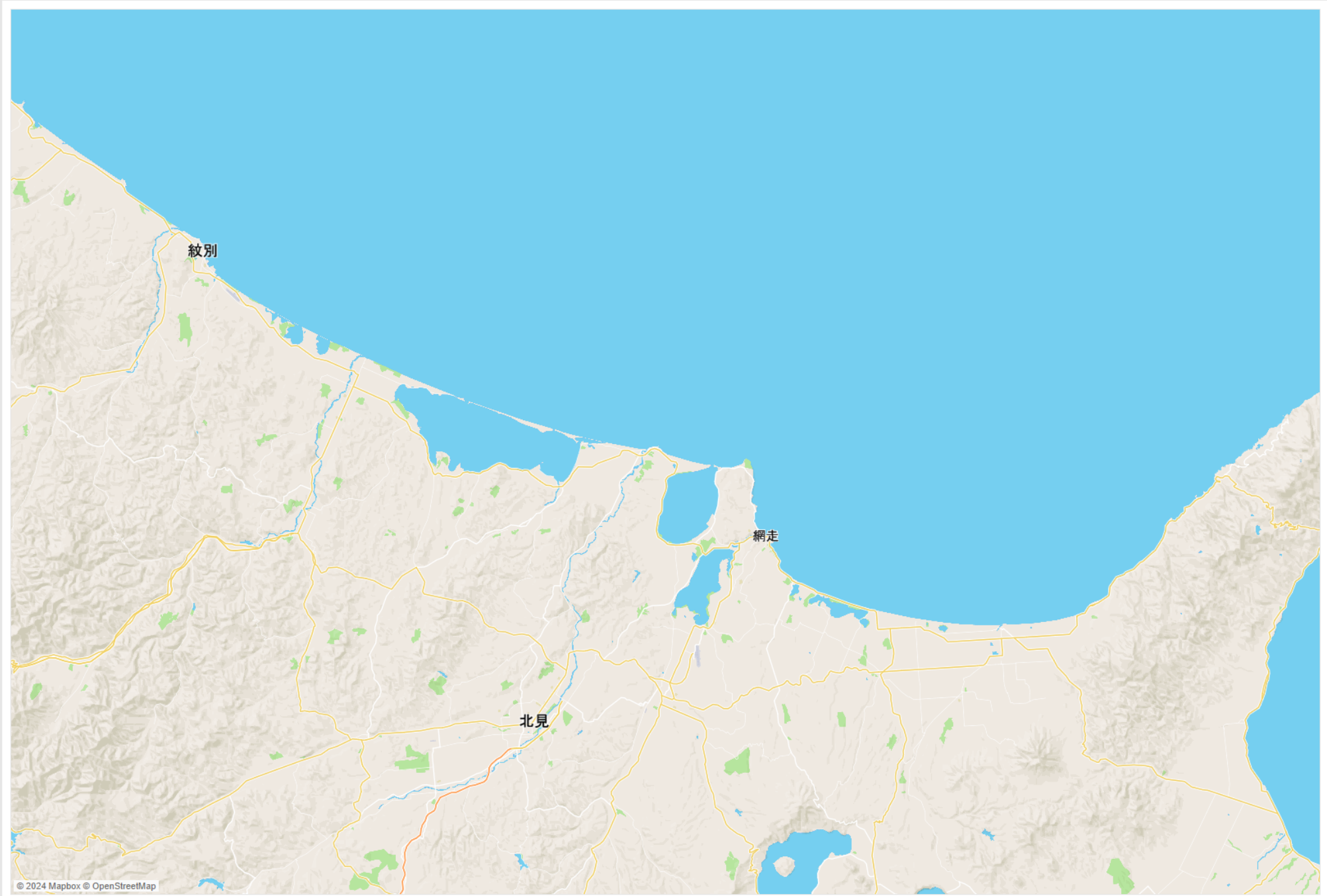


オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）





オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年5月・欧米豪）



十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）

来訪者国籍

台湾が40%を占め、香港、韓国と併せると約85%を占める



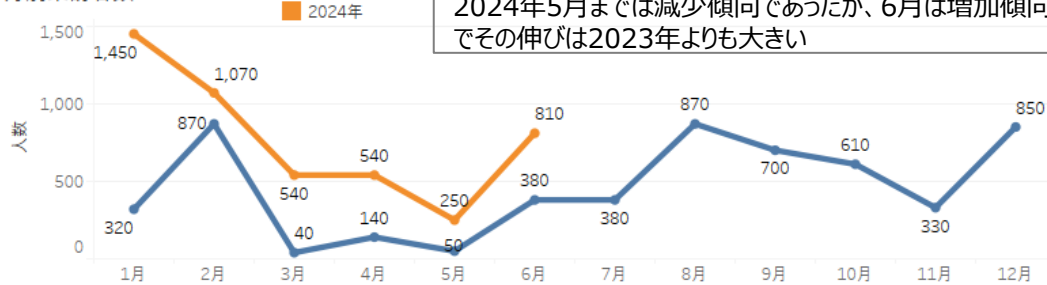
訪日リピーターの割合

日本の来訪経験で見るとリピーターが95.9%と圧倒的に多い



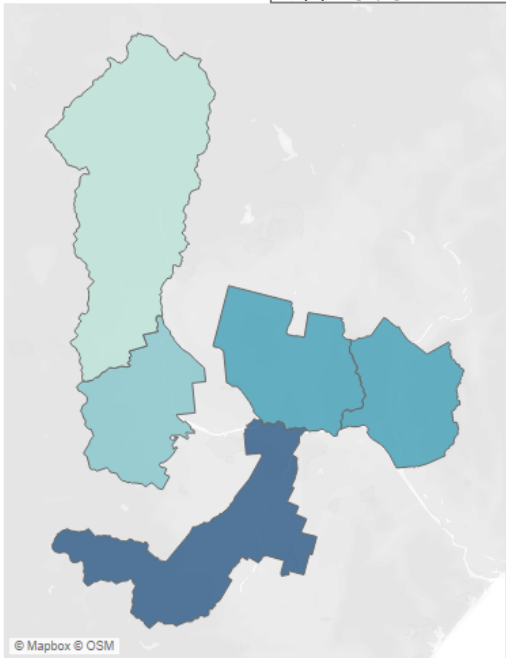
月別来訪者数

2023年～2024年では2024年1月がピークで、その後2024年5月までは減少傾向であったが、6月は増加傾向でその伸びは2023年よりも大きい



市町村別滞在状況

ほとんどが帯広への滞在である



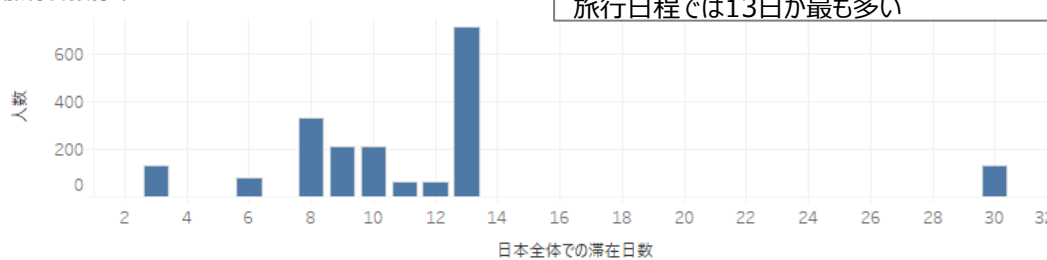
市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	帯広市	80.4%
2	音更町	8.4%
	池田町	8.4%
4	清水町	2.1%
5	新得町	0.7%

帯広市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）

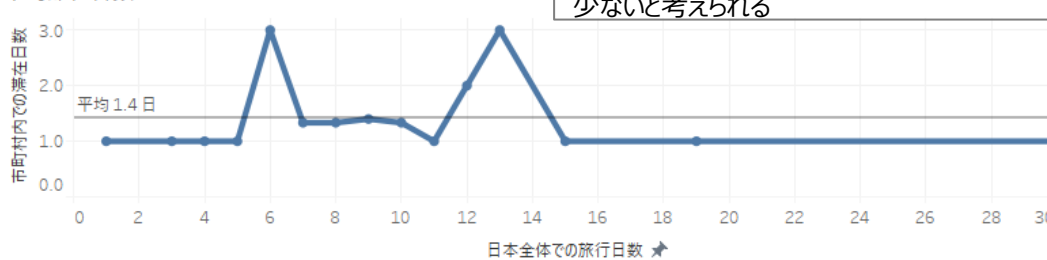
旅行日数分布

サンプルが少なく参考値となるが、日本全体の旅行日程では13日が最も多い



平均滞在日数

平均して1.4日間帯広に滞在しており宿泊は少ないと考えられる



24時間以内の周遊ルート



直前の訪問先

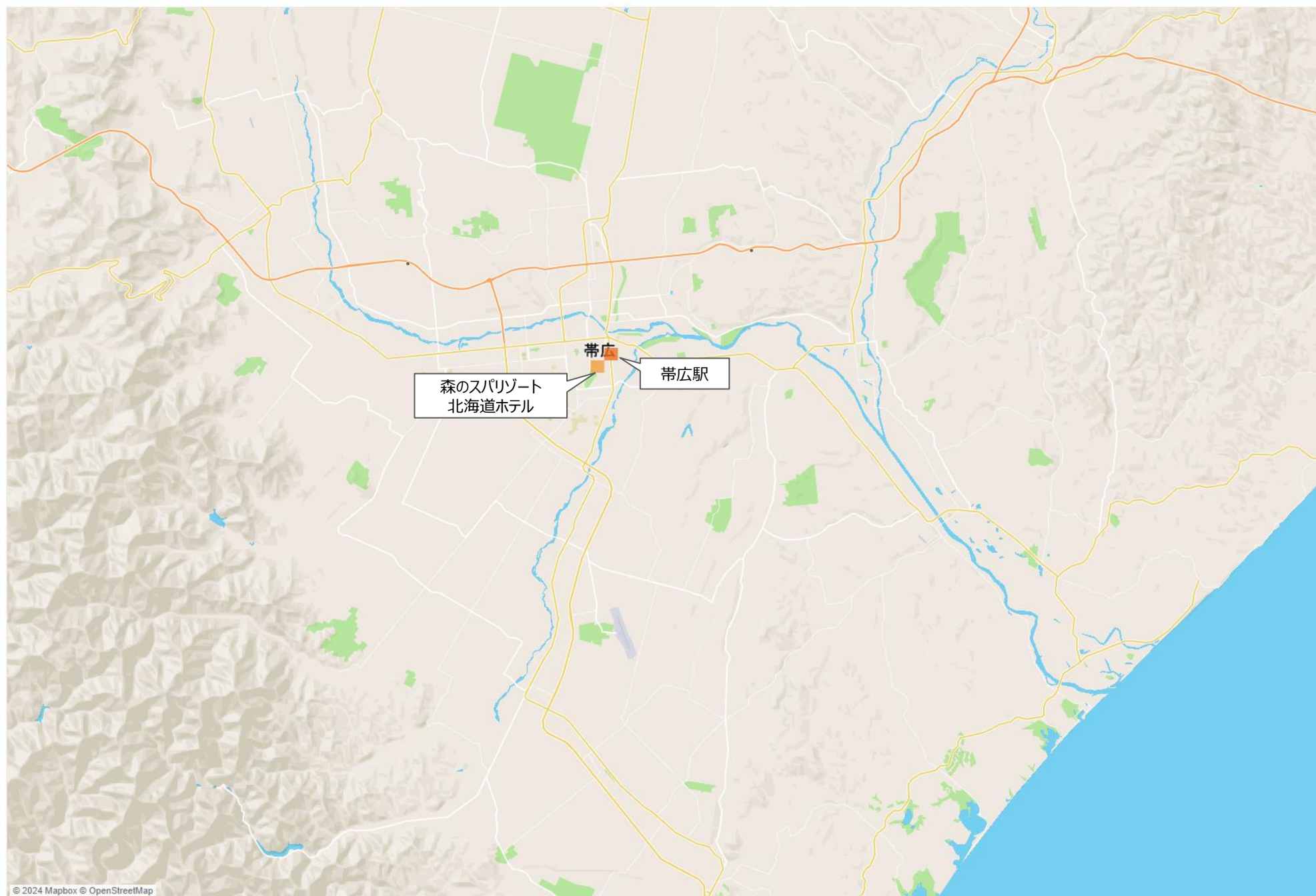
帯広の前後は札幌の滞在が多く次いで中札内の滞在が多い

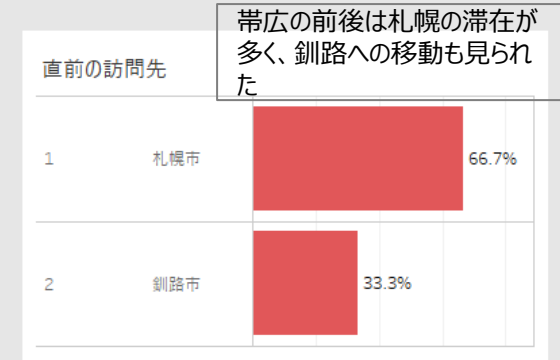
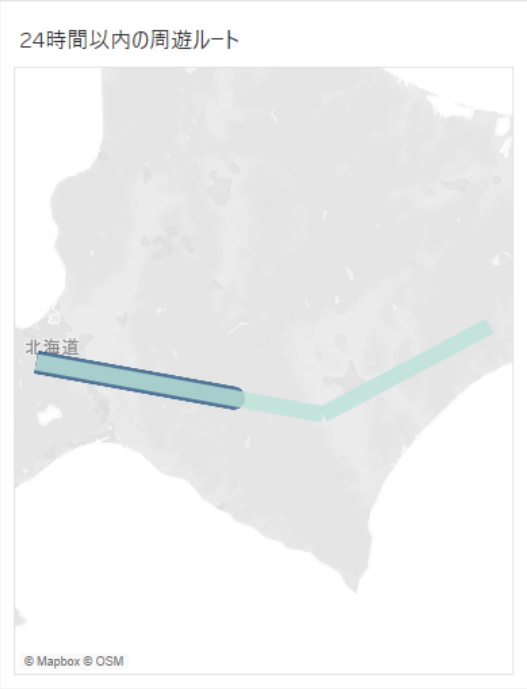
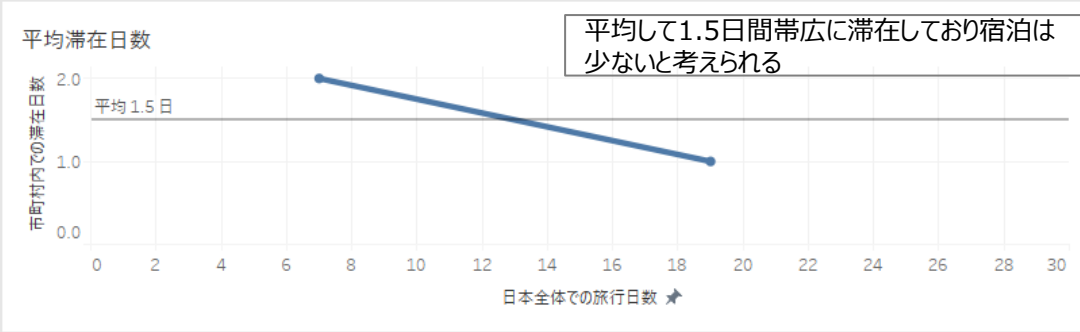
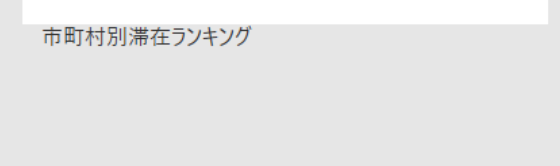
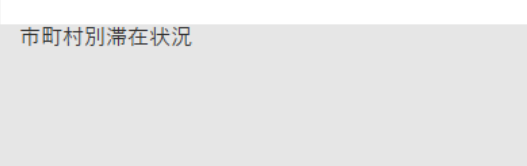
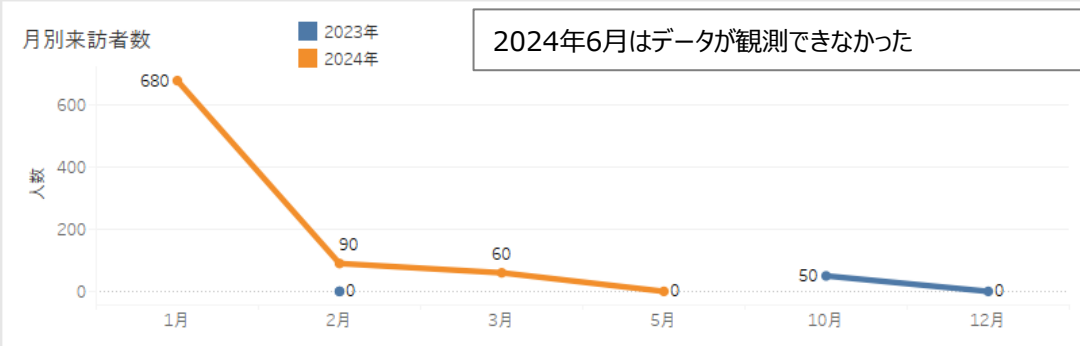
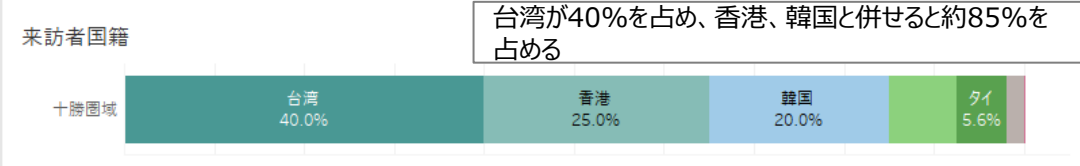
順位	訪問先	割合
1	札幌市	46.3%
2	中札内村	22.4%
3	釧路市	14.3%
4	富良野市	8.8%
5	帯別町	3.4%
6	音更町	2.7%
7	新得町	2.0%

直後の訪問先

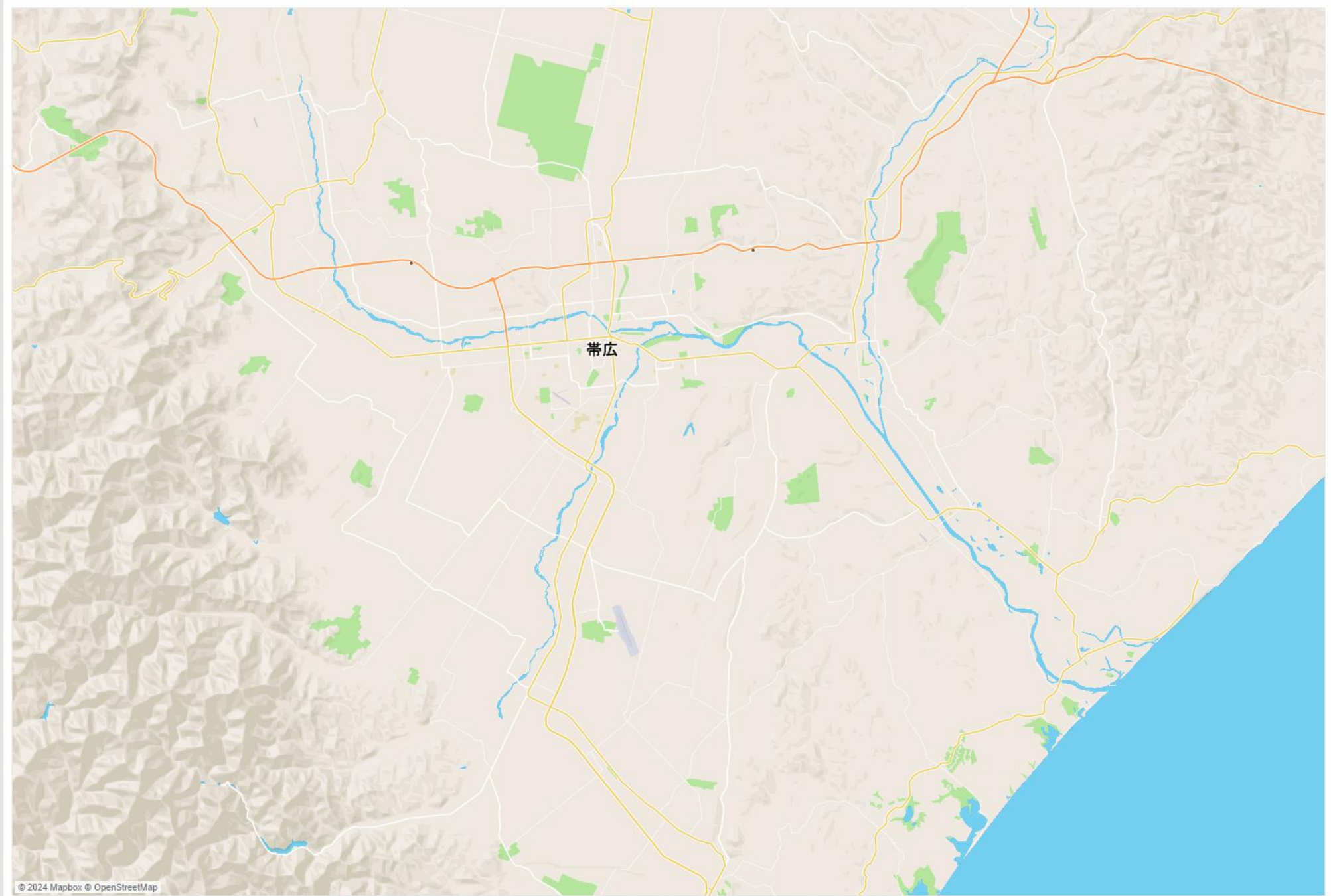
順位	訪問先	割合
1	札幌市	62.5%
2	中札内村	18.8%
3	釧路市	6.8%
	小樽市	6.8%
5	清水町	2.3%
6	美瑛町	1.7%
7	白老町	1.1%

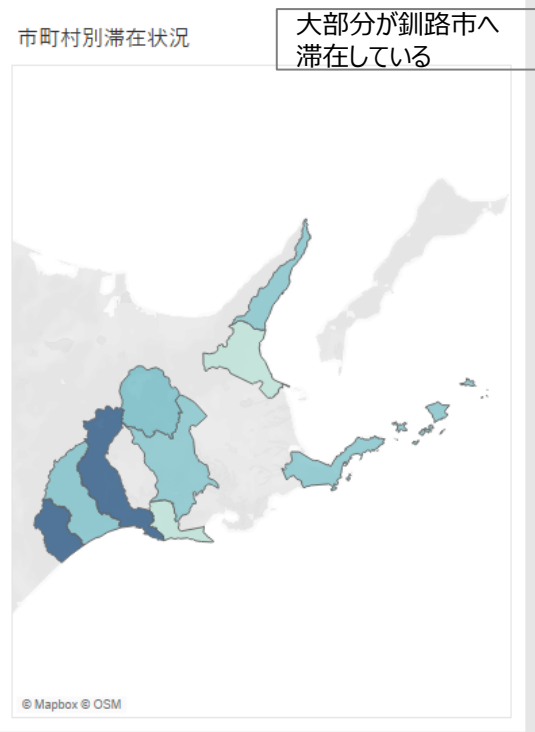
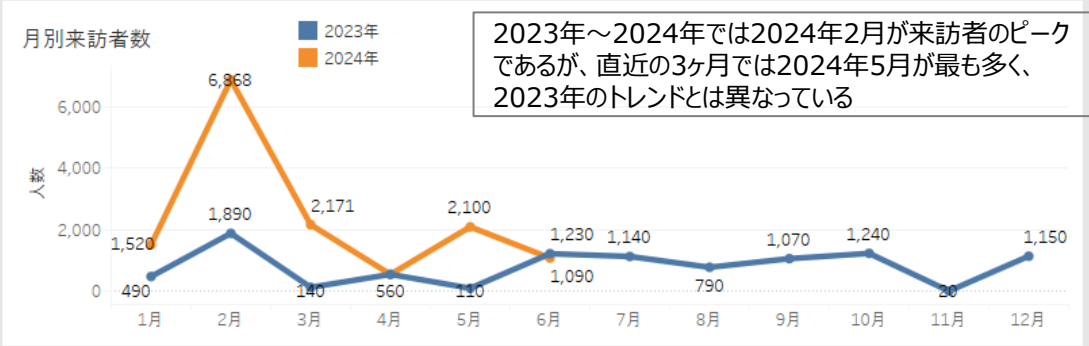
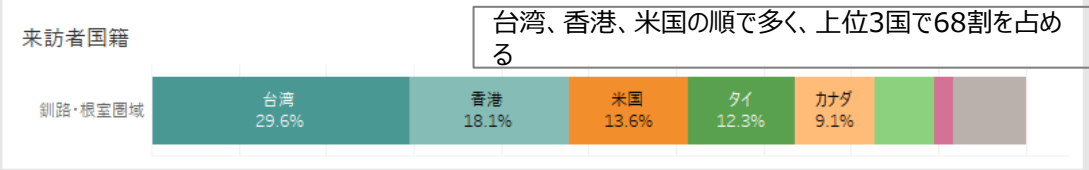
十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）





十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年5月・欧米豪）

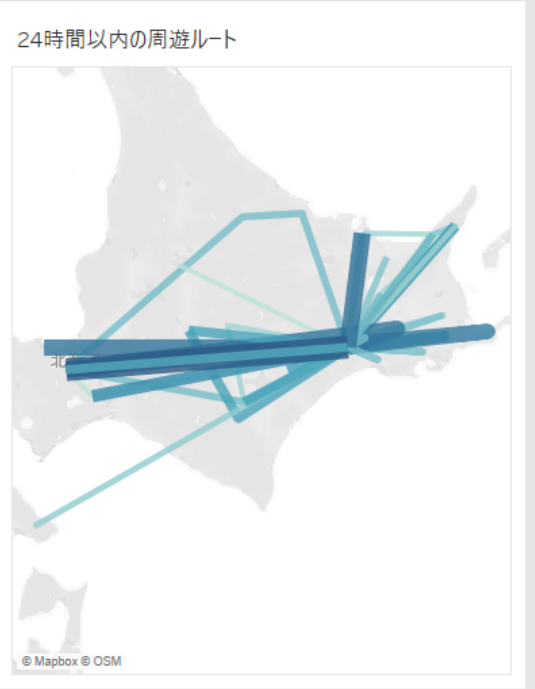
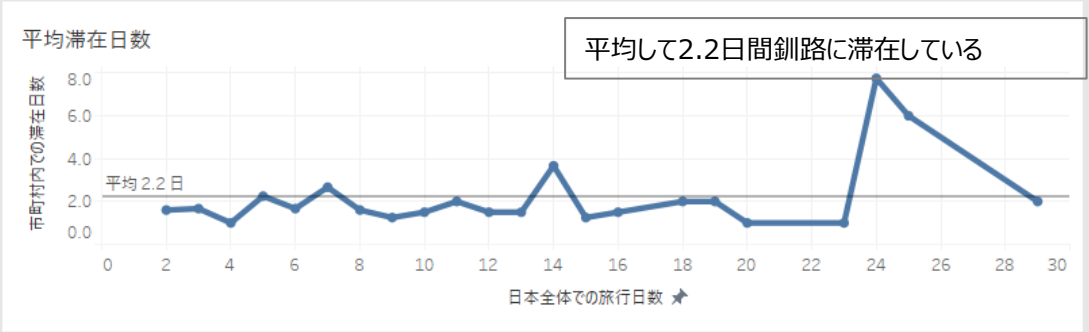
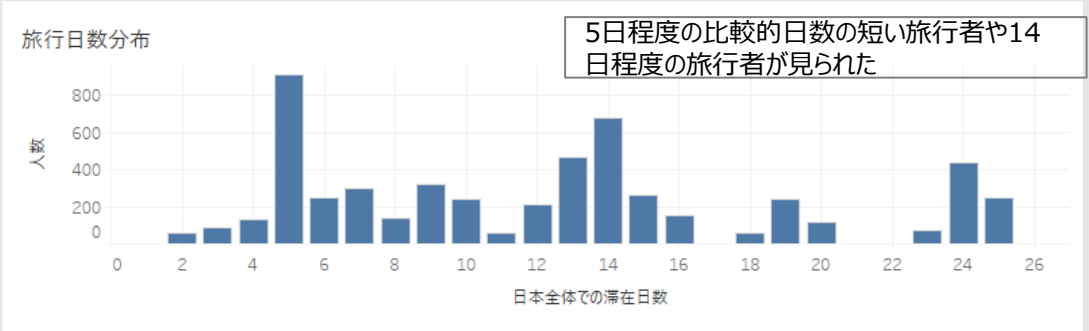




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	釧路市	87.6%
2	弟子屈町	2.9%
3	白糠町	2.3%
4	根室市	2.0%
	標茶町	2.0%
	羅臼町	2.0%
7	釧路町	0.6%
	標津町	0.6%

釧路市における周遊状況（2024年4月～2024年6月・全国籍）



直前の訪問先

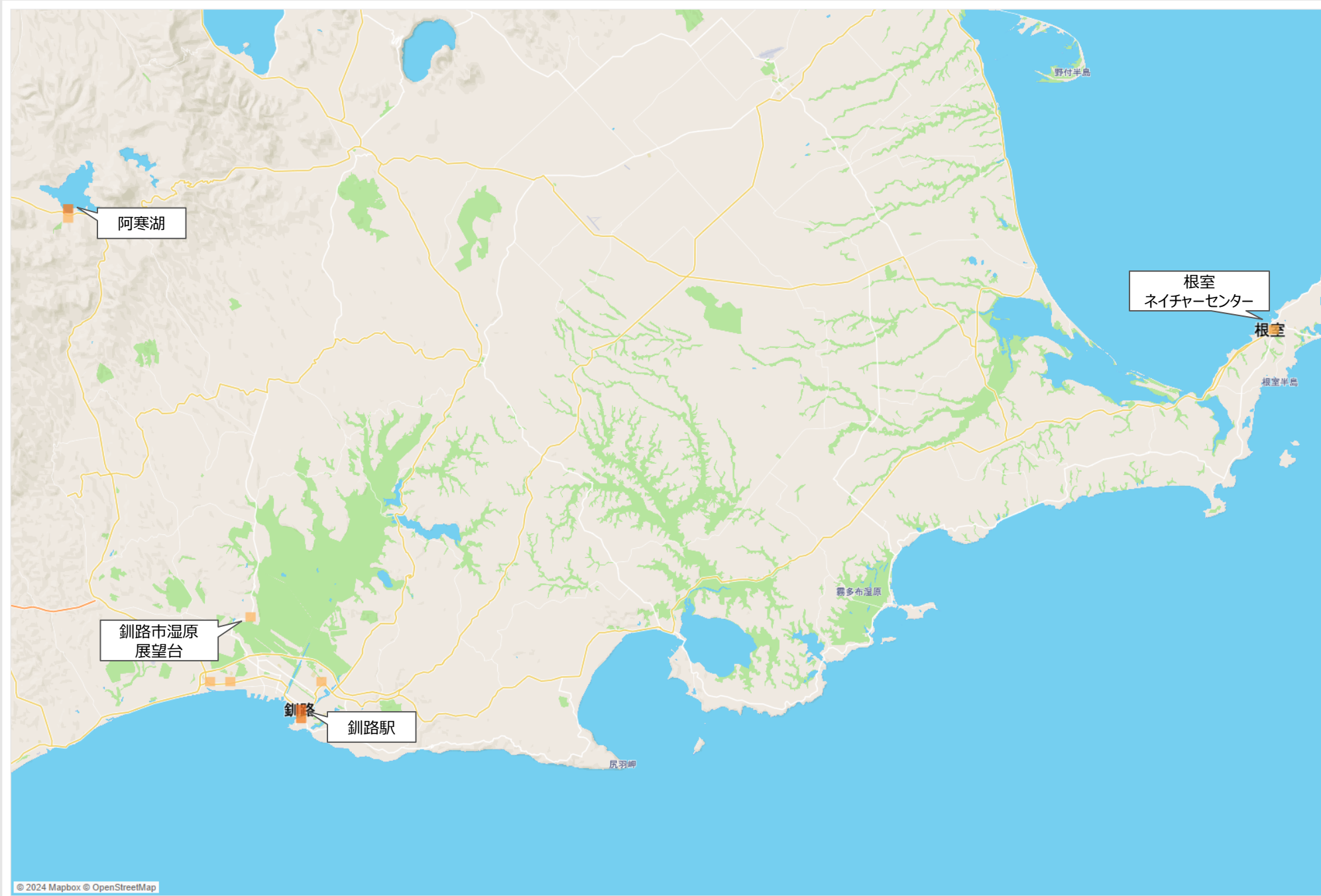
釧路の前は道央圏内の札幌への滞在が多いが、直後の滞在では網走や標茶への滞在が多い

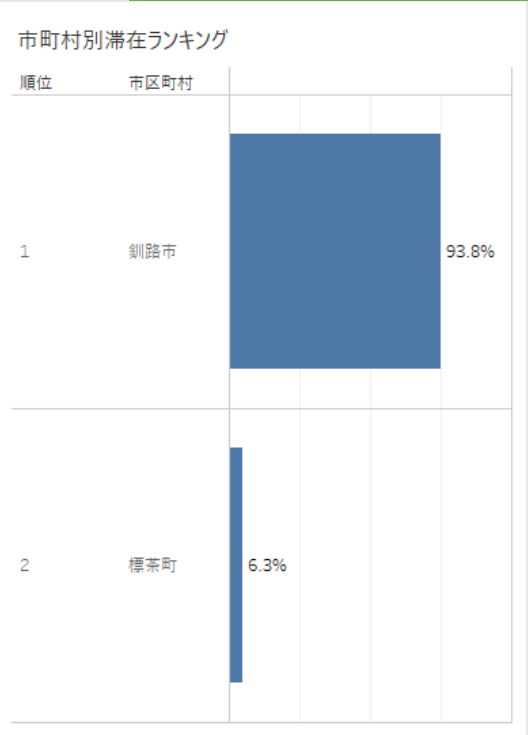
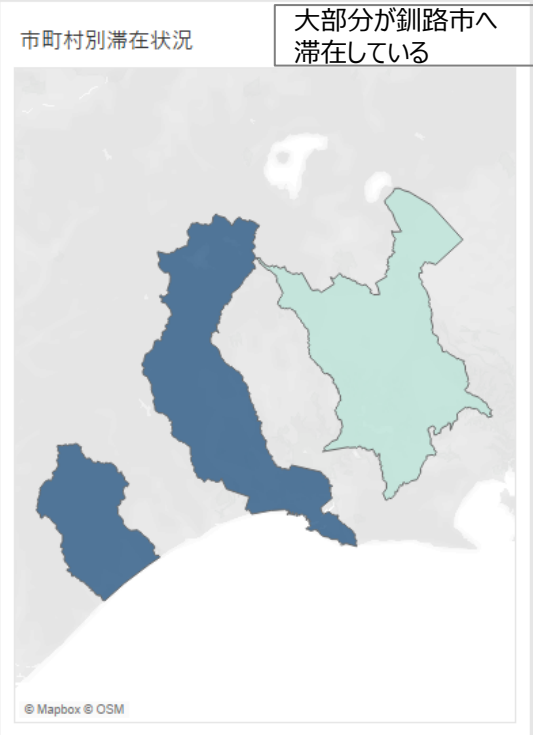
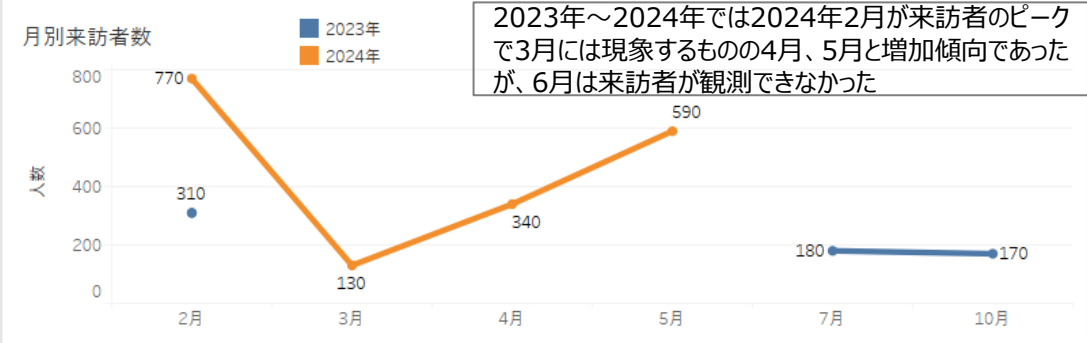
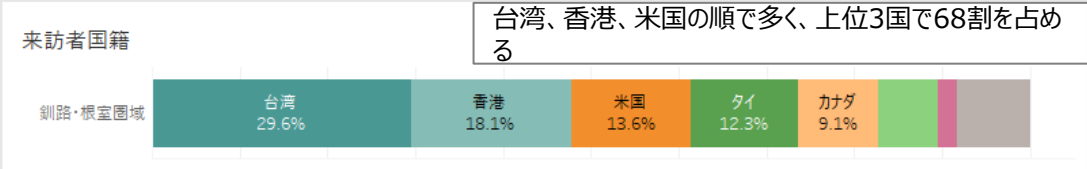
順位	訪問先	割合
1	札幌市	31.0%
2	根室市	18.6%
3	小樽市	14.7%
4	釧路市	10.9%
5	帯広市	4.7%
	中札内村	4.7%
7	鶴居村	3.1%
8	弟子屈町	2.3%
	網走市	2.3%
	厚岸町	2.3%

直後の訪問先

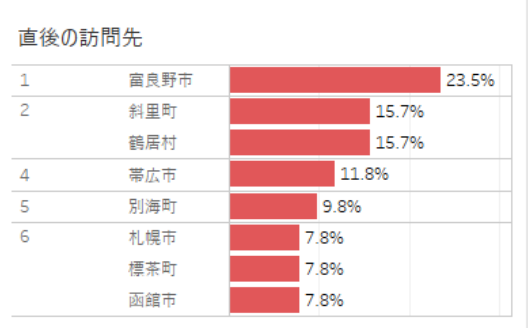
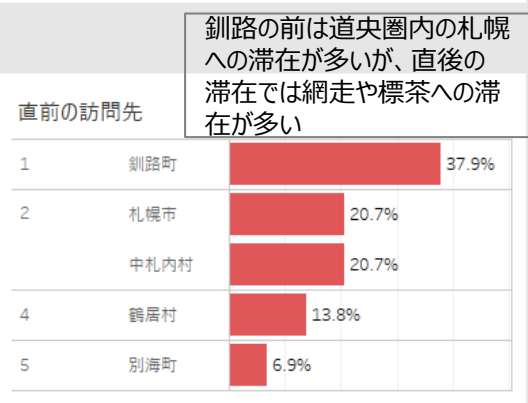
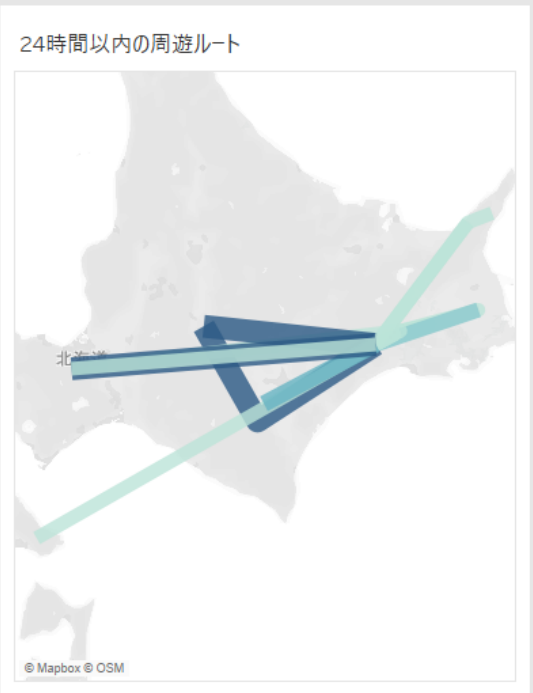
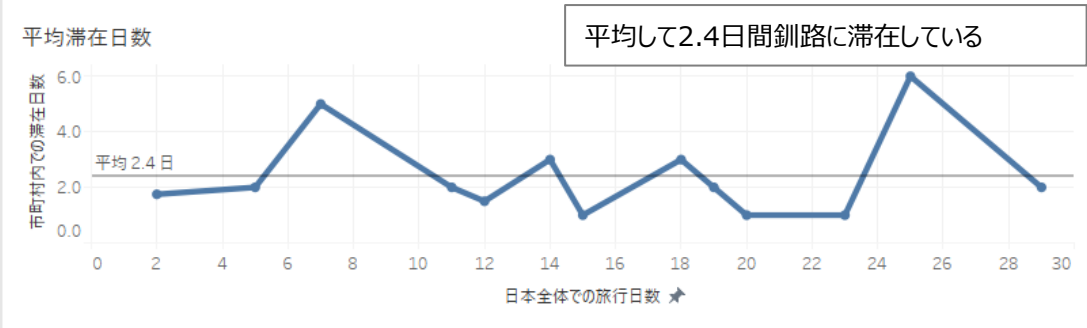
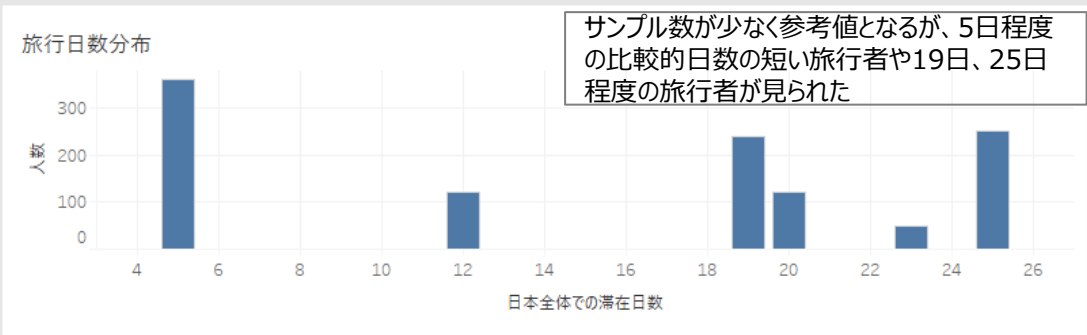
順位	訪問先	割合
1	網走市	15.8%
	標茶町	15.8%
3	千歳市	10.2%
4	帯広市	7.9%
5	札幌市	6.0%
6	根室市	5.6%
	羅臼町	5.6%
8	池田町	4.9%
9	富良野市	4.5%
10	斜里町	4.1%

釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年4月～2024年6月・全国籍）





釧路市における周遊状況（2024年4月～2024年5月・欧米豪）※欧米豪は2024年4月～5月のみデータが取得できている

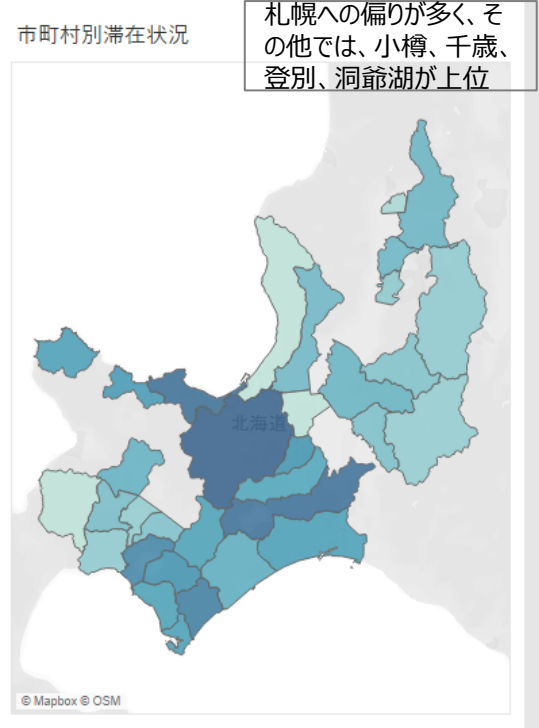
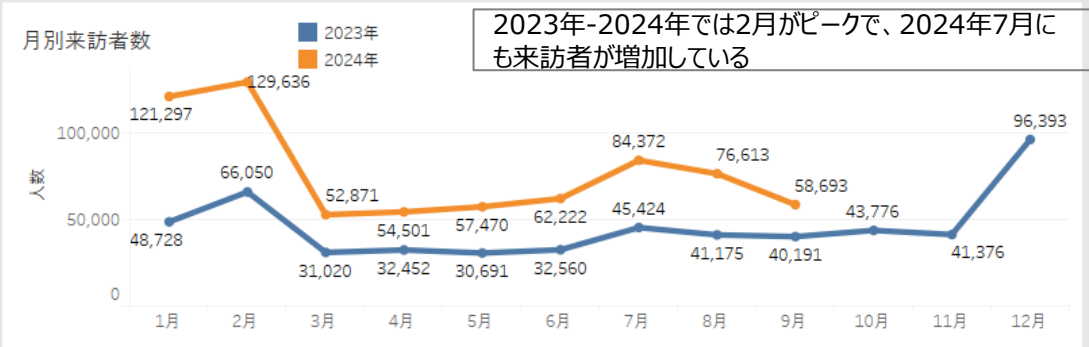
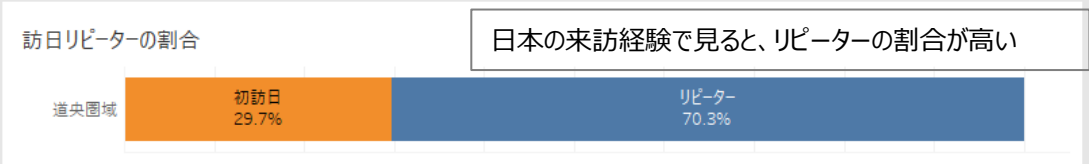
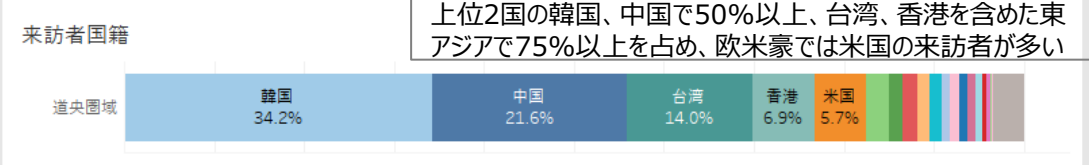


人流データの収集分析（インバウンド）の7-9月総括

人流データの収集分析の7-9月総括

7-9月の特徴は以下の通りとなった。詳細は次頁以降にて整理した。

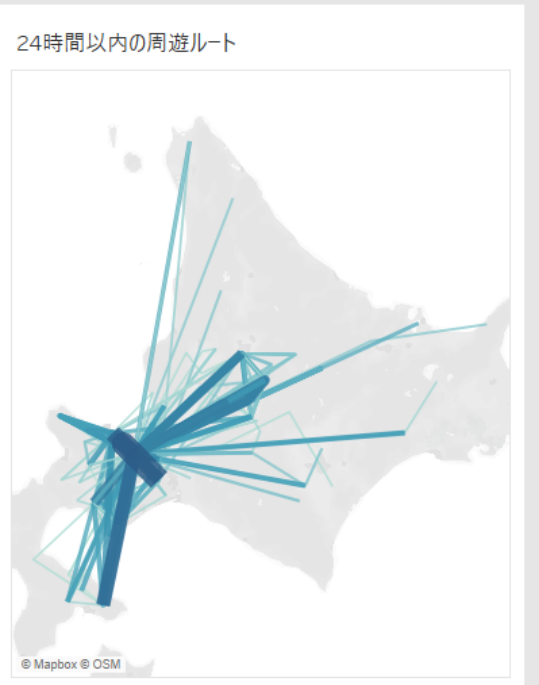
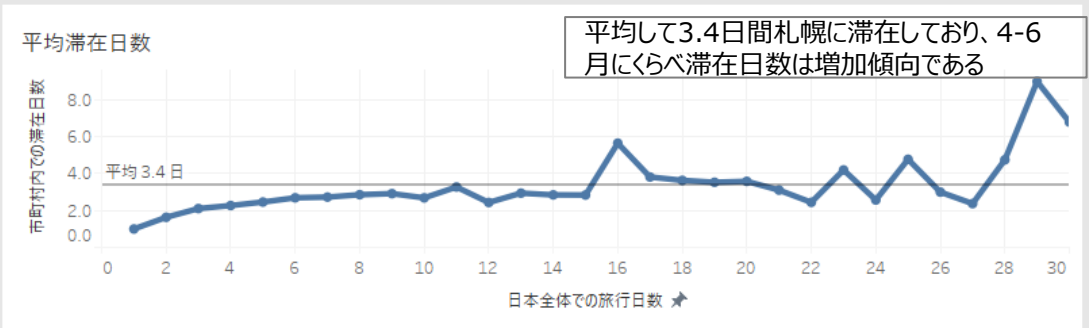
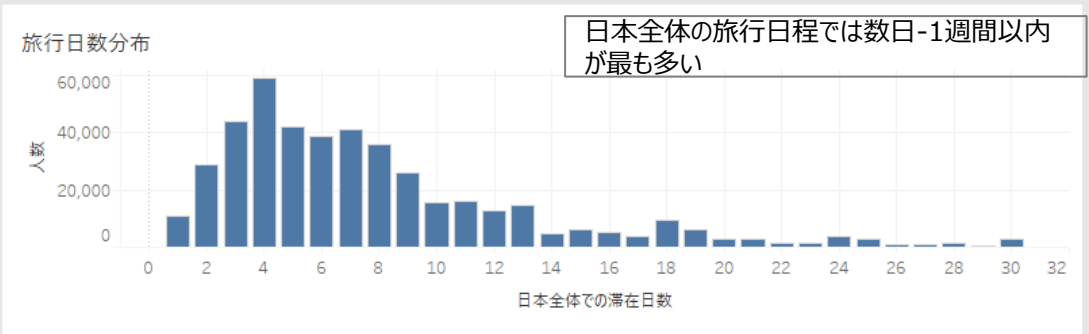
エリア	比較対象	全国籍	欧米豪	注視すべきポイント
道央	昨年同時期比	↑	↓	欧米豪に特化すると、昨年同時期比で来道者は1,873名減少した。札幌の前後周遊は道央圏内の小樽、千歳が引き続き上位を占める。函館・美瑛・中富良野・旭川への周遊も上位にランクイン。
	4-6月対比	↑	↓	
道南	昨年同時期比	↑	↓	欧米豪に特化すると、昨年同時期比で来道者は3,361名減少した。函館の前後は札幌での滞在が最も多いが、次いで七飯が多い。
	4-6月対比	↑	↓	
道北	昨年同時期比	↑	↓	旭川の前後は札幌への滞在が最も多いが、全国籍と比較すると東川が上位。昨年同時期対比でほぼ同数。
	4-6月対比	↑	↑	
オホーツク	昨年同時期比	↑	↑	欧米豪は2024年8-9月のみデータが取得できている。網走市に関しては、斜里・弟子屈への滞在が多い。2024年9月は来訪の多かった2月とほぼ同数。
	4-6月対比	↑	↑	
十勝	昨年同時期比	↑	↑	欧米豪は2024年8-9月のみデータが取得できている。平均滞在時間が1.2日。
	4-6月対比	↑	↑	
釧路・根室	昨年同時期比	↑	↑	釧路の前は道央圏内の札幌への滞在が多いが、直後では弟子屈や中富良野、帯広への滞在が多い。7月510名、8月190名、9月910名と差が見られた。
	4-6月対比	↑	↑	



市町村別滞在ランキング

順位	市町村	割合
1	札幌市	43.7%
2	小樽市	17.1%
3	千歳市	15.9%
4	登別市	6.9%
5	洞爺湖町	4.8%
6	壮瞥町	2.1%
7	北広島市	1.9%
8	余市町	1.3%
9	苫小牧市	0.9%
10	積丹町	0.9%

札幌市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）



札幌の前後は道央圏内の小樽、千歳が特に多いが道南の函館、道北の美瑛、中富良野、旭川への周遊も上位に見られる

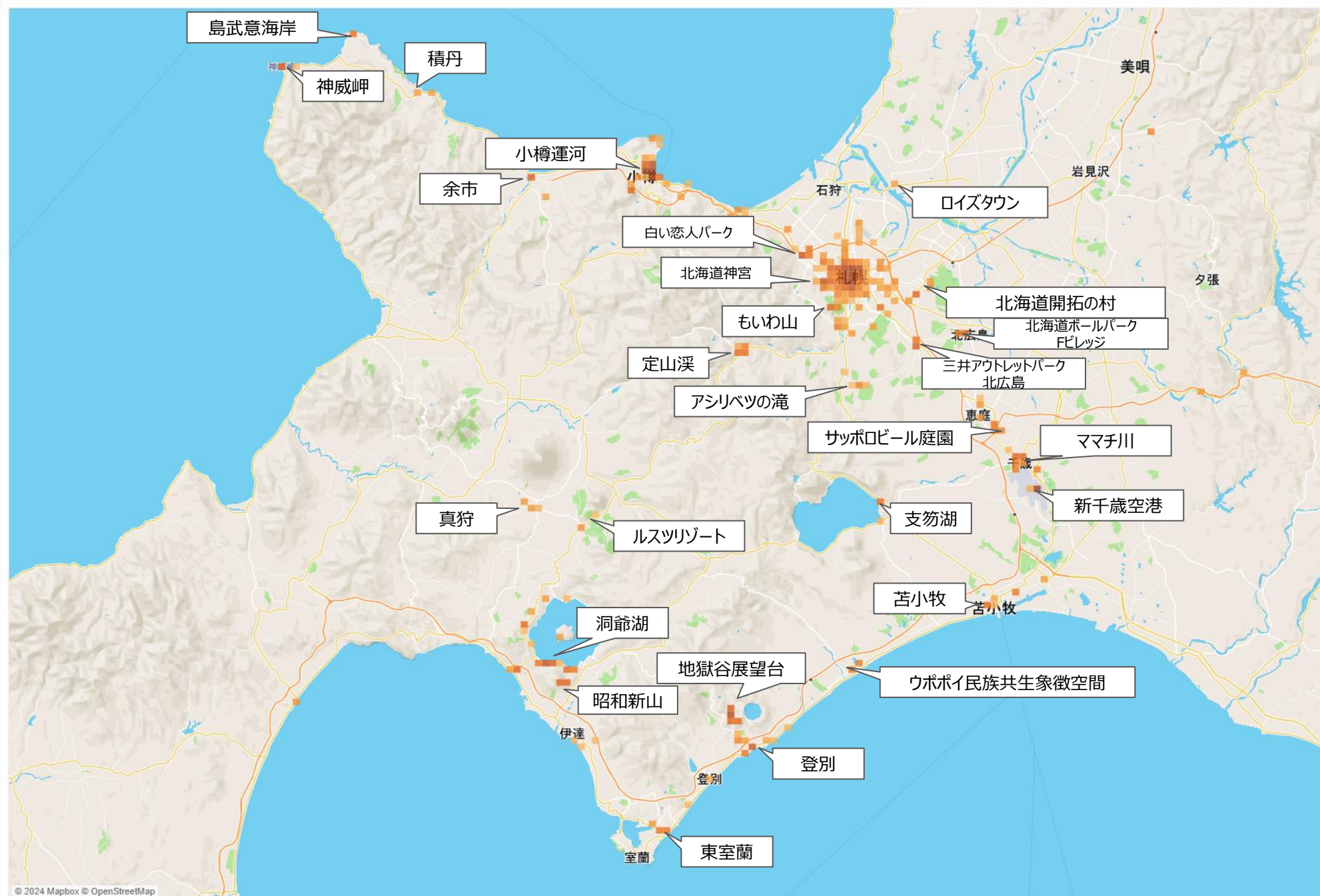
直前の訪問先

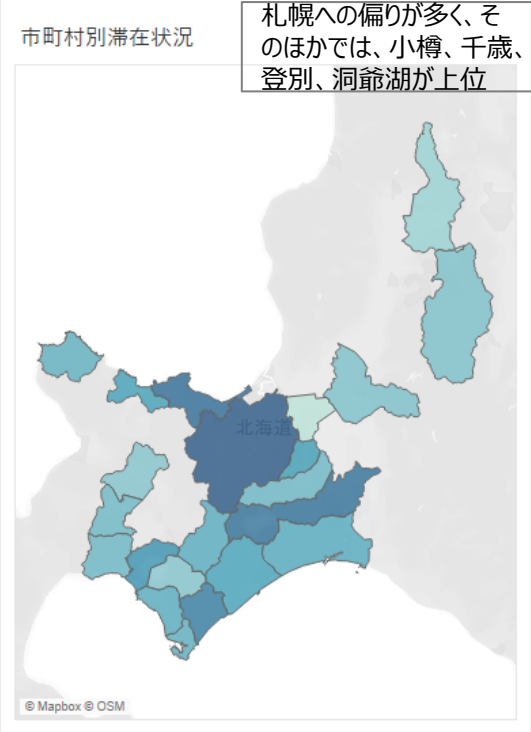
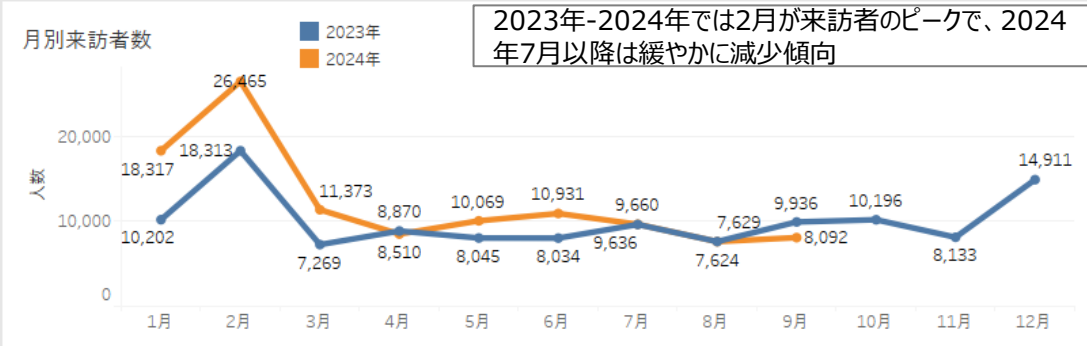
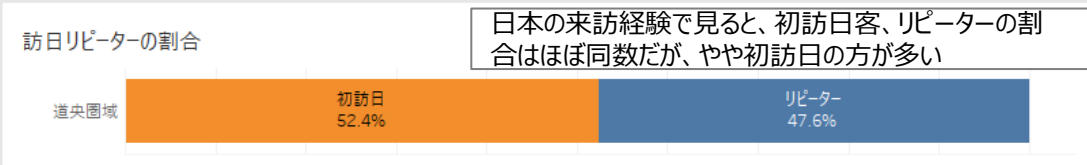
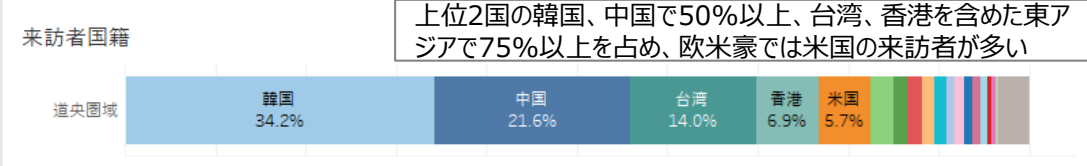
順位	市町村	割合
1	小樽市	26.2%
2	千歳市	23.9%
3	美瑛町	7.5%
4	中富良野町	6.3%
5	函館市	5.2%
6	洞爺湖町	5.2%
7	登別市	5.1%
8	旭川市	4.9%
9	北広島市	3.0%
10	積丹町	2.1%

直後の訪問先

順位	市町村	割合
1	小樽市	37.5%
2	函館市	8.0%
3	千歳市	7.9%
4	中富良野町	7.8%
5	美瑛町	7.0%
6	旭川市	6.8%
7	登別市	5.5%
8	北広島市	4.2%
9	富良野市	1.7%
10	恵庭市	1.6%

道央圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）

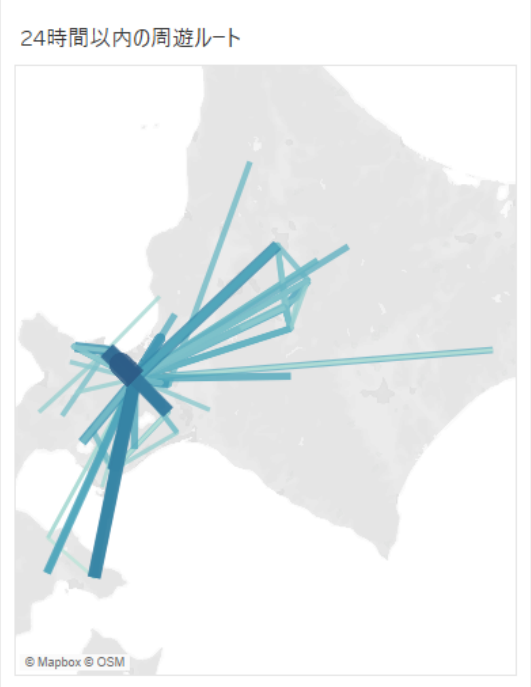
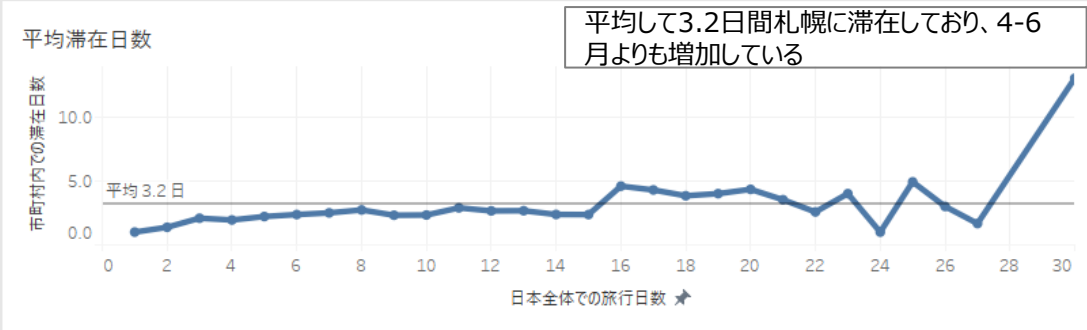
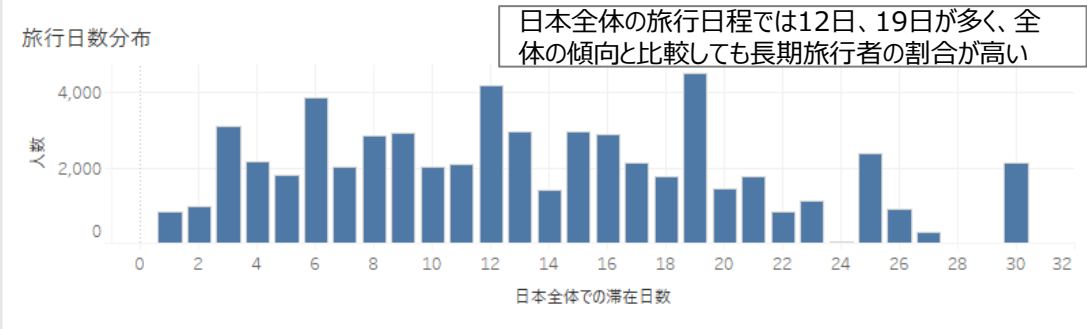




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	札幌市	50.9%
2	小樽市	16.5%
3	千歳市	14.2%
4	登別市	7.5%
5	洞爺湖町	2.6%
6	北広島市	1.5%
7	余市町	1.3%
8	白老町	1.1%
9	苫小牧市	0.7%
10	伊達市	0.7%

札幌市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・欧米豪）



札幌の前後は小樽への滞在が多く、小樽、千歳を除くと函館が最も多い

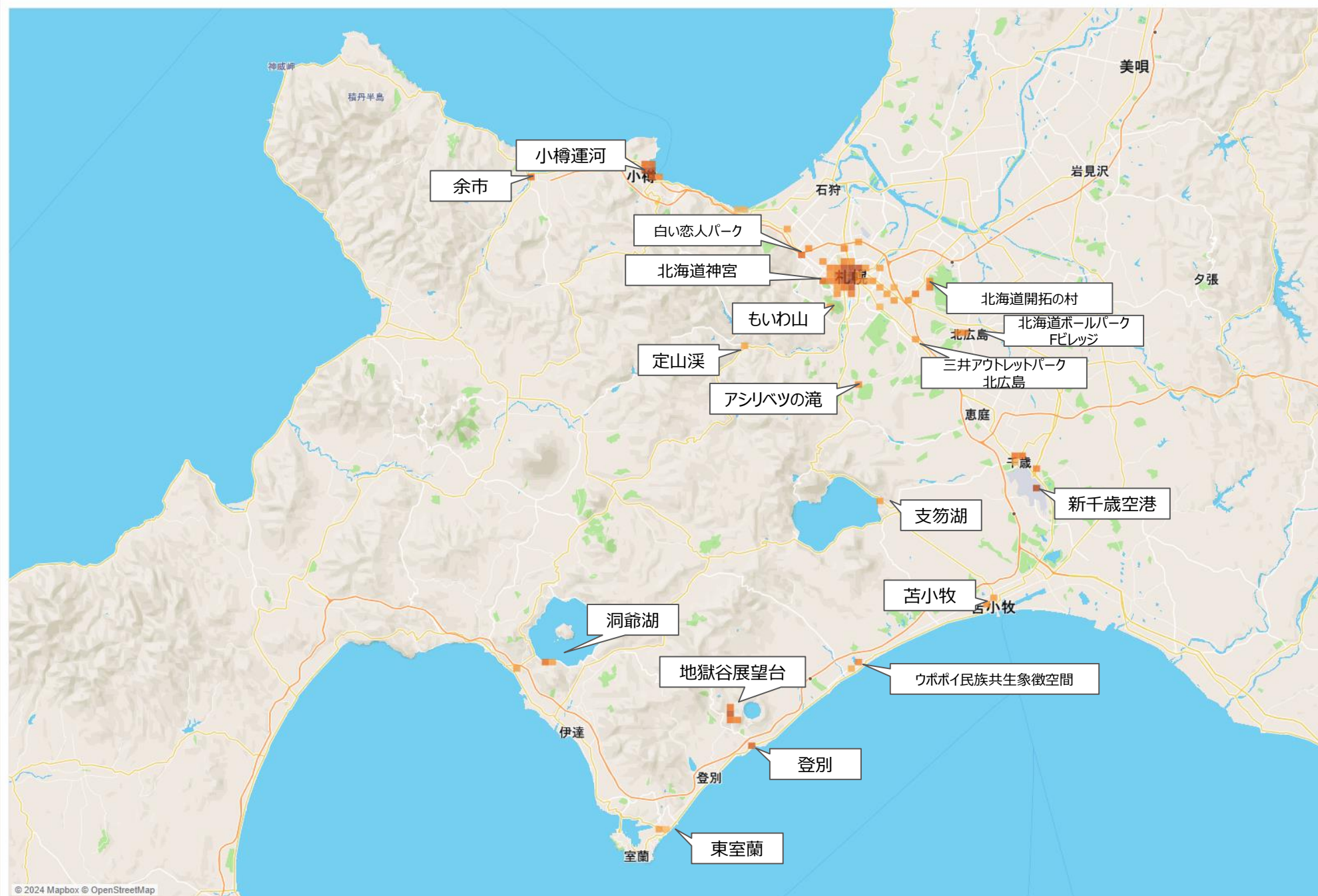
直前の訪問先

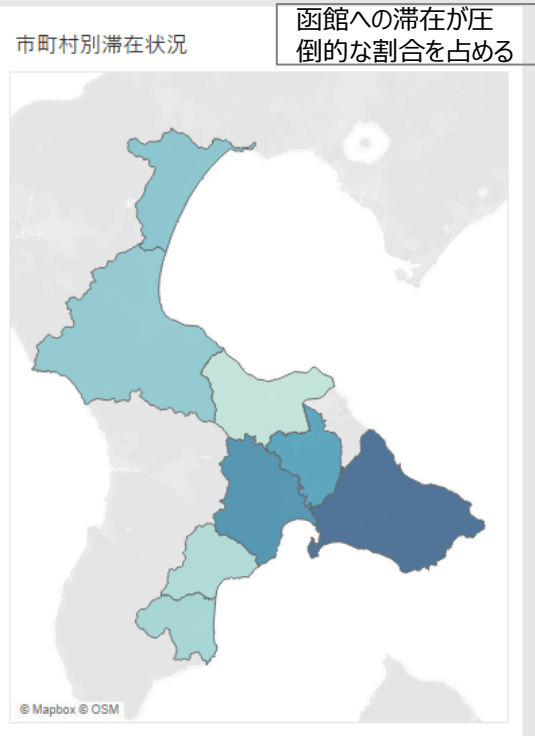
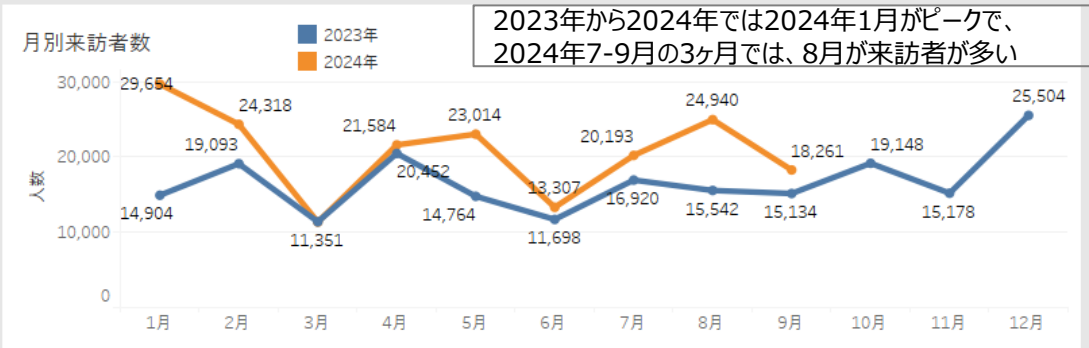
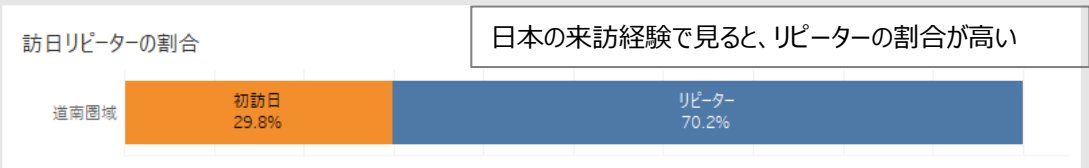
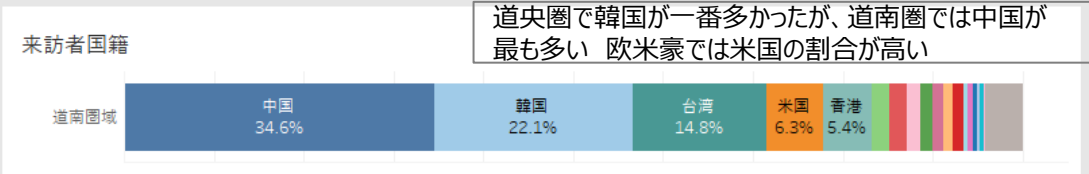
順位	訪問先	割合
1	小樽市	28.5%
2	千歳市	19.8%
3	函館市	6.9%
4	登別市	6.8%
5	旭川市	5.2%
6	北広島市	4.9%
7	中富良野町	4.8%
8	当別町	3.4%
9	美瑛町	3.2%
10	洞爺湖町	2.8%

直後の訪問先

順位	訪問先	割合
1	小樽市	28.5%
2	千歳市	19.8%
3	函館市	6.9%
4	登別市	6.8%
5	当別町	5.2%
6	北斗市	4.9%
7	旭川市	4.8%
8	富良野市	4.8%
9	北広島市	3.4%
10	美瑛町	3.2%
11	中富良野町	2.8%

道央圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

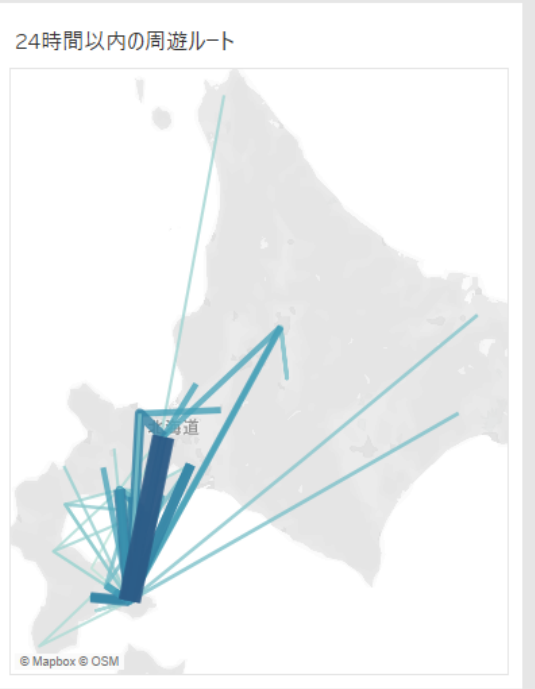
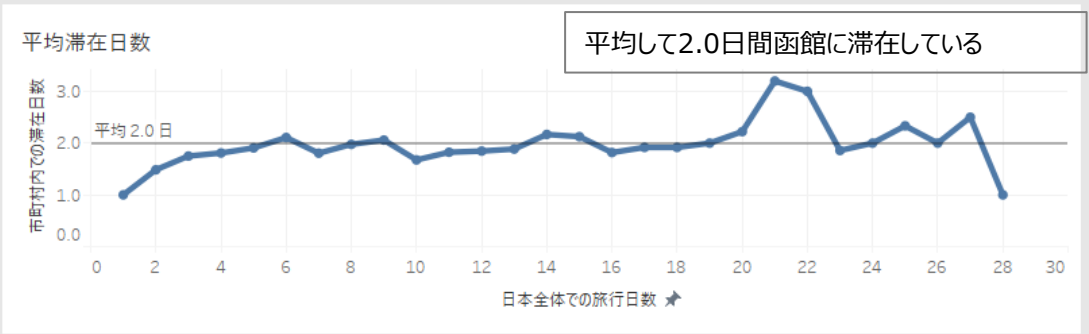
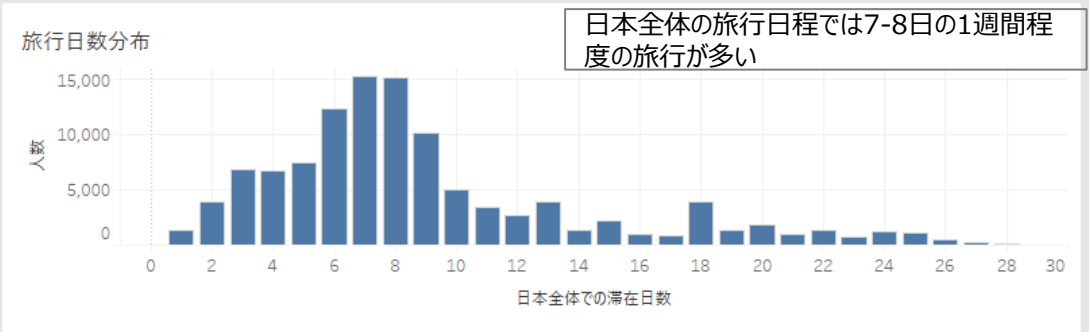




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	函館市	86.6%
2	北斗市	9.1%
3	七飯町	3.4%
4	長万部町	0.4%
5	八雲町	0.3%
6	知内町	0.1%
7	木古内町	0.1%
8	森町	0.0%

函館市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）



函館の前後は札幌市への滞在が多く、道南圏域内での周遊も見られる直後の訪問先ではと洞爺湖町が2位

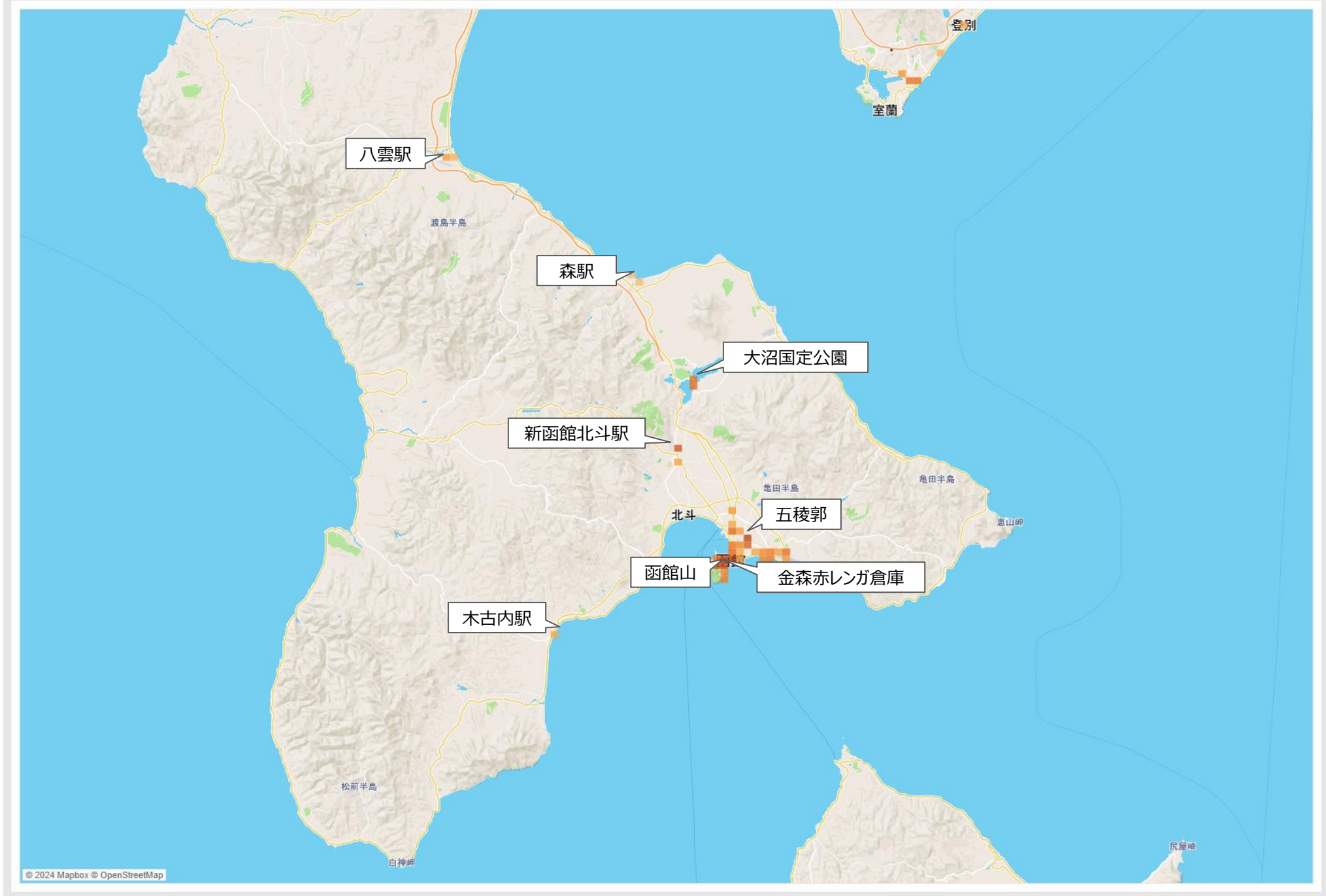
直前の訪問先

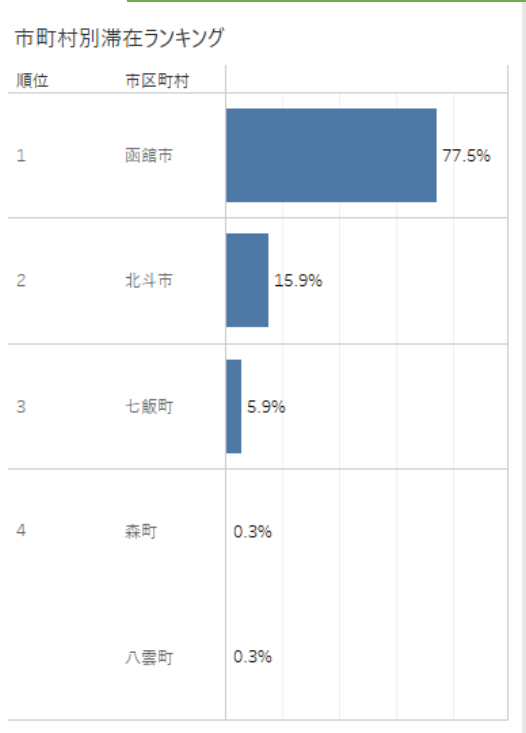
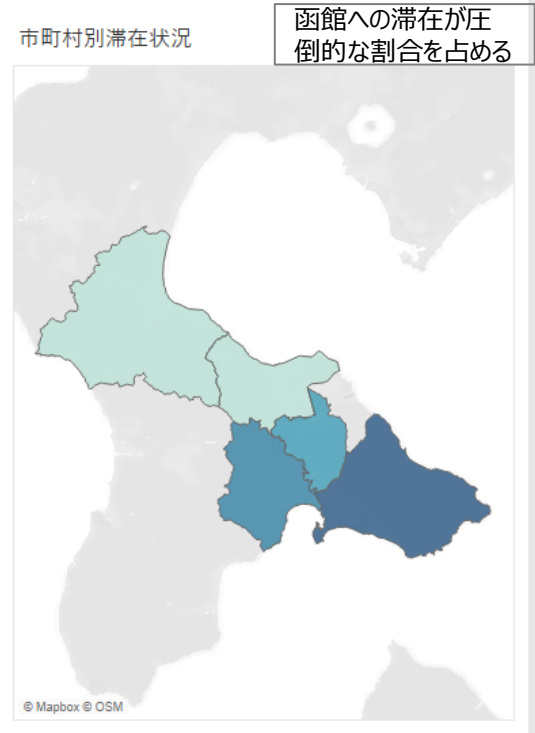
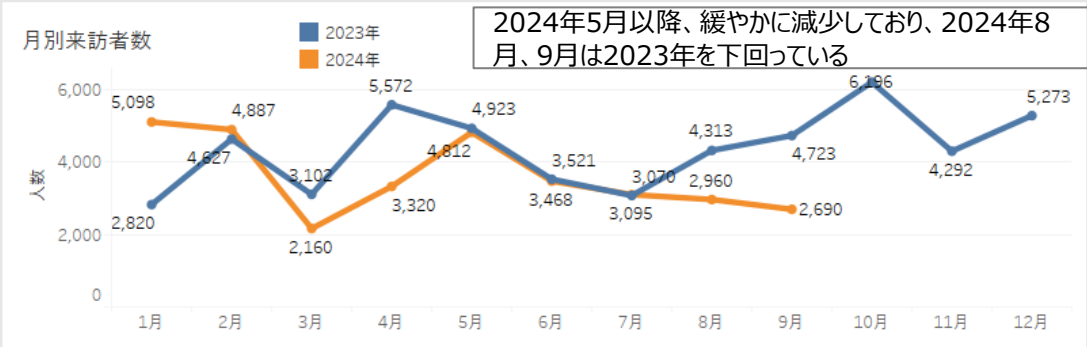
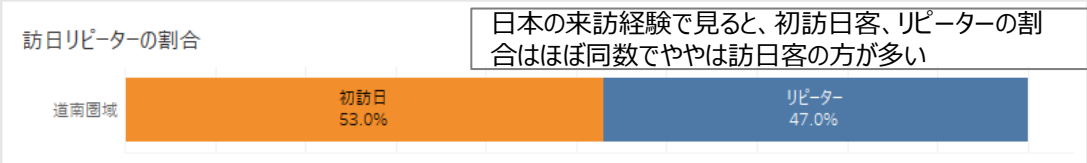
1	札幌市	42.5%
2	北斗市	10.1%
3	小樽市	9.0%
4	七飯町	8.2%
5	登別市	6.3%
6	千歳市	6.1%
7	壮瞥町	5.9%
8	洞爺湖町	4.2%
9	旭川市	2.8%
10	室蘭市	2.1%

直後の訪問先

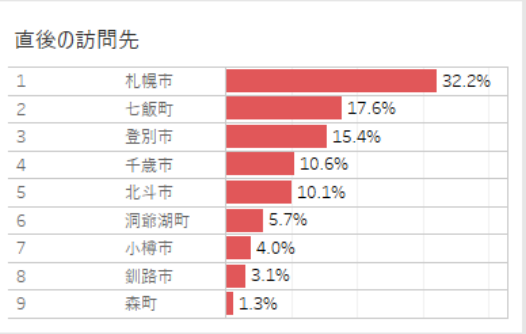
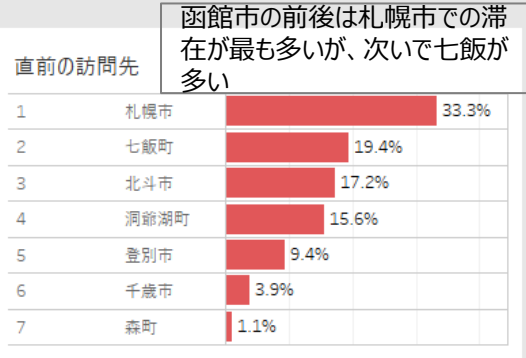
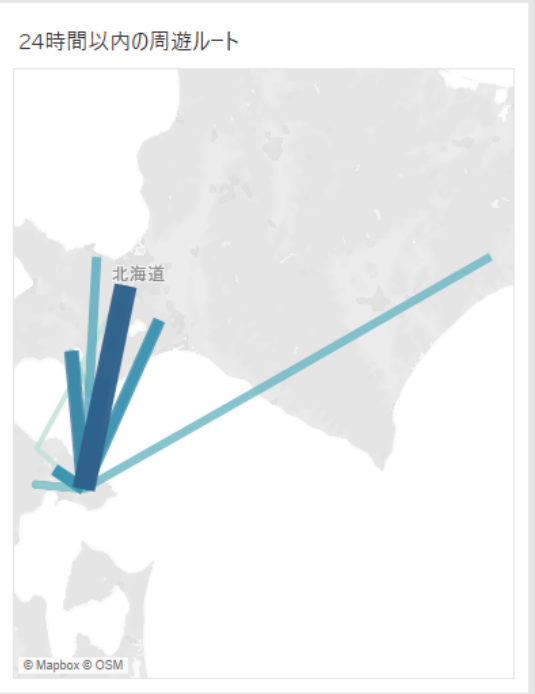
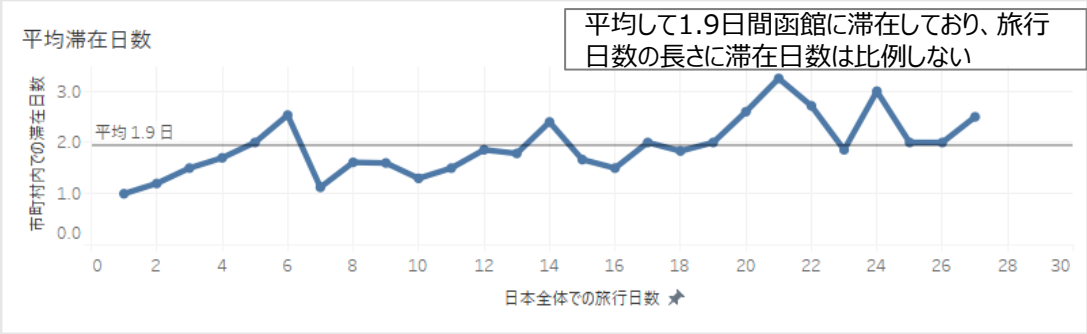
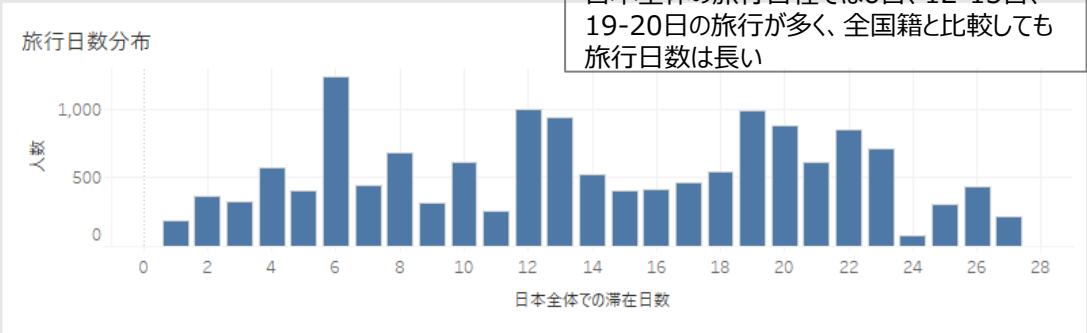
1	札幌市	33.3%
2	洞爺湖町	19.5%
3	北斗市	14.8%
4	登別市	8.0%
5	千歳市	8.0%
6	七飯町	6.4%
7	室蘭市	3.7%
8	白老町	1.8%
9	小樽市	1.2%
10	伊達市	0.8%

道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）

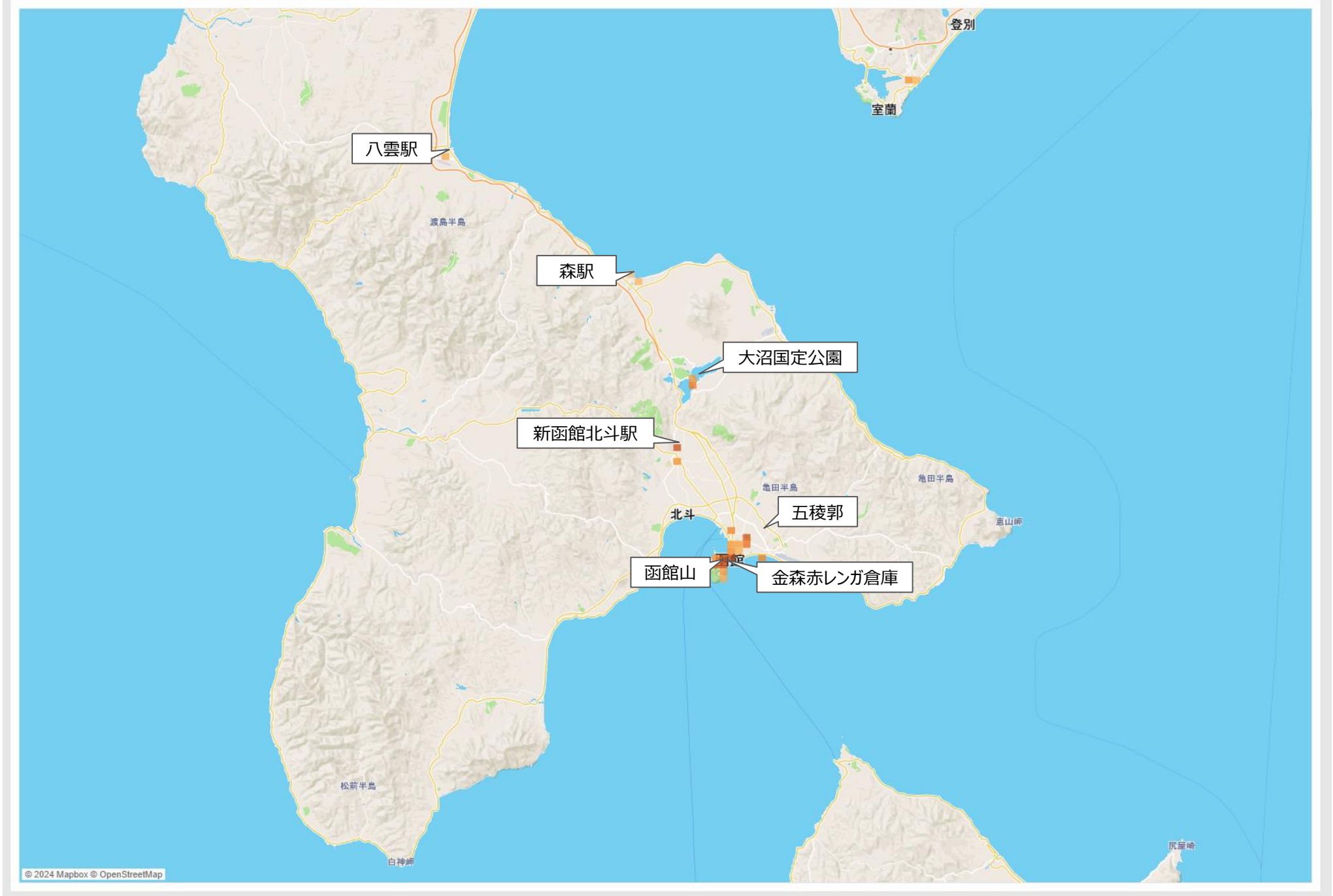


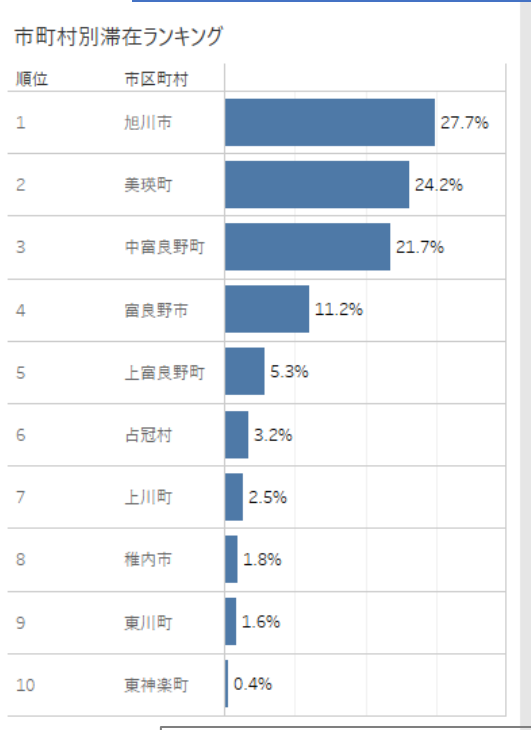
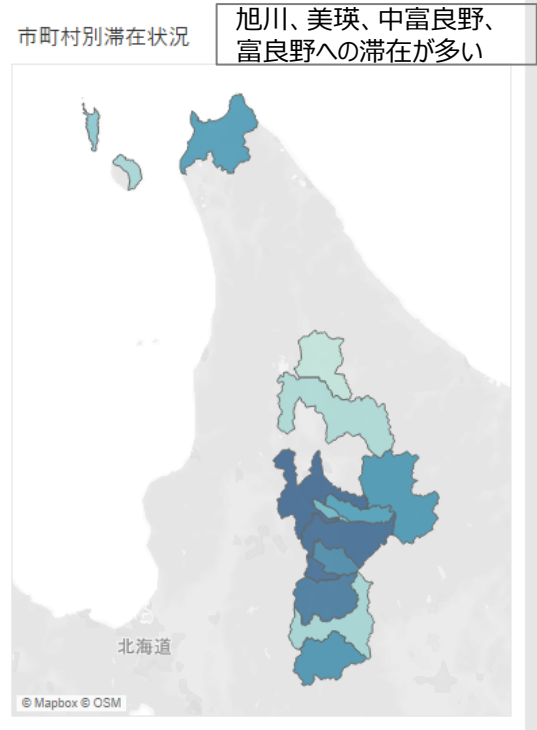
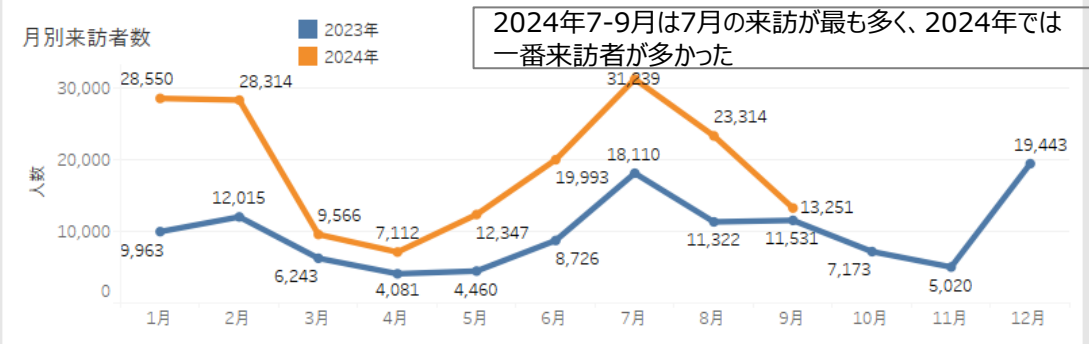
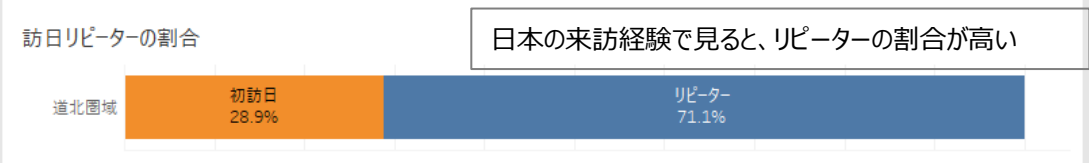
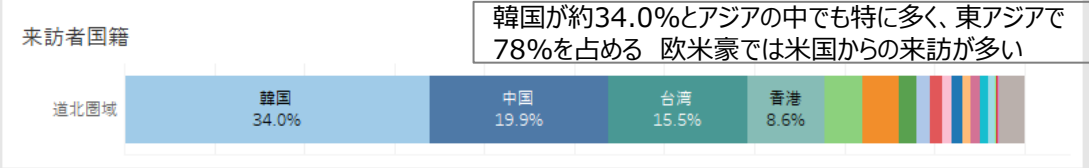


函館市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

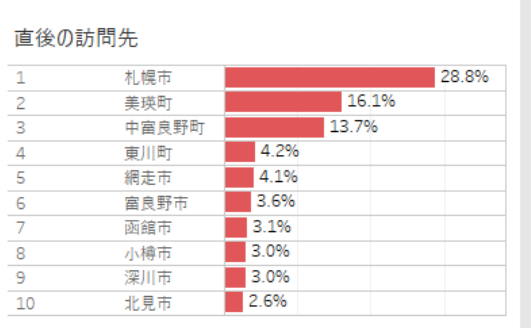
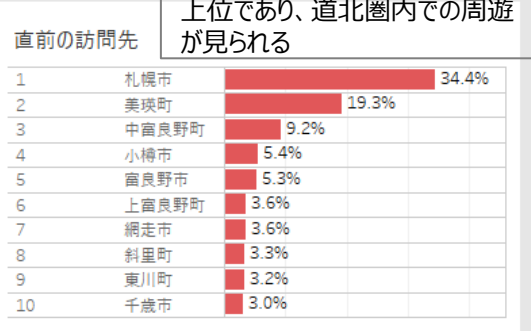
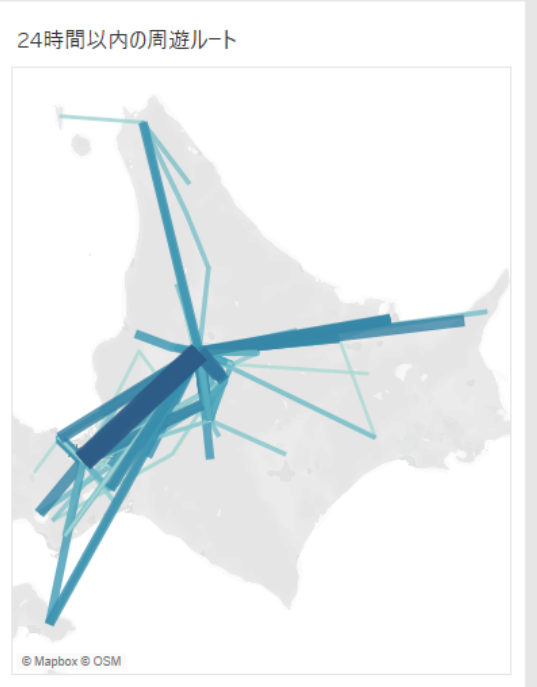
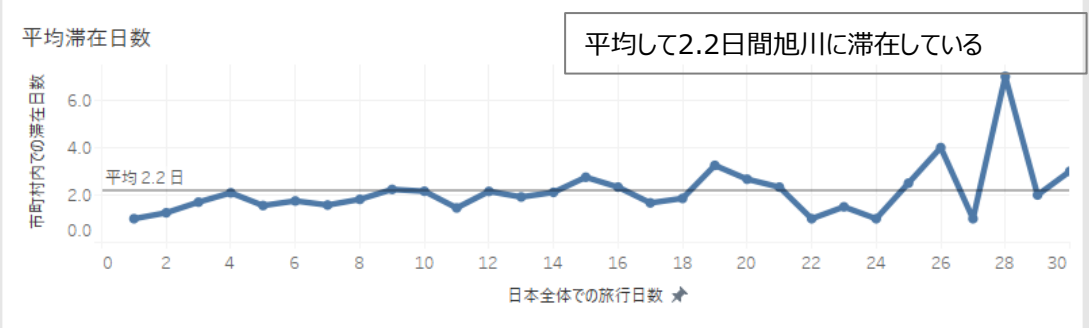
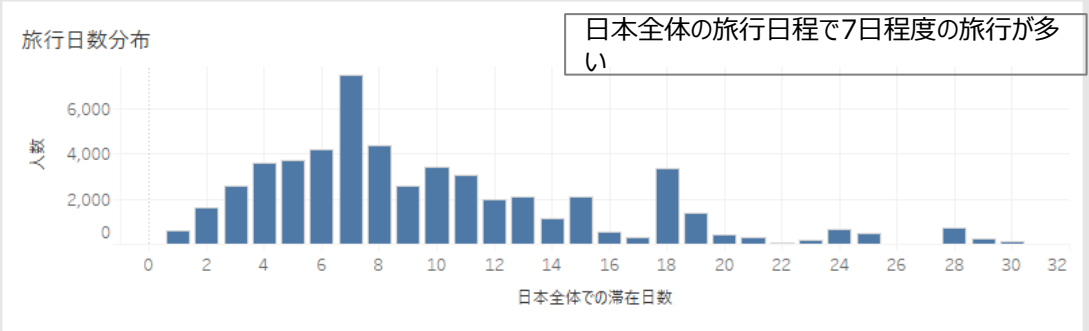


道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

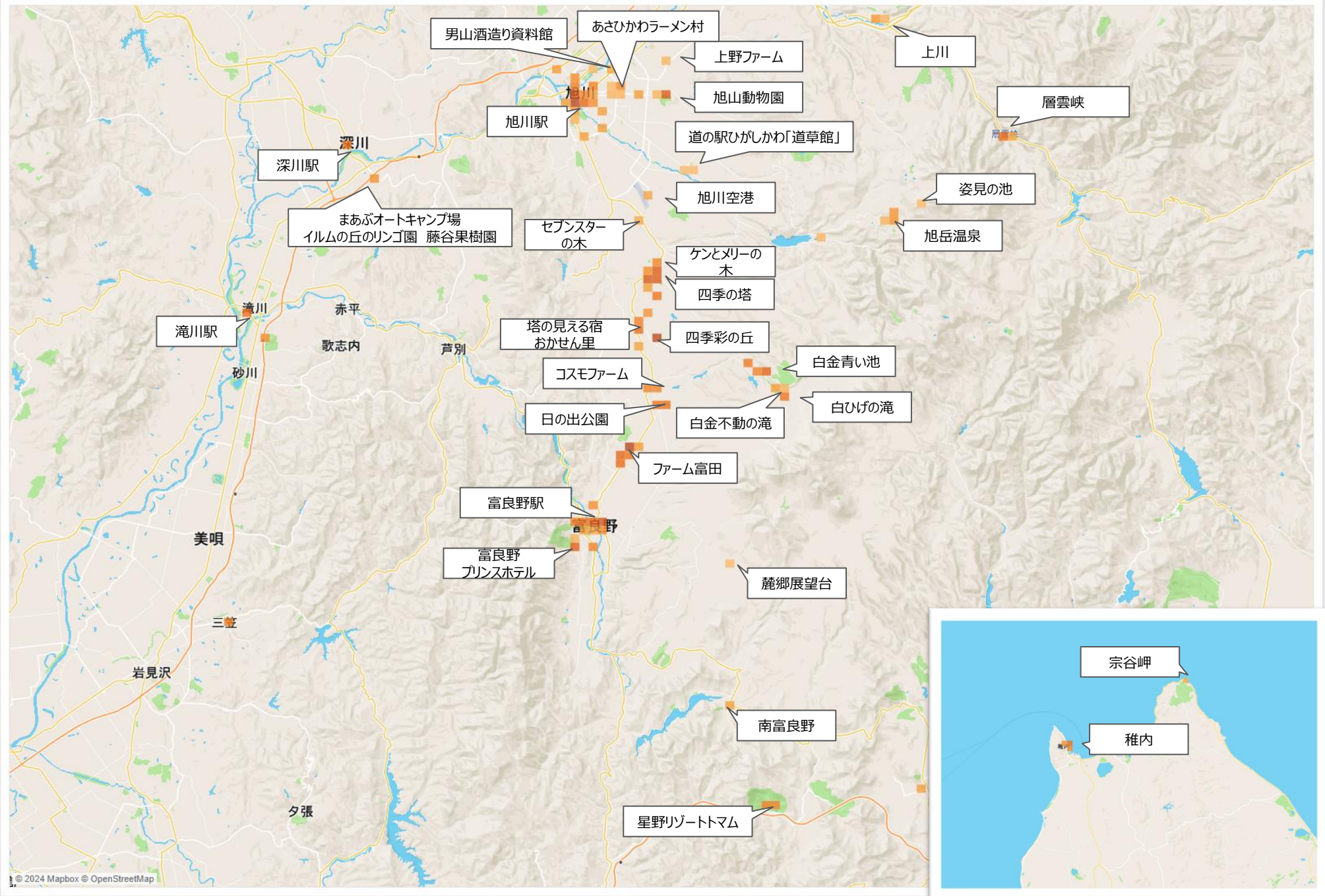


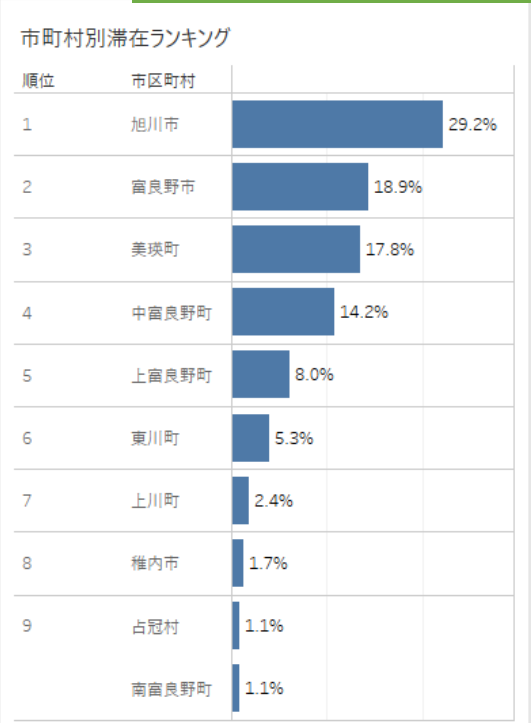
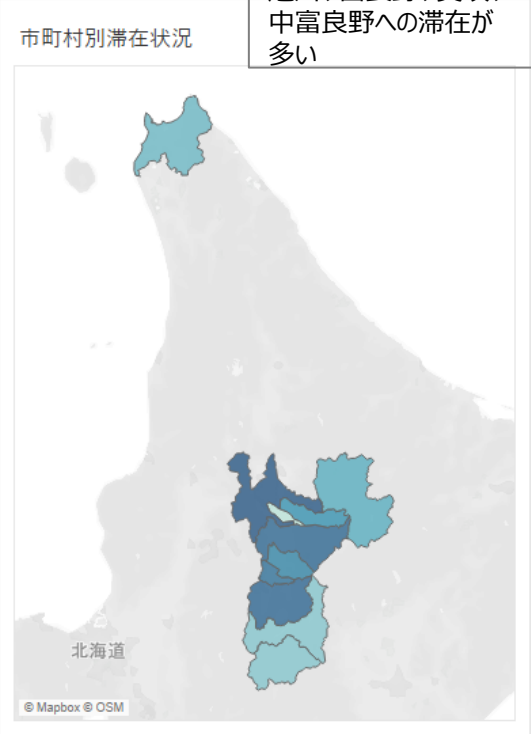
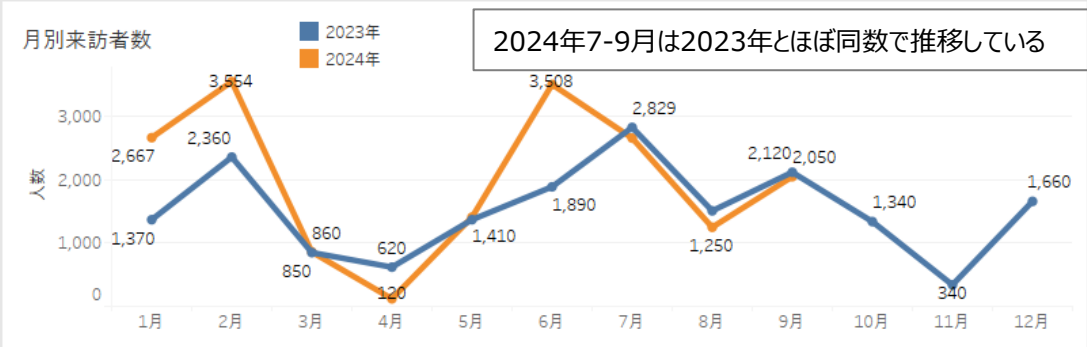
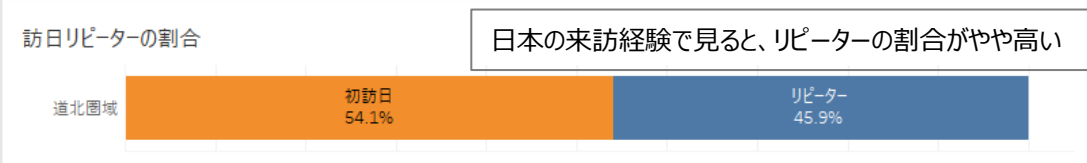
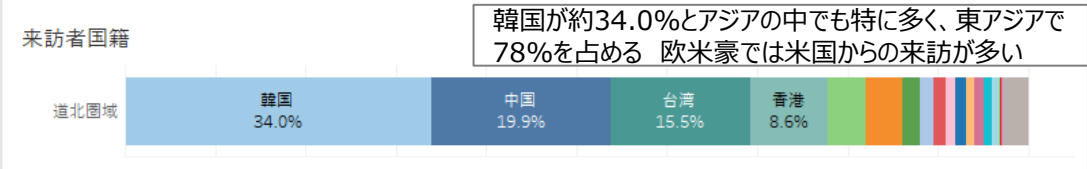


旭川市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）

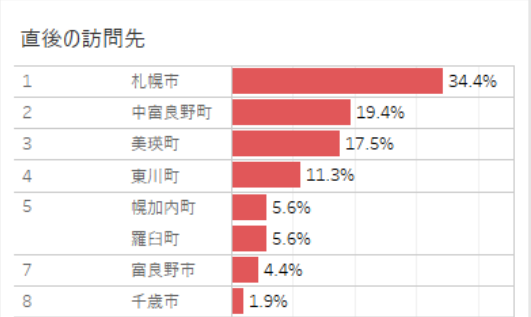
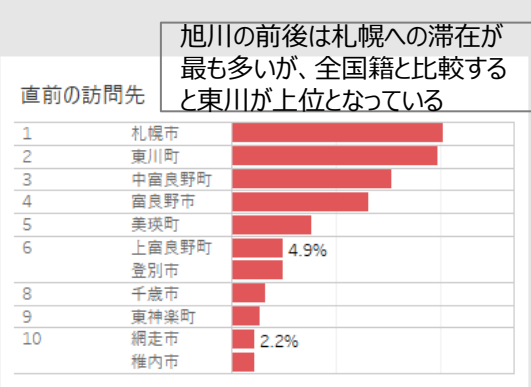
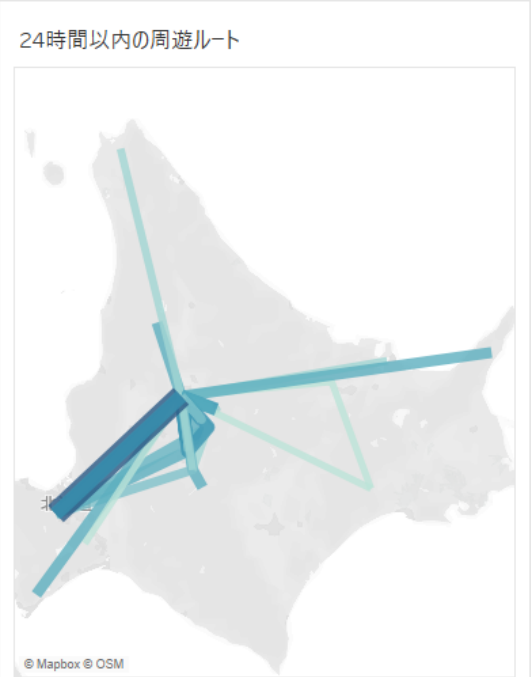
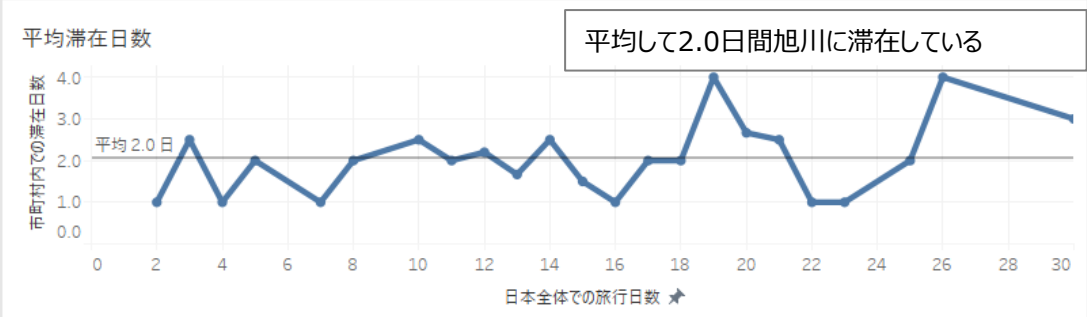
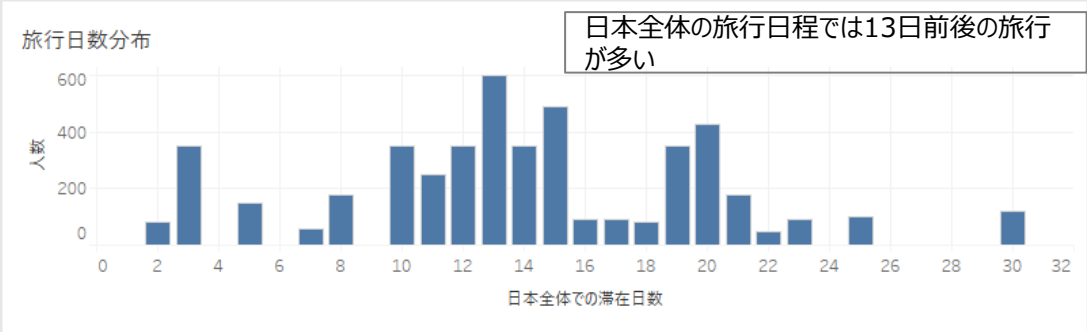


道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）

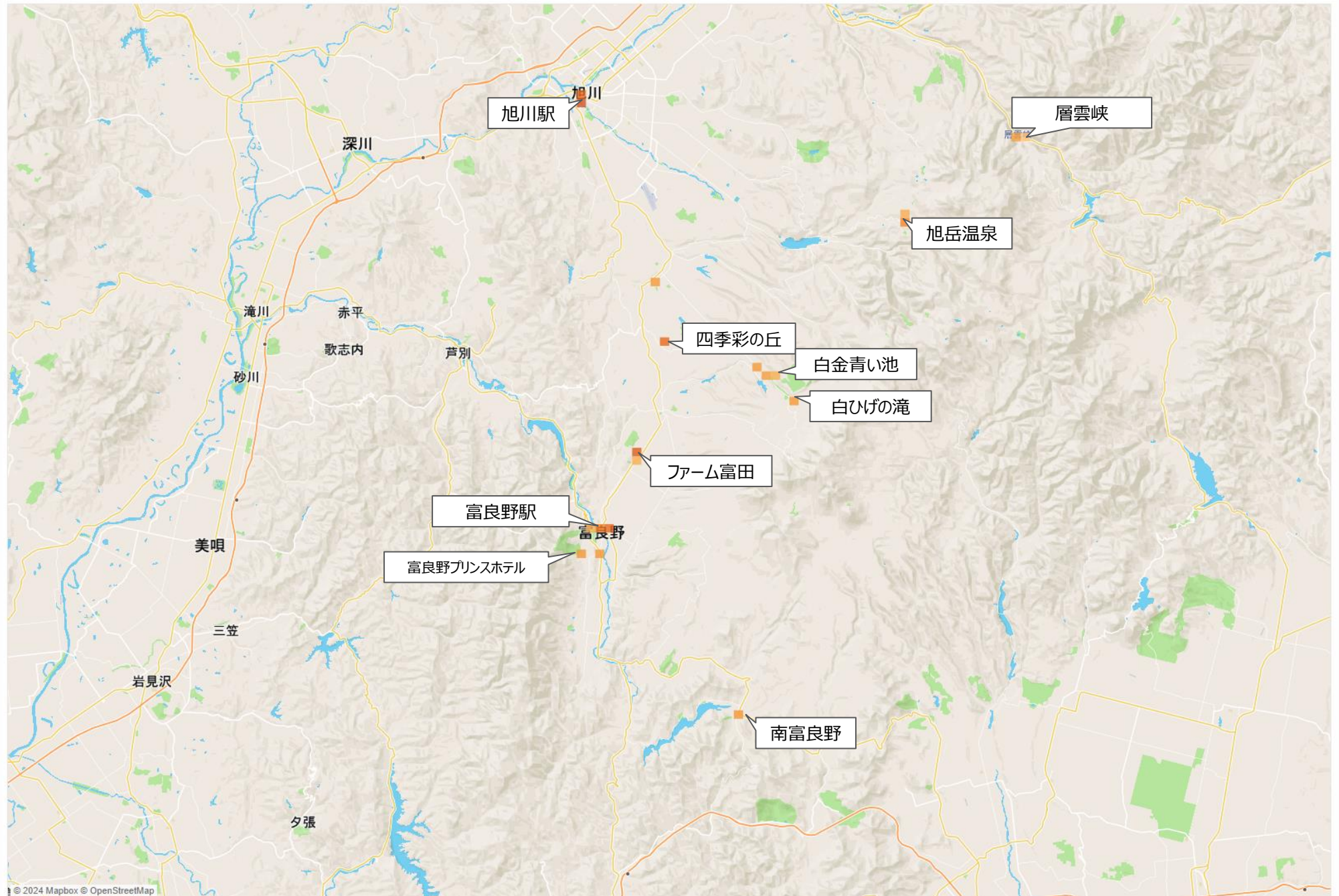


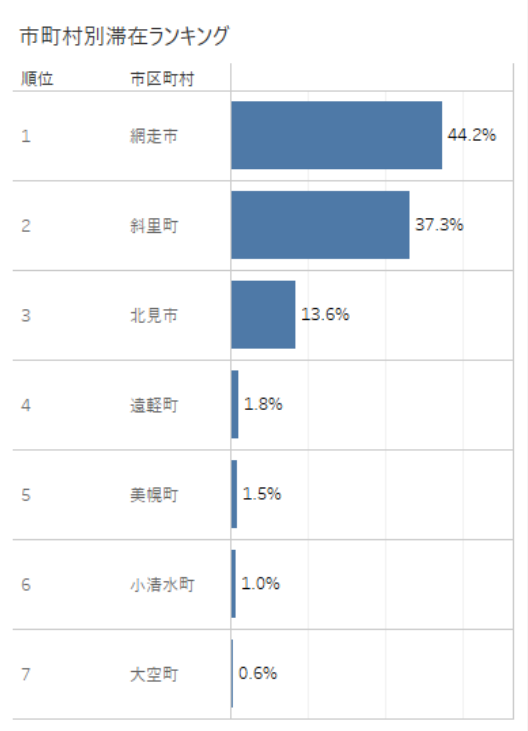
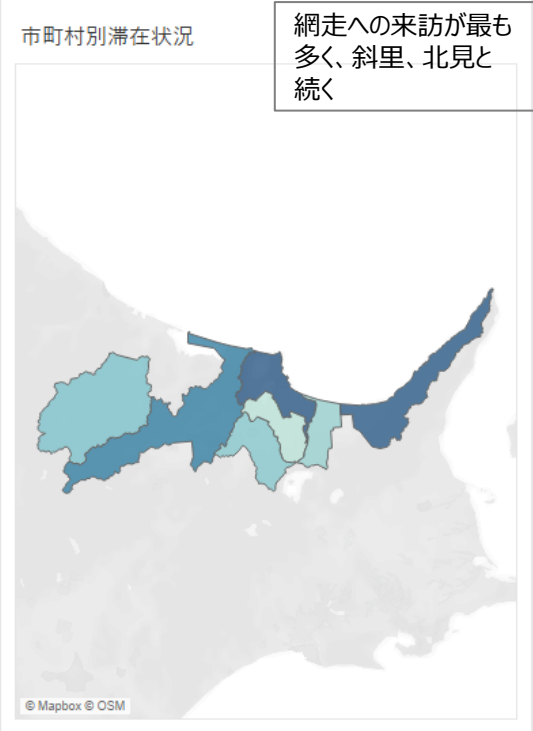
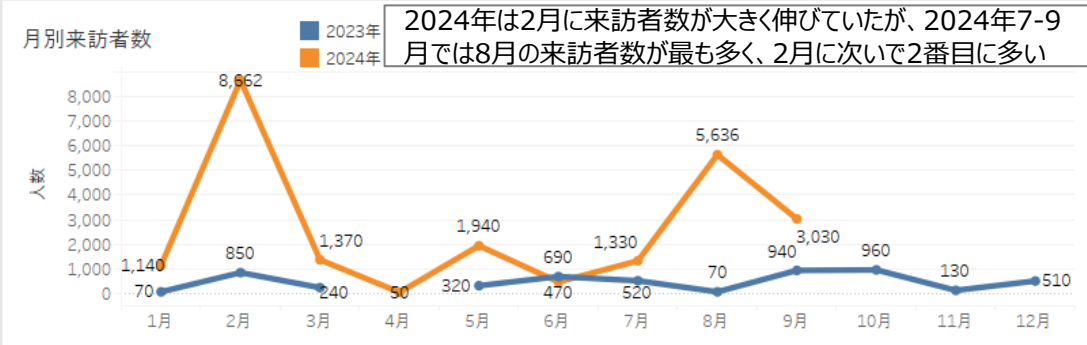
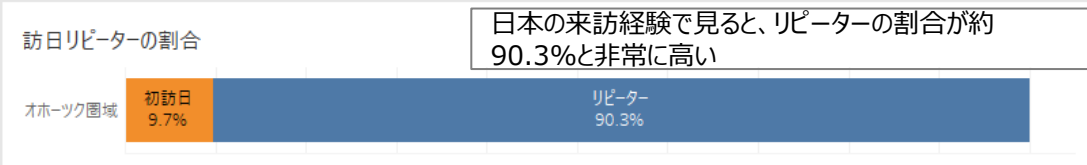


旭川市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

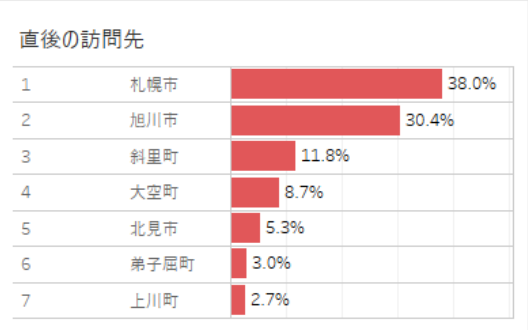
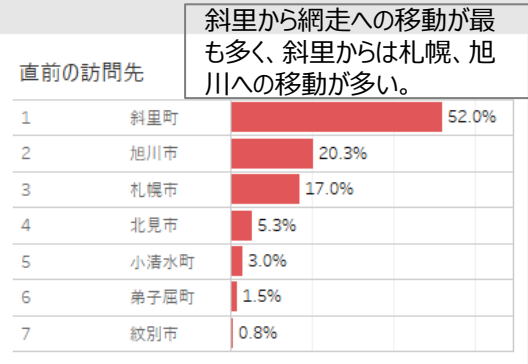
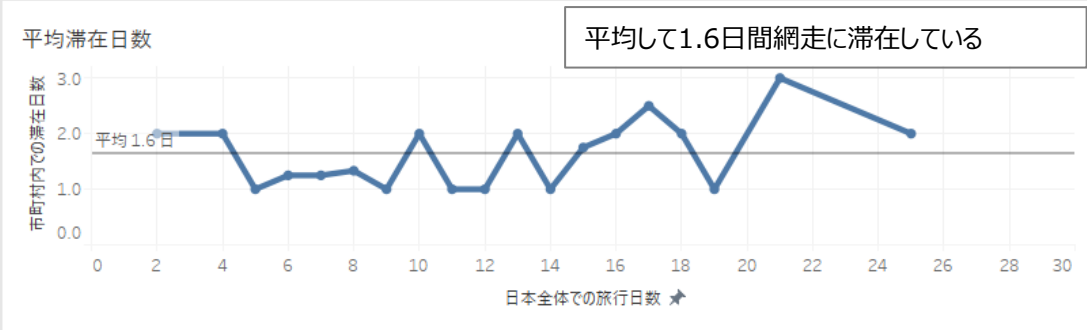
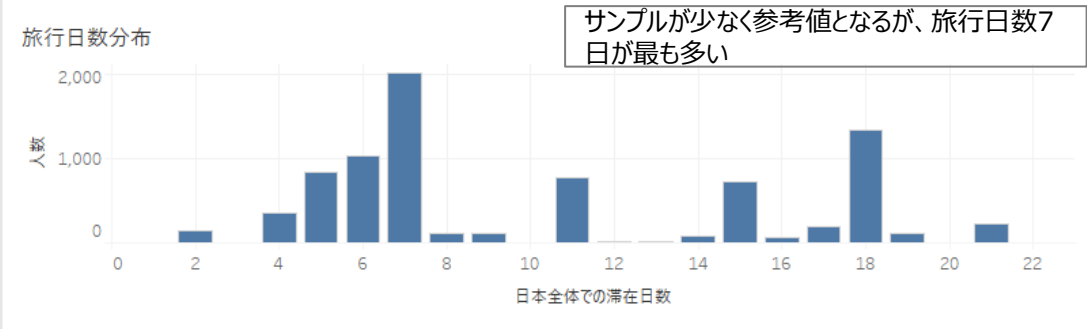


道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

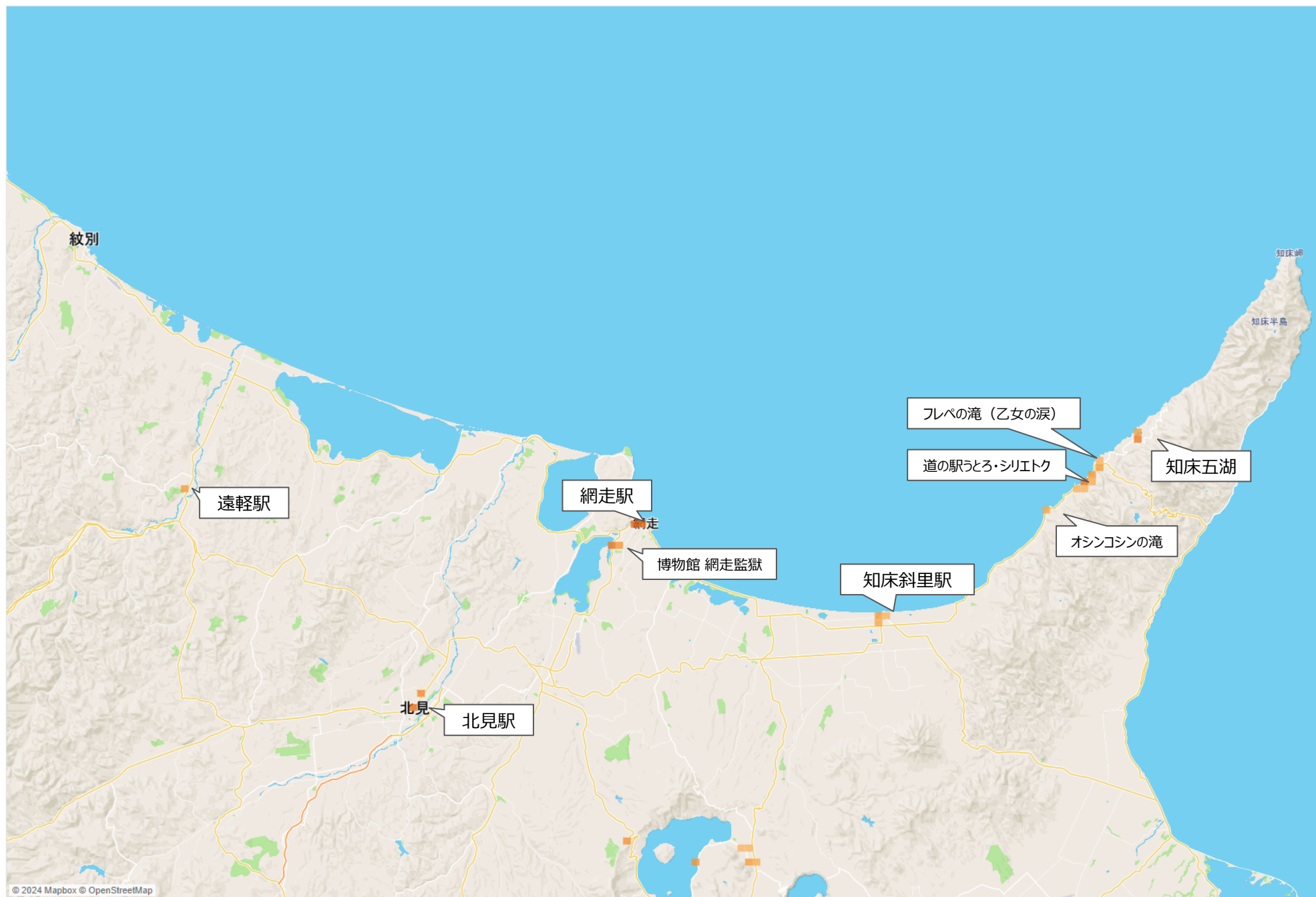


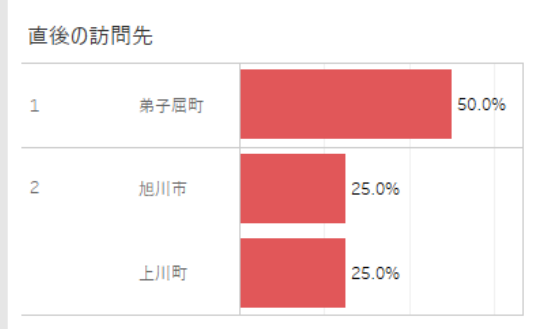
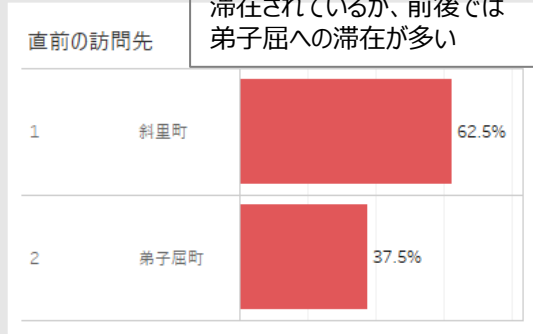
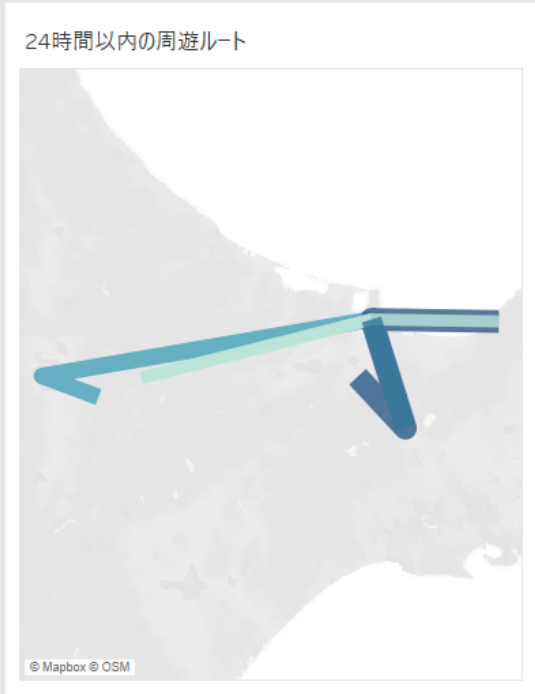
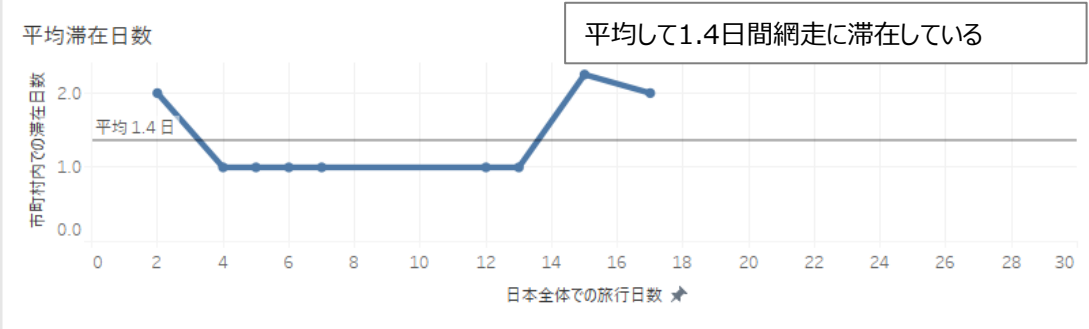
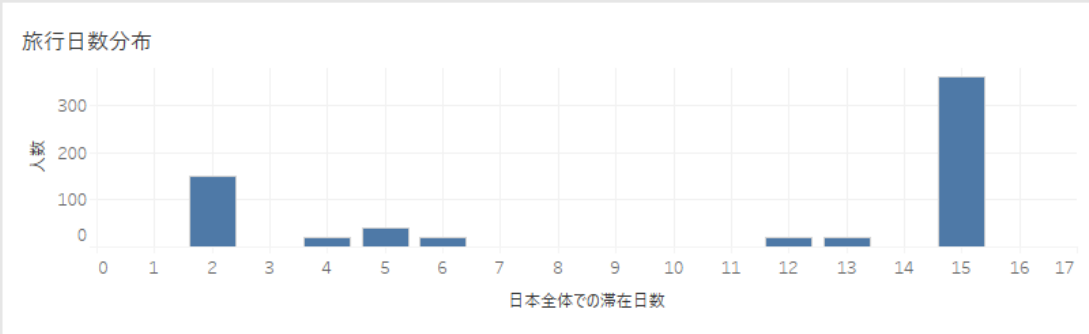
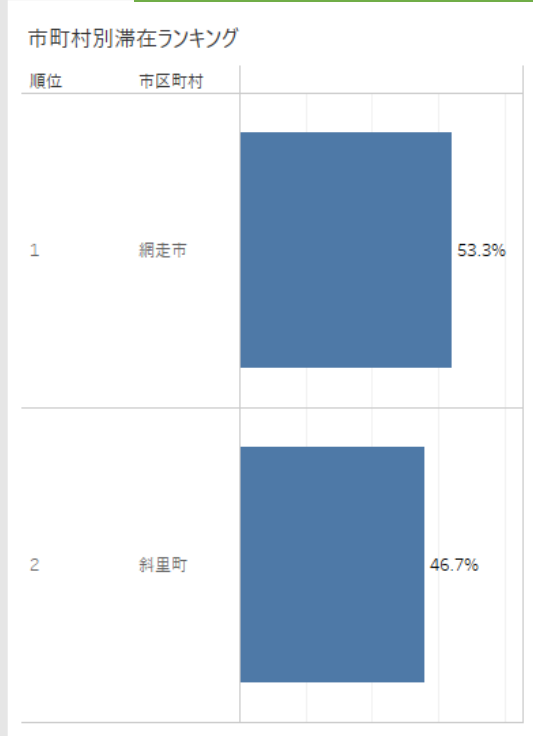
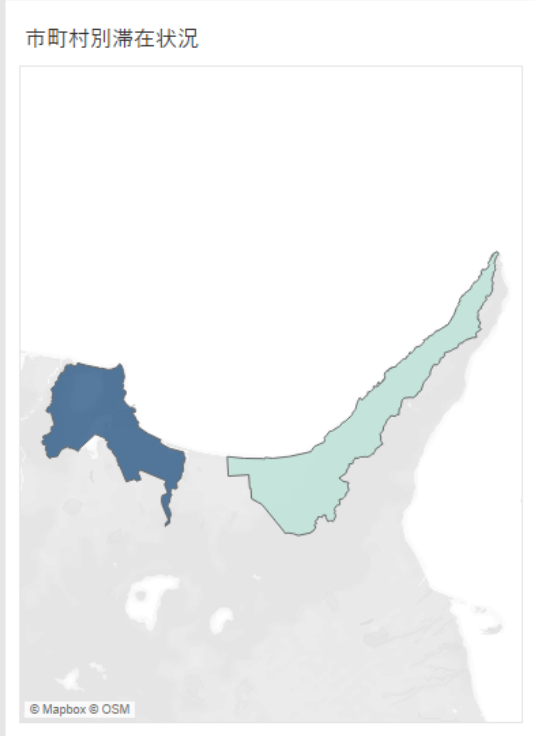
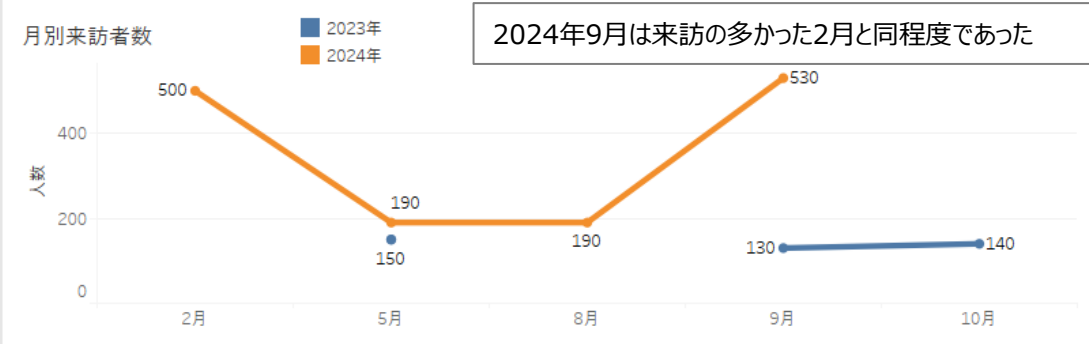
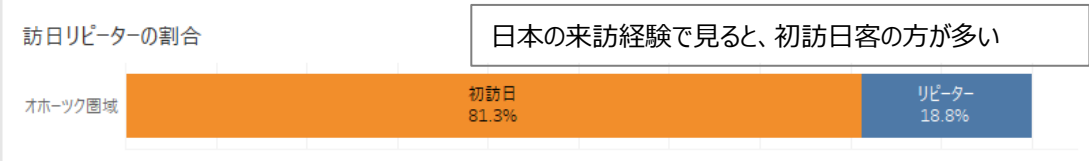
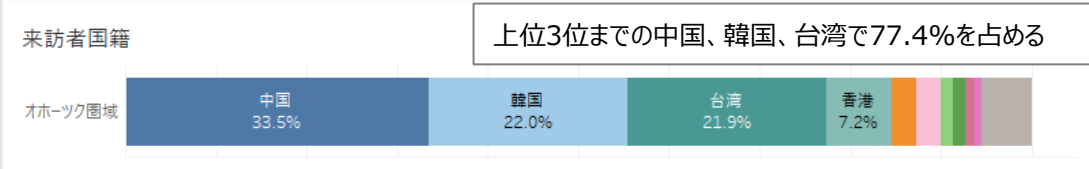


網走市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）

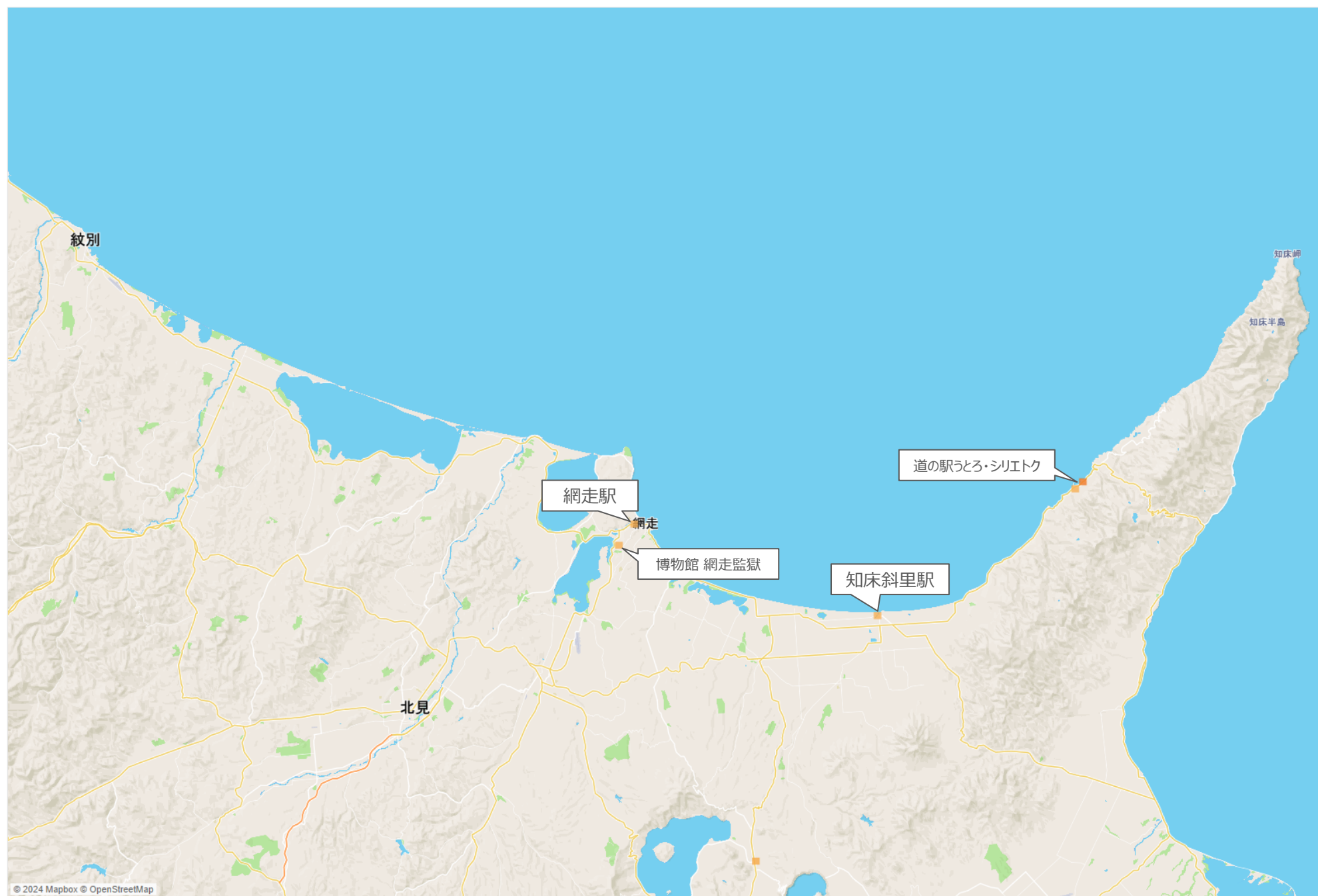


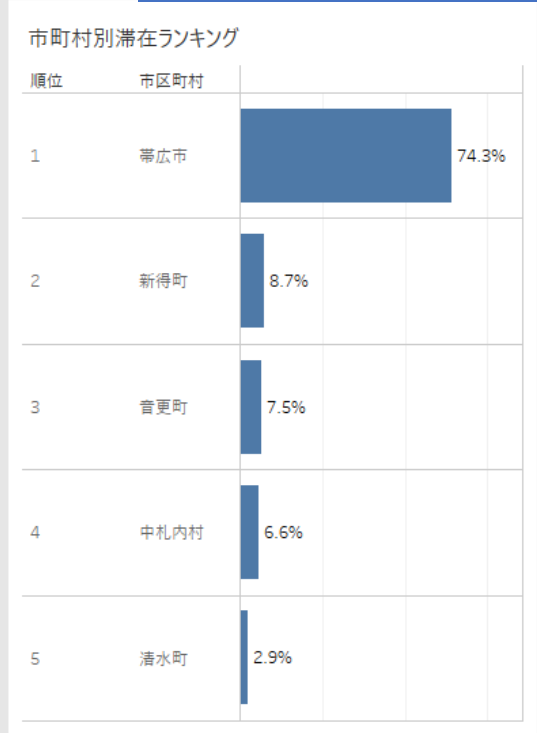
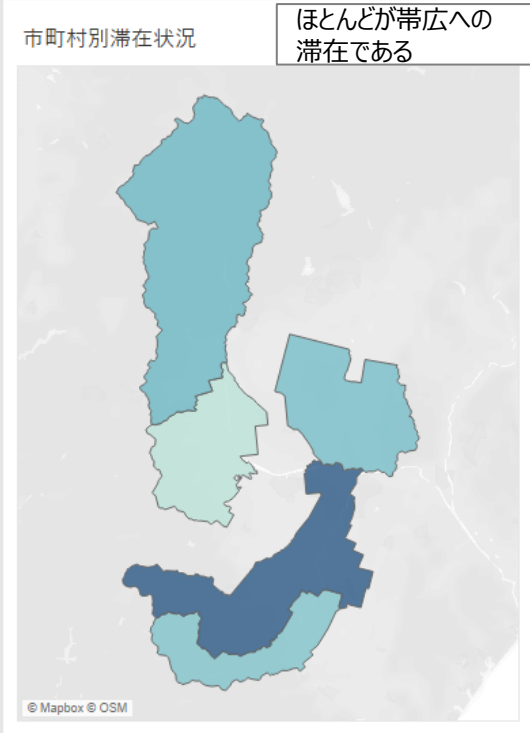
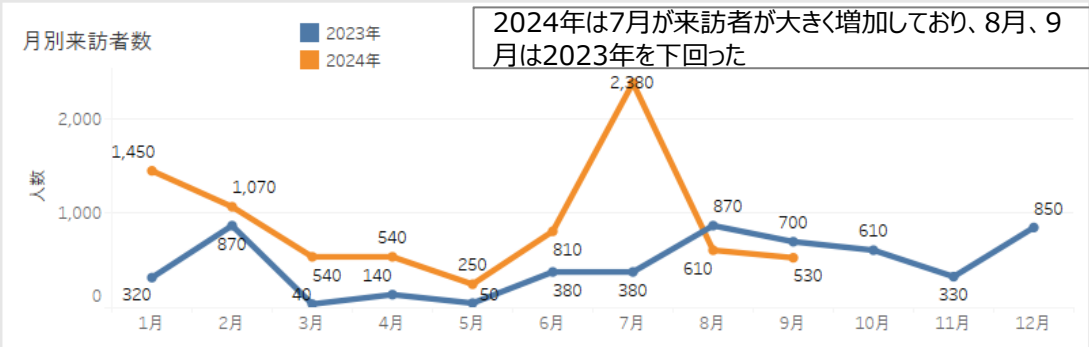
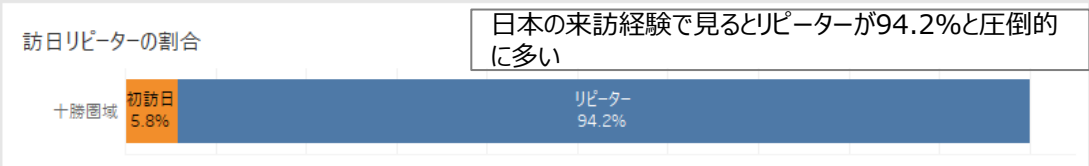
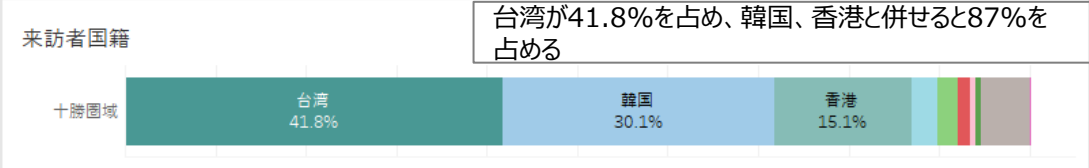
オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）



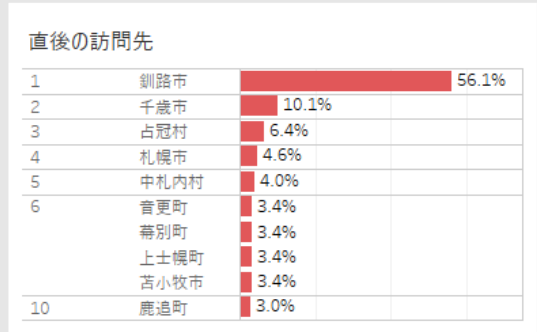
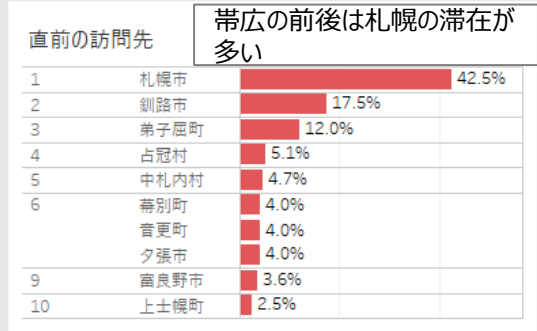
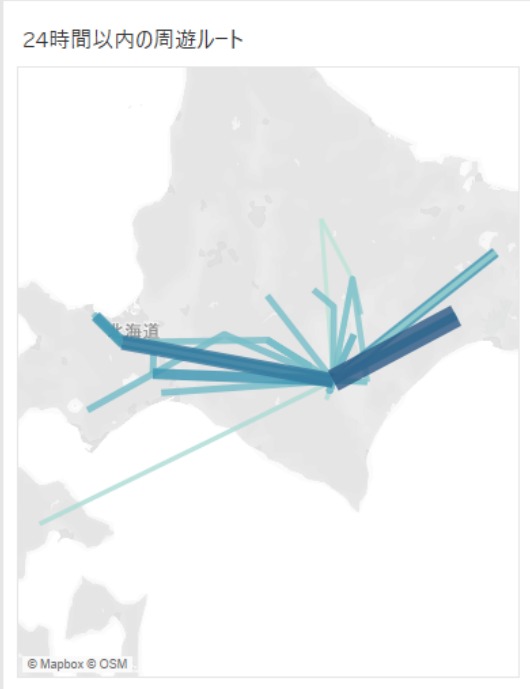
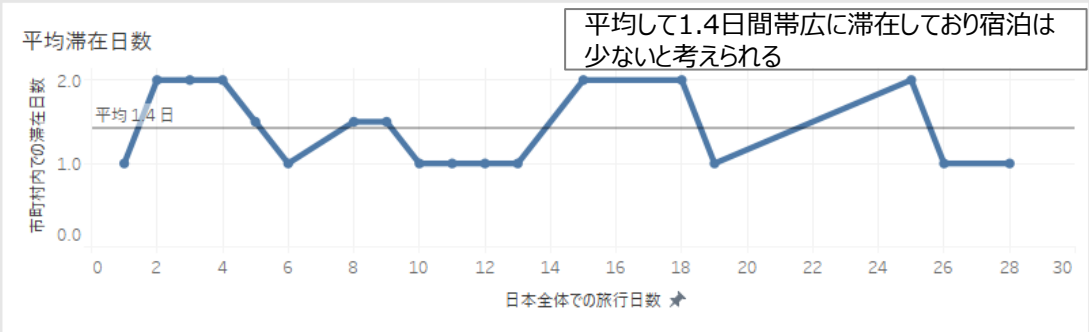
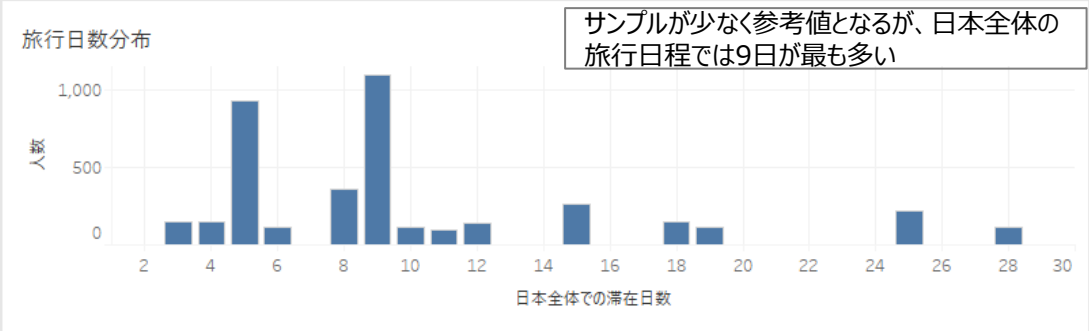


オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年8月～2024年9月・欧米豪）

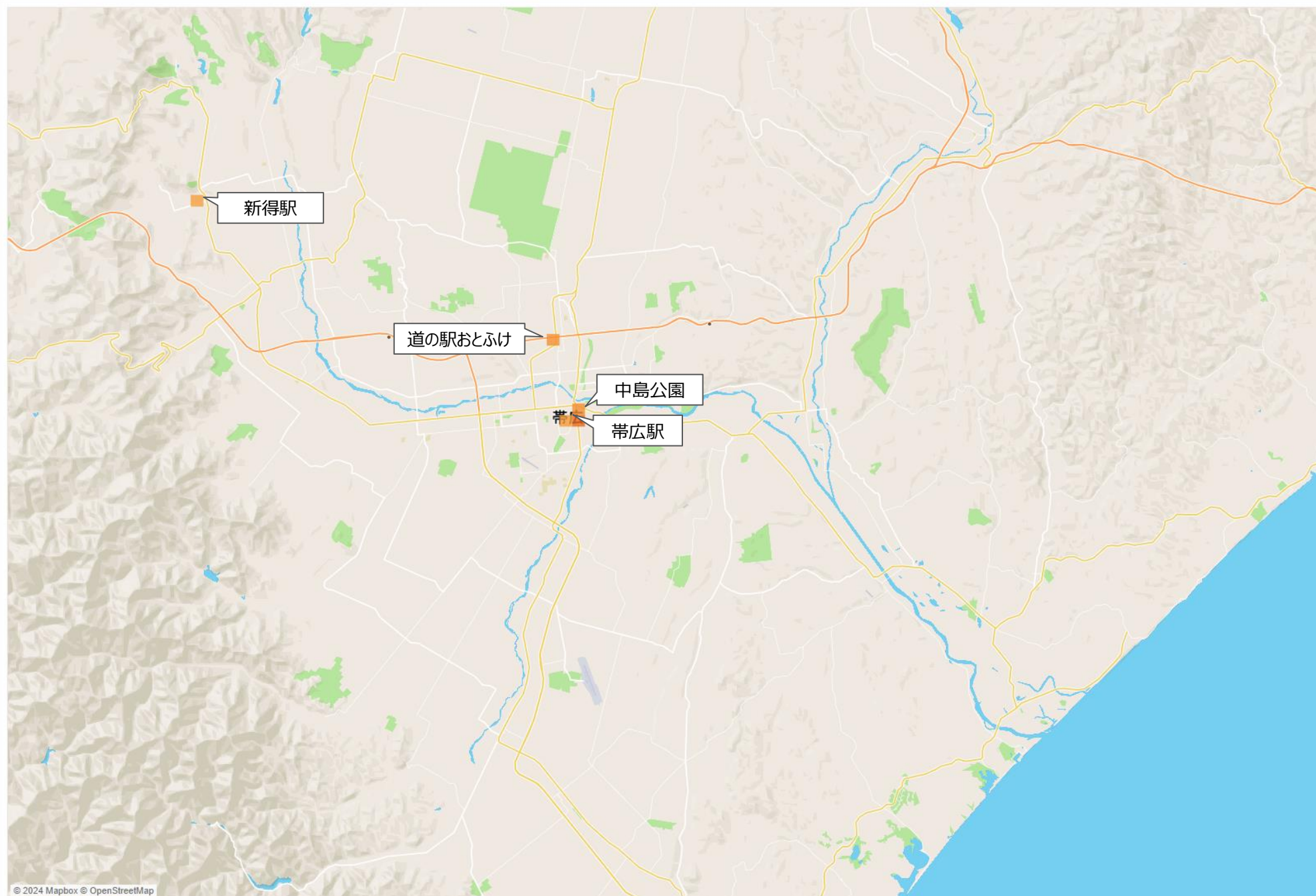


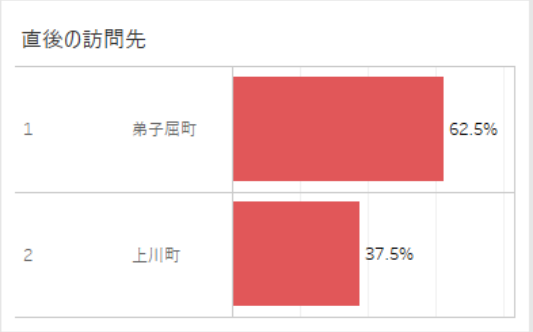
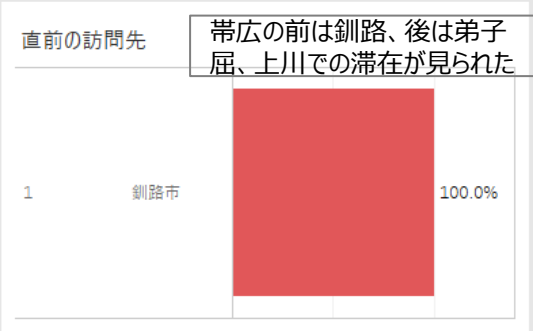
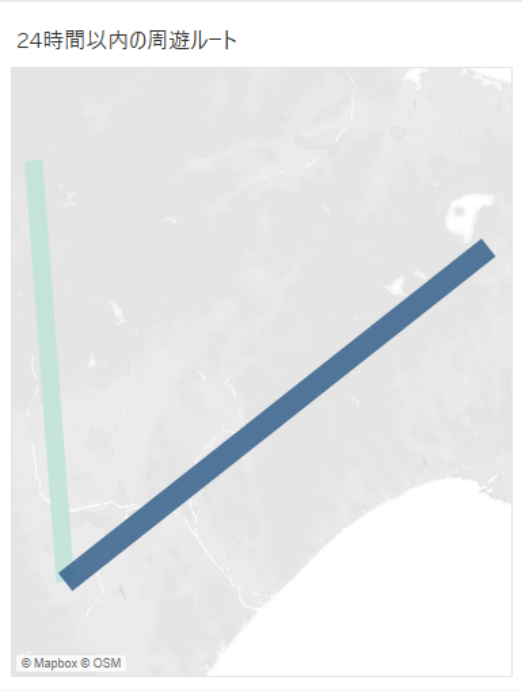
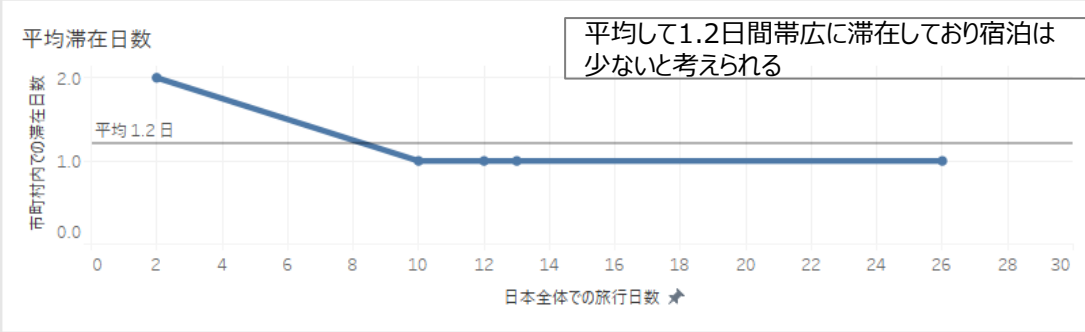
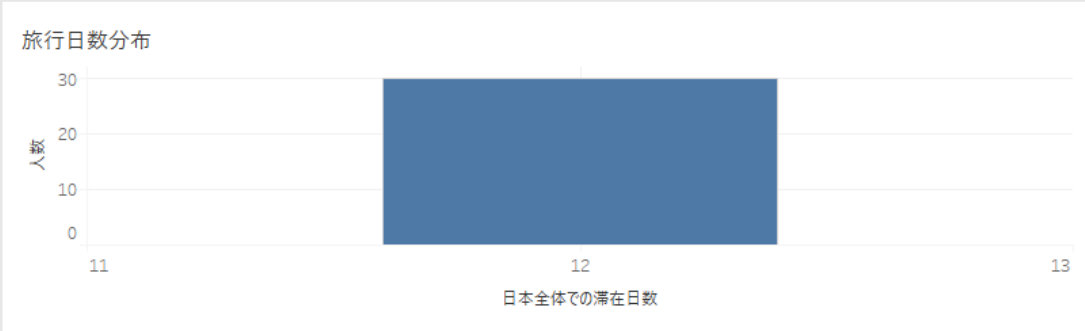
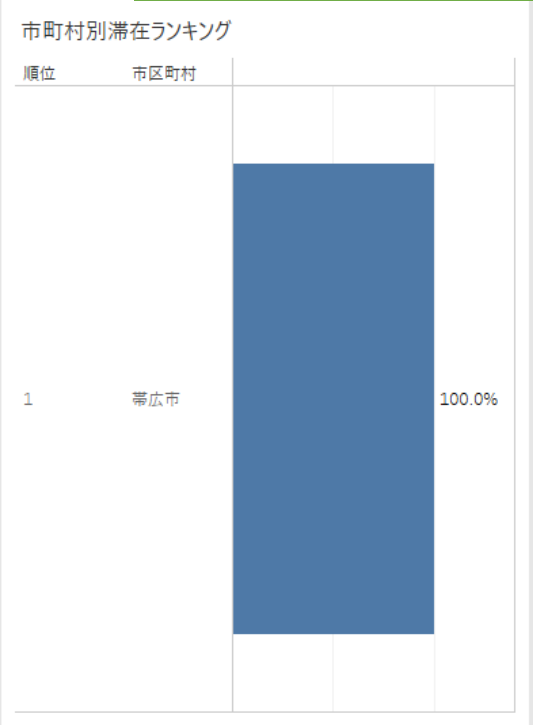
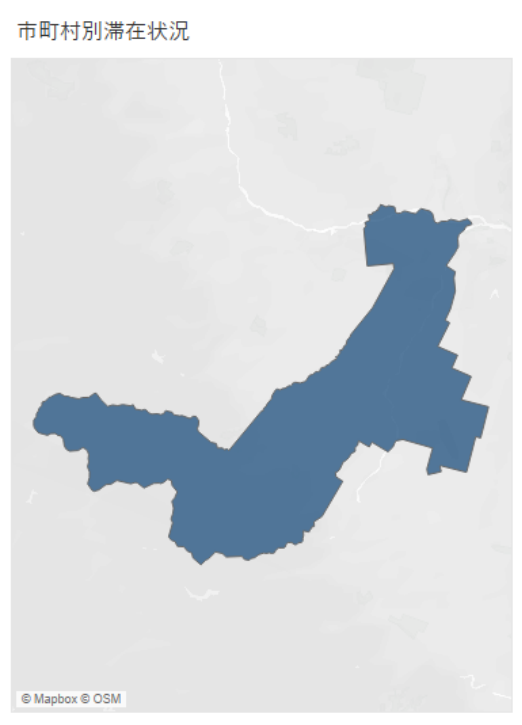
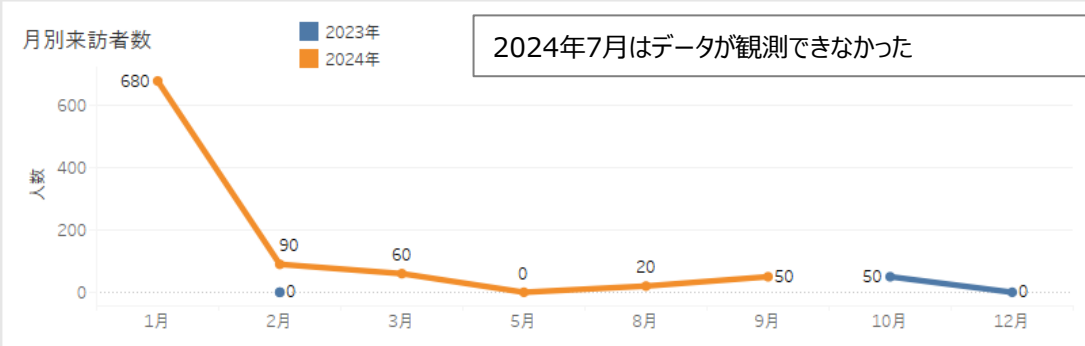
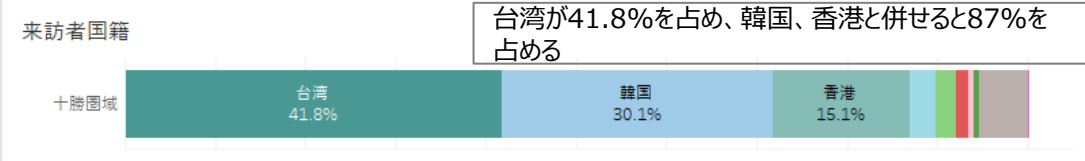


帯広市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）

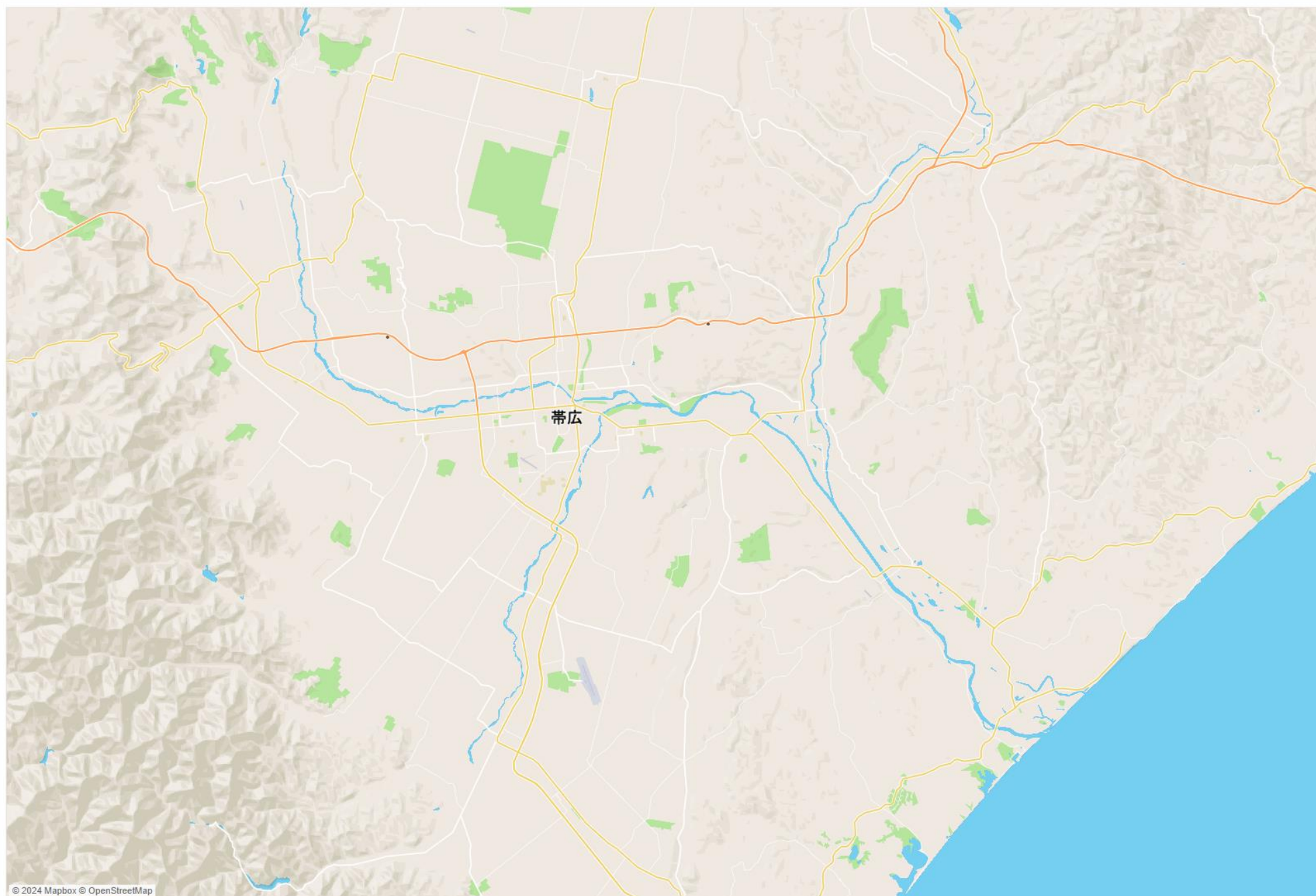


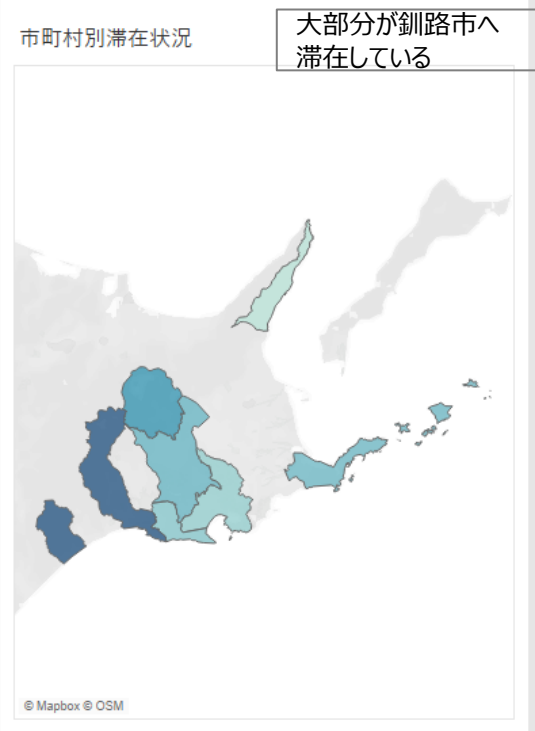
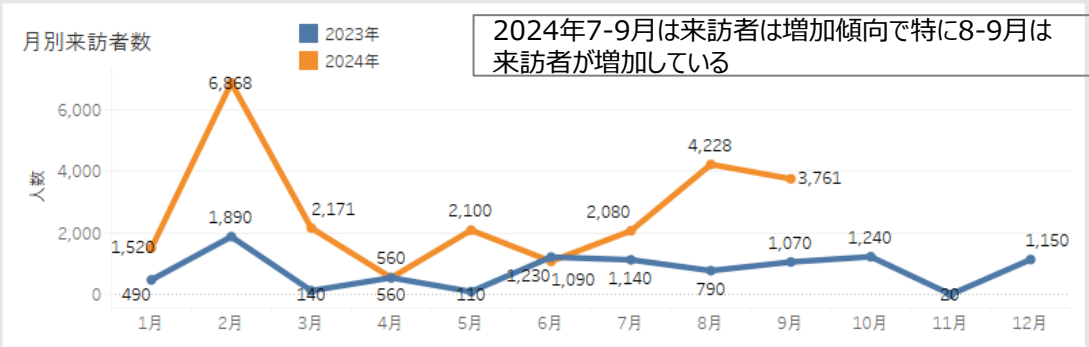
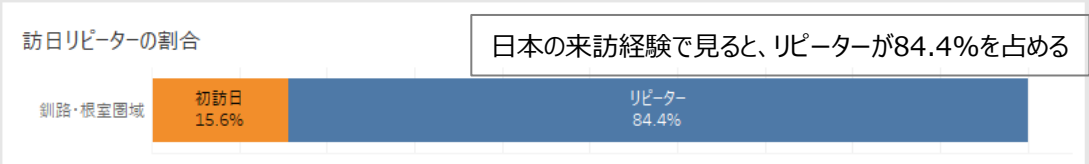
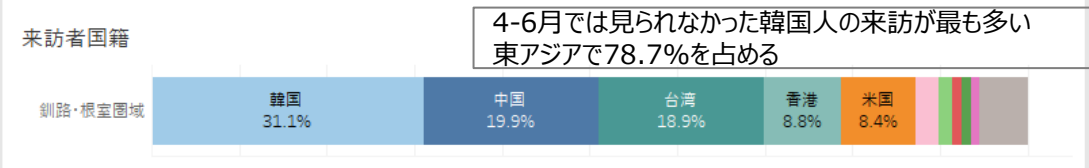
十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）





十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年8月～2024年9月・欧米豪）

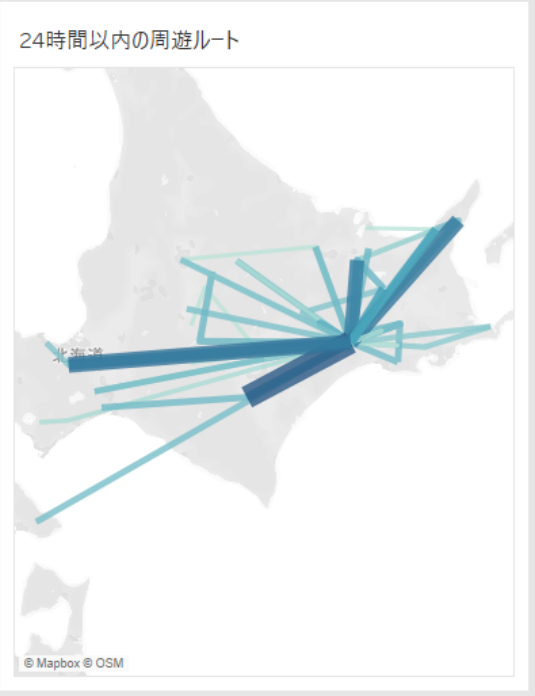
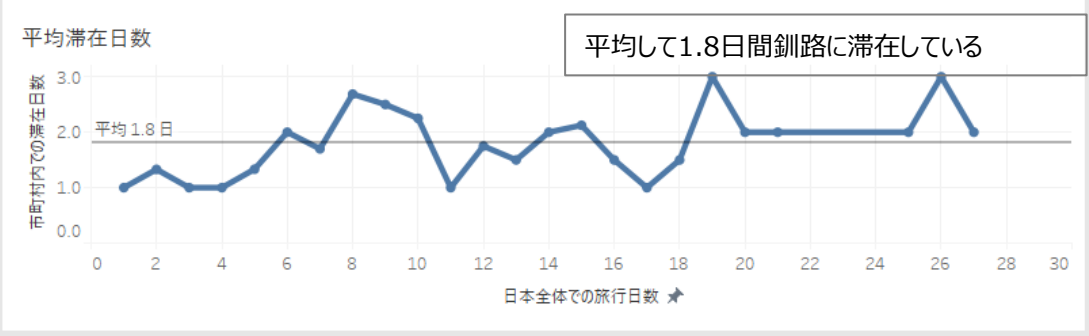
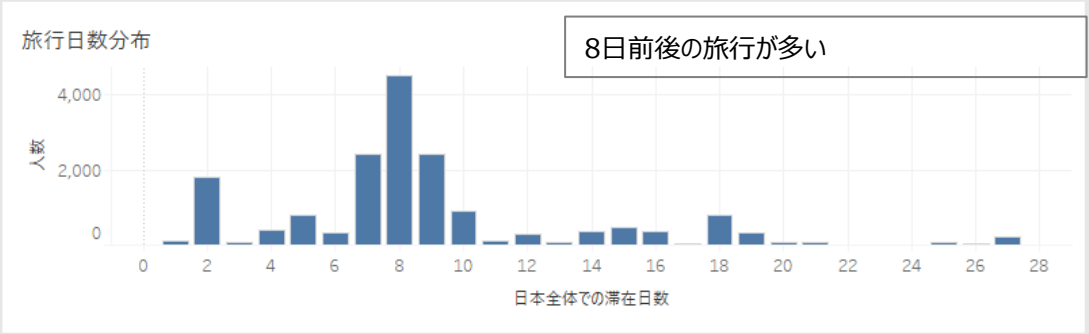




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	釧路市	85.7%
2	弟子屈町	8.2%
3	標茶町	2.2%
4	根室市	1.8%
5	釧路町	1.0%
6	厚岸町	0.7%
7	羅臼町	0.3%

釧路市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・全国籍）



直前の訪問先

釧路の前は帯広への滞在が最も多く、後は羅臼、札幌、美瑛への滞在が多い

順位	訪問先	割合
1	帯広市	52.9%
2	札幌市	10.6%
3	足寄町	7.2%
4	大空町	3.4%
5	鶴居村	3.2%
6	斜里町	3.2%
7	釧路町	3.2%
8	厚岸町	2.9%
9	函館市	2.9%
10	上川町	2.9%

直後の訪問先

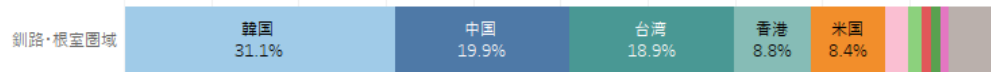
順位	訪問先	割合
1	羅臼町	18.9%
2	札幌市	17.3%
3	美瑛町	17.3%
4	帯広市	10.8%
5	弟子屈町	6.7%
6	標茶町	4.9%
7	足寄町	3.8%
8	北見市	3.4%
9	斜里町	3.1%
10	南富良野町	2.7%

釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・全国籍）

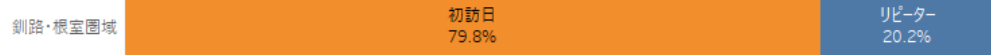


釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

来訪者国籍

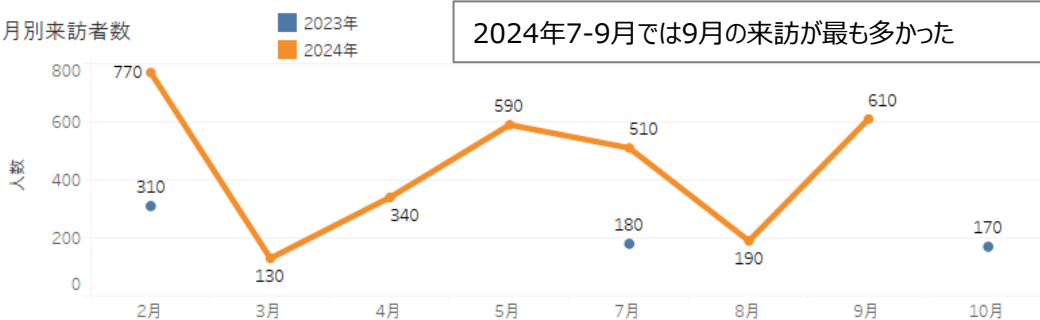
4-6月では見られなかった韓国人の来訪が最も多い
東アジアで78.7%を占める

訪日リピーターの割合



月別来訪者数

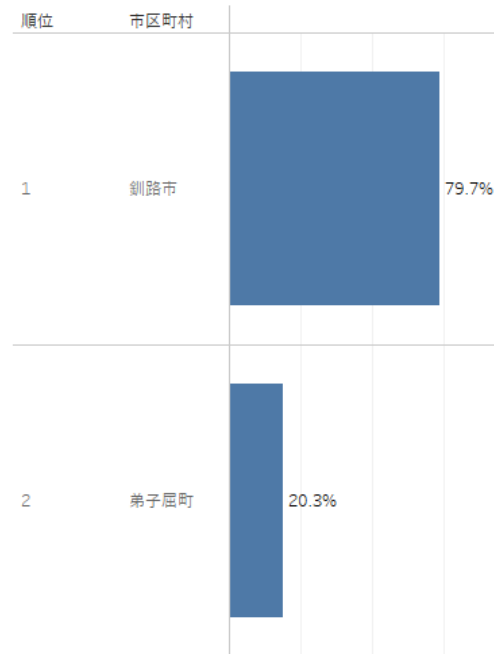
2024年7-9月では9月の来訪が最も多かった



市町村別滞在状況

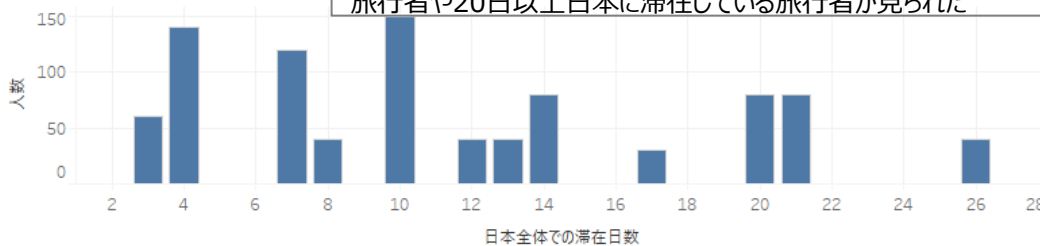
大部分が釧路市へ
滞在している

市町村別滞在ランキング



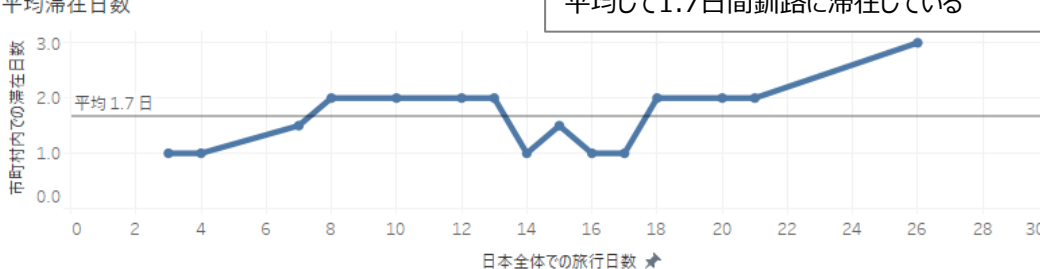
釧路市における周遊状況（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

旅行日数分布

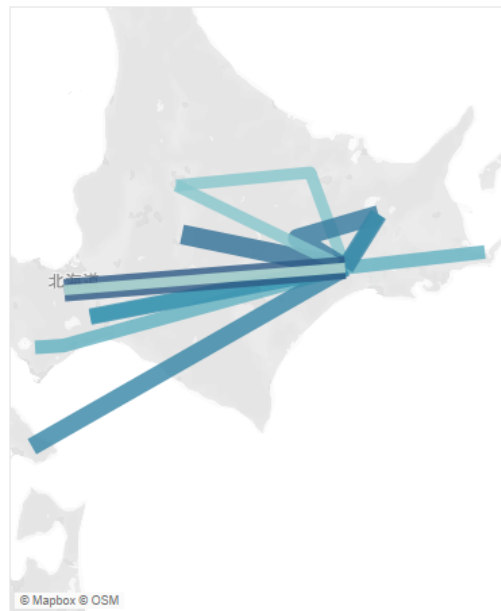
サンプル数が少なく参考値となるが、4日程度の比較的日数の短い
旅行者や20日以上日本に滞在している旅行者が見られた

平均滞在日数

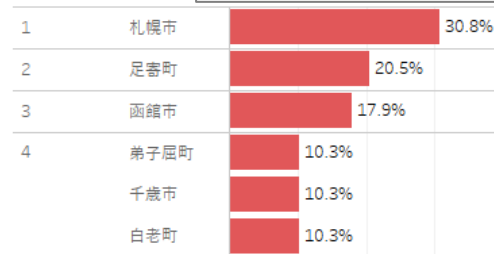
平均して1.7日間釧路に滞在している



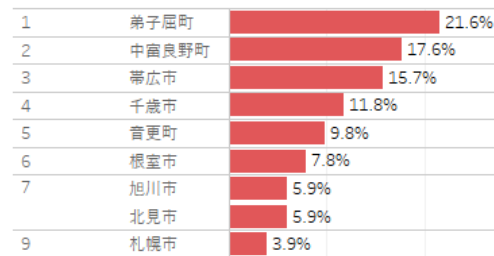
24時間以内の周遊ルート

釧路の前は道央圏内の札幌
への滞在が多いが、直後の
滞在では弟子屈や中富良
野、帯広への滞在が多い

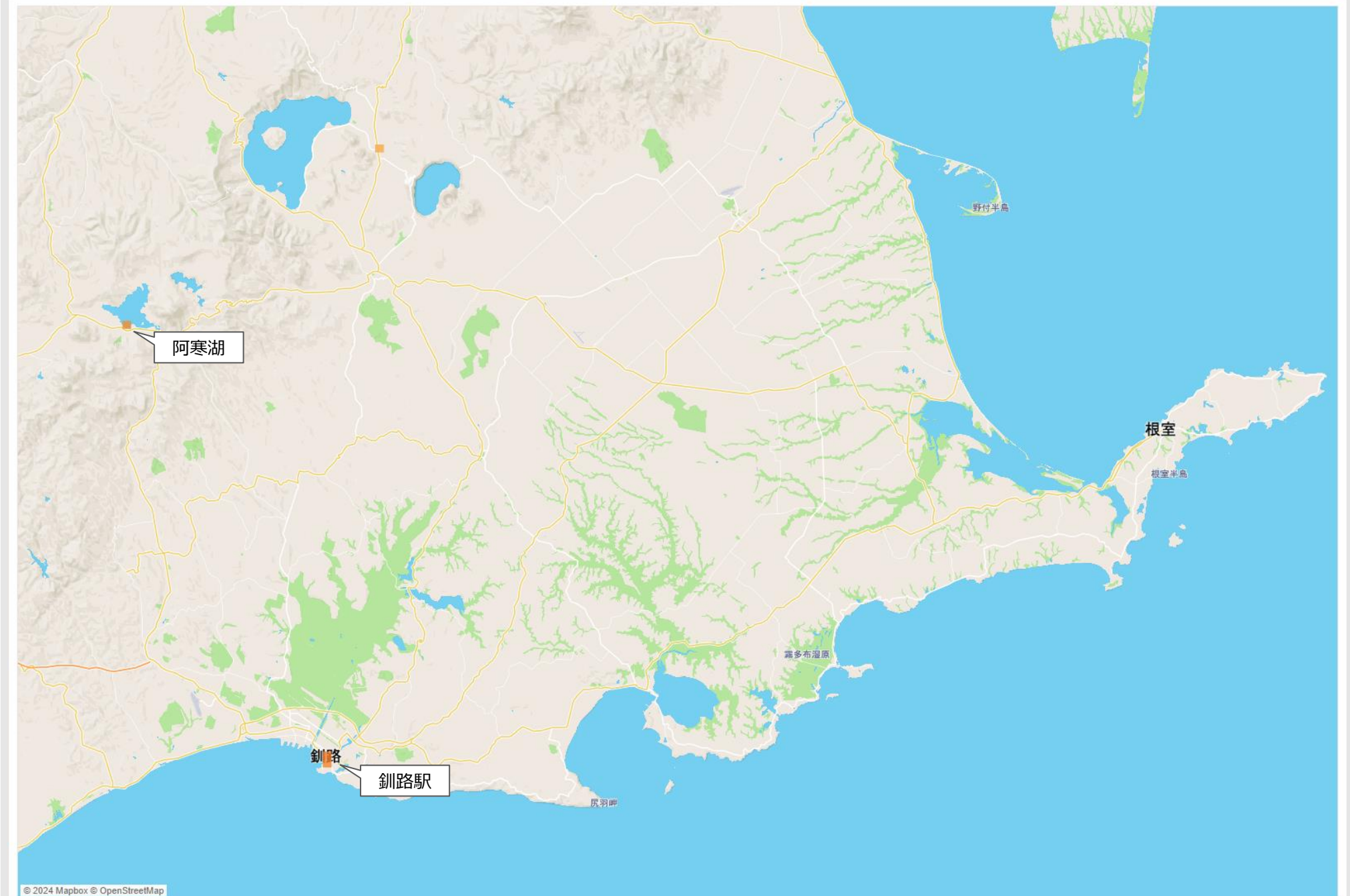
直前の訪問先



直後の訪問先



釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年7月～2024年9月・欧米豪）

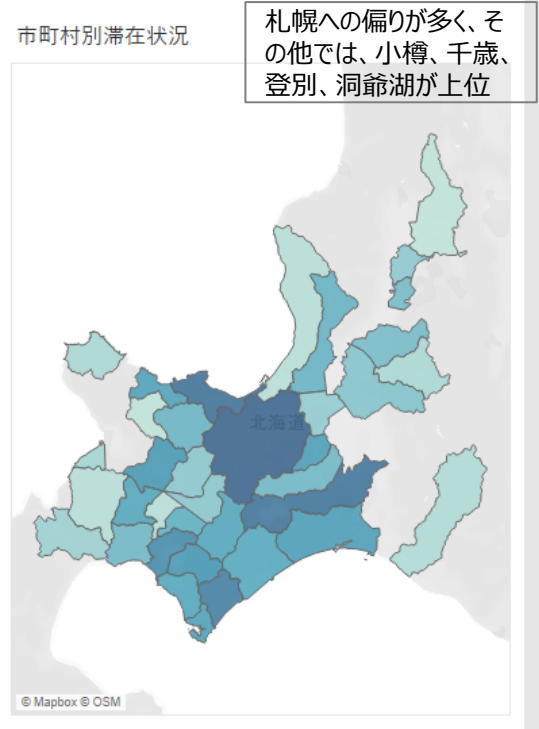
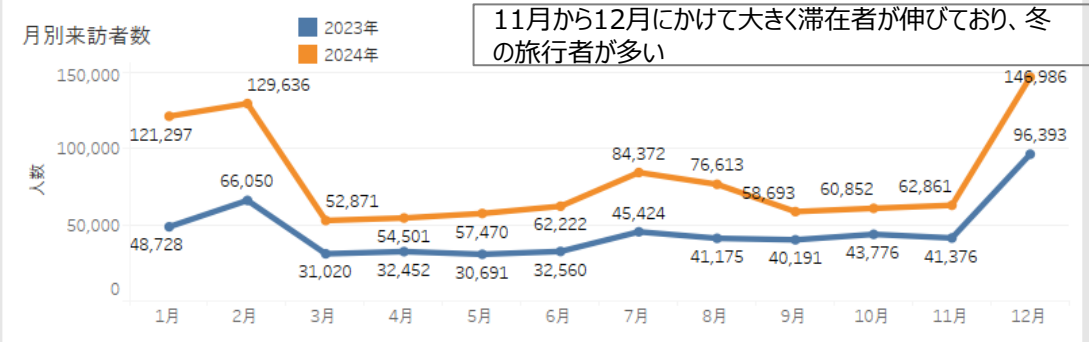
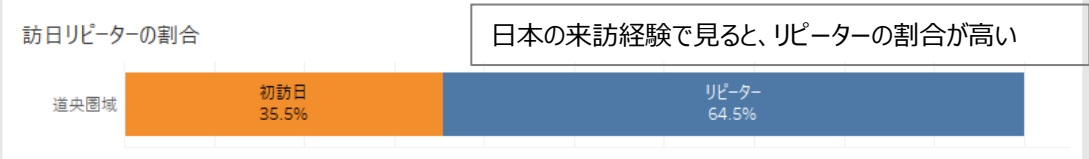


人流データの収集分析（インバウンド）の10-12月総括

人流データの収集分析の10-12月総括

10-12月の特徴は以下の通りとなった。詳細は次頁以降にて整理した。

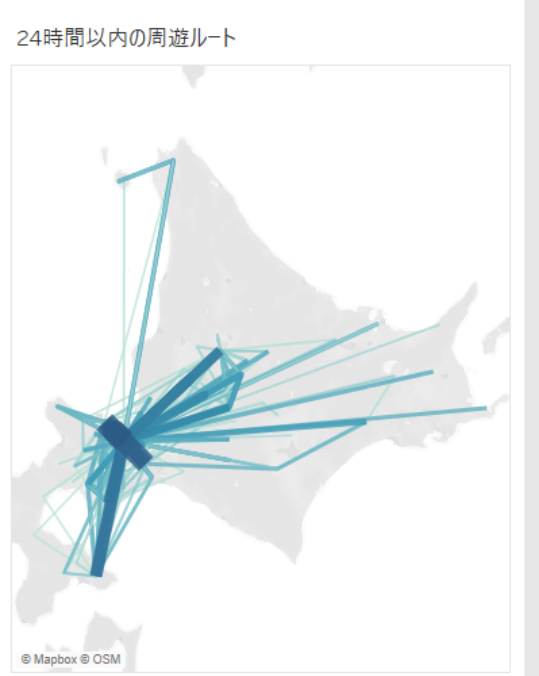
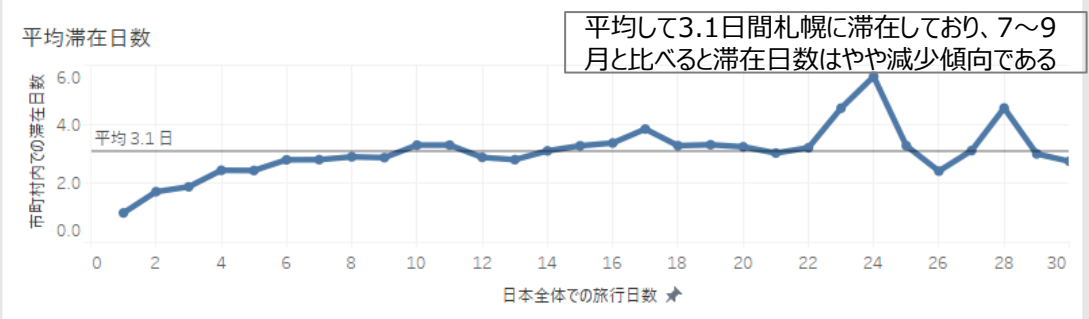
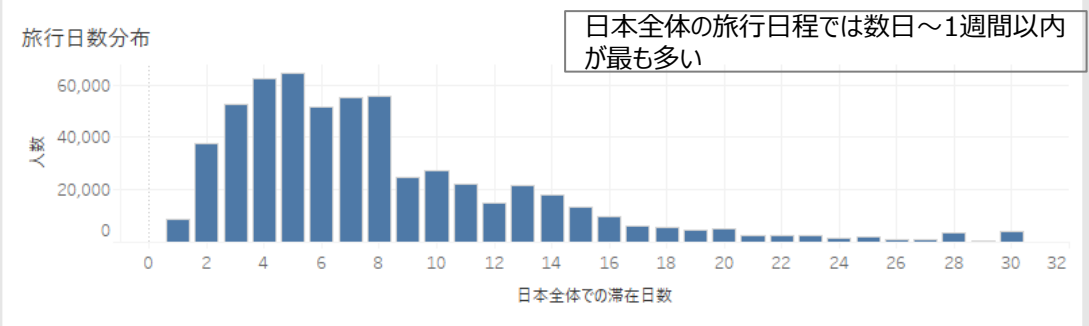
エリア	比較対象	全国 籍	欧 米 豪	注視すべきポイント
道央	昨年同時期比	↑	↓	欧米豪に特化すると、昨年同時期比で来道者は2,429名減少した。 札幌の前後は小樽、千歳、登別への滞在が多く、7～9月と比較すると、余市、倶知安が順位を上げている。
	7-9月対比	↑	↑	
道南	昨年同時期比	↑	↓	欧米豪に特化すると、昨年同時期比で来道者は6,987名減少した。 函館市の前後は札幌市での滞在が最も多いが、滞在前に関しては次点で北斗市が多い。
	7-9月対比	↑	↓	
道北	昨年同時期比	↑	↑	欧米豪に特化すると、昨年同時期比でほぼ同数（わずかに上回る）。 旭川の前後は札幌への滞在が最も多い。次いで、旭川滞在前は美瑛、上川へ、 旭川滞在後は富良野への滞在が見られた。
	7-9月対比	↓	↓	
オホーツク	昨年同時期比	↑	↑	欧米豪の10月は9月と比較し旅行者は減少しており、11月、12月はデータが取得できなかった。 最も多い中国で56.4%を占め、2位の台湾と併せると60%以上を占める。
	7-9月対比	↓	↓	
十勝	昨年同時期比	↑	—	欧米豪の2024年10～12月はデータが観測されなかった。 最も多い韓国で57.7%を占め、2位の台湾と併せると75%以上を占める。
	7-9月対比	↓	—	
釧路・ 根室	昨年同時期比	↑	—	欧米豪の10月は9月と比較し旅行者は減少しており、11月、12月はデータが取得できなかった。 最も多い中国で56.4%を占め、2位の台湾と併せると70%以上を占める。
	7-9月対比	↓	—	



市町村別滞在ランキング

順位	市町村	割合
1	札幌市	46.6%
2	小樽市	18.2%
3	千歳市	15.5%
4	登別市	7.2%
5	洞爺湖町	3.6%
6	壮瞥町	1.5%
7	倶知安町	1.2%
8	北広島市	0.9%
9	苫小牧市	0.9%
10	余市町	0.7%

札幌市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



直前の訪問先

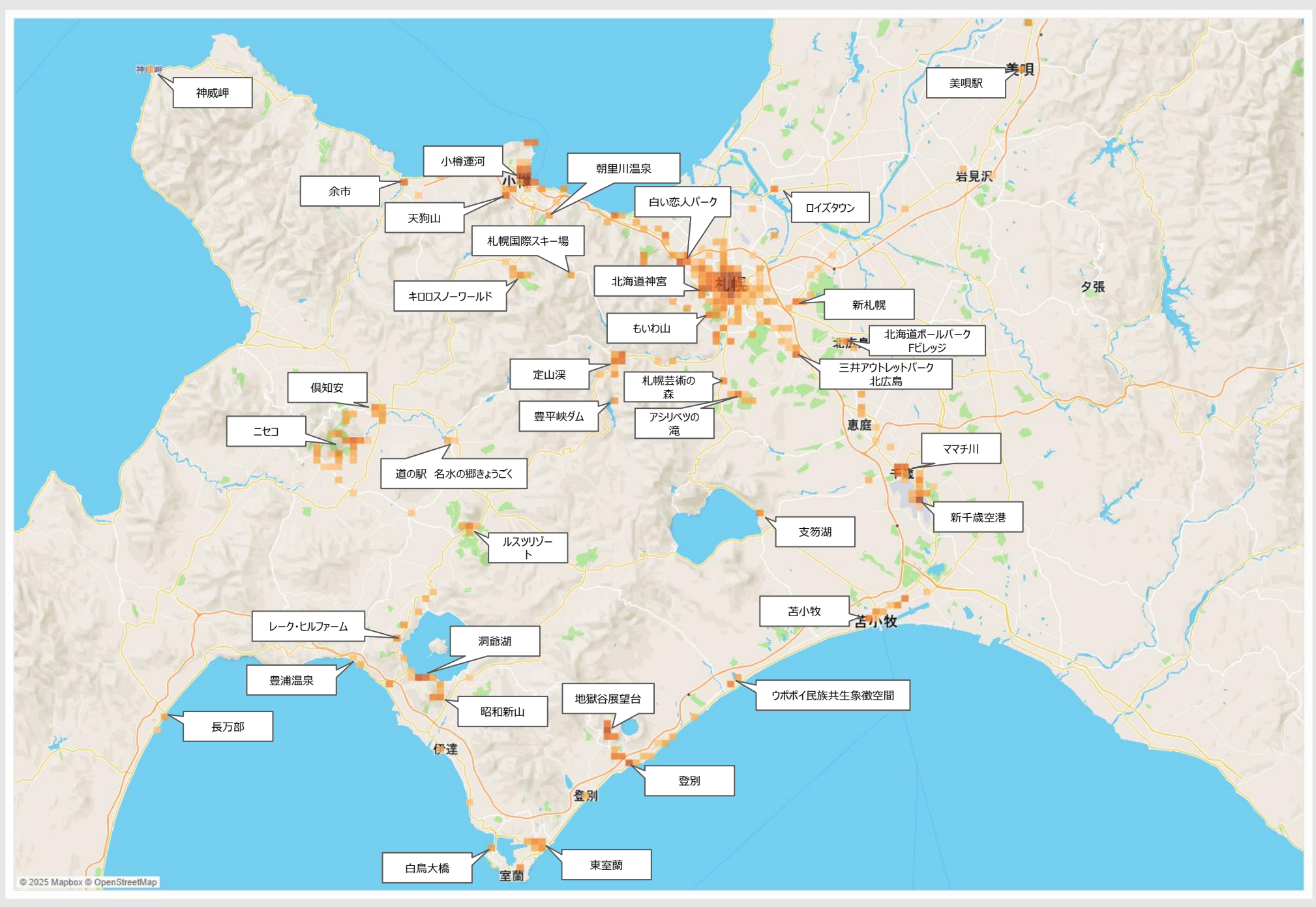
札幌の前後は道央圏内の小樽、千歳が特に多く、道南の函館よりも道北の旭川が上位となっている

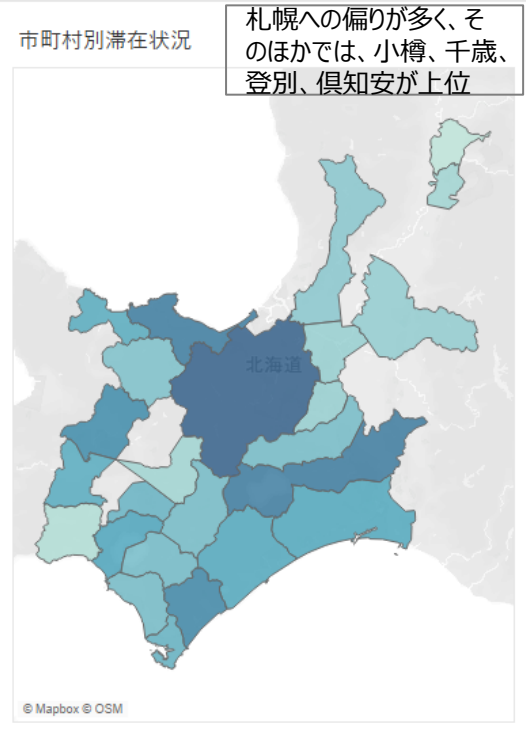
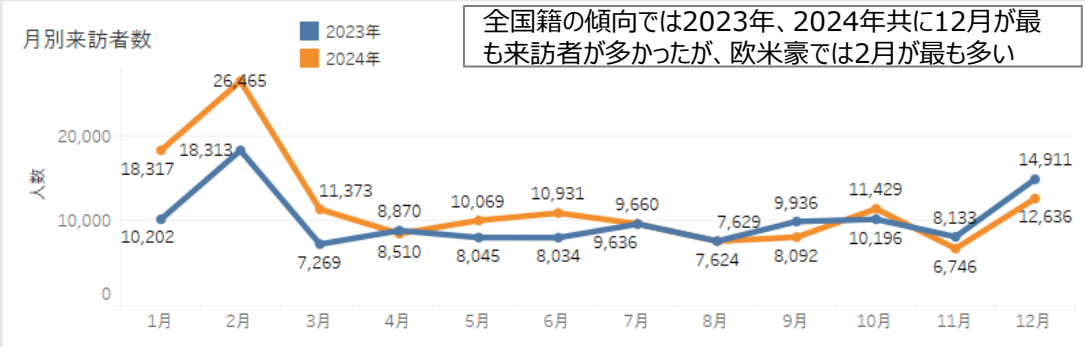
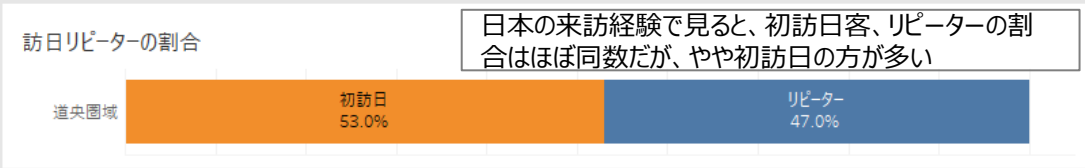
順位	市町村	割合
1	小樽市	32.2%
2	千歳市	23.7%
3	旭川市	9.1%
4	登別市	8.4%
5	函館市	4.4%
6	美瑛町	4.0%
7	富良野市	3.0%
8	北広島市	2.5%
9	洞爺湖町	2.3%
10	壮瞥町	1.1%

直後の訪問先

順位	市町村	割合
1	小樽市	41.9%
2	千歳市	12.2%
3	登別市	8.6%
4	旭川市	7.0%
5	函館市	5.8%
6	富良野市	4.8%
7	美瑛町	3.9%
8	北広島市	2.2%
9	洞爺湖町	1.6%
10	当別町	1.1%

道央圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）

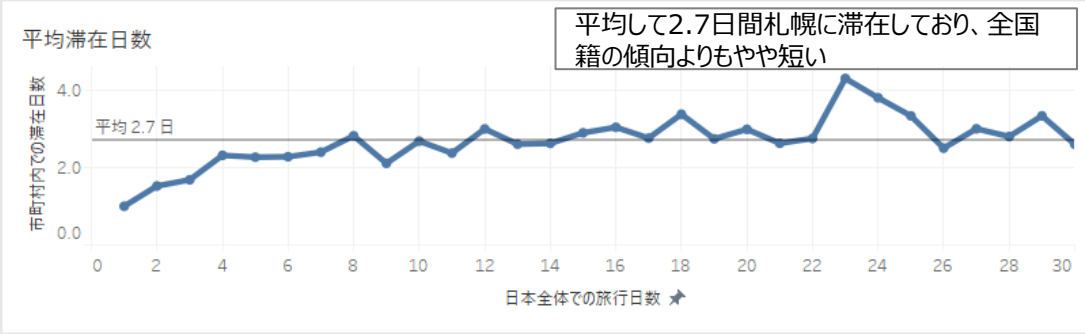
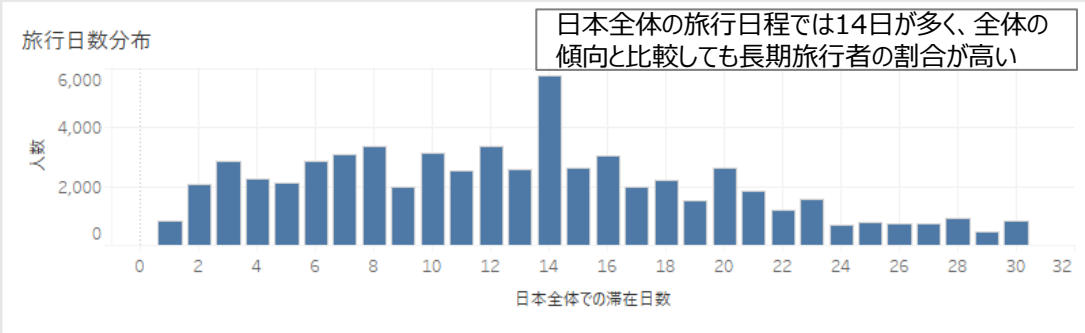




市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	札幌市	51.2%
2	千歳市	13.1%
3	小樽市	12.3%
4	登別市	7.2%
5	倶知安町	5.6%
6	洞爺湖町	1.6%
7	苫小牧市	1.4%
8	白老町	1.3%
9	余市町	1.1%
10	二世町	1.1%

札幌市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・欧米豪）



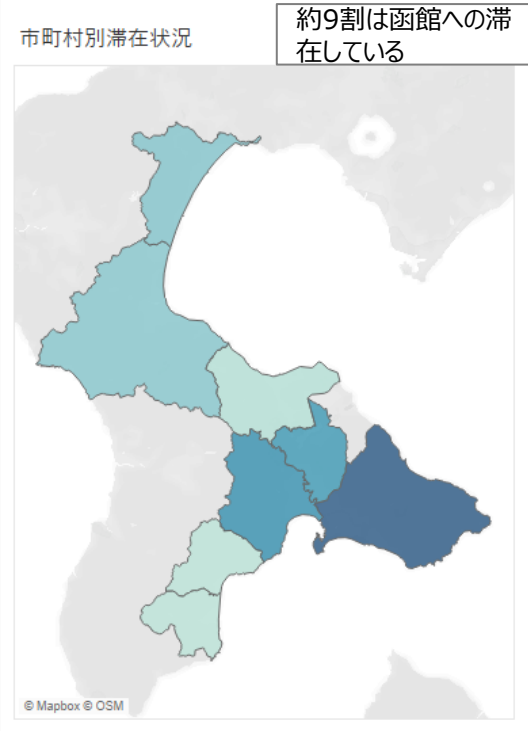
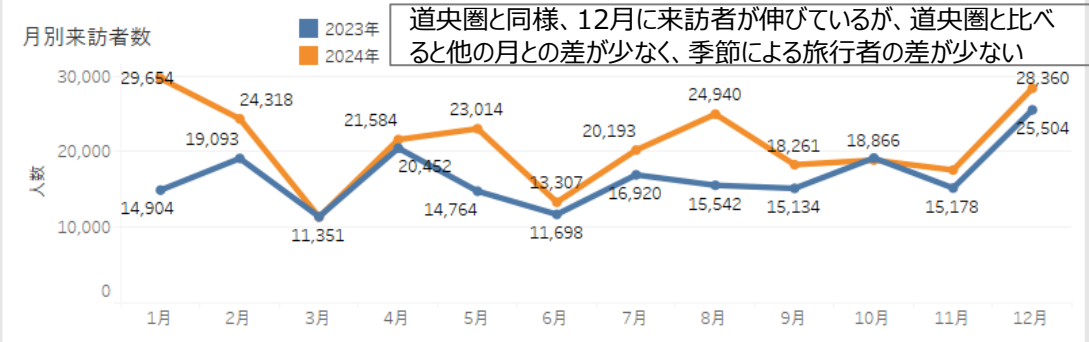
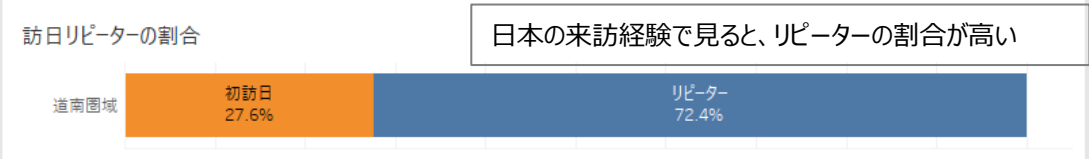
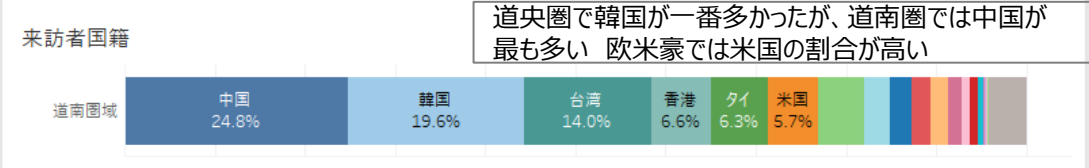
直前の訪問先

札幌の前後は小樽、千歳、登別への滞在が多く、7～9月と比較すると、余市、倶知安が順位をあげている

順位	訪問先	割合
1	小樽市	26.5%
2	千歳市	20.0%
3	登別市	16.5%
4	旭川市	8.1%
5	函館市	4.8%
6	富良野市	3.2%
7	余市町	3.0%
8	美瑛町	2.7%
9	倶知安町	2.0%
10	苫小牧市	1.8%

直後の訪問先

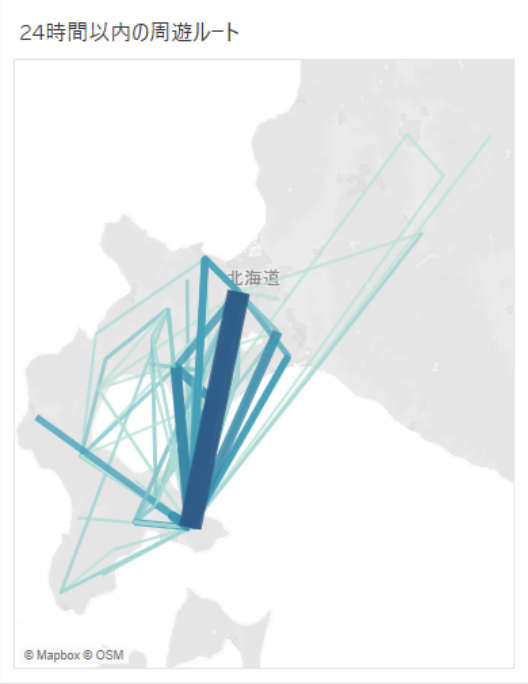
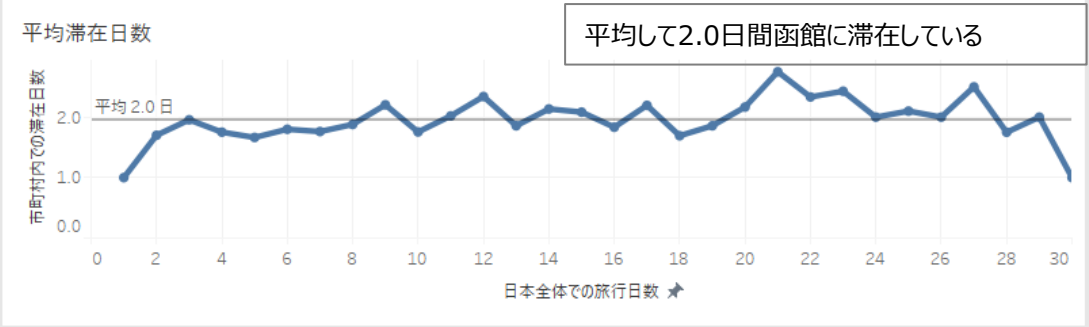
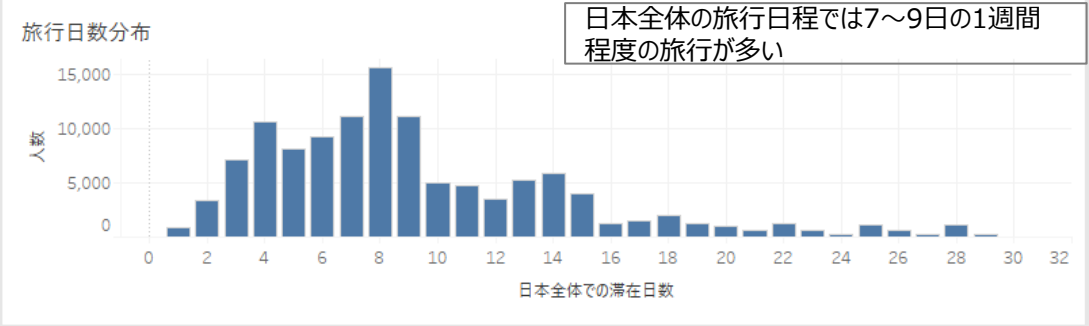
順位	訪問先	割合
1	小樽市	35.9%
2	千歳市	13.6%
3	登別市	10.5%
4	函館市	7.7%
5	倶知安町	3.6%
6	富良野市	3.4%
7	旭川市	3.3%
8	苫小牧市	2.3%
9	当別町	2.0%
10	余市町	1.8%



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	函館市	89.0%
2	北斗市	6.1%
3	七飯町	3.9%
4	長万部町	0.4%
5	八雲町	0.4%
6	森町	0.1%
7	知内町	0.1%
	木古内町	0.1%

函館市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



函館の前後は札幌市への滞在が最も多く、その他では洞爺湖、登別、七飯、北斗への滞在が多い

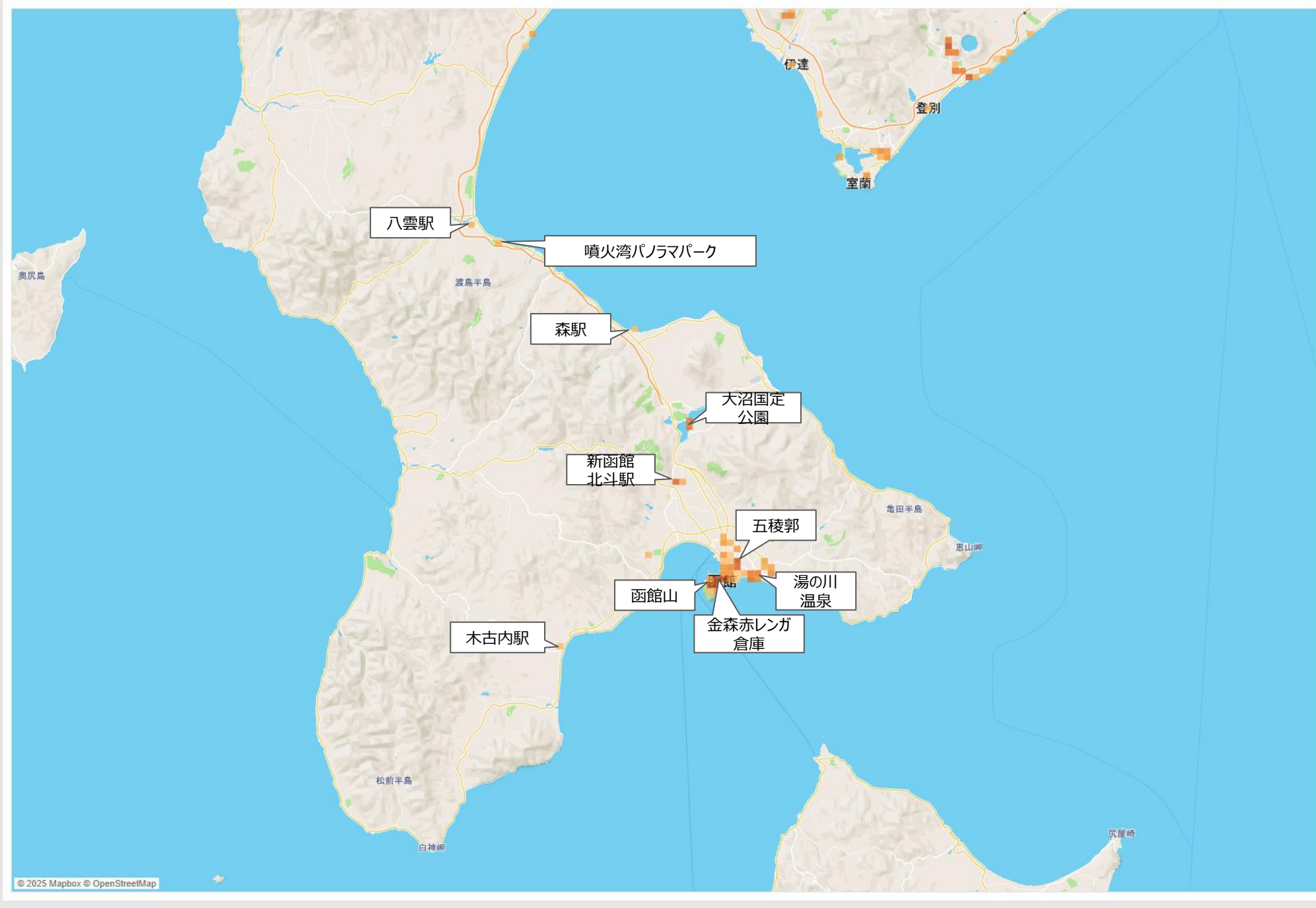
直前の訪問先

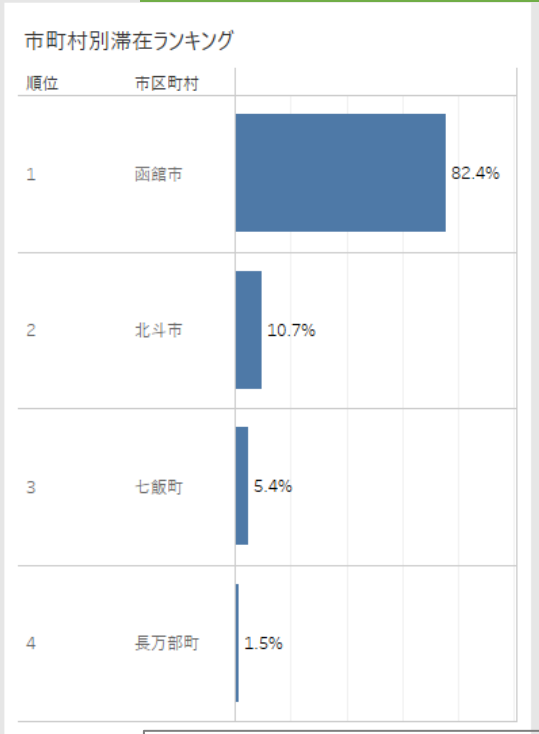
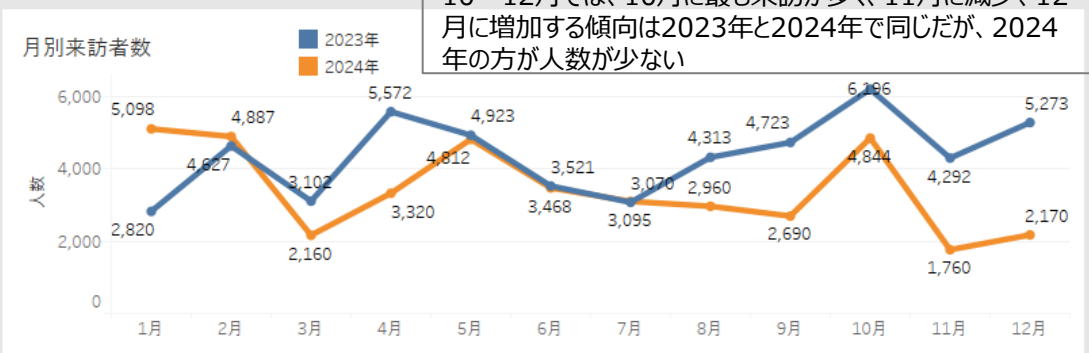
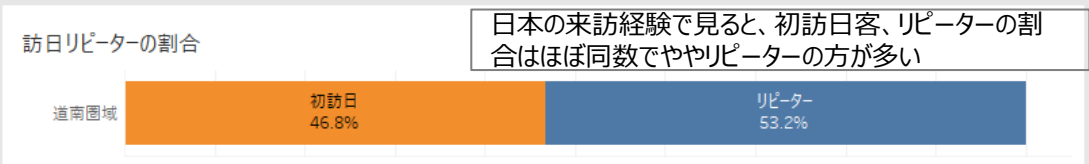
1	札幌市	43.1%
2	洞爺湖町	12.7%
3	登別市	10.8%
4	七飯町	9.4%
5	北斗市	8.9%
6	小樽市	5.4%
7	室蘭市	2.9%
8	壮瞥町	1.8%
9	白老町	1.6%
10	二セコ町	0.5%

直後の訪問先

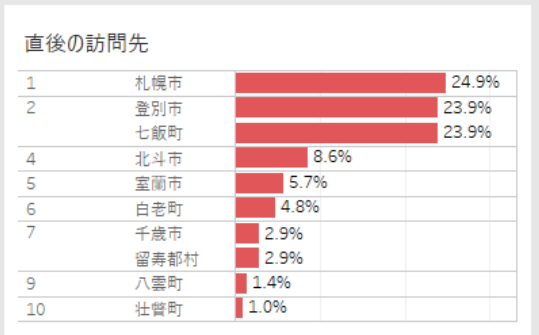
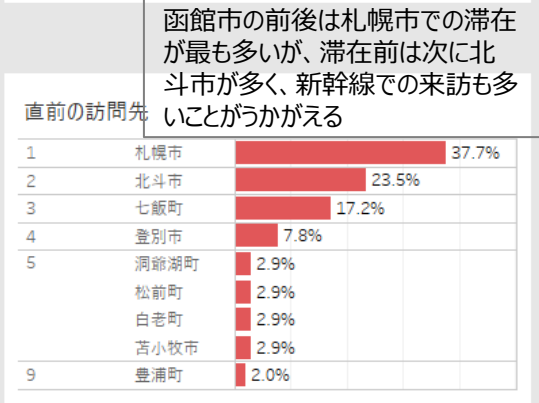
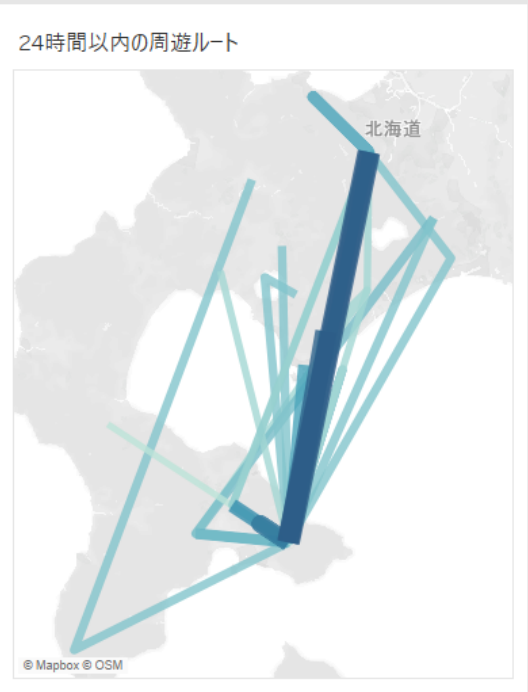
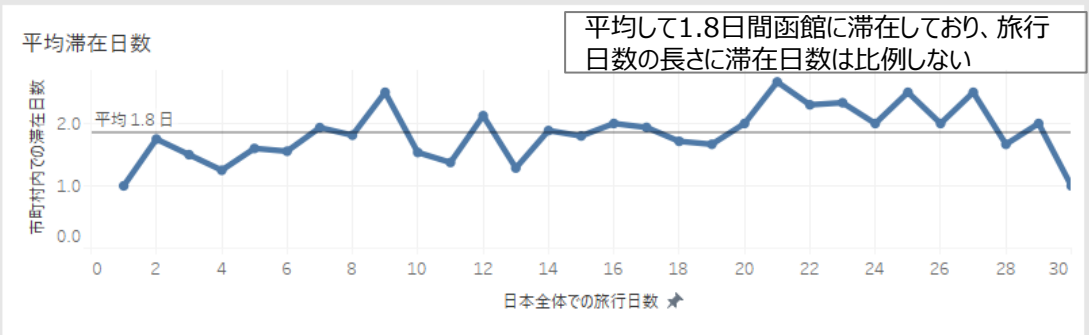
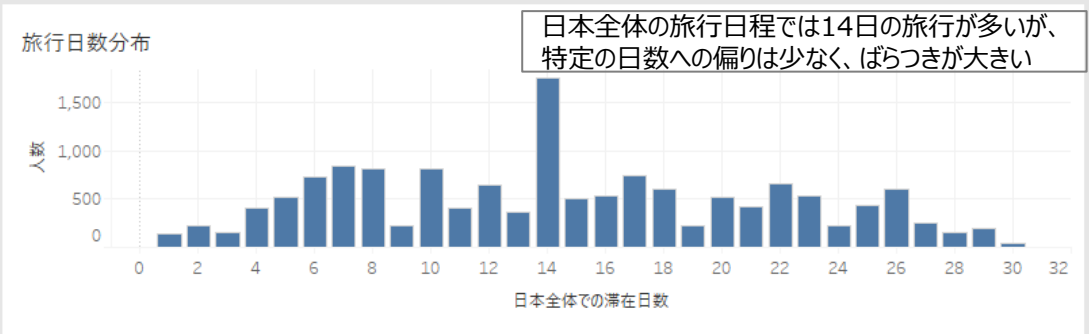
1	札幌市	29.0%
2	登別市	17.9%
3	七飯町	9.2%
4	洞爺湖町	8.3%
5	千歳市	7.6%
6	北斗市	7.6%
7	苫小牧市	5.0%
8	室蘭市	3.9%
9	小樽市	3.7%
10	せたな町	2.5%

道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）

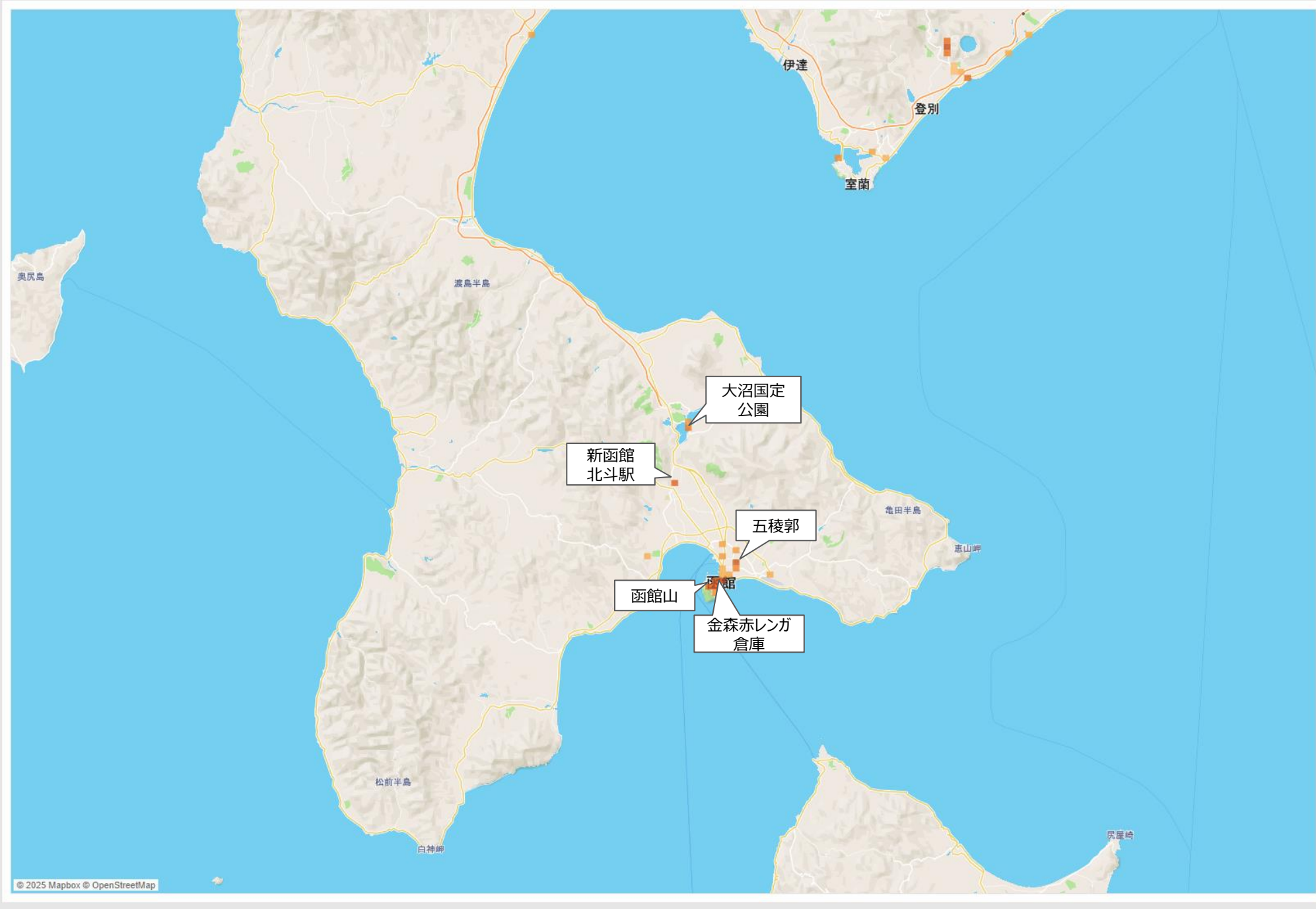


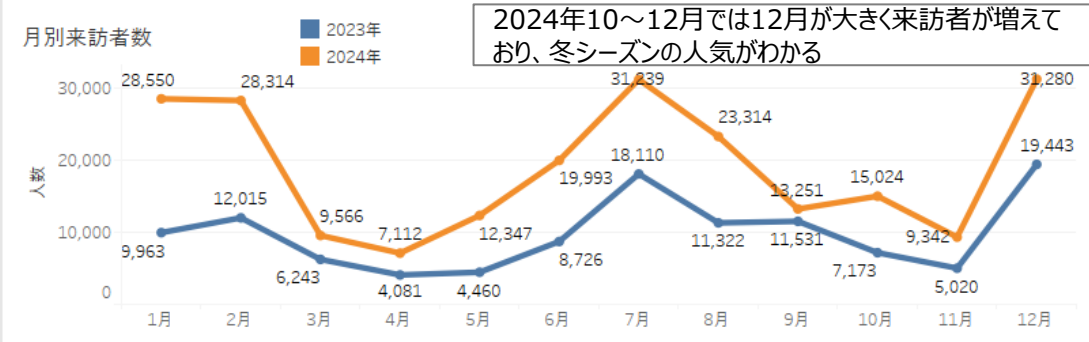
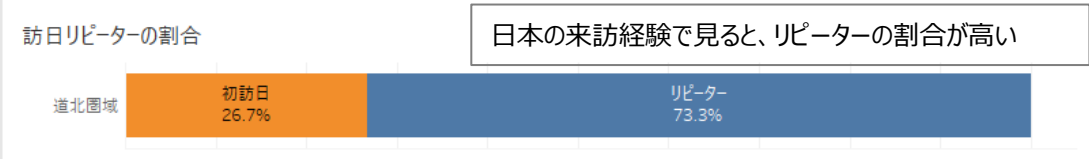


函館市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・欧米豪）

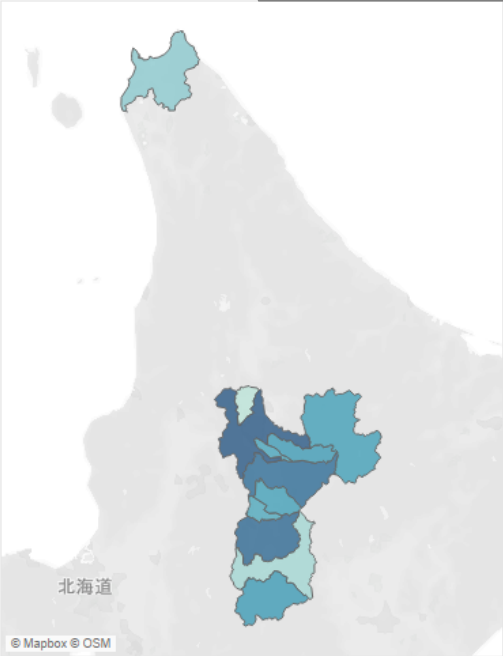


道南圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・欧米豪）





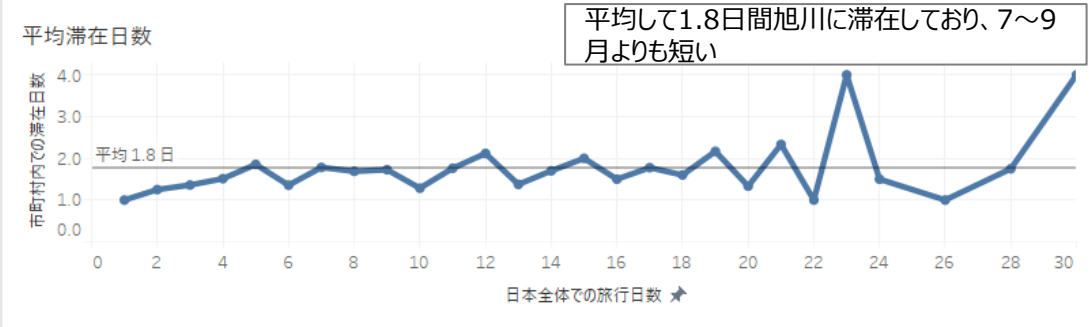
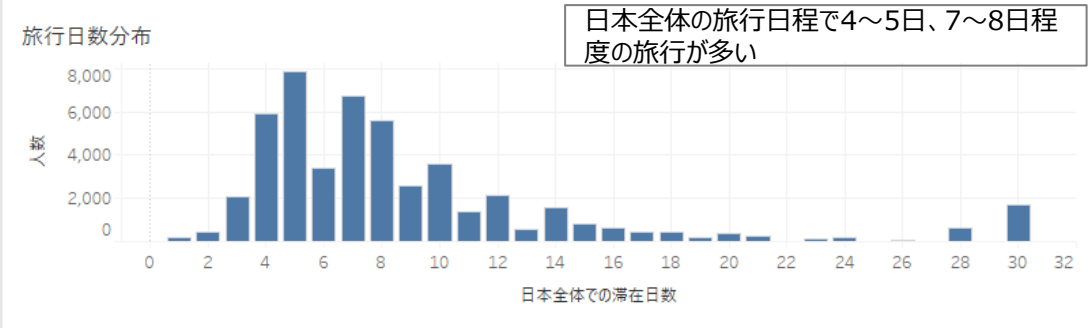
市町村別滞在状況



市町村別滞在ランキング

順位	市区町村	割合
1	旭川市	43.7%
2	富良野市	21.4%
3	美瑛町	18.5%
4	占冠村	3.2%
5	東川町	3.1%
6	上川町	2.6%
7	上富良野町	2.6%
8	東神楽町	2.2%
9	中富良野町	1.9%
10	稚内市	0.4%

旭川市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



24時間以内の周遊ルート

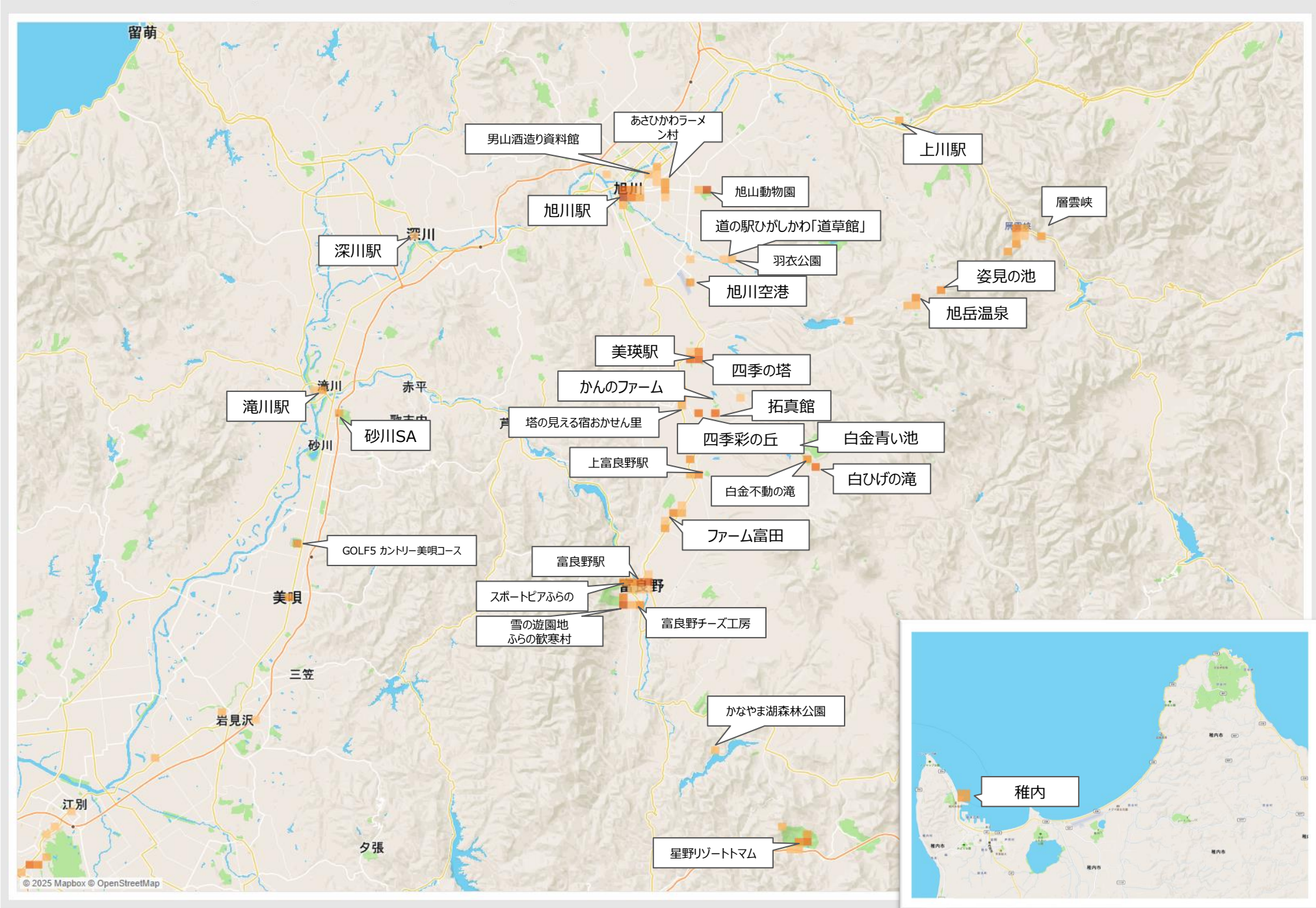


旭川の前後は札幌への滞在が最も多く、美瑛、富良野、東川が続く

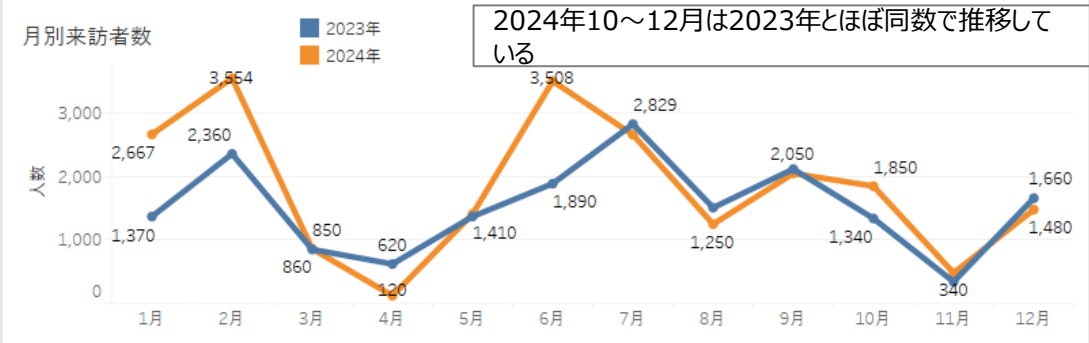
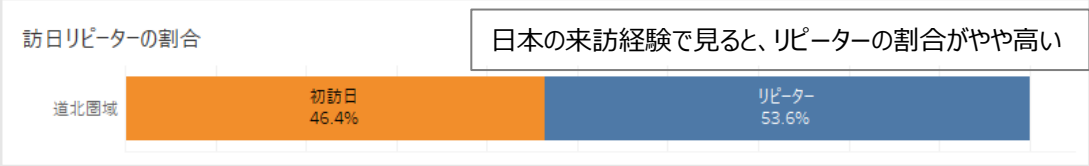
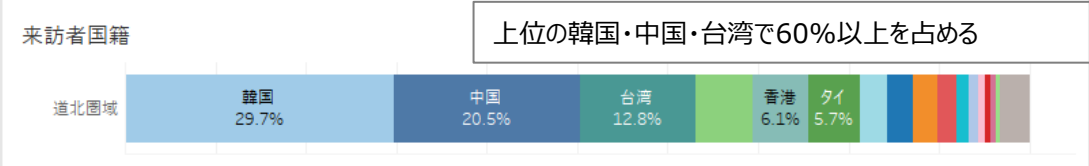
直前の訪問先	割合
1 札幌市	44.2%
2 美瑛町	14.9%
3 富良野市	7.9%
4 東川町	6.1%
5 上川町	4.6%
6 小樽市	4.2%
7 東神楽町	3.2%
8 上富良野町	3.1%
9 網走市	2.9%
10 千歳市	2.7%

直後の訪問先

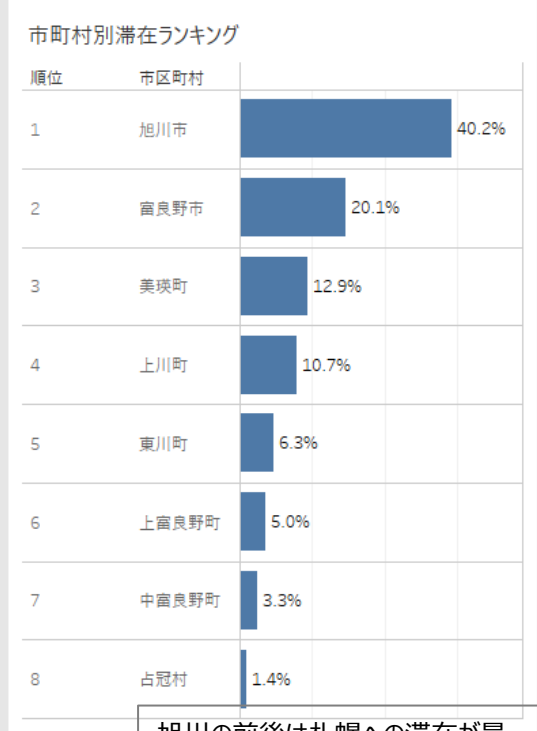
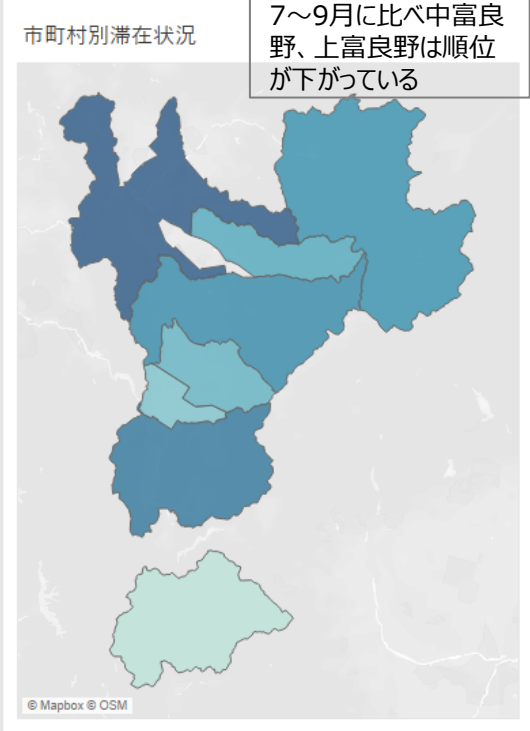
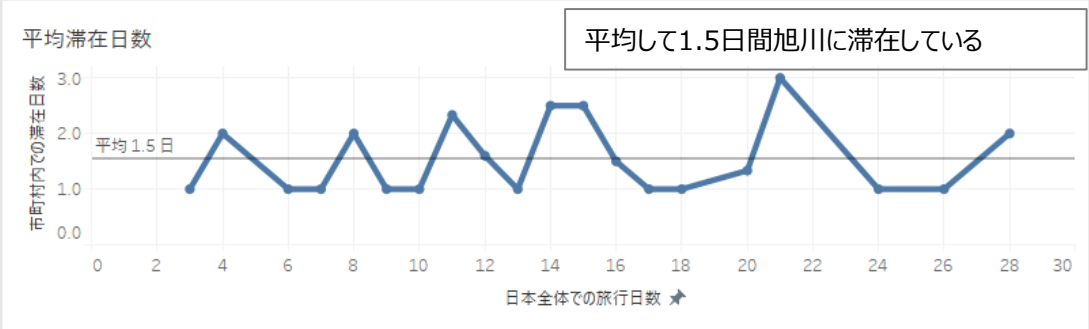
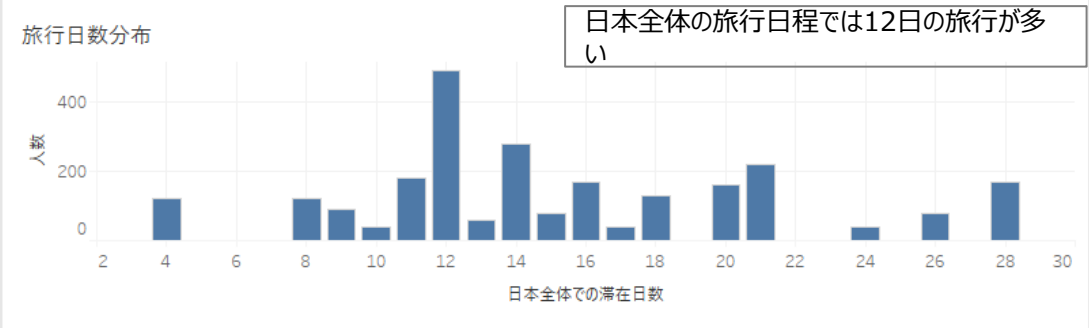
直後の訪問先	割合
1 札幌市	58.9%
2 美瑛町	10.5%
3 東川町	8.1%
4 富良野市	4.2%
5 小樽市	4.0%
6 上川町	3.9%
7 東神楽町	3.0%
8 中富良野町	0.8%
9 砂川市	0.8%
10 登別市	0.7%



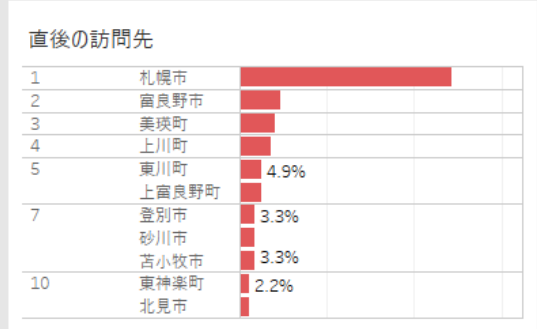
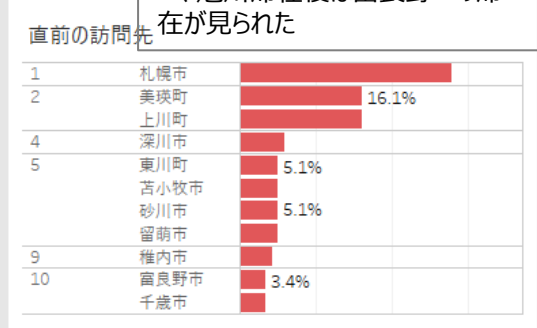
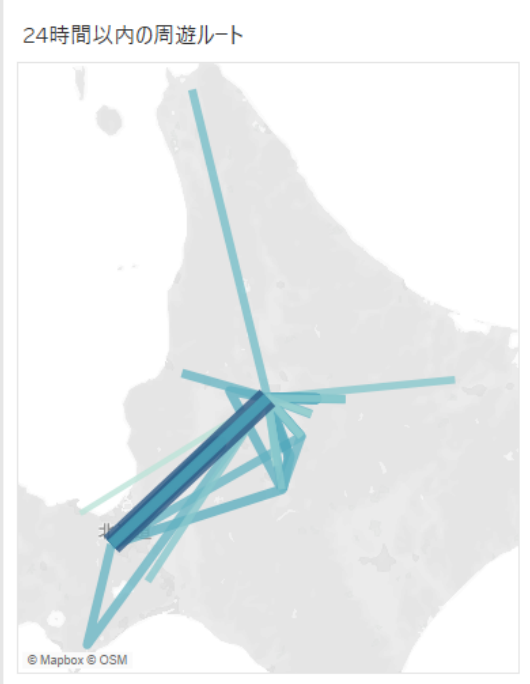
道北圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・欧米豪）



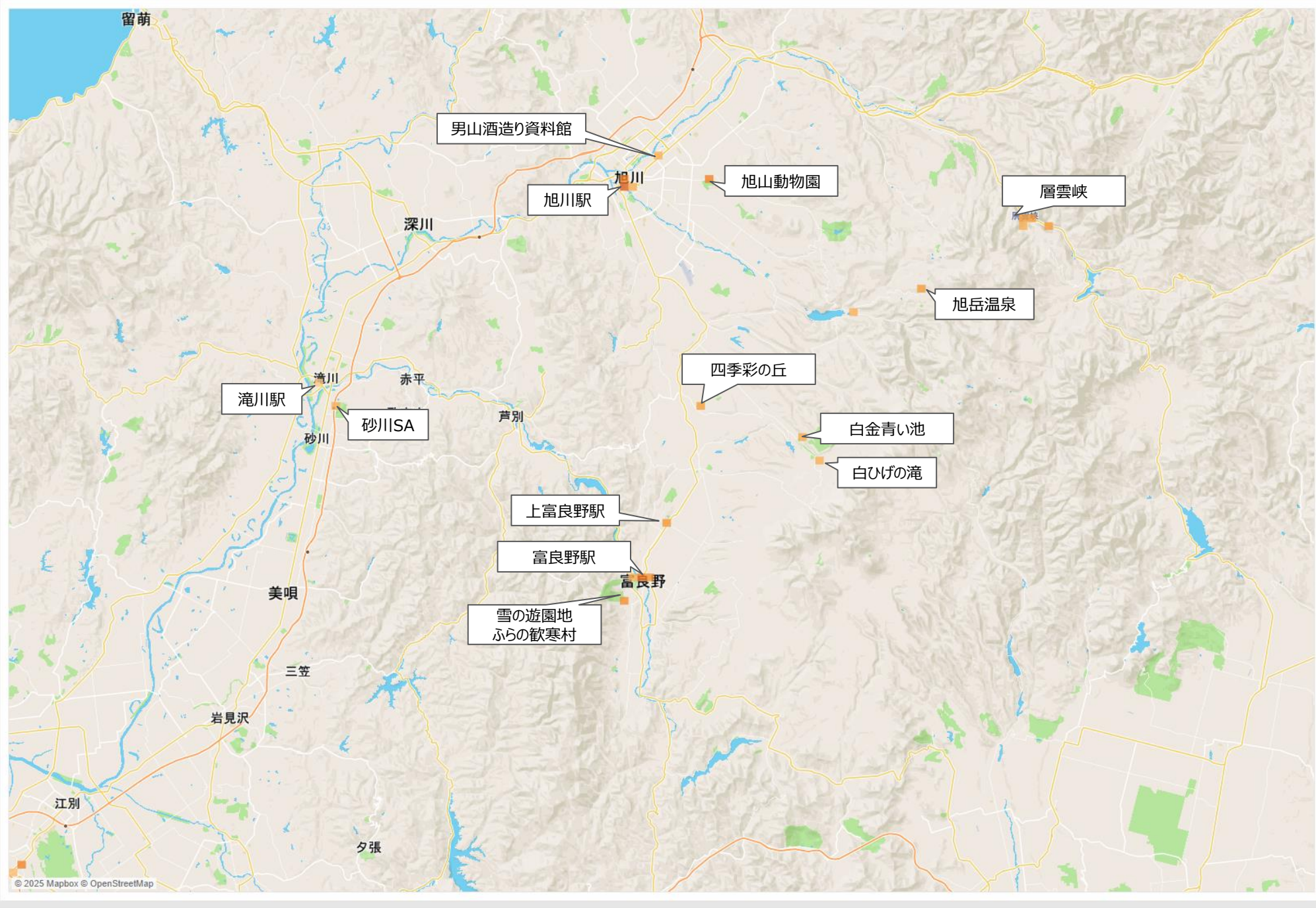
旭川市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・欧米豪）

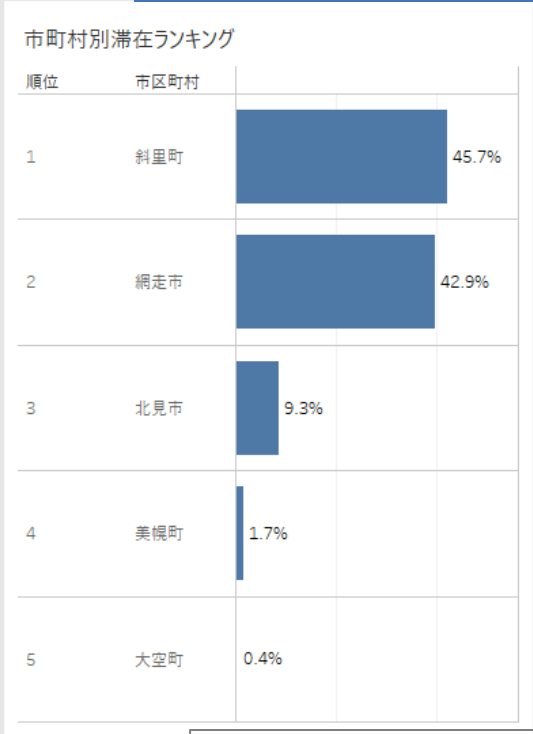
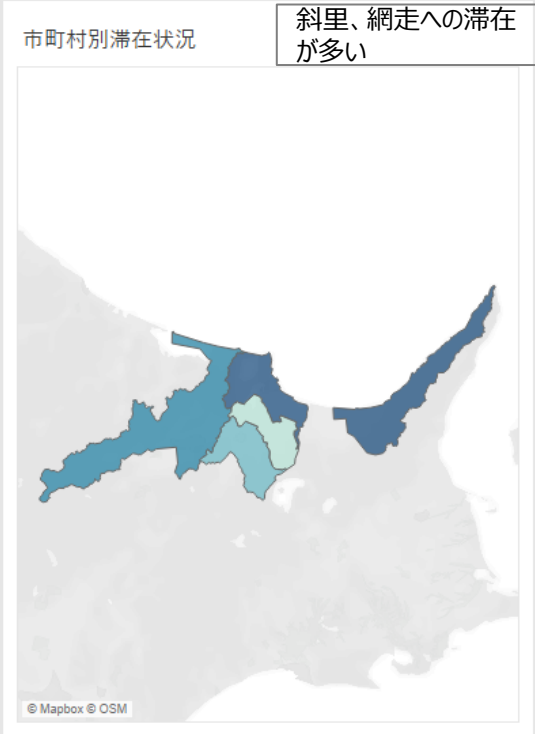
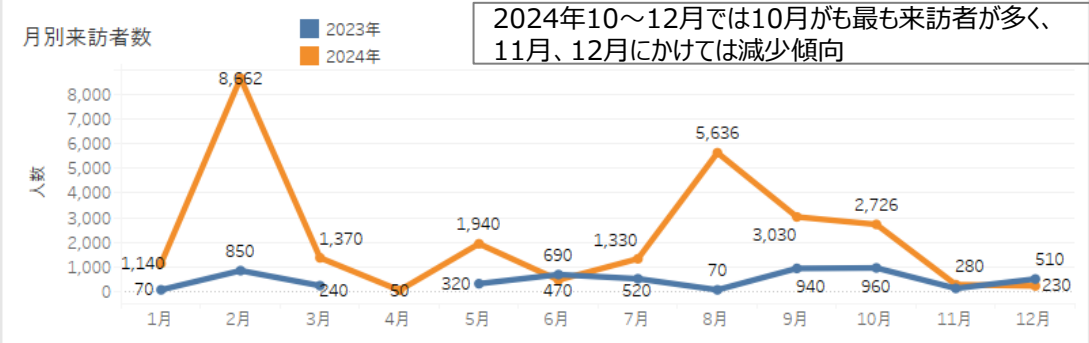
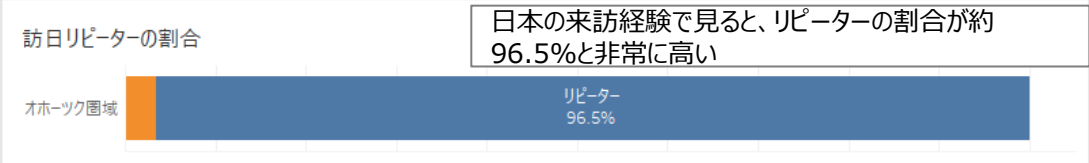
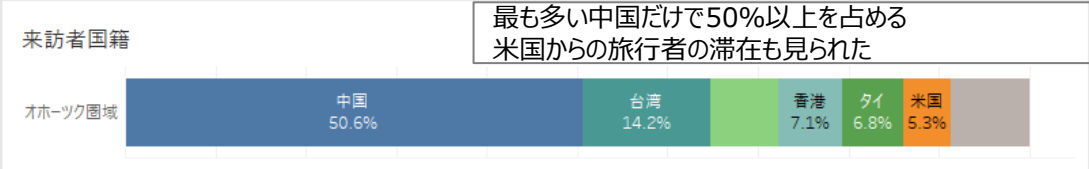


旭川の前後は札幌への滞在が最も多く、旭川滞在前は美瑛、上川へ、旭川滞後は富良野への滞在が見られた

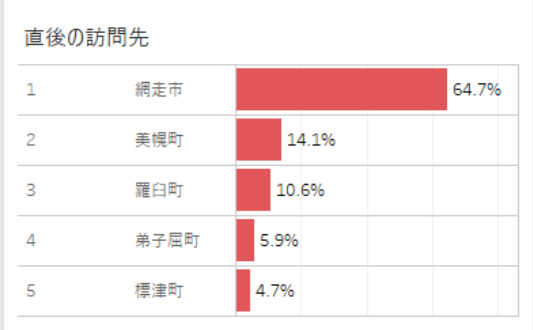
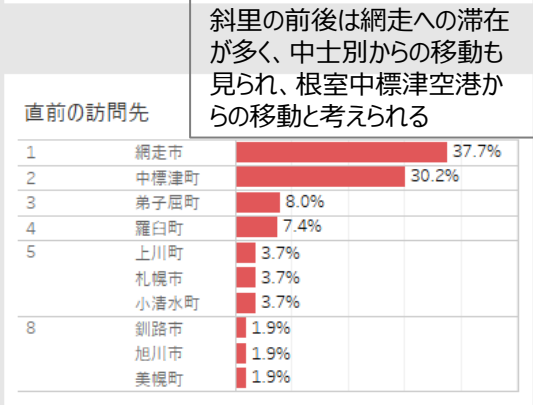
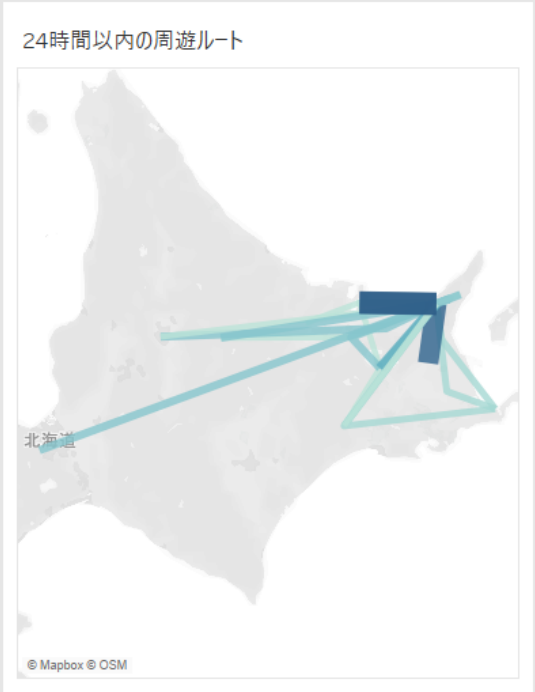
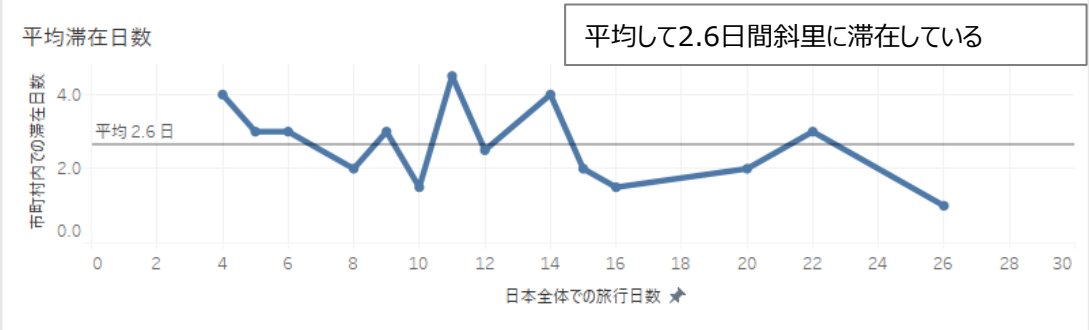
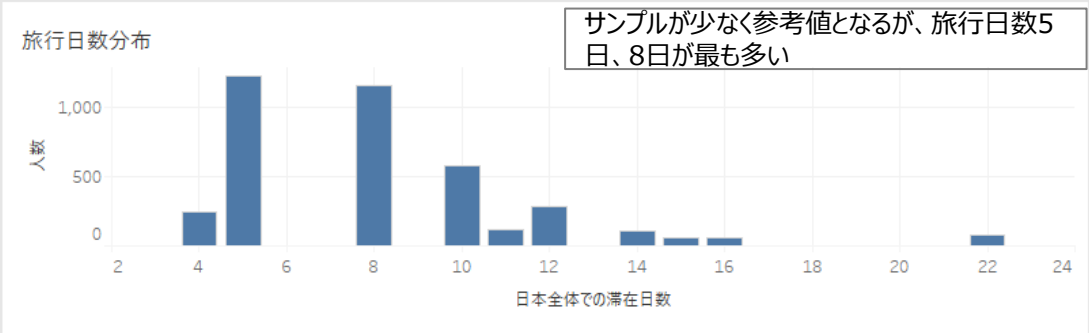


道北圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・欧米豪）



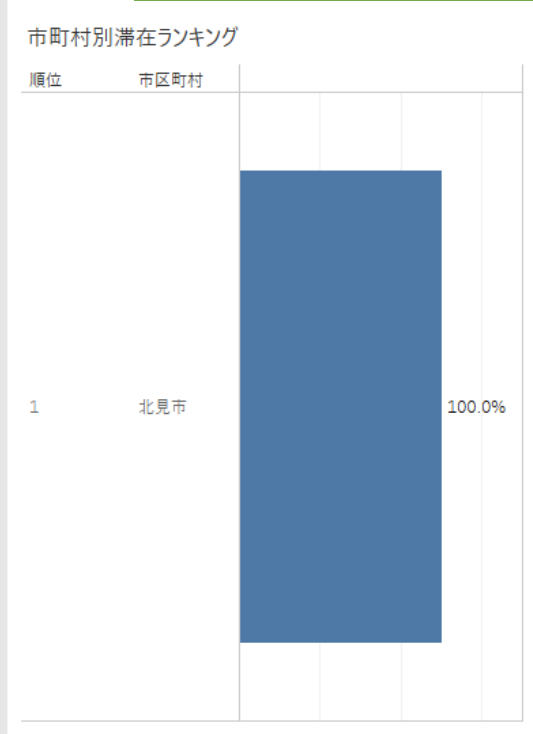
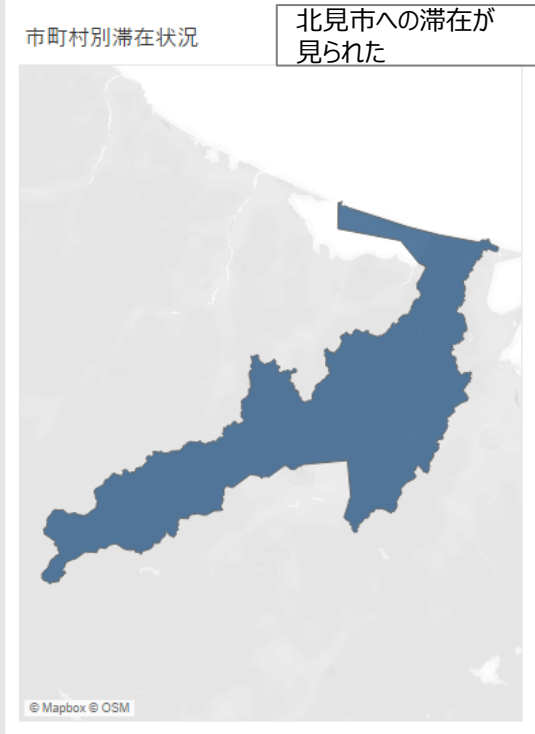
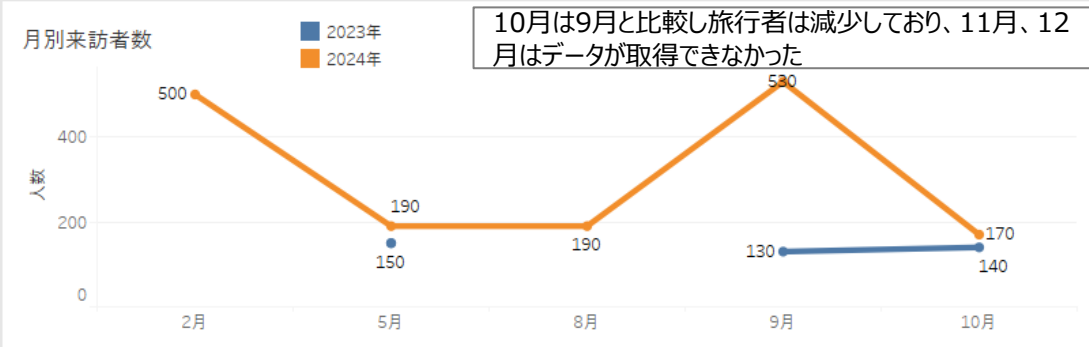
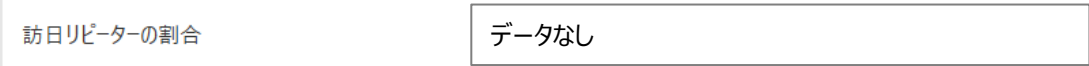
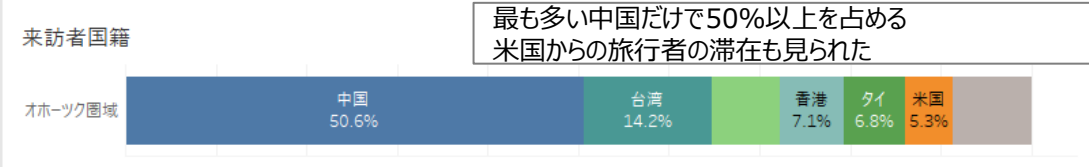


斜里町における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



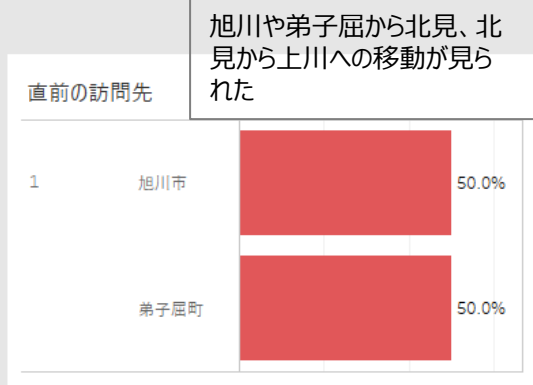
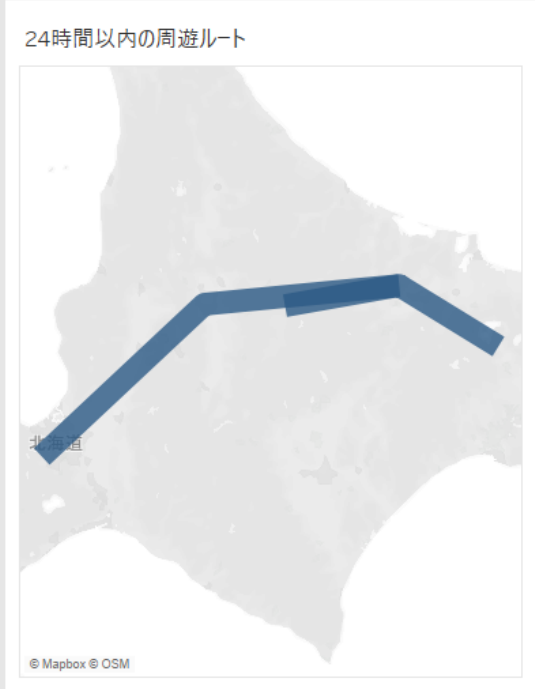
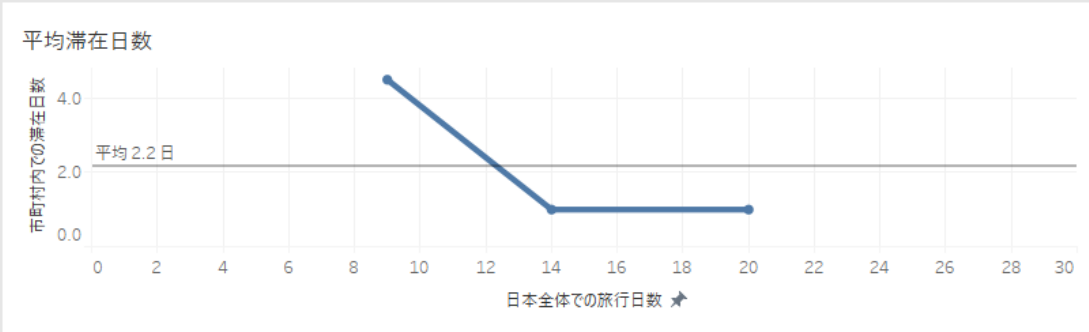
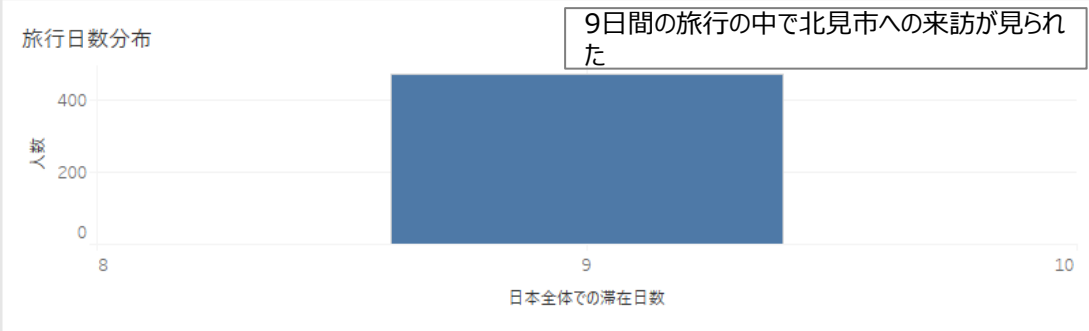
オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）





北見市における周遊状況（2024年10月・欧米豪）

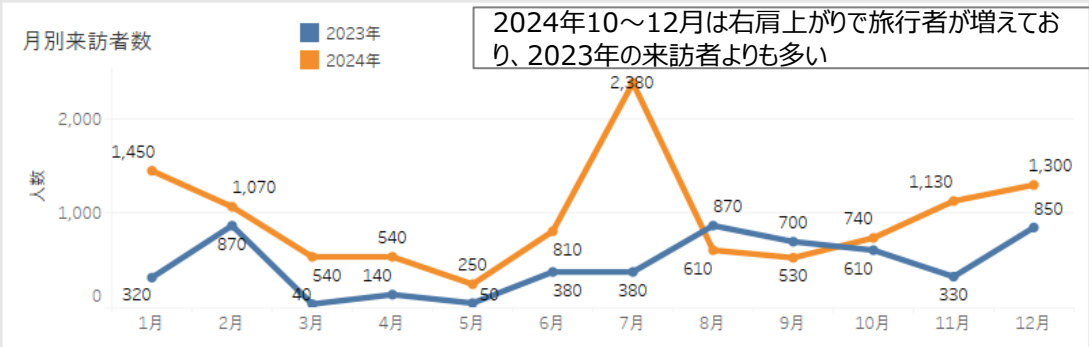
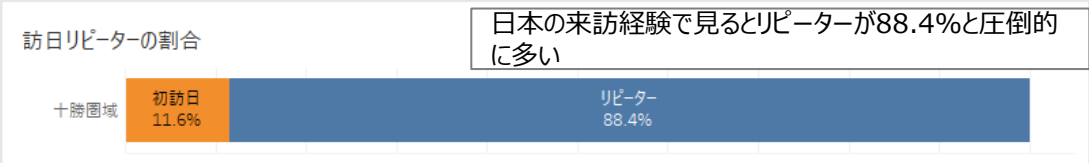
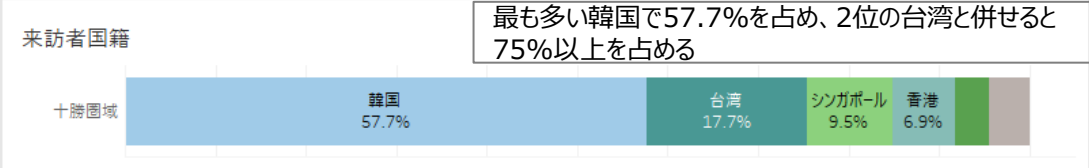
※欧米豪は2024年10月のみデータが取得できている



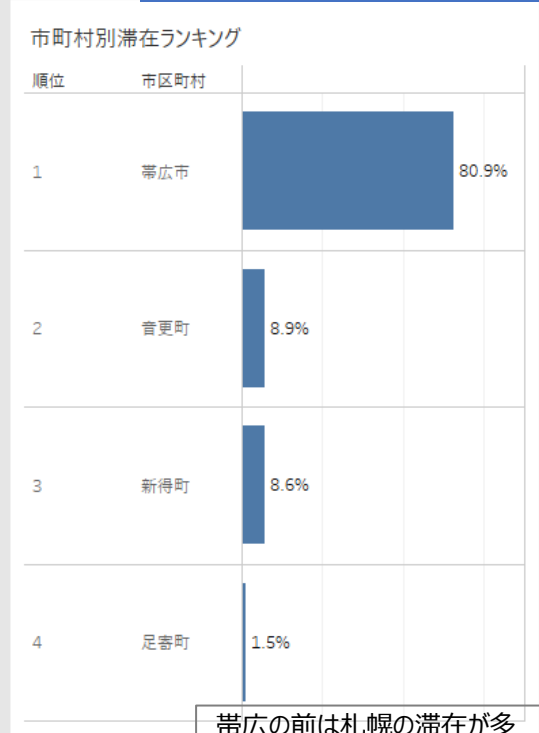
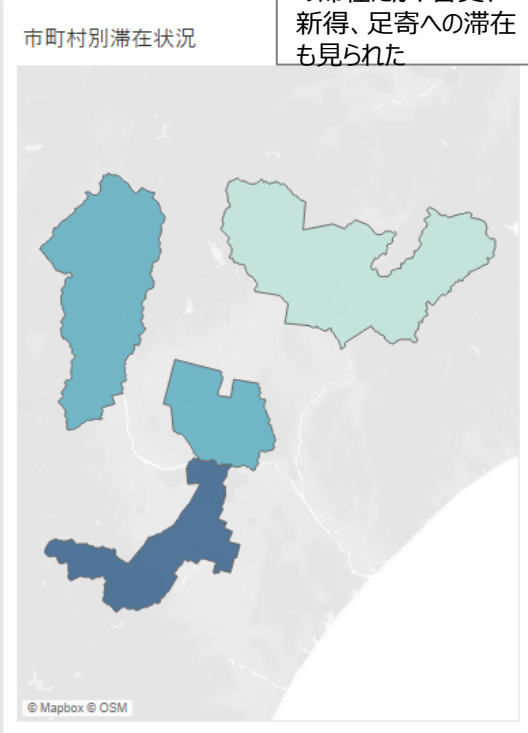
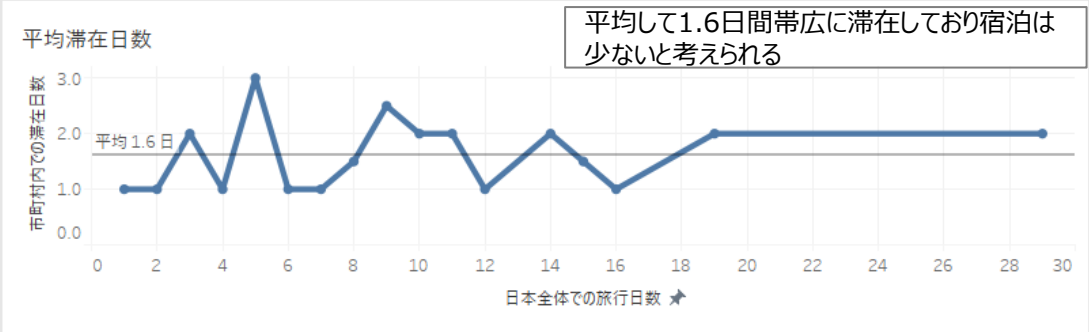
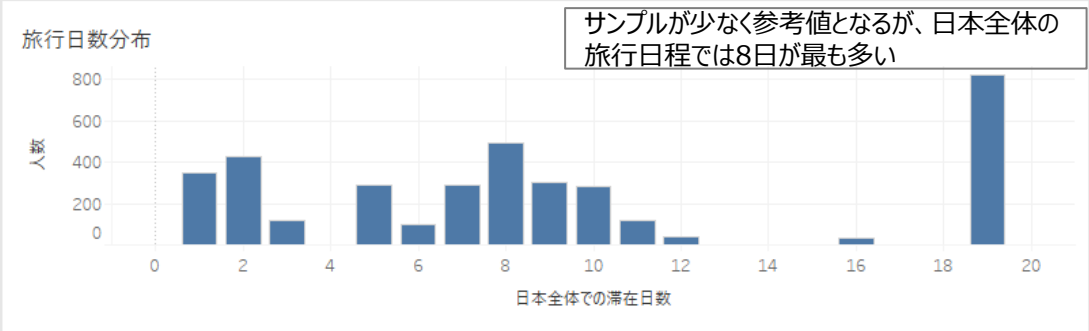
オホーツク圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月・欧米豪）



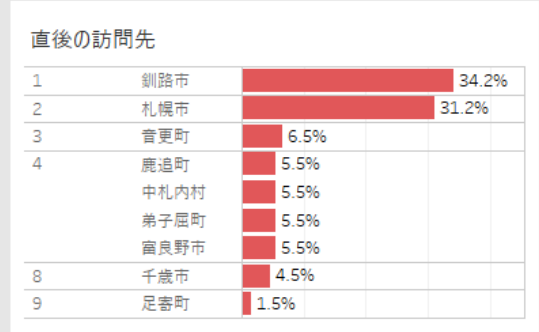
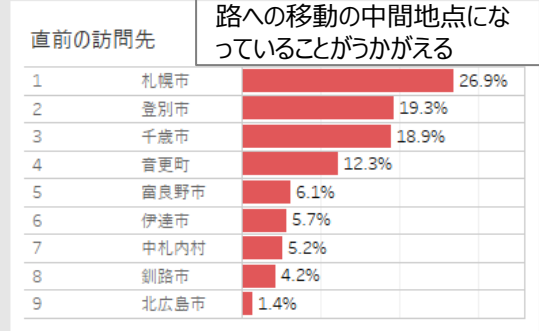
十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）



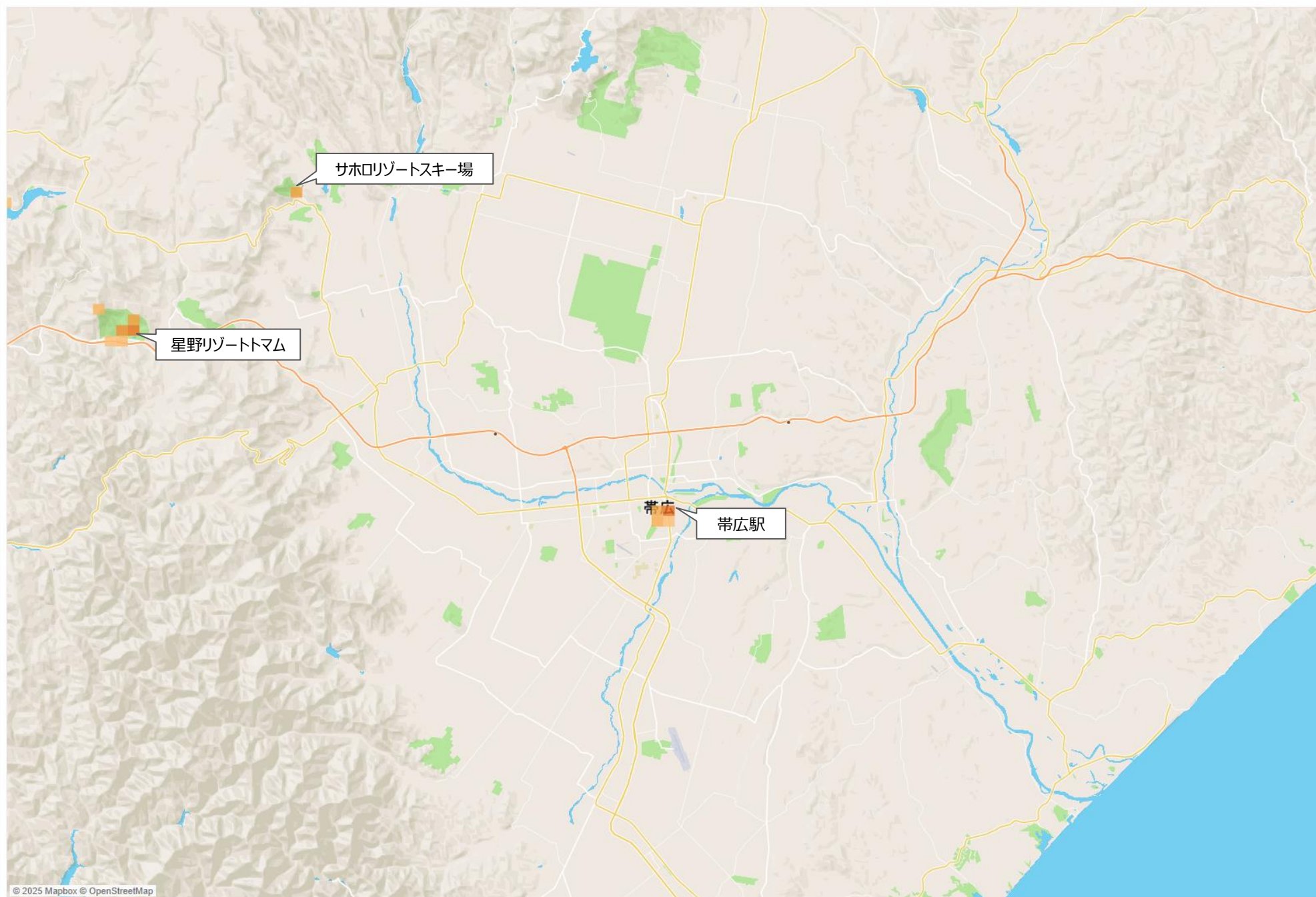
帯広市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



帯広の前は札幌の滞在が多いが、帯広の滞在後は釧路への滞在が多く、札幌から釧路への移動の中間地点になっていることがうかがえる



十勝圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）



※欧米豪は2024年10～12月はデータなし

十勝圏 欧米豪

来訪者国籍

最も多い韓国で57.7%を占め、2位の台湾と併せると75%以上を占める

十勝圏域

韓国
57.7%

台湾
17.7%

シンガポール
9.5%

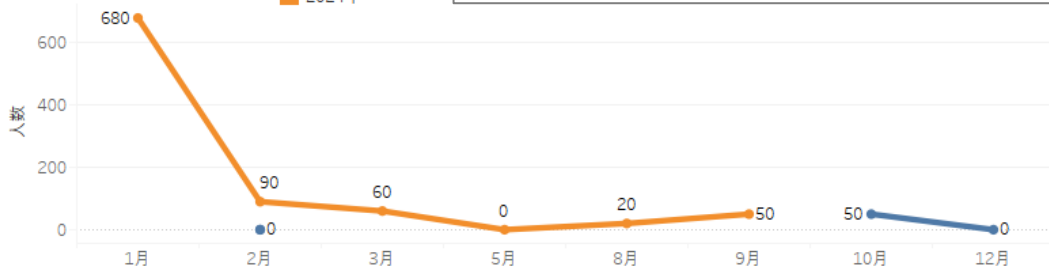
香港
6.9%

訪日リピーターの割合

月別来訪者数

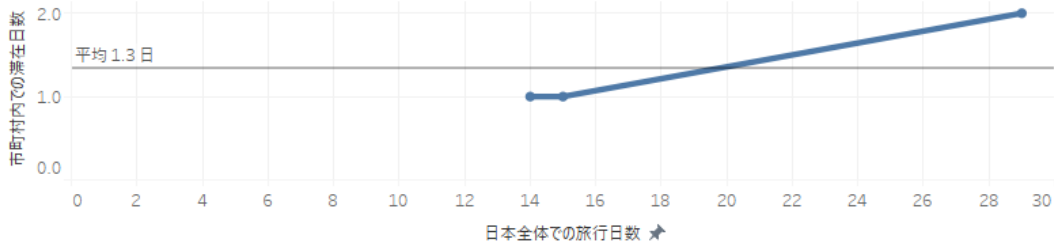
■ 2023年
■ 2024年

2024年10～12月はデータが観測されなかった



旅行日数分布

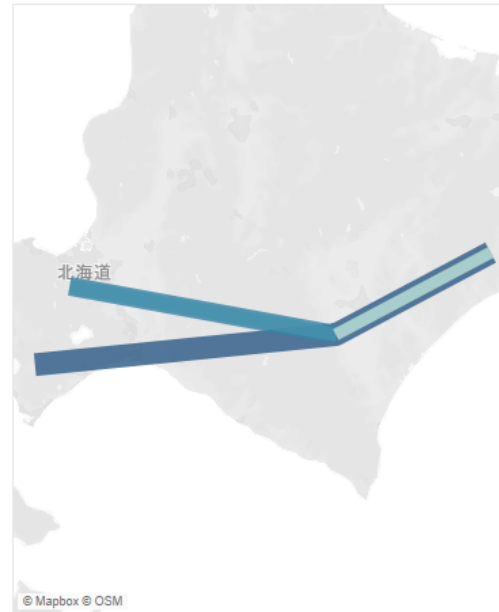
平均滞在日数



市町村別滞在状況

市町村別滞在ランキング

24時間以内の周遊ルート

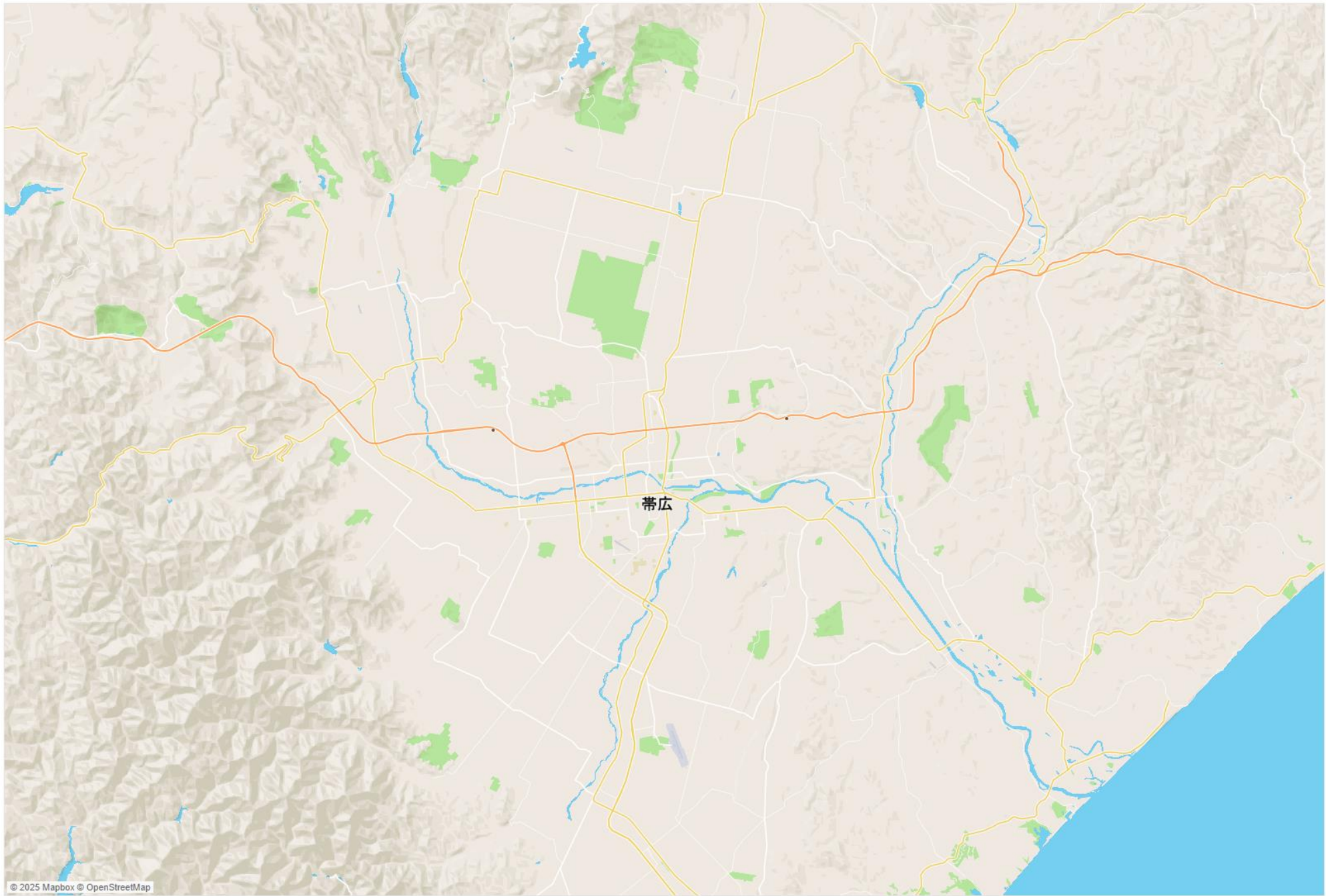


直前の訪問先

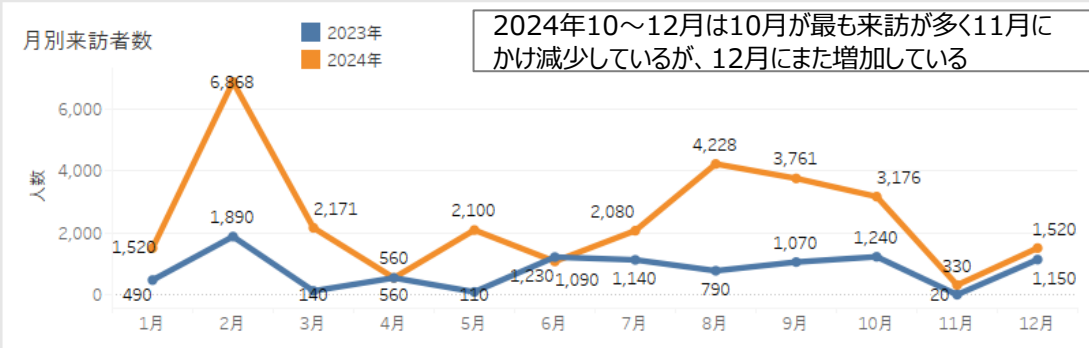
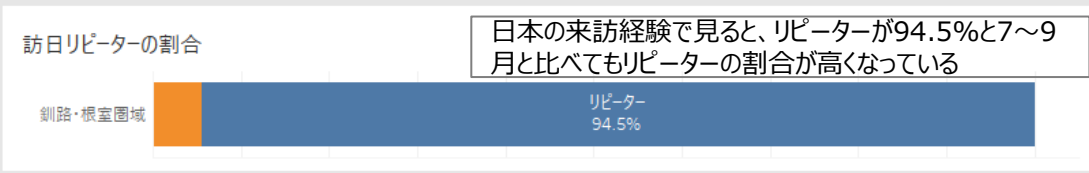
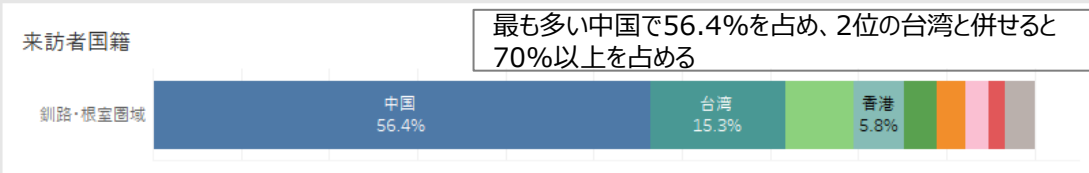
1	伊達市	60.0%
2	札幌市	40.0%

直後の訪問先

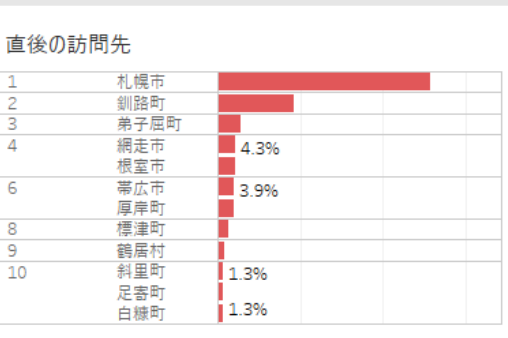
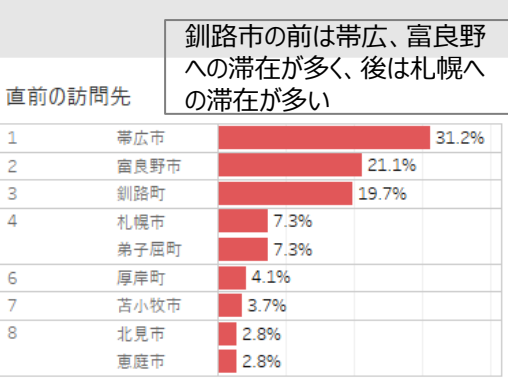
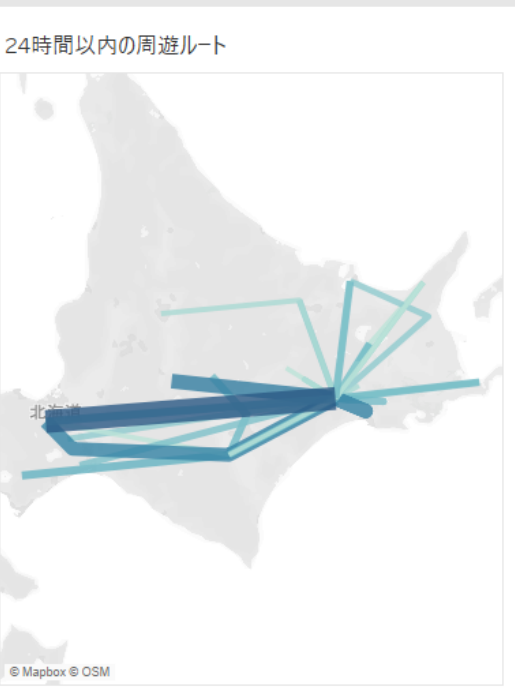
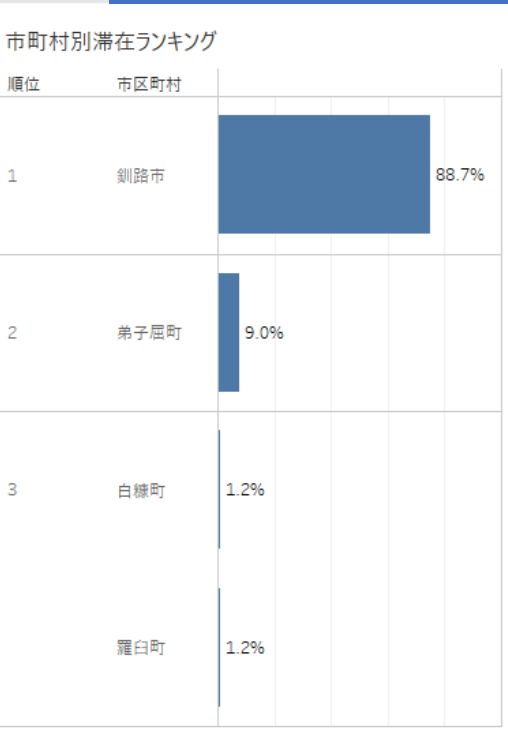
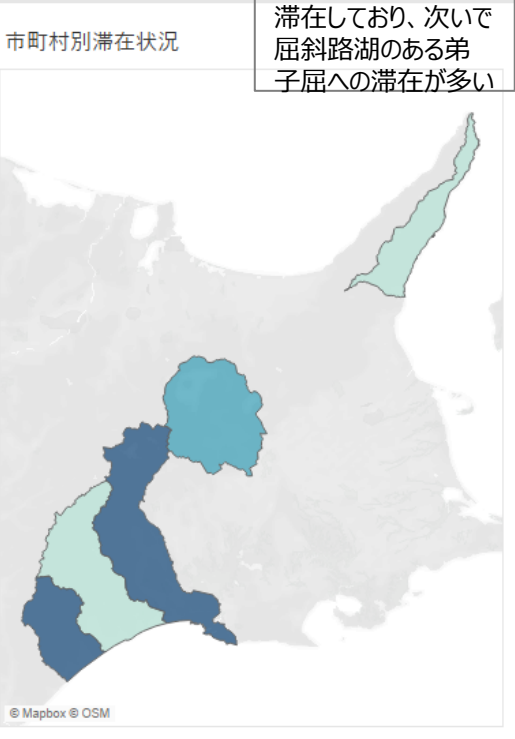
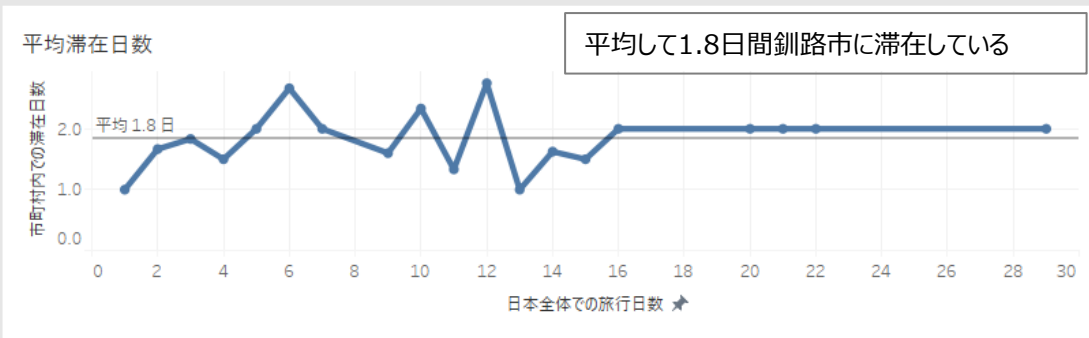
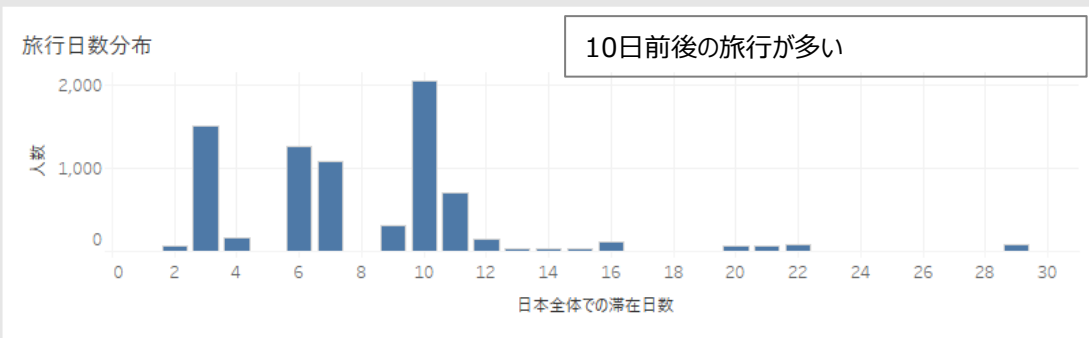
1	釧路市	78.9%
2	札幌市	21.1%



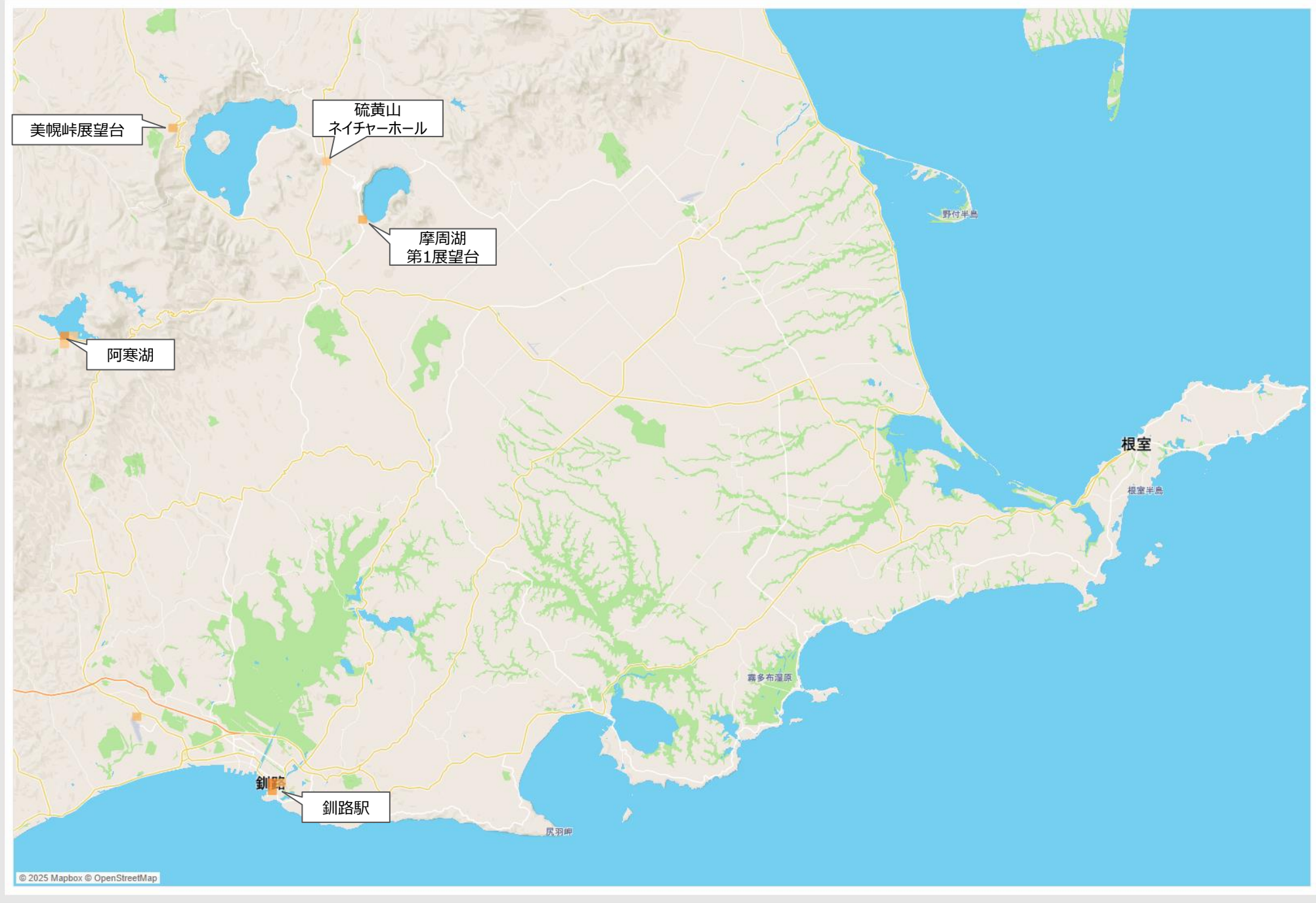
釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）

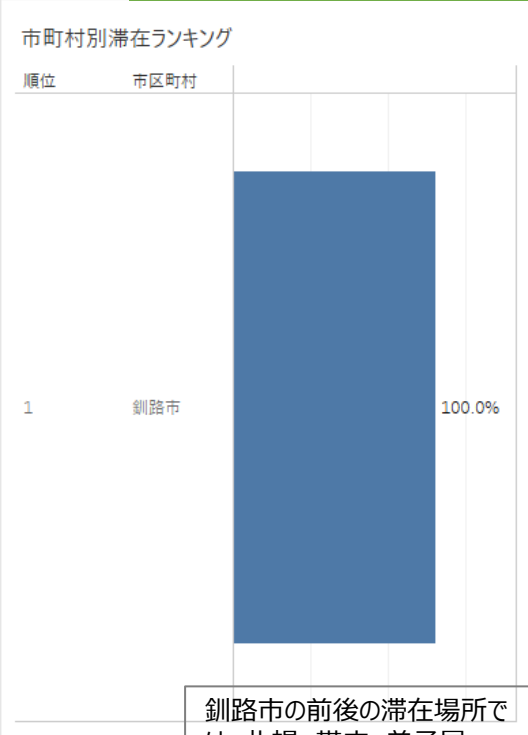
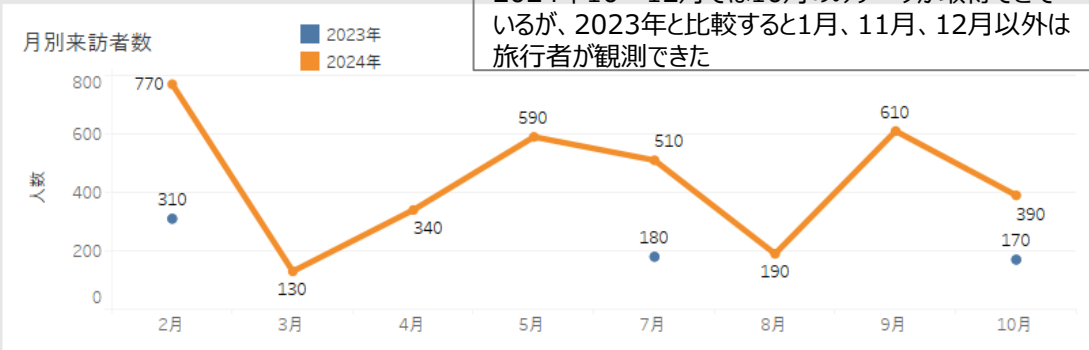
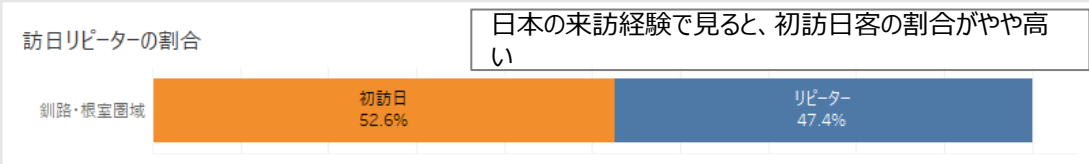
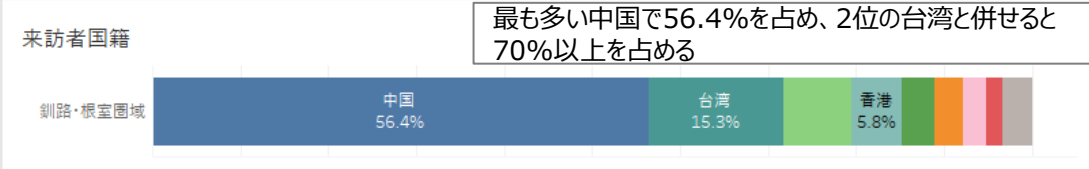


釧路市における周遊状況（2024年10月～2024年12月・全国籍）



釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月～2024年12月・全国籍）

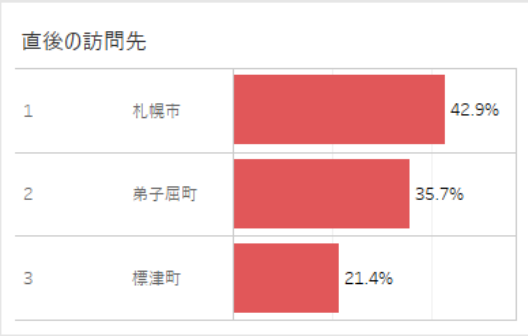
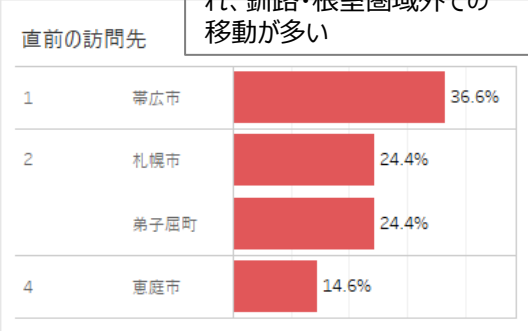
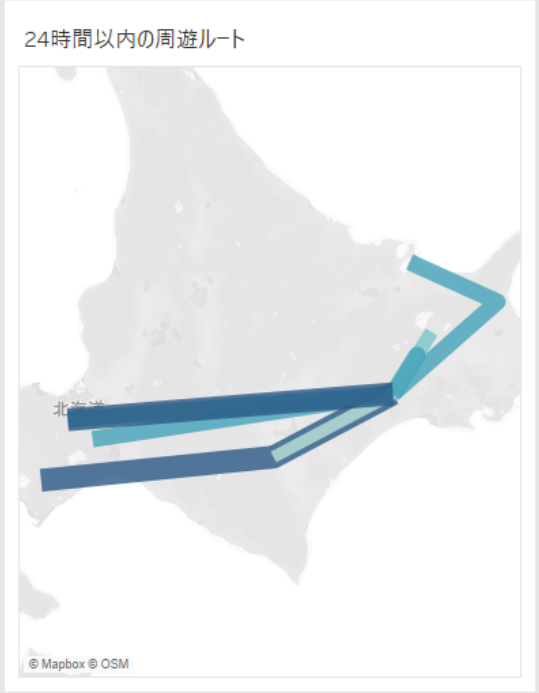
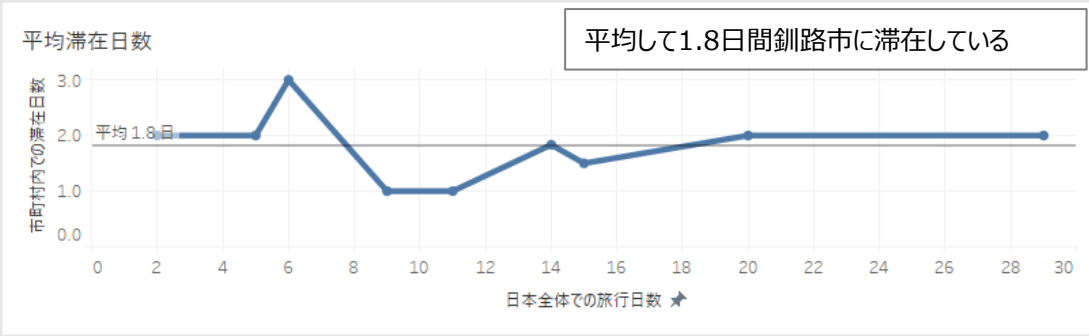
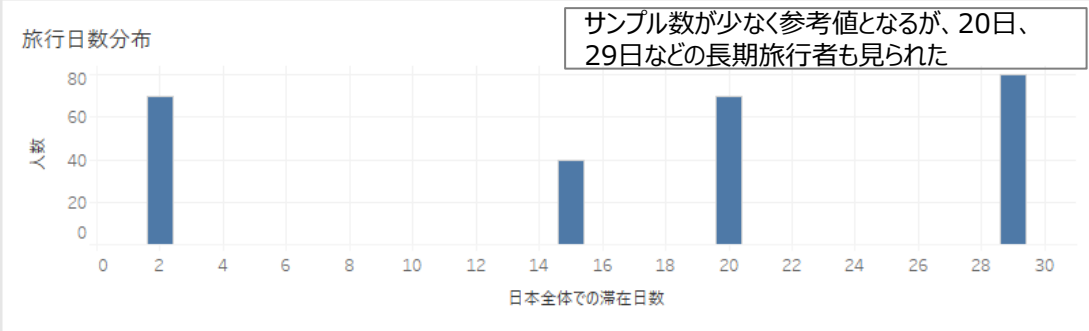




釧路市の前後の滞り場所では、札幌、帯広、弟子屈、恵庭、標津での滞在が見られ、釧路・根室圏域外での移動が多い

釧路市における周遊状況（2024年10月・欧米豪）

※欧米豪は2024年10月のみデータが取得できている



釧路・根室圏域におけるインバウンドレポート（2024年10月・欧米豪）

